

目次

安全に正しくお使いいただくために
はじめに

第1章 本製品について

第2章 セットアップユーティリティ

第3章 Windows 98/Me 環境で使用する

第4章 Windows NT4.0/2000/Server 2003/XP/Vista
7/8/2008/2012環境で使用する

第5章 UNIX/Linux 環境で使用する

第6章 C/S560 環境で使用する

第7章 設定に関する機能

第8章 困ったときには

付録

【表記について】

マニュアルの中で使用している、マークの意味を説明します。

	これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる危害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。
 警告	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 注意	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
注意	これは、装置への重大な障害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 注意	操作上の注意や機能に対する制限事項などが記述されています。正しい操作を行えるように必ずお読みください。
 参考	操作など参考になることを記述しています。操作でわからないときに参考にしてください。

マニュアルで説明している画面やイラストは一例です。機種により、異なる場合があります。説明の都合で、画面のアイコンやイラストなど、一部省略している場合があります。

- ・本マニュアルの著作権はリコープリンティングシステムズ株式会社に帰属します。本マニュアルの一部、または全部を無断で転載、複製、あるいは改変することは法律で禁止されています。
- ・本マニュアルはそれぞれのOSにあわせて注意深く用意しておりますが、将来バージョンアップやOSに変更のあった場合など、パソコンのモニタに実際に表示される表現と差異が出る可能性があります。ご了承ください。
- ・本マニュアル編集にあたって万全を期しておりますが、誤りや設定等の例による結果、または本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などに対し、弊社はいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- ・本マニュアルに記載された仕様、その他については改良のため変更することがあります。
- ・本マニュアルや製品について、お気づきの点または、ご不明な点は弊社カスタマサポートセンターまでご連絡ください。
- ・Microsoft、MS-DOS、Windows98、Windows Me、Windows NT、Windows 2000、Windows Server、Windows XP等は米国 Microsoft Corporationの米国及び他の国における登録商標です。
- ・UNIXはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国および他の国における登録商標です。
- ・IBM、AIXは米国IBM社の商標です。
- ・HP-UXは米国ヒューレットパカード社の商標です。
- ・Solarisは米国サンマイクロシステムズ社の商標です。
- ・LinuxはLinus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Adobe、AcrobatはAdobe System Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- ・その他、記載されている社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ・This product includes software developed by the Open SSL Project for use in Open SSL Toolkit.(<http://www.openssl.org/>)

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分に理解してください。

- ・操作は、マニュアル内の指示、手順に従って行ってください。
- ・装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

シンボルについて

安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。



警告これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。



注意これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意

これは、装置の重大な損害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。





警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭

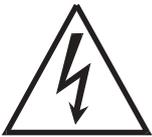
万一異常が発生した場合は、プリンタの電源スイッチをOFFにし、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



修理・改造・分解

自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。



装置内部への異物の混入

通風孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属片や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



揮発性液体の近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性の液体を近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。



電源プラグの抜き差し

・電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張ると、コードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。

・休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破壊時には火災の原因になります。

・電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと、感電の原因になります。



包装用ポリ袋について

包装用のポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると、窒息するおそれがあります。



警告



電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

- ・電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。
- ・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。ほこりや水滴が付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから差し込んでください。
- ・グラグラしないコンセントを使ってください。



落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけたるするなど衝撃を与えないでください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。



タコ足配線

同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。



湿気やほこりの多い場所での使用

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍やほこりの多い地下室、水泳プールの近傍では使用しないでください。電気絶縁の低下により、火災や感電の原因になります。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、火災や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。



注意



アルミ電解コンデンサーについて

L A Nボードに使用しているアルミ電解コンデンサーは、有寿命部品です。設計寿命は、月200時間使用で約5年です。寿命になると電解液の枯渇や漏れが生じ、発煙・感電の原因になることがあります。

これらの危険を避けるために、設計寿命を超えて使用する場合は、有償部品単位で交換してください。

また、昼夜連続運転相当では5年より寿命は短くなります。



接続端子への接触

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。

発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。



金属などの端面への接触

装置の移動などで金属や基板などの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。



目的以外の使用

L A Nボード本来の目的以外に使用しないでください。故障の原因になります。



信号ケーブルについて

- ケーブルは足などに引っかけないように配線してください。足を引っかけると、けがや装置の故障の原因になります。また、データが失われるおそれがあります。

- ケーブル上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、装置の故障の原因になります。



注意



屋外での使用

屋外では使用しないでください。故障の原因になります。



電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- ・テレビやラジオなどからできるだけ離す
- ・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・コンセントを別にする



製品の廃棄

本製品を廃棄するときには廃棄物管理表（マニフェスト）の発行が義務づけられています。詳しくは、お買い求め先にご相談いただくか、各都道府県産業廃棄物連合会にお問合せください。廃棄物管理表は（社）全国産業廃棄物協会に用意されています。



はじめに

このたびは、本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルは、本製品の設定およびご利用方法を記載したものです。正しく安全にお使いいただくためにご熟読ください。

本製品の導入

本製品の導入手順について説明します。ご利用の環境に合わせた手順で本製品をネットワークに接続し、ご利用のプリンタをネットワークプリンタとしてお使いいただくことができます。本製品の導入手順に従って、本マニュアルの関係する章を参照しながら、導入を進めてください。



ご利用の環境によっては、本章で説明する導入手順と異なる場合があります。

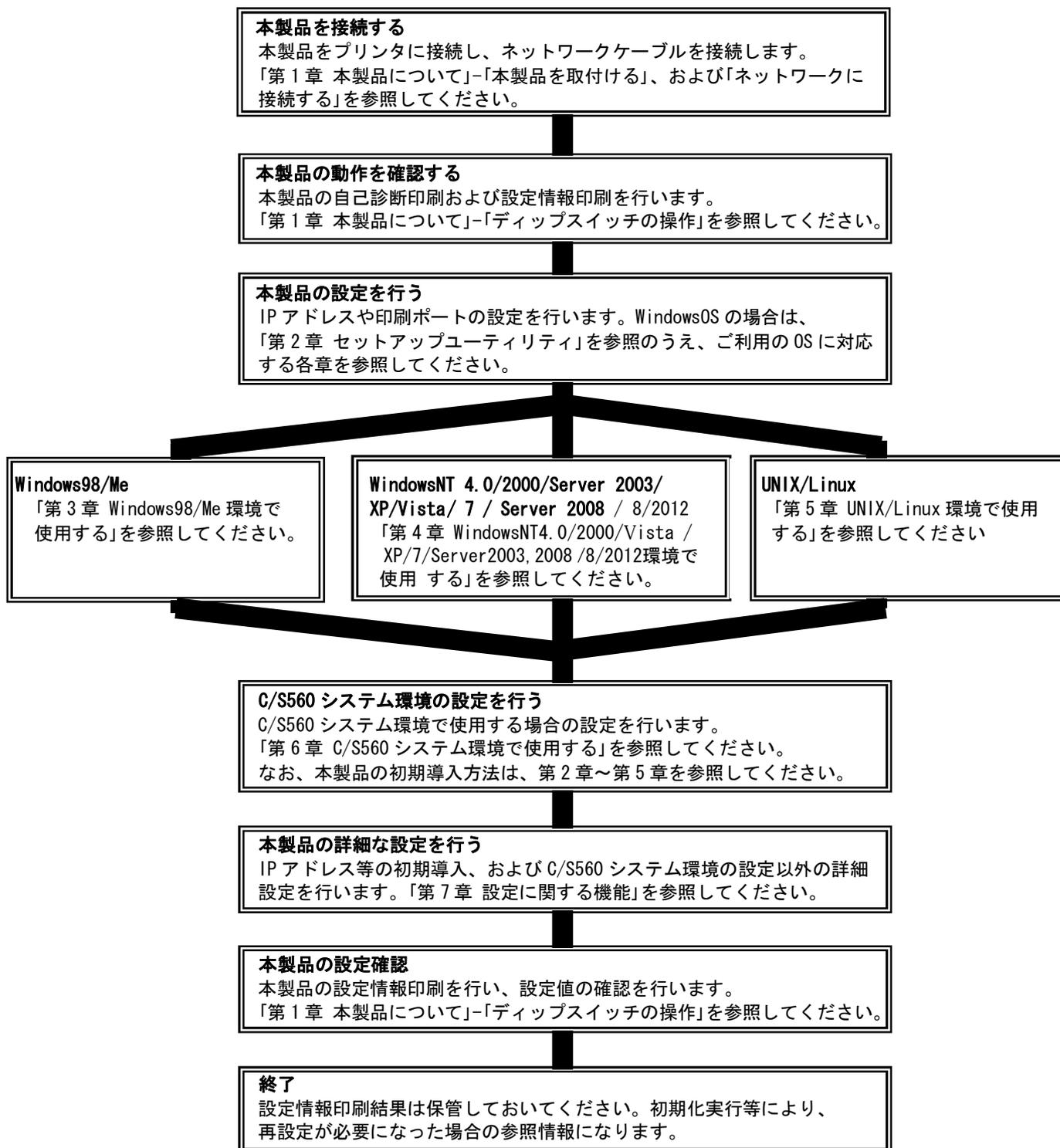
注意



ご利用のコンピュータに予めプリンタドライバをインストールしてください。

参考

製品の導入と設定



第 1 章 本製品について	1-2
PC-PB20211 の特長	1-2
動作環境	1-3
機器の説明	1-4
各部の名称と働き	1-4
ディップスイッチの操作	1-5
設定情報を初期値に戻す	1-5
自己診断印刷や設定情報の印刷を行う	1-5
取り付け方法	1-14
本製品をラインプリンタに取り付ける	1-14
本製品をページプリンタに取り付ける	1-18
本製品をシリアルプリンタに取り付ける	1-19
ネットワークに接続する	1-20

第1章 本製品について

本章では、製品の動作環境や概要、ネットワークへの接続方法について説明します。

PC-PB20211 の特長

- ・ 日立 C/S560 プロトコル対応
- ・ セキュア (SSL) 通信印刷対応

本製品のセキュア (SSL) 通信印刷機能は、インターネットで個人情報などを入力する際に、盗聴やなりすまし防止に利用される通信方式 (SSL) を使用した、一般化されたセキュリティ機能を使用しています。本製品では、この SSL を使用し、印刷を行う際に印刷データを暗号化、プリントサーバで復号化する機能を実装しています。
なお、セキュア (SSL) 通信印刷機能は、日立 C/S560 プロトコルおよび拡張プリンタマネージャには対応していません。ご注意ください。
- ・ USB ポートを標準搭載 (USB2.0 対応)
- ・ Quick Setup による簡単設定
- ・ HTTP 搭載で Web ブラウザからの設定が可能
- ・ 総合ユーティリティ「Standard Setup」標準添付
- ・ 統合クライアントソフトウェア「Hi-Print II」標準添付
- ・ セキュリティ対策対応

ネットワークプリンタのセキュリティ対策として、セキュア (SSL) 通信印刷機能の他に、セキュリティレベル設定機能および IP フィルタ機能を実装しています。

 - ・ セキュリティレベル設定機能は、設定したプロトコル以外のアクセスを排除する機能です。
 - ・ IP フィルタ機能は、IP アドレスで本製品へのアクセスを制限する機能です。特定範囲の IP アドレスからのアクセスを禁止、または特定範囲の IP アドレスのみアクセスを許可することで、プリンタを予期せぬアクセスから保護します。
- ・ WINS (Windows Internet Name Service) 環境への対応

WINS サーバ環境において、NetBIOS 名の IP アドレス解決情報を WINS サーバに登録する機能を搭載しました。
- ・ DNS (Dynamic Domain Name System) 機能搭載

本製品の IP アドレスを DNS サーバに通知する機能を搭載しました。これにより、DHCP サーバから動的に IP アドレスを獲得した場合でも、即座に Domain Name System に反映され、Domain 名と IP アドレスの不整合を防ぐことができます。

動作環境

● ネットワークに接続するために必要な機器

ネットワークケーブル（100BASE-TX 環境ではカテゴリ-5 以上）

プリンタ本体

プリンタケーブル/USB ケーブル

● 対応プロトコル/対応 OS

対応プロトコル：C/S560、TCP/IP、NetBEUI

対応 OS：Windows 98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows Server 2003

Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008/2008R2、
Windows8、Windows Server2012、UNIX、Linux

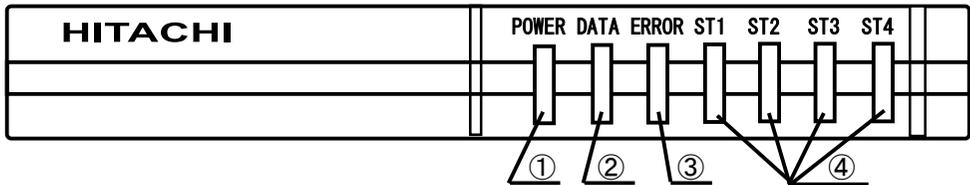
**注意**

- ・本製品をページプリンタで使用する場合は、USB ケーブルで接続してください。
- ・USB ケーブルは、プリンタが USB 非対応の場合は接続できません。
- ・パラレルインタフェースおよび USB インタフェースとの同時接続はできません。

機器の説明

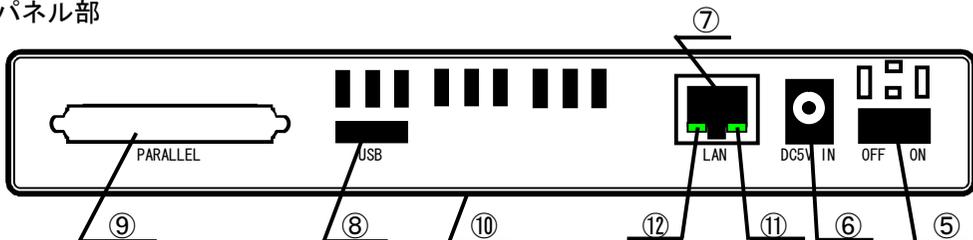
各部の名称と働き

前面パネル部



NO.	名称	表示色	機能
①	POWER	緑	電源がONの時に点灯します。
②	DATA	緑	パケット受信時に点灯します。
③	ERROR	赤	本製品が動作不能状態になると点灯し、ハードウェアエラーが発生すると点滅します。ERRORランプが点灯または点滅した場合は、担当営業または保守会社にご連絡ください。
④	ST1 ST2 ST3 ST4	緑	ST1～ST4の点灯／点滅の組み合わせにより、下表の状態を表します。 ●：点灯 △：点滅 -：消灯
			状態
			● △ - C/S560 コネクション確立
			● - - C/S560 アソシエーション確立
			- △ - C/S560 エラーリトライ状態
			- ● - C/S560 プレロード外字登録中
			- - ● - C/S560 HEXダンプ印刷モード

背面パネル部



No.	名称	機能
⑤	電源スイッチ	本製品の電源ON/OFFをします。
⑥	電源コネクタ	本製品の給電用コネクタです。
⑦	ネットワークポート	LAN接続用コネクタです。(10BASE-T/100BASE-T用)
⑧	USBインタフェースコネクタ	USBケーブルを接続するインタフェースコネクタです。ページプリンタ(PC-PLXXXX)は本インタフェースコネクタを使用してください。
⑨	パラレルインタフェースコネクタ	プリンタケーブルを接続するインタフェースコネクタです。ドットインパクトプリンタ(PC-PNYYYY/PNYYYY)は本インタフェースコネクタを使用
⑩	ディップスイッチ	各種設定を行います。本体底面にあります。
⑪	LINKランプ	100BASE-TXでリンクすると点灯します。
⑫	LINKランプ	10BASE-Tでリンクすると点灯します。

⑩ディップスイッチ

本製品の底面にディップスイッチがあります。各スイッチを操作し電源 ON することで、本製品の工場出荷設定や自己診断印刷、設定情報印刷を行うことができます。

SW No.	機能	内容(DIP SW ON時に起動)
1	Reserved	常にOFFに設定してください。
2	初期化	登録されている設定値を初期化(工場出荷状態)します。 なお、登録されているプレロード外字はクリアしません。
3	自己診断印刷 設定情報印刷	自己診断印刷と設定情報印刷を行います。
4	Reserved	常にOFFに設定してください。
5	プレロード外字クリア	本製品に登録されているプレロード外字をクリアします。
6	Reserved	常にOFFに設定してください。
7	プレロード外字印刷	本製品に登録されているプレロード外字を印刷します。
8	Reserved	常にOFFに設定してください。

ディップスイッチの操作

- ・ディップスイッチを操作する際は、必ずプリンタとLANアダプタの電源をOFFにしてください。

設定情報を初期値に戻す

1. LANアダプタの電源を切り、ディップスイッチの2番をONにしてください。
2. LANアダプタの電源をONにしてください。設定値の初期化はプリンタ起動後、約40秒で完了します。
3. LANアダプタの電源を切り、ディップスイッチ2番をOFFに戻してください。

自己診断印刷や設定情報の印刷を行う

1. LANアダプタの電源を切り、ディップスイッチの3番をONにしてください。
2. LANアダプタの電源をONにしてレディ状態(オンライン/準備完状態)になると、自己診断印刷および設定情報印刷を開始します。
自己診断印刷や設定情報印刷ではA4サイズ以上の用紙を使用してください。
3. LANアダプタの電源を切り、ディップスイッチの3番をOFFに戻してください。



保守交換後の設定時に設定情報が必要となりますので必ず設定情報印刷し保管ください。

自己診断印刷結果(例)

HITACHI PC-PB20211 Version X.X.X
Copyright(c) HITACHI, Ltd. 2006-2013. All rights reserved.

*** Diagnostic report ***

ROM Check : OK stat: E810 FFFF 0000 0000
RAM Check : OK stat: 0000 0000 0000 0000
NIC Check : OK addr: XX:XX:XX:XX:XX:XX 10BASE-T(TPI) [10Half]
EEPROM Check : OK stat: 7C85 7C85 0000 0000

DIPSW1 : OFF (ON:Test use only)
DIPSW2 : OFF (ON:Initialize configuration)
DIPSW3 : ON (ON:Diagnostic/Configuration print)
DIPSW4 : OFF
DIPSW5 : OFF (ON:Initialize Preload)
DIPSW6 : OFF
DIPSW7 : OFF (ON:Preload gaiji print)
DIPSW8 : OFF



- ・自己診断印刷結果のRAM Check、ROM Check、NIC Check、EEPROM CheckにNGがある場合は、担当営業または保守会社までご連絡ください。
- ・NIC Check 項目のXX:XX:XX:XX:XX:XXは本製品のEthernet アドレス (MAC アドレス) です。

設定情報印刷結果(例)

- ・ 設定情報印刷結果(例)で設定値に"*"を表示しているものは、設定変更をしても値は表示しません。
- ・ 本項目の工場出荷時設定については、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。
- ・ 本製品の設定を変更した場合は、変更した設定値を管理するようにしてください。
- ・ 設定情報印刷により、本製品の設定が確認できます。

HITACHI PC-PB20211 Version 1.X.X

Copyright(c) HITACHI, Ltd. 2006-2013 All rights reserved.

*** Configuration report ***

<< Setup General >>

Change root Password	"*****"
LAN Interface	:AUTO
Printer Name	:"HITACHI Printer"
PDL	:AUTO

<< Setup General - TCP/IP >>

DHCP/BOOTP	:DISABLE
RARP	:DISABLE
IP Address	:0.0.0.0
Subnet Mask	:0.0.0.0
Gateway Address	:0.0.0.0
Use FTP/LPD Banner	:NO
IPv6 Function	:DISABLE
NetworkPnP Enable	:ENABLE
TCP#9100 Bi-Directional mode	:DISABLE
Keep Alive	:10min
Windows spooler retransmit	:Print

<< Setup General - TCP/IP - DNS >>

Primary Server	:0.0.0.0
Secondary Server	:0.0.0.0

<< Setup General - TCP/IP - WINS >>

Primary Server	:0.0.0.0
Secondary Server	:0.0.0.0
Scope ID	:""

<< Setup General - TCP/IP - IP Filter Config >>

Filter Mode	:DENY
Filter #0 Start Address	:0.0.0.0
Filter #0 End Address	:0.0.0.0
Filter #1 Start Address	:0.0.0.0
Filter #1 End Address	:0.0.0.0
Filter #2 Start Address	:0.0.0.0
Filter #2 End Address	:0.0.0.0
Filter #3 Start Address	:0.0.0.0
Filter #3 End Address	:0.0.0.0

```
<< Setup General - TCP/IP - Setup Secure Print >>
  LPR                               : ENABLE
  RAW                               : ENABLE
  IPP                               : ENABLE
  HTTP                              : ENABLE
  HTTPS                             : ENABLE
  TELNET                            : ENABLE
  FTP                               : ENABLE
  SNMP                              : ENABLE
  Setup Protocol                    : ENABLE
<< Setup C/S560 >>
  Mainframe Select                  : Mainframe1
<< Setup C/S560 - Mainframe1 >>
  Gateway Address                   : 0.0.0.0
  Mainframe1 description            : ""
  C/S560 G/W Address                : 0.0.0.0
  C/S560 Port No                    : 40004
  Mainframe Name                    : "MAINFRAME1"
  Application Name                  : "APPLICATION1"
  AP Selector Name                  : "AP000"
  C/S560 Job Timeout                : 10sec
  C/S560 Error Retry                : 0sec
  Error Response                    : NAK27
<< Setup C/S560 - Mainframe2 >>
  Gateway Address                   : 0.0.0.0
  Mainframe2 description            : ""
  C/S560 G/W Address                : 0.0.0.0
  C/S560 Port No                    : 40004
  Mainframe Name                    : "MAINFRAME1"
  Application Name                  : "APPLICATION1"
  AP Selector Name                  : "AP000"
  C/S560 Job Timeout                : 10sec
  C/S560 Error Retry                : 0sec
  Error Response                    : NAK27
<< Setup C/S560 - Mainframe3 >>
  Gateway Address                   : 0.0.0.0
  Mainframe3 description            : ""
  C/S560 G/W Address                : 0.0.0.0
  C/S560 Port No                    : 40004
  Mainframe Name                    : "MAINFRAME1"
  Application Name                  : "APPLICATION1"
  AP Selector Name                  : "AP000"
  C/S560 Job Timeout                : 10sec
  C/S560 Error Retry                : 0sec
  Error Response                    : NAK27
```

```

<< Setup C/S560 - Mainframe4 >>
  Gateway Address                :0.0.0.0
  Mainframe4 description         :""
  C/S560 G/W Address             :0.0.0.0
  C/S560 Port No                 :40004
  Mainframe Name                 :"MAINFRAME1"
  Application Name               :"APPLICATION1"
  AP Selector Name               :"APO00"
  C/S560 Job Timeout             :10sec
  C/S560 Error Retry             :0sec
  Error Response                 :NAK27
<< Setup C/S560 - Setup Page Printer >>
  Error Timeout                  :5min
  Character Size                 :7p
  ZENKAKU MOJI Type             :KEIS' 90
  Windows undefined code Font type :KEIS
  HANKAKU MOJI Type             :EBCDIK'
  EM after FF                   :ENABLE
  Character Base Line            :0
  OT Top Margun                 :ENABLE
  Emulation Run Uint            :PAGE
  Upper blank                   :0.0
  Left blank                    :0.0
  Save blank paper              :ENABLE
  Paper size conversion(A3->A4)  :DISABLE
  Paper size conversion(B4->A4)  :DISABLE
  A4,B5 paper direction         :long
<< Setup C/S560 - Setup Dot Impact Printer >>
  Printer Crass                 :Serial
  Error Recovery Time           :DISABLE
  ZENKAKU MOJI Type             :KEIS' 90
  Windows undefined code Font type :KEIS
  HANKAKU MOJI Type             :EBCDIK'
  HANKAKU Font Type             :MINCHOU
  ED Effect                     :ENABLE
  VT Effect                     :Space
  EM after FF                   :ENABLE
  AUTO Direction                :Uni
  Association after Reset       :ENABLE
  Paper Eject                   :Front
<< Setup C/S560 User - Setup Page Printer >>
  Paper Size                    :A4P
  Output Face up                :DISABLE
  Tray Select(A5)               :None
  Tray Select(A4)               :None

```

Tray Select (A3)	:None
Tray Select (B5)	:None
Tray Select (B4)	:None
<< Setup C/S560 User – Setup Dot Impact Printer >>	
Select Dot Page Size	:“Dot Page Size 1”
<< Setup C/S560 User – Setup Dot Impact Printer – Setup Dot Page Size 1 >>	
Change Name	:“Dot Page Size 1”
C/S560 Line Pitch	:6LPI
C/S560 Page Length	:0
Moji / Line	:132
Moji Pitch	:4
Cut Sheet top Margin	:0/12
<< Setup C/S560 User – Setup Dot Impact Printer – Setup Dot Page Size 2 >>	
Change Name	:“Dot Page Size 2”
C/S560 Line Pitch	:6LPI
C/S560 Page Length	:0
Moji / Line	:132
Moji Pitch	:4
Cut Sheet top Margin	:0/12
<< Setup C/S560 User – Setup Dot Impact Printer – Setup Dot Page Size 3 >>	
Change Name	:“Dot Page Size 16”
C/S560 Line Pitch	:6LPI
C/S560 Page Length	:0
Moji / Line	:132
Moji Pitch	:4
Cut Sheet top Margin	:0/12
<< Setup C/S560 User – Setup Dot Impact Printer – Setup Dot Page Size 4 >>	
Change Name	:“Dot Page Size 4”
C/S560 Line Pitch	:6LPI
C/S560 Page Length	:0
Moji / Line	:132
Moji Pitch	:4
Cut Sheet top Margin	:0/12
<< Setup C/S560 User – Setup Dot Impact Printer – Setup Dot Page Size 5 >>	
Change Name	:“Dot Page Size 5”
C/S560 Line Pitch	:6LPI
C/S560 Page Length	:0
Moji / Line	:132
Moji Pitch	:4
Cut Sheet top Margin	:0/12
<< Setup C/S560 User – Setup Dot Impact Printer – Setup Dot Page Size 6 >>	
Change Name	:“Dot Page Size 6”
C/S560 Line Pitch	:6LPI
C/S560 Page Length	:0
Moji / Line	:132

Moji Pitch :4
Cut Sheet top Margin :0/12
<< Setup C/S560 User - Setup Dot Impact Printer - Setup Dot Page Size 7 >>
Change Name :“Dot Page Size 7”
C/S560 Line Pitch :6LPI
C/S560 Page Length :0
Moji / Line :132
Moji Pitch :4
Cut Sheet top Margin :0/12
<< Setup C/S560 User - Setup Dot Impact Printer - Setup Dot Page Size 8 >>
Change Name :“Dot Page Size 8”
C/S560 Line Pitch :6LPI
C/S560 Page Length :0
Moji / Line :132
Moji Pitch :4
Cut Sheet top Margin :0/12
<< Setup C/S560 User - Setup Dot Impact Printer - Setup Dot Page Size 9 >>
Change Name :“Dot Page Size 9”
C/S560 Line Pitch :6LP
C/S560 Page Length :0
Moji / Line :132
Moji Pitch :4
Cut Sheet top Margin :0/12
<< Setup C/S560 User - Setup Dot Impact Printer - Setup Dot Page Size 10 >>
Change Name :“Dot Page Size 10”
C/S560 Line Pitch :6LPI
C/S560 Page Length :0
Moji / Line :132
Moji Pitch :4
Cut Sheet top Margin :0/12
<< Setup C/S560 User - Setup Dot Impact Printer - Setup Dot Page Size 11 >>
Change Name :“Dot Page Size 11”
C/S560 Line Pitch :6LPI
C/S560 Page Length :0
Moji / Line :132
Moji Pitch :4
Cut Sheet top Margin :0/12
<< Setup C/S560 User - Setup Dot Impact Printer - Setup Dot Page Size 12 >>
Change Name :“Dot Page Size 12”
C/S560 Line Pitch :6LPI
C/S560 Page Length :0
Moji / Line :132
Moji Pitch :4
Cut Sheet top Margin :0/12
<< Setup C/S560 User - Setup Dot Impact Printer - Setup Dot Page Size 13 >>

```
Change Name : "Dot Page Size 13"
C/S560 Line Pitch : 6LPI
C/S560 Page Length : 0
Moji / Line : 132
Moji Pitch : 4
Cut Sheet top Margin : 0/12
<< Setup C/S560 User - Setup Dot Impact Printer - Setup Dot Page Size 14 >>
Change Name : "Dot Page Size 14"
C/S560 Line Pitch : 6LPI
C/S560 Page Length : 0
Moji / Line : 132
Moji Pitch : 4
Cut Sheet top Margin : 0/12
<< Setup C/S560 User - Setup Dot Impact Printer - Setup Dot Page Size 15 >>
Change Name : "Dot Page Size 15"
C/S560 Line Pitch : 6LPI
C/S560 Page Length : 0
Moji / Line : 132
Moji Pitch : 4
Cut Sheet top Margin : 0/12
<< Setup C/S560 User - Setup Dot Impact Printer - Setup Dot Page Size 16 >>
Change Name : "Dot Page Size 16"
C/S560 Line Pitch : 6LPI
C/S560 Page Length : 0
Moji / Line : 132
Moji Pitch : 4
Cut Sheet top Margin : 0/12
<< Setup PrintManager >>
Authentic Community : *****
Print Trap Community : "public"
Print Trap Address : 0.0.0.0
<< Setup Secure Print >>
Secure Print : ENABLE
SSL Mode : level1
<< Setup POP >>
POP Protocol : DISABLE
Check Interval (min.) : 15
<< Setup POP - User Profile 1 >>
User Profile 1 : DISABLE
POP Server Name : ""
POP Port Number : 110
POP User Name : ""
POP Password : *****
Use APOP : NO
Delete Mail after Retrieve : NO
```

```
Maximum Retrieve(KBbyte) :0
Filter Setting :""
Return a read receipt :NO
<< Setup POP - User Profile 2 >>
User Profile 2 :DISABLE
POP Server Name :""
POP Port Number :110
POP User Name :""
POP Password :*****
Use APOP :NO
Delete Mail after Retrieve :NO
Maximum Retrieve(KBbyte) :0
Filter Setting :""
Return a read receipt :NO
<< Setup POP - User Profile 3 >>
User Profile 3 :DISABLE
POP Server Name :""
POP Port Number :110
POP User Name :""
POP Password :*****
Use APOP :NO
Delete Mail after Retrieve :NO
Maximum Retrieve(KBbyte) :0
Filter Setting :""
Return a read receipt :NO
<< Setup POP - User Profile 4 >>
User Profile 4 :DISABLE
POP Server Name :""
POP Port Number :110
POP User Name :""
POP Password :*****
Use APOP :NO
Delete Mail after Retrieve :NO
Maximum Retrieve(KBbyte) :0
Filter Setting :""
Return a read receipt :NO
<< Setup SMTP >>
SMTP Protocol :DISABLE
SMTP Server Name :""
From Address :""
<< Setup SMTP - Event to Address 1 >>
To Address 1 :""
Check Interval(min.) :10
Offline :OFF
Paper Empty :OFF
```

```

Fault :OFF
<< Setup SMTP - Event to Address 2 >>
  To Address 2 :""
  Check Interval(min.) :10
  Offline :OFF
  Paper Empty :OFF
  Fault :OFF
<< Setup SMTP - Advanced >>
  SMTP Port Number :25
  Signature Line 1 :""
  Signature Line 2 : "HITACHI PC-PB20211"
  Signature Line 3 : " [XX:XX:XX:XX:XX:XX] "
  Signature Line 4 : ""
<< Setup SMTP - SMTP Authentication >>
  SMTP AUTH Enable :DISABLE
  SMTP AUTH Name :""
  SMTP AUTH Password :*****
<< Setup Another - NetBEUI >>
  NetBEUI Protocol :ENABLE
  NetBIOS over TCP :ENABLE
  Computer Name : "HIXXXXXX"
  Workgroup : "HI-LAN-ADP"
  Comment : "HITACHI PC-PB20211"
  Browse Master :ENABLE
<< Setup Another - SNMP >>
  Authentic Community :*****
  Trap Community : "public"
  Trap Address :0.0.0.0
  SysContact :""
  SysName :""
  SysLocation :""
  Enable Authen Trap :2
<< Setup Another - Print Port >>
  BOJ String :""
  EOJ String :""
  BOJ String(sjis/euc) :""
  EOJ String(sjis/euc) : "¥f"
  Printer Emulation :ESC/P
  TAB Size(char.) :8
  Page Width(char.) :0
  Page Length(line) :0
  Print port mode :NONE
<< Setup Another - HEX Dump Mode >>
  HEX Dump to Print :DISABLE
  HEX DUMP Mode to Memory :DISABLE

```

取り付け方法

本製品をラインプリンタに取り付ける

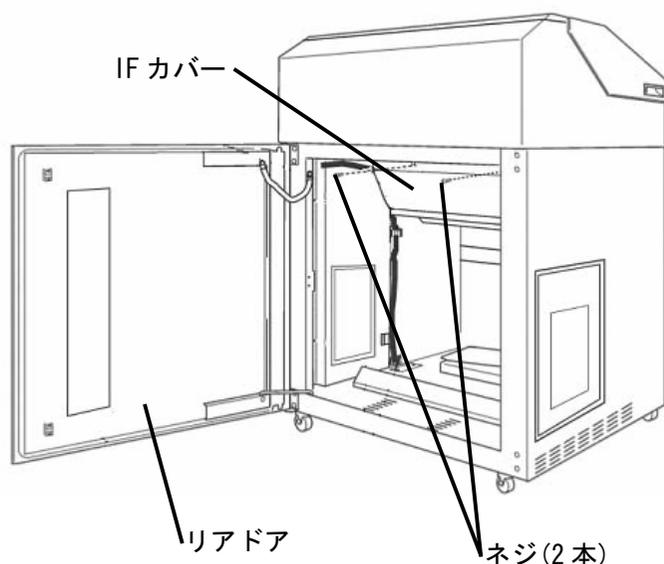
**注意**

- ・本製品をラインプリンタに取り付ける場合、本製品の電源をラインプリンタに連動させるため、添付の DC ケーブルを使用します。
- ・下記は PC-PN5450 の取り付け例です。本製品をラインプリンタに取付ける場合は、必ずご利用になるラインプリンタの「取扱説明書」から、「オプションの取り付け」、「LAN アダプタ (PC-PB20111) の取付け方法」をご確認ください。
- ・本製品を取り付ける際は、必ずプリンタの電源コードを外した状態で行ってください。
- ・本製品を一度でも他のネットワークで利用された場合は、必ず「設定情報を初期値に戻す」作業を行ってください。

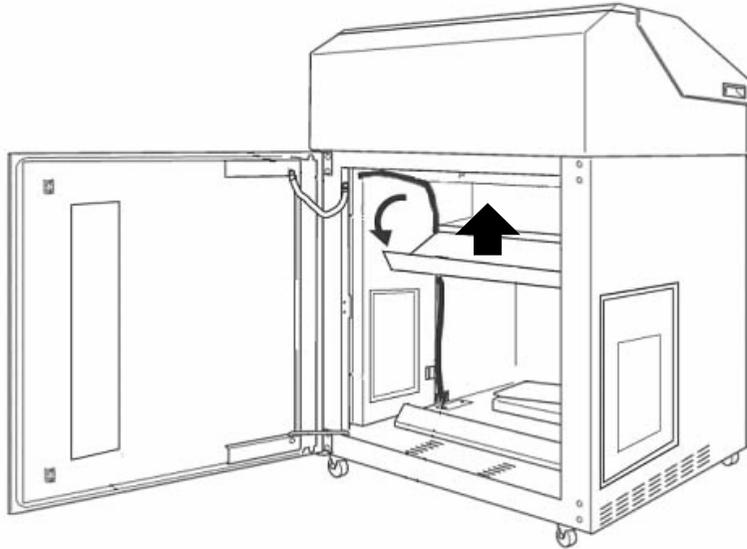
1. プリンタ本体の電源を OFF にし、電源コードをコンセントから外してください。
2. プリンタのリアドアを開き、中の用紙を取り出してください。
3. IF カバーのネジ 2 本 (プリンタ内側の上部) を外してください。

**注意**

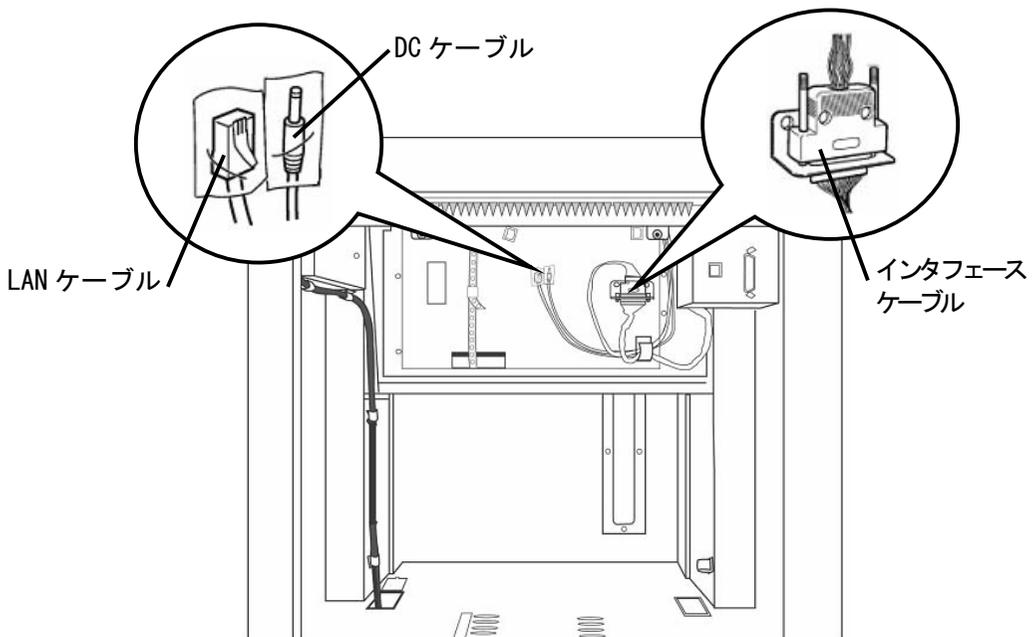
必ず IF カバーを押さえながら作業をしてください。IF カバーは、プリンタ本体に固定されていないため、勢いよく開けるとカバーが外れ、けがをする場合があります。



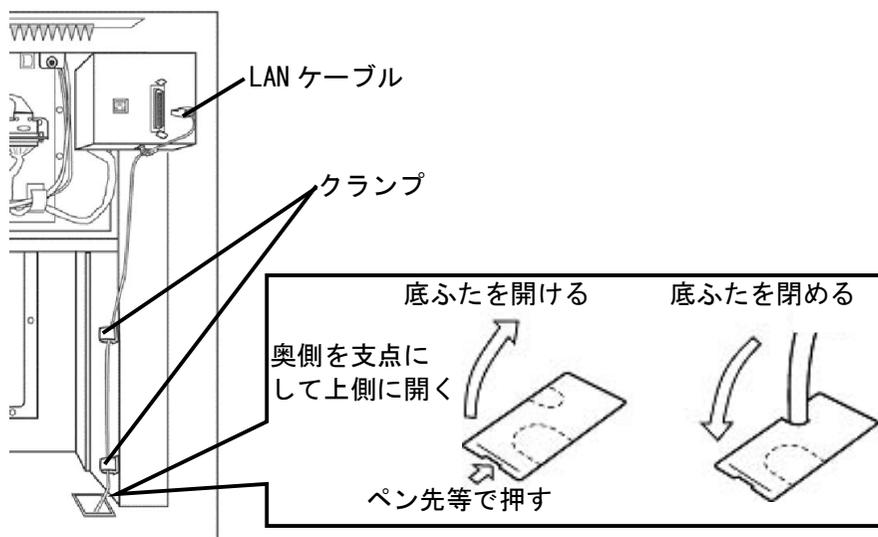
4. IF カバーをゆっくりと開き、上方向に持ち上げて外します。



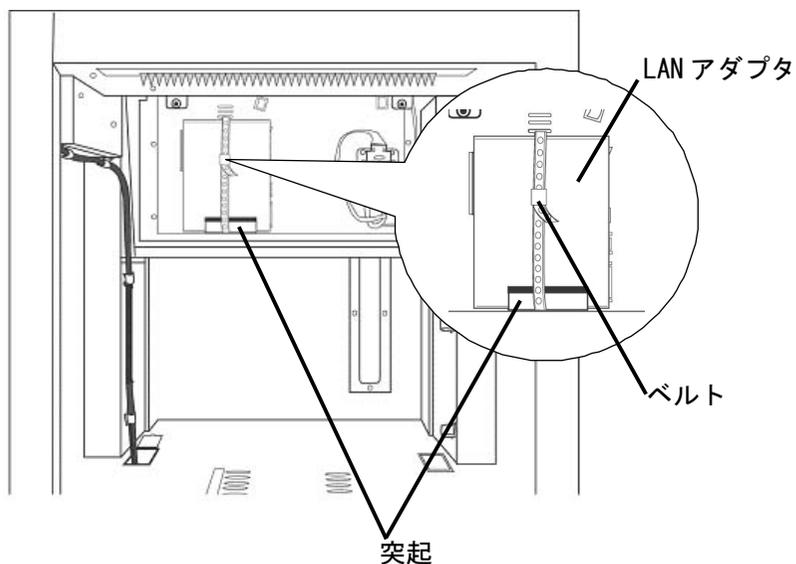
5. LAN ケーブル、DC ケーブル、プリンタに固定されているインタフェースケーブルの位置を確認します。



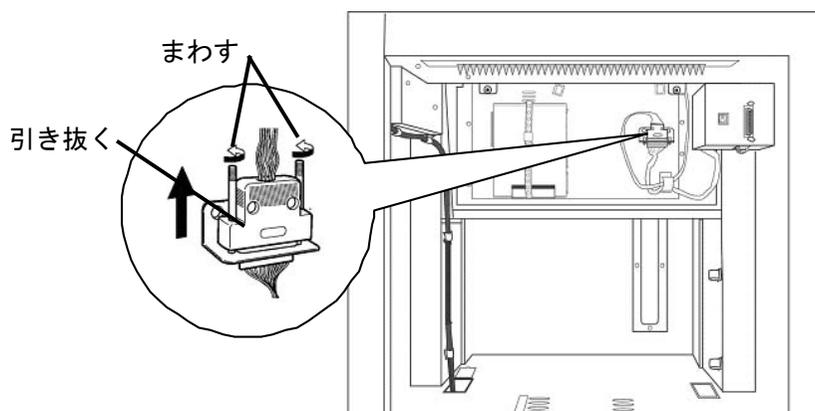
6. ペーパースタッカ部右奥の底フタを外し、LAN ケーブルを引き込みます。LAN ケーブルが用紙走行経路にかからないように、しっかりとクランプで固定してください。



7. 本製品を下図のように突起の上に置き、ベルトで固定してください。

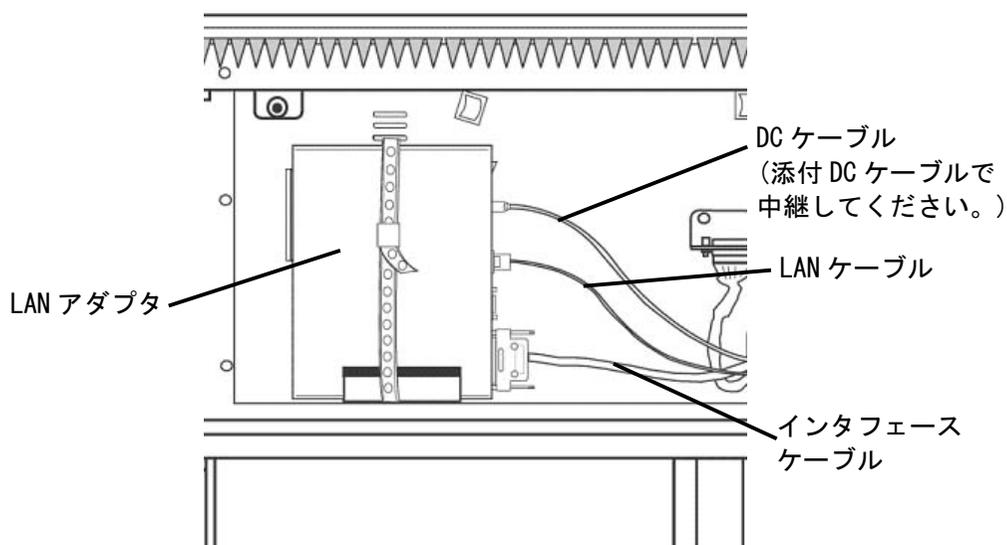


8. プリンタに固定されているインタフェースケーブルを外します。



9. 本製品に、LAN ケーブル、インタフェースケーブルを接続してください。

10. プリンタの DC ケーブルを、本製品に添付されている DC ケーブルで中継して接続し、LAN アダプタ本体の電源を ON にしてください。



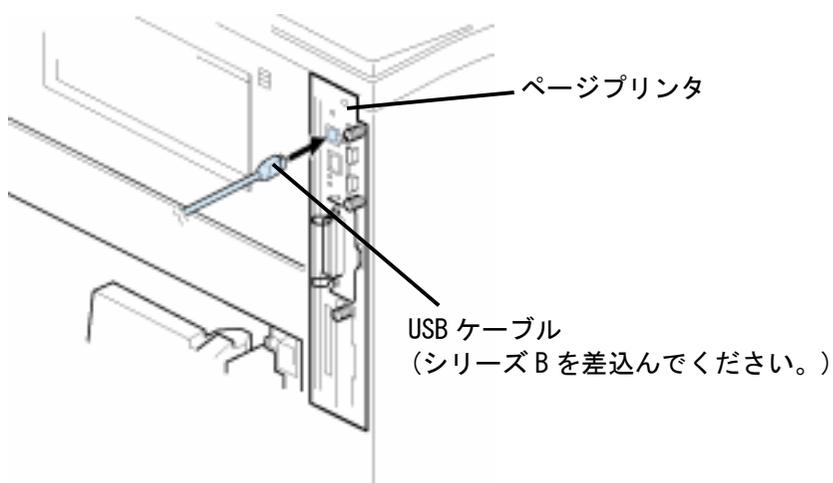
本製品をページプリンタに取り付ける



注意

- ・本製品とページプリンタとの接続は、USB インタフェースを使用してください。パラレルインタフェースを使用した場合、ページプリンタの性能を満足できない場合があります。
- ・本製品をページプリンタに接続する場合は、必ずご利用になるページプリンタの「取扱説明書」をご確認ください。
- ・本製品を接続する際は、必ずプリンタの電源を OFF にして、電源コードを外した状態で行ってください。
- ・本製品を一度でも他のネットワークで利用された場合は、必ず「設定情報を初期値に戻す」作業を行ってください。

1. ページプリンタ本体の電源を OFF にし、電源コードをコンセントから外してください。
2. ページプリンタの USB インタフェースコネクタに USB ケーブルを差込んでください。USB インタフェースコネクタの位置はページプリンタによって異なります。必ずご利用になるページプリンタの「取扱説明書」をご確認ください。



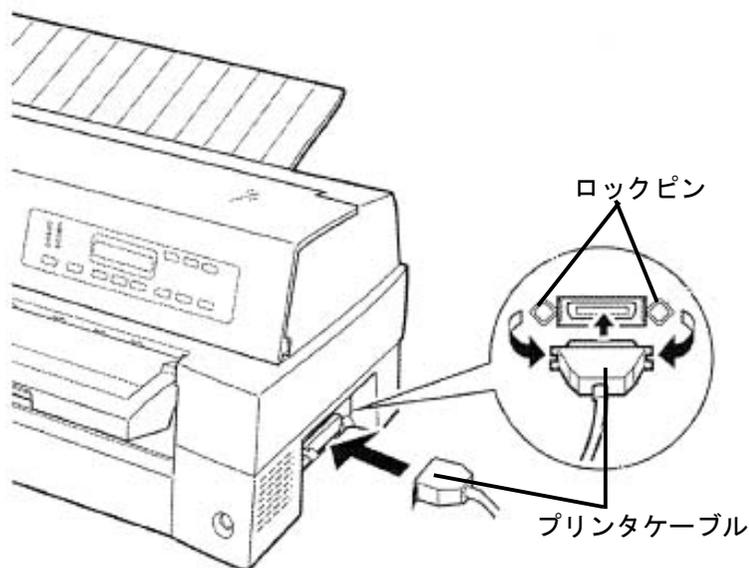
3. 本製品の背面にある USB インタフェースコネクタに、USB ケーブル(シリーズ A)を差込んでください。

本製品をシリアルプリンタに取り付ける



- ・本製品とシリアルプリンタとの接続は、パラレルインタフェースを使用してください。シリアルプリンタとの接続の場合、USB インタフェース接続はサポートしていません。
- ・本製品をシリアルプリンタに接続する場合は、必ずご利用になるシリアルプリンタの「取扱説明書」をご確認ください。
- ・本製品を接続する際は、必ずプリンタの電源を OFF にして、電源コードを外した状態で行ってください。
- ・本製品を一度でも他のネットワークで利用された場合は、必ず「設定情報を初期値に戻す」作業を行ってください。

1. シリアルプリンタ本体の電源を OFF にし、電源コードをコンセントから外してください。
2. シリアルプリンタのパラレルインタフェースコネクタにプリンタケーブルの一方のプラグを接続してください。パラレルインタフェースコネクタの位置はシリアルプリンタによって異なりますので、必ずご利用になるシリアルプリンタの「取扱説明書」をご確認ください。



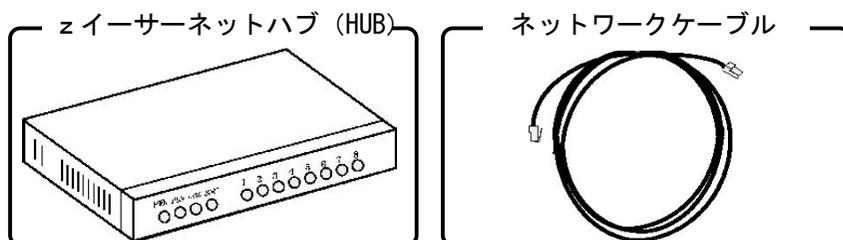
3. 本製品の背面にあるパラレルインタフェースコネクタにプリンタケーブルのもう一方のプラグを差込んでください。

ネットワークに接続する

本製品をネットワークに接続するために、以下のものをご準備ください。



- ・100BASE-TX 環境でお使いの場合は、100BASE-TX 対応のイーサネットハブ (HUB) ネットワークケーブル(カテゴリ5 以上)をご用意ください。



<ネットワークへの接続方法>

1. LAN アダプタの電源が OFF になっていることを確認します。
2. 本製品のネットワークポート (10BASE-T/100BASE-TX) に LAN ケーブルを接続します。
3. イーサネットハブ (HUB) に、LAN ケーブルのもう一方を接続します。
4. プリンタの電源を ON にし、本製品の LINK LED が点灯することを確認します。
5. 本章「ディップスイッチの操作」を参照し、自己診断印刷結果と設定情報印刷を実施し、印刷結果に問題の無いことを確認してください。
6. 本製品の設定が完了したら、再度、本章「ディップスイッチの操作」を参照し、自己診断印刷結果と設定情報印刷を実施し、印刷結果を保管してください。本製品の設定方法については、「第2章 セットアップ」以降を参照してください。

第2章 セットアップ	2-1
セットアップについて	2-2
セットアップユーティリティについて	2-3
設定ツールと総合クライアントソフトウェアについて	2-4

第2章 セットアップ

本章では、本製品のセットアップ方法や、製品添付 CD-ROM に収録されているセットアップユーティリティについて説明します。本製品のセットアップ方法は以下の通りです。

セットアップについて

1. 本製品をプリンタとネットワークに接続します。

①ラインプリンタへ内蔵する。

「第1章 本製品について」を参照して取り付けてください。本製品の取り付け作業完了後、ラインプリンタの板金を取り付ける前に、下記事項を確認してください。

- ①本製品の電源スイッチが「ON」になっているか確認してください。
- ②ラインプリンタ内に固定されているインタフェースケーブルが本製品に接続されているか、確認してください。
- ③ラインプリンタの DC ケーブルが本製品添付の DC ケーブルで中継して接続されているか、確認してください。
- ④ラインプリンタの LAN ケーブルが本製品に添付されているか確認してください。

②ページプリンタへ接続する。

「第1章 本製品について」を参照し、取付けに問題がないか確認してください。

- ・本製品とページプリンタの接続が USB ケーブルで接続されていることを確認してください。プリンタケーブルで接続した場合は印字性能や印刷動作を満足できないことがあります。

③シリアルプリンタへ接続する。

「第1章 本製品について」を参照し、取付けに問題がないか確認してください。

- ・本製品とシリアルプリンタの接続がプリンタケーブルで接続されていることを確認してください。USB ケーブルで接続した場合は印刷動作を満足できないことがあります。

2. 初期導入を行います。

(1) 本製品とプリンタの電源を「ON」にしてください。

(ラインプリンタの場合は、ラインプリンタの電源を「ON」にしてください。)

(2) 本製品の初期導入を行ってください。

- ① Windows OS を使用している場合は、本製品添付 CD-ROM に収録されている「セットアップユーティリティ」を使用してください。
- ② UNIX/Linux は、「第5章 UNIX/Linux 環境で使用する」を参照してください。
- ③ C/S560 印刷の設定をしてください。
C/S560 印刷を行う場合は、「第6章 C/S560 システム環境で使用する」および「第7章 設定に関する機能」を参照してください。

セットアップユーティリティについて

本章では、セットアップユーティリティについて説明します。セットアップユーティリティには、本製品の設定ツール及び総合クライアントソフトウェア、マニュアルが収録されています。Windows 環境でご利用いただくことができます。CD-ROM を Windows パソコンにセットすると、下記のメインメニューが自動的に起動します。



- ・ Windows 以外の OS では、セットアップユーティリティはご利用になれません。UNIX や Linux での設定方法は、「第 5 章 UNIX/Linux 環境で使用する」を参照してください。
- ・ セットアップユーティリティは、Internet Explorer4.0 (SP2) 以降のブラウザ環境でご使用ください。
- ・ メニューが自動的に起動しない場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある 'Autorun.exe' を直接実行してください。

○お読みください

本 CD-ROM についての注意事項や、本製品のお問い合わせ先等が記載されています。ご利用の前に必ずお読みください。

○マニュアル

Adobe Acrobat Reader を利用した PDF 形式のマニュアル(取扱説明書)です。

○Quick Setup/Advanced Setup/アプリケーションのインストール

本製品の設定ツール(Quick Setup, Advanced Setup) およびアプリケーションソフトウェア(HI-Print II) のインストールを行います。

設定ツールと総合クライアントソフトウェアについて

本製品添付の CD-ROM には、本製品の設定を行う為の設定ツール及び、専用プリンタポートやプリンタ監視を行う為の総合クライアントソフトウェアが収録されています。

メニュー画面の「Quick Setup」「Advanced Setup」が設定ツール、「HI-Print II」が総合クライアントソフトウェアです。これらのアイコンを選択すると、アプリケーション画面が表示されます。

設定ツール及びアプリケーションソフトウェア

○Quick Setup (初期導入時推奨)

本製品の初期導入がウィザード形式で簡単に行えます。本製品へ IP アドレスを登録するなど、初期導入時に使用してください。また、初期導入に引き続いて印刷クライアントソフトウェア HI-Print II をインストールすることができます。

ただし、本ソフトウェアではゲートウェイアドレスの設定等、詳細な設定はできません。詳細な設定を行う場合は、本ソフトウェアで初期導入を行った後に、Advanced Setup や Telnet、Web ブラウザを使用して設定をしてください。

本ソフトウェアは Windows 専用です。

○Advanced Setup

総合ユーティリティ「Advanced Setup」を起動またはインストールします。「Advanced Setup」は本製品の詳細設定と、本製品およびプリンタの管理を行うことができます。

なお、本ソフトウェアでは、C/S560 印刷の設定及び拡張プリンタマネージャの設定はできません。これらの設定をする場合は、Telnet や Web ブラウザを使用して設定をしてください。なお、本製品の設定については「第 7 章 設定に関する機能」を参照してください。本ソフトウェアは Windows 専用です。

○アプリケーションのインストール(総合クライアントソフトウェア HI-Print II)

本製品に対して Windows から直接印刷をするための総合クライアントソフトウェアです。本ソフトウェアは LPR、RAW、IPP モードが選択できます。本製品で通常印刷を行う場合は、HI-Print II の LPR または RAW ポートをご使用いただくことを推奨します。また、セキュア (SSL) 通信印刷機能を利用した印刷を行う場合は、HI-Print II の IPP ポートを使用してください。

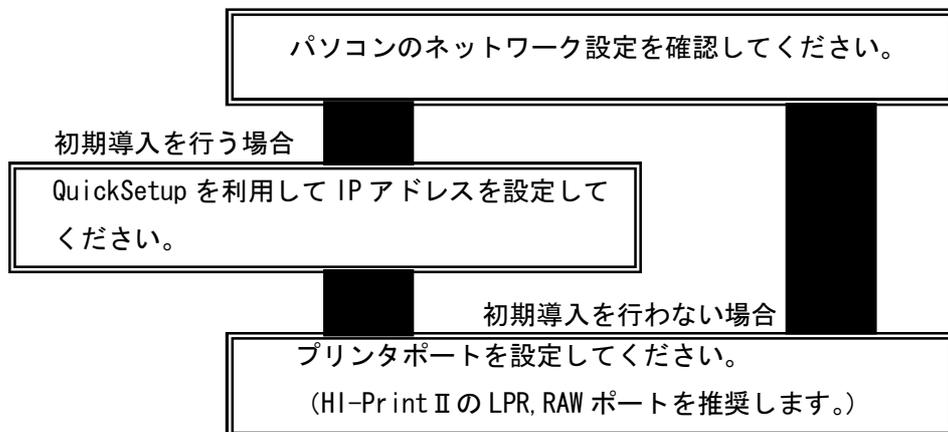
第 3 章 Windows 98/Me 環境で使用する	3-2
Windows 98/Me 環境から TCP/IP で印刷をする	3-2
パソコンのネットワーク設定を確認する	3-3
Quick Setup による簡単設定	3-4
HI-Print II をインストールする	3-8
印刷ポートを追加する	3-11
HI-Print II LPR ポートを追加する	3-12
HI-Print II IPP ポートを追加する	3-14
HI-Print II RAW (TCP/IP 9100) ポートを追加する	3-17
プリンタドライバの設定	3-19
Windows 98/Me 環境から NetBUIE で印刷をする	3-21
パソコンのネットワーク設定を確認する	3-21
NetBUIE で印刷をする	3-22
NetBUIE ネットワーク構成	3-23

第3章 Windows 98/Me 環境で使用する

本章では、Windows 98/Me 環境で本製品を接続して、TCP/IP、NetBEUI で印刷を行う方法について説明します。

Windows 98/Me 環境から TCP/IP で印刷する

本製品を TCP/IP プロトコルを利用して印刷する際の手順は以下の通りです。



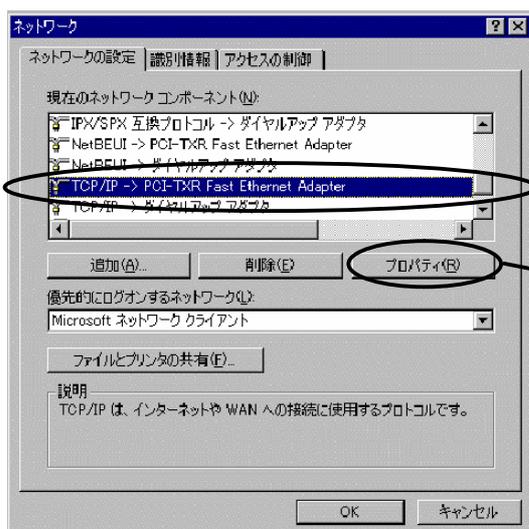
参考

- ・プリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・本製品をご使用の際には、HI-Print II で作成した LPR ポートまたは RAW ポートをご使用いただくことを推奨します。また、セキュア (SSL) 通信印刷機能を利用した印刷を行う場合は、HI-Print II で作成する IPP ポートをご使用ください。
- ・セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になる SSL 証明書情報を本製品に設定する必要があります。設定方法については、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。
- ・セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用すると、印刷データ等を暗号化します。そのため、第三者による印刷データの盗用や改ざんを防止することができます。

パソコンのネットワーク設定を確認する

Windows 98/Me の「ネットワークの設定」の一覧に「TCP/IP」が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択してください。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「ネットワークの設定」の「ネットワークコンポーネント一覧」に[TCP/IP]が追加されていることを確認してください。



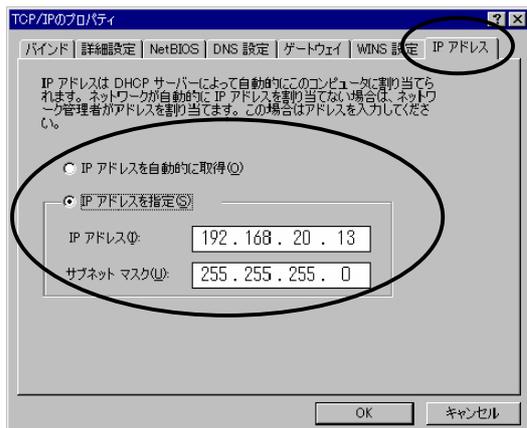
プロパティをクリックしてください。



参考

- ・ 「TCP/IP」がコンポーネント一覧にない場合は「追加」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの選択」 - 「プロトコル」 - 「Microsoft TCP/IP」の手順で「TCP/IP」を追加してください。

4. [IP アドレス]の設定で、ご使用の環境にあわせた設定が行われているか確認してください。



Quick Setupによる簡単設定

1. 本製品付属のCD-ROMをWindowsパソコンにセットすると、メインメニューが自動的に起動します。
メインメニューが立上らない場合は、CD-ROMのAutorun.exeをクリックしてください。
2. セットアップ方法の選択画面が開きます。



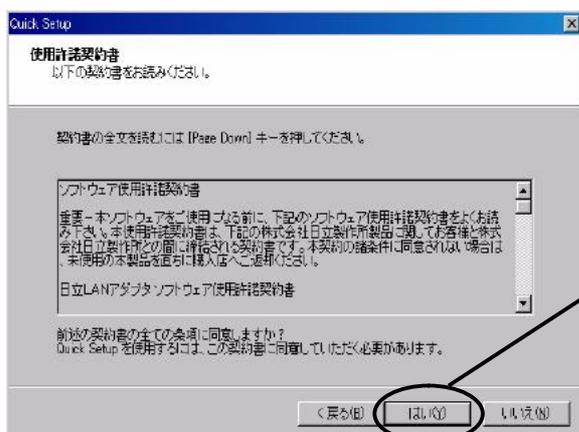
「Quick Setup」をクリックしてください。

3. Quick Setup が起動します。



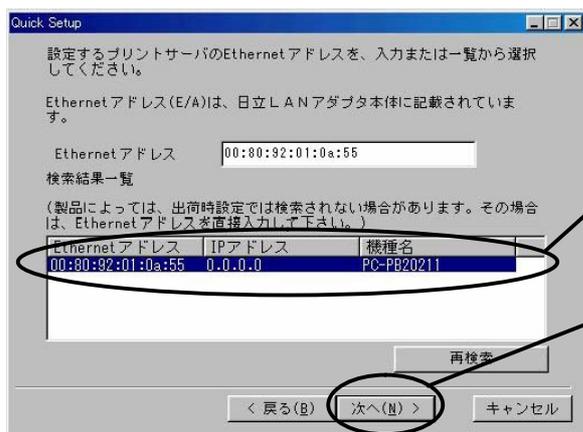
「次へ」をクリックしてください。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



「はい」をクリックしてください。

5. 本製品を選択します。



設定をする製品を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。



参考

- ・ 検索結果一覧に本製品が表示されていない場合は「再検索」をクリックしてください。Ethernet アドレスを直接入力することで本製品を選択することもできます。
- ・ 本製品のEthernet アドレスは、自己診断印刷結果または本製品底面にシール表示で記載されています。(例:00:06:fb:08:b0:dd)

6. 本製品にIP アドレスが設定されていない場合は、下記画面を表示します。任意のIP アドレスを入力してください。



IPアドレスを入力してください。

「次へ」をクリックしてください。



注意

- ・ 本製品の各設定を行う為に、本製品のIPアドレスを入力しなければなりません。
- ・ DHCPサーバから本製品のIPアドレスを自動取得する場合でも、その設定を行う為に、一時的なIPアドレスを本製品に入力する必要があります。
- ・ 本製品に、一時的にIPアドレスを入力する場合、他のネットワーク機器へ影響を及ぼすことが考えられます。本製品と「Quick Setup」が動作するコンピュータをクロスタイプのLANケーブルで直結して設定を行うなど、本製品を設定する環境と既存のネットワーク環境とを切り離して設定を行うことを推奨します。

7. IP アドレスを設定します。

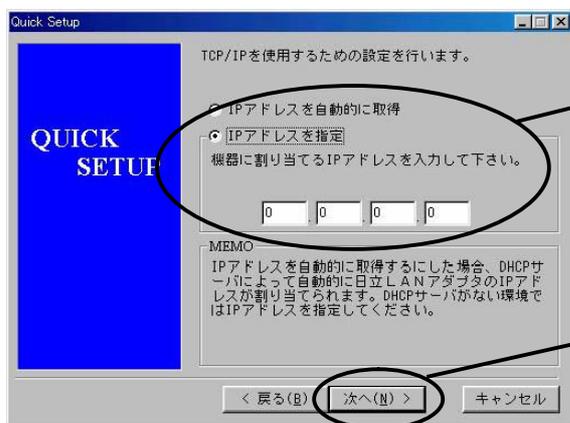
(A) DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得する。



「IP アドレスを自動的に取得」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

(B) 手で IP アドレスを設定する。



「IP アドレスを指定」を選択し、任意の IP アドレスを入力してください。

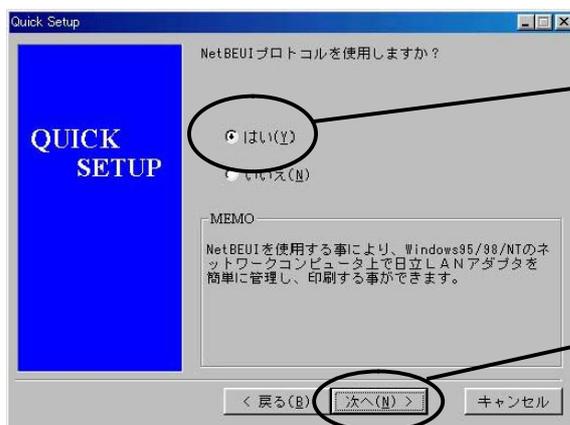
「次へ」をクリックしてください。



注意

- ・本製品の各設定を行う為に、本製品の IP アドレスを入力しなければなりません。
- ・DHCPサーバから本製品の IP アドレスを自動取得する場合でも、その設定を行う為に、一時的な IP アドレスを本製品に入力する必要があります。
- ・本製品に、一時的に IP アドレスを入力する場合、他のネットワーク機器へ影響を及ぼすことが考えられます。本製品と「Quick Setup」が動作するコンピュータをクロスタイプの LAN ケーブルで直結して設定を行うなど、本製品を設定する環境と既存のネットワーク環境とを切り離して設定を行うことを推奨します。

8. NetBEUI を設定します。



NetBEUI の使用を設定します。使用する場合は、「はい」を選択してください。

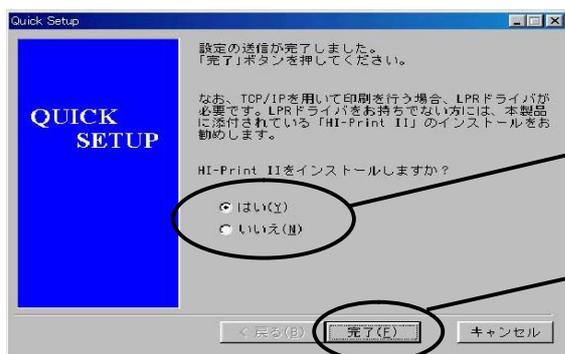
「次へ」をクリックしてください。

9. 設定項目を確認します。



「実行」をクリックしてください。

9. 設定完了です。



HI-Print IIをインストールする場合は、「はい」を選択してください。

「完了」をクリックしてください。



参考

- 引き続きHI-Print IIでプリントポートをインストールしてください。HI-Print IIは、Windowsから直接印刷を行うための印刷クライアントソフトウェアです。
- 更に詳細な設定を行う場合は、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。

HI-Print II をインストールする

Windows 98/Me環境から本製品を使用してTCP/IP プロトコルで直接印刷を行うには、本製品に付属しているHI-Print IIが必要です。HI-Print IIは、LPR、IPPおよびRawモード（TCP/IP 9100 ポート）がご利用いただける印刷クライアントソフトウェアです。インストールが完了すると、プリンタポート追加ウィザードが起動します。

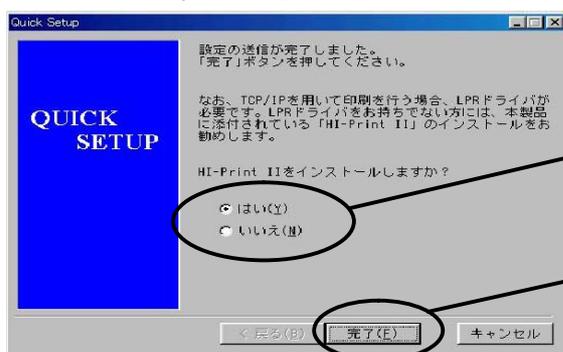


参考

- ・ LPR (Line Printer Remote)
ローカルエリアネットワーク (LAN回線) 上のプリンタに印刷することができます。一般に広く使用されているプロトコルです。本LPRポートをご使用いただくことを推奨します。
- ・ IPP (Internet Printing Protocol) 機能
ローカルエリアネットワーク (LAN回線) 上のプリンタに印刷する他に、インターネットを経由して遠隔地のネットワークプリンタに印刷することができます。
SSL通信印刷機能を使用する場合は、本プロトコルを使用します。
- ・ Raw モード (TCP/IP 9100) 機能
ローカルエリアネットワーク (LAN回線) 上のプリンタに印刷することができます。
印刷データのスプールを行わず、高速に印刷することができます。

1. インストール方法を確認します。

(A) Quick Setup から続いてインストールする。



「はい」を選択してください。

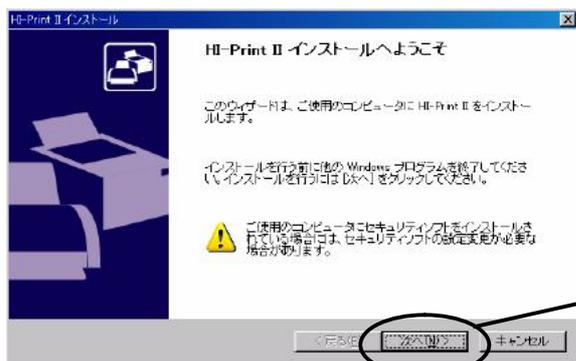
「完了」をクリックしてください。

(B) HI-Print のみインストールする場合



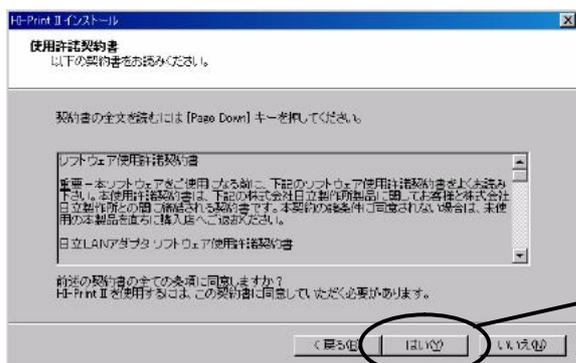
付属 CD-ROM をセットし、「アプリケーションのインストール」をクリックしてください。

2. HI-Print II インストールウィザードが起動します。



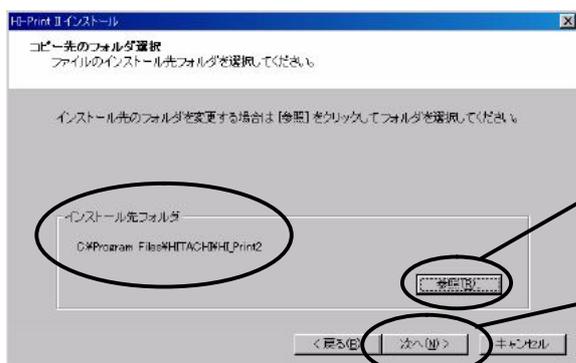
「次へ」をクリックしてください。

3. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



「はい」をクリックしてください。

4. インストール先のフォルダを指定します。



インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」をクリックしてください。

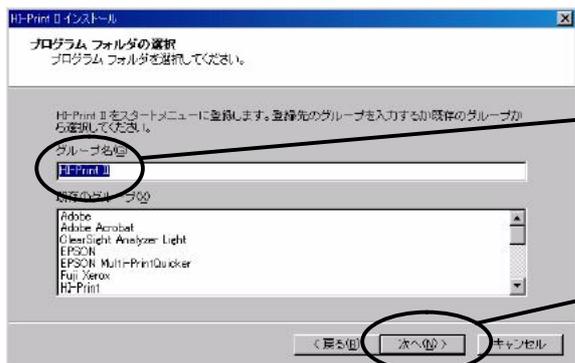
「次へ」をクリックしてください。



・「参照」をクリックするとインストール先フォルダを選択できます。

参考

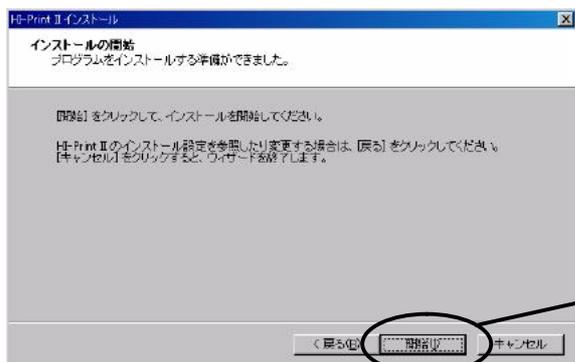
5. スタートメニューに表示されるグループ名を入力します。



グループ名を設定します。
デフォルトは「HI-Print II」です。

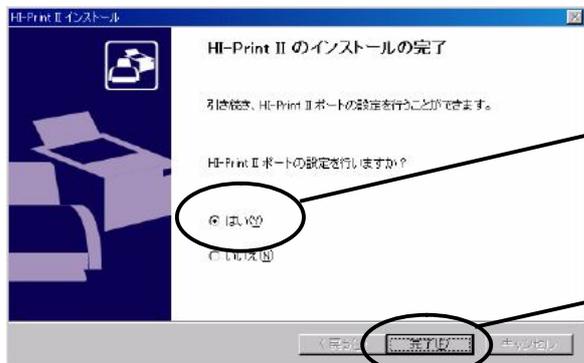
「次へ」をクリックしてください。

6. インストールを開始します。



インストールを実行する場合は、「開始」をクリックしてください。

7. インストール完了です。



続けて HI-Print II ポートを作成する場合は、「はい」を選択してください。

「完了」をクリックしてください。

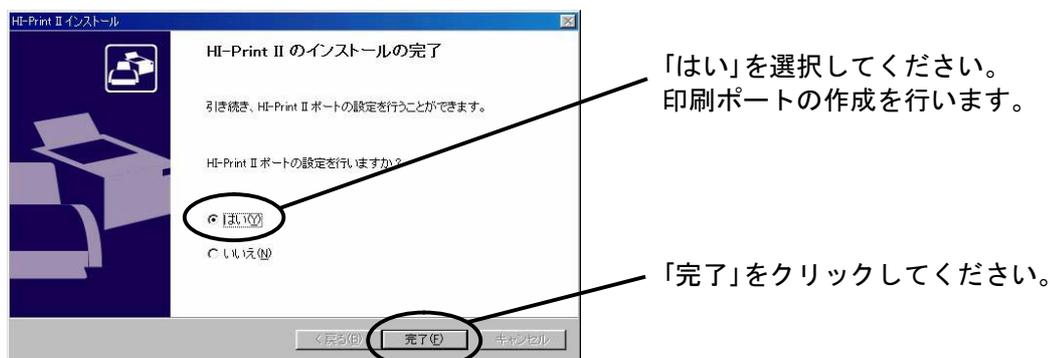
印刷ポートを追加する

本製品ではHI-Print IIから、「LPR」「IPP」「Raw」の3つのポートがご利用いただけます。

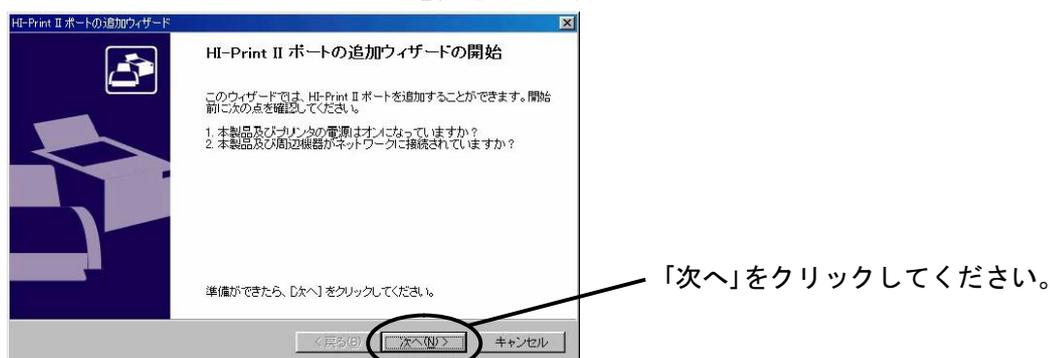
印刷に使用するプロトコルを選択し、「次へ」をクリックすると、各印刷方式のポート作成画面へ移ります。

(A) HI-Print II インストールから続いて追加する。

1. HI-Print II インストールから続いて追加します。



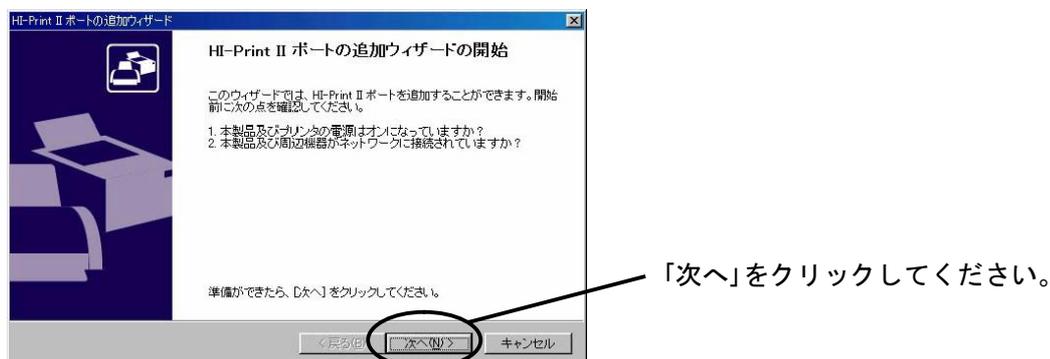
2. HI-Print II ポート追加ウィザードを開始します。



(B) 印刷ポートのみ追加する。

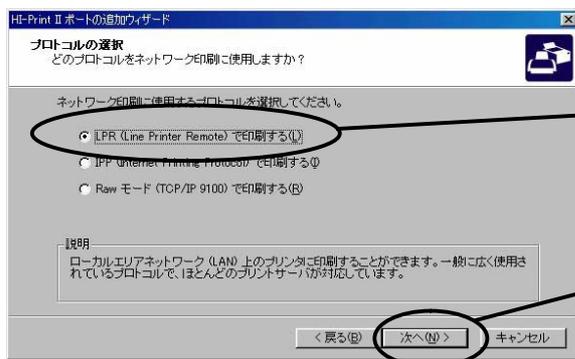
「スタート」-「プログラム」-「HI-Print II」にある「HI-Print II ポート追加」をクリックしてください。

HI-Print II ポート追加ウィザードが開始します。



HI-Print II LPR ポートを追加する場合

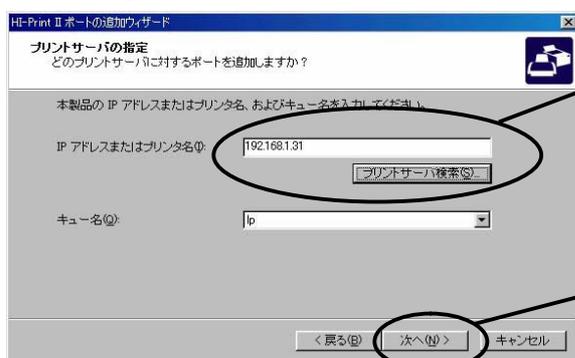
1. LPR (Line Printer Remote) を選択します。



「LPR (Line Printer Remote) で印刷する」を選択します。

「次へ」をクリックしてください。

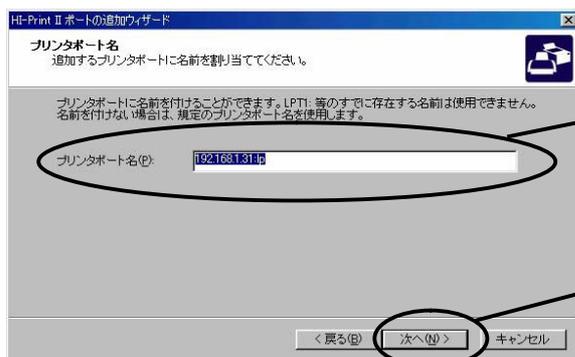
2. 「プリントサーバ検索」ボタンでネットワーク内のプリントサーバの一覧を表示し、設定する製品を選択してください。



「プリントサーバ検索」ボタンをクリックして、設定をする製品を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

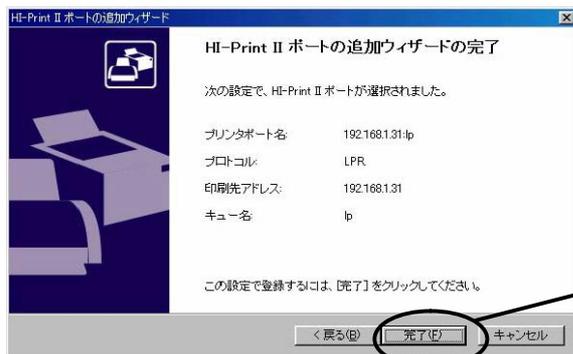
3. プリンタポート名を入力します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

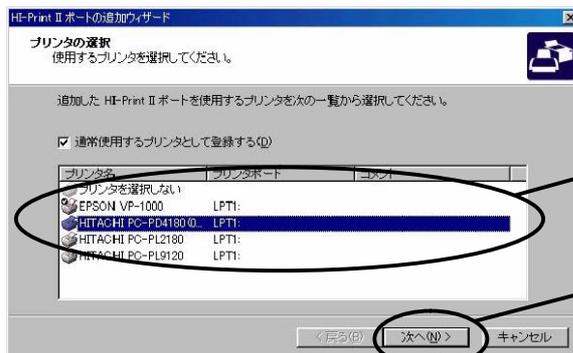
「次へ」をクリックしてください。

4. 設定内容を確認します。



「完了」をクリックしてください。

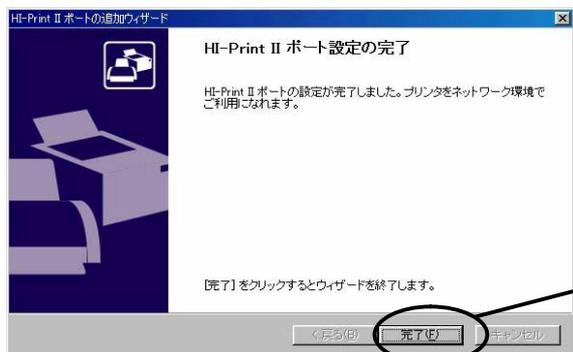
5. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



使用するプリンタを選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

6. ポート設定を完了します。



「完了」をクリックしてください。

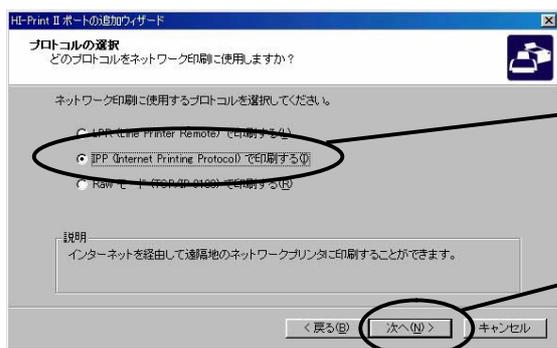
HI-Print II IPP ポートを追加する場合



注意

- ・セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になるSSL証明書情報を、予め製品に設定する必要があります。設定方法は、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。
- ・セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用すると、印刷データが暗号化されるためデータ量が増えます。そのためデータ転送時間がかかり、通常印刷と比較して印刷性能が低下します。

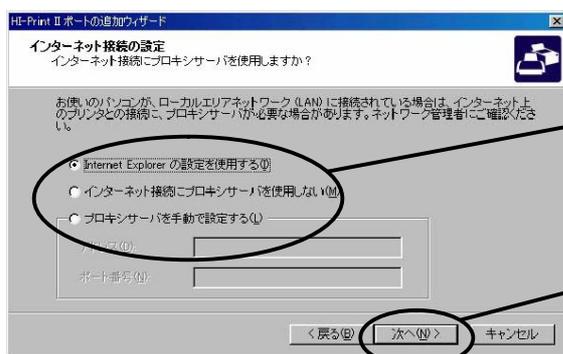
1. IPP (Internet Printing Protocol) を選択します。



「IPP (Internet Printing Protocol) で印刷する」を選択します。

「次へ」をクリックしてください。

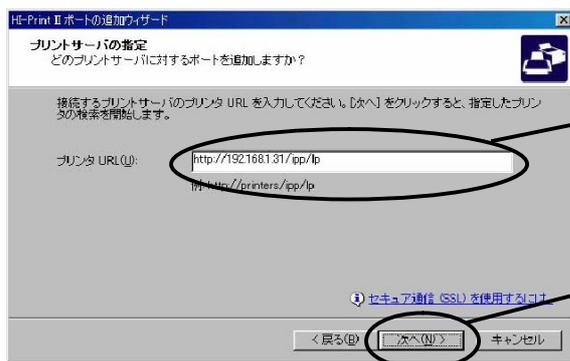
2. 「Internet Explorer の設定を使用する」、「インターネット接続にプロキシサーバを使用しない」または、「プロキシサーバを手動で設定する」を選択してください。



インターネット接続時のプロキシサーバ使用有無の設定を行います。

「次へ」をクリックしてください。

3. 「プリンタURL」には、印刷先の本製品に割り当てられたURLを入力してください。



本製品の URL を入力してください。

「次へ」をクリックしてください。



注意

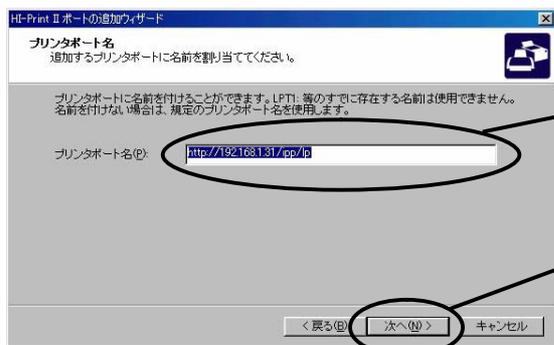
- セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用する場合、URL は“https:// ~ ”と指定してください。“http:// ~ ”と指定するとセキュア (SSL) 通信印刷機能は動作しません。
- セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になる SSL 証明書情報を予め本製品に設定する必要があります。設定方法については、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。



参考

- 例) URL が「abc. co. jp」でセキュア通信 (SSL) 印刷機能を使わない場合
http://abc. co. jp/ipp または http://abc. co. jp/ipp/lp
- 例) URL が「abc. co. jp」でセキュア通信 (SSL) 印刷機能を使う場合
https://abc. co. jp/ipp または https://abc. co. jp/ipp/lp
- 例) IP アドレスが「192. 168. 20. 185」でセキュア通信 (SSL) 印刷機能を使わない場合
http://192. 168. 20. 185/ipp または http://192. 168. 20. 185/ipp/lp
- 「192. 168. 20. 185」でセキュア通信 (SSL) 印刷機能を使う場合
https://192. 168. 20. 185/ipp または https://192. 168. 20. 185/ipp/lp
- 「次へ」をクリックすると、指定された URL が存在するか、確認を行います。

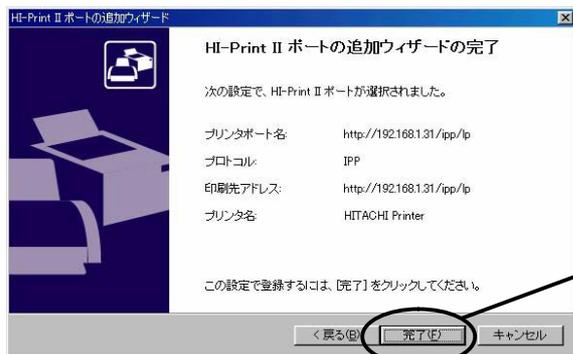
4. 印刷先のポート名を設定します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

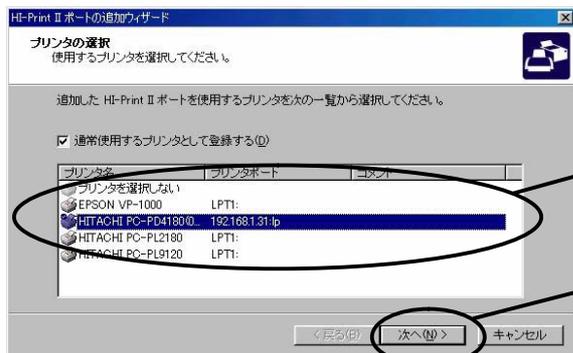
「次へ」をクリックしてください。

5. 設定内容を確認します。



「完了」をクリックしてください。

6. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



使用するプリンタを選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

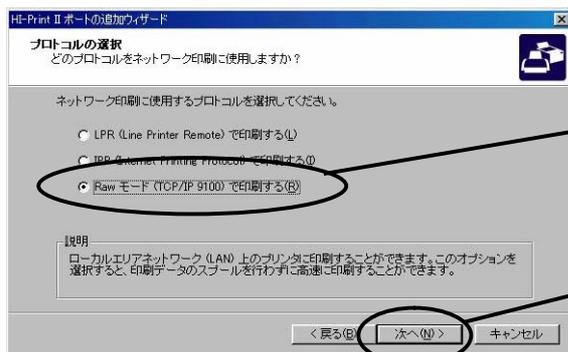
7. ポート設定を完了します。



「完了」をクリックしてください。

HI-Print II Raw (TCP/IP 9100) ポートを追加する場合

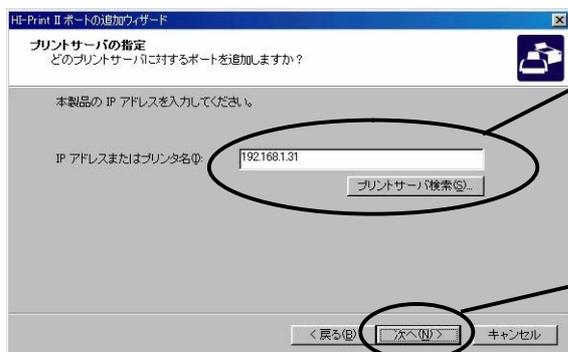
1. Raw モード (TCP/IP 9100) を選択します。



「Rawモード (TCP/IP 9100) で印刷する」を選択します。

「次へ」をクリックしてください。

2. 「プリントサーバ検索」ボタンでネットワーク内のプリントサーバ一覧を表示させ、一覧の中から本製品を選択してください。



「プリントサーバ検索」ボタンをクリックして、設定をする製品を選択してください。

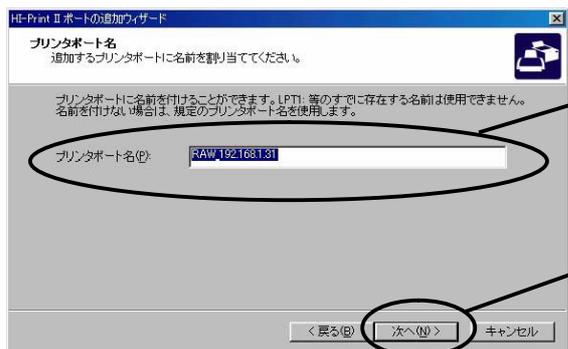
「次へ」をクリックしてください。



・「次へ」をクリックすると、指定されたプリントサーバが9100ポートにアクセス可能か、確認します。

参考

3. 印刷先ポート名を入力します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

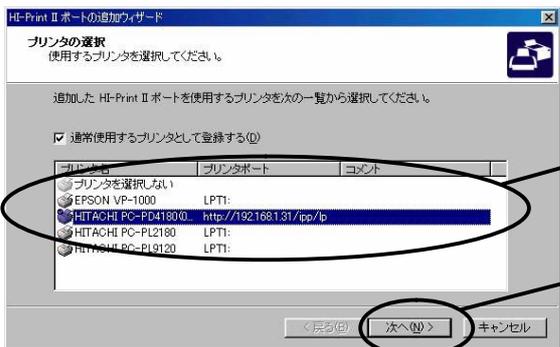
「次へ」をクリックしてください。

4. 設定内容を確認します。



「完了」をクリックしてください。

5. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



使用するプリンタを選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

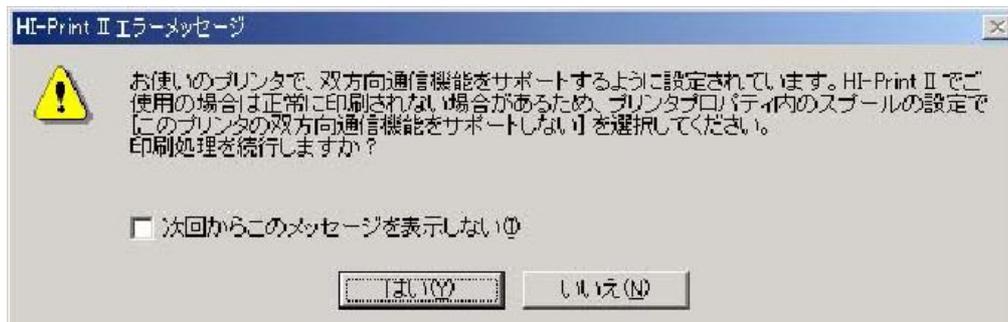
6. ポート設定を完了します。



「完了」をクリックしてください。

プリンタドライバの設定

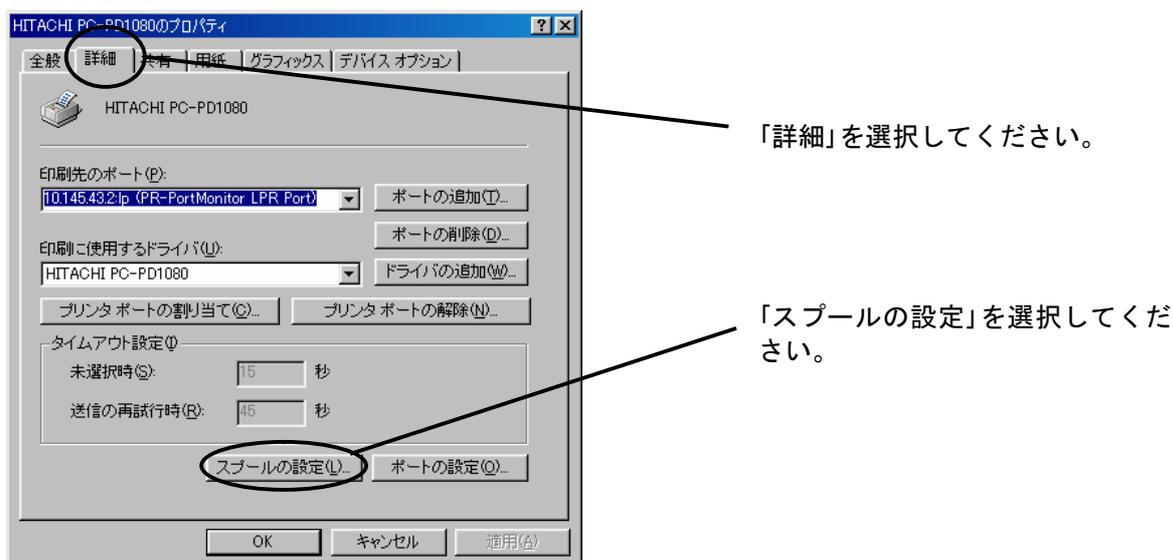
HI-Print II からの印刷で、プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合、次のエラー画面が表示されることがあります。「いいえ」を選択し、下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。



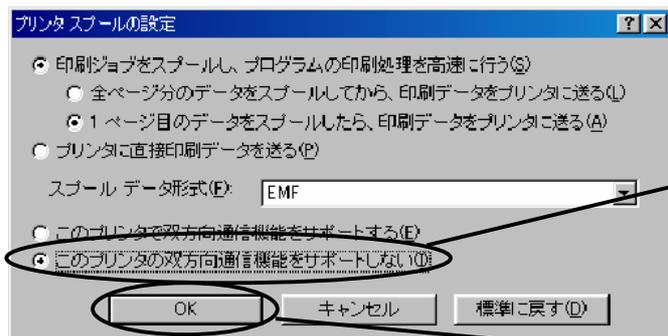
1. 「スタート」－「設定」－「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



2. 「詳細」を選択します。



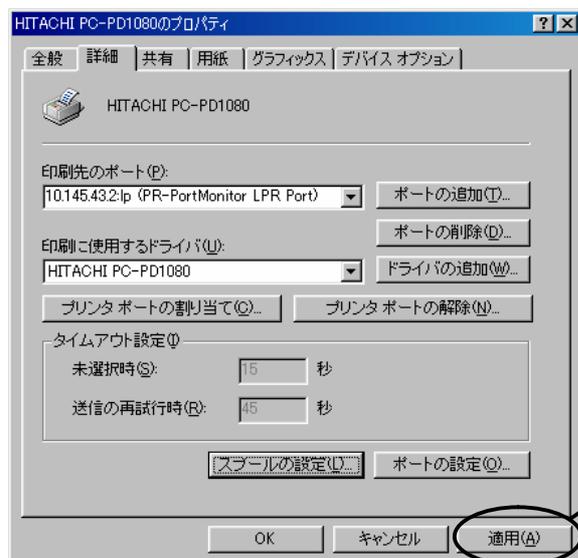
3. 双方向通信機能を設定します。



「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」を選択してください。

「OK」をクリックしてください。

4. 設定完了です。



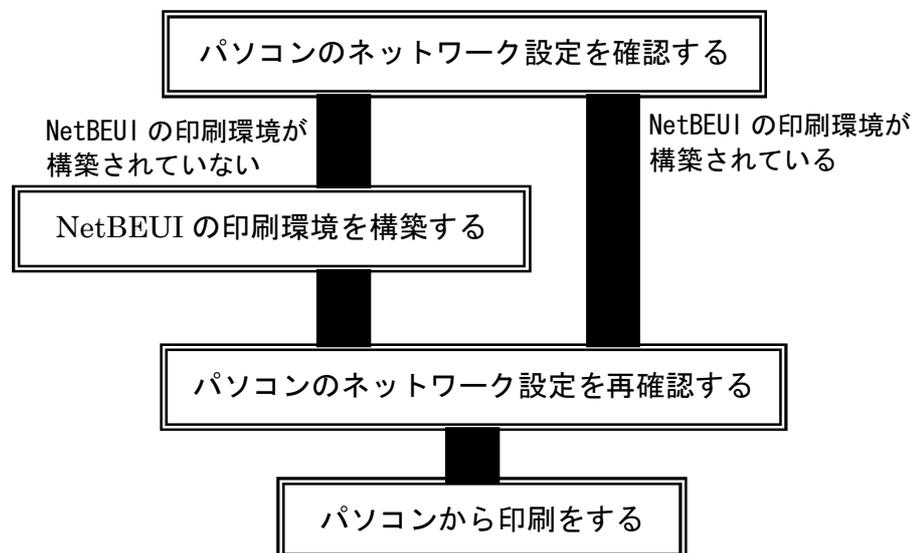
「適用」をクリックしてください。

Windows 98/Me環境からNetBEUIで印刷する

本製品をNetBEUIプロトコルを利用してWindows 98/Meから印刷する際の手順を説明します。



- ・あらかじめご使用のパソコンにプリンタドライバをインストールしてください。
- ・NetBEUI の詳細な設定を行う方法については「第7章設定に関する機能」をご参照ください。



パソコンのネットワーク設定を確認する (NetBEUIの場合)

Windows 98/Meの「ネットワーク」に、[NetBEUI]と[Microsoft ネットワーククライアント]が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択します。
2. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「ネットワークの設定」で、[NetBEUI]と[Microsoft ネットワーククライアント]が追加されていることを確認してください。

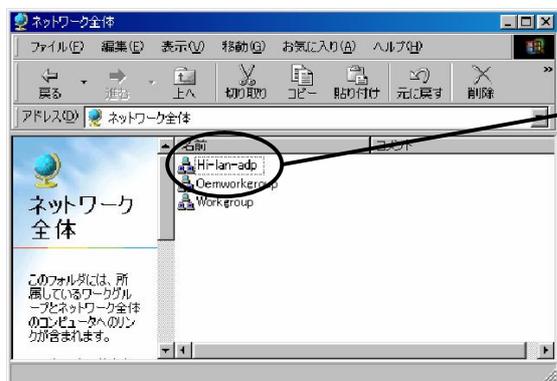


参考

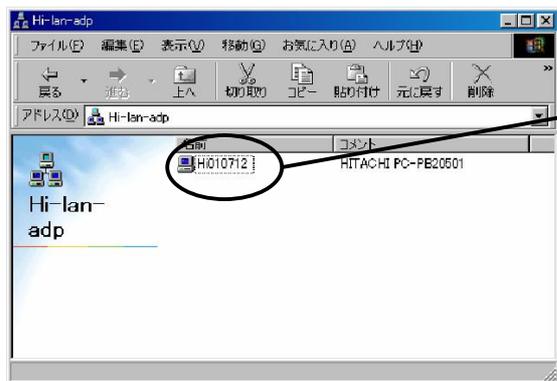
- ・現在のネットワークコンポーネント一覧に[NetBEUI]プロトコルが無い場合は「追加」をクリックし、「プロトコル」-「Microsoft」-「NetBEUI」の手順で追加してください。
- ・現在のネットワークコンポーネント一覧に[Microsoft ネットワーククライアント]が無い場合は、「サービス」-「Microsoft ネットワーククライアント」の手順で追加してください。

NetBEUI で印刷する

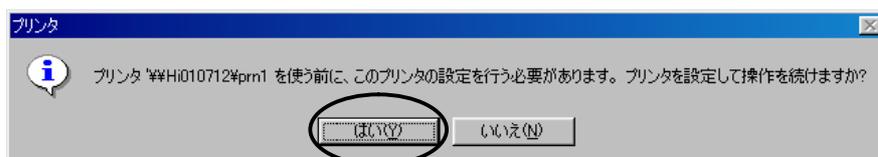
1. デスクトップ上の「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、「ネットワーク全体」の中のワークグループ名「Hi-lan-adp」を開きます。
2. コンピュータ（本製品）のアイコンをダブルクリックしてください。



3. プリンタのアイコンをダブルクリックしてください。



4. プリンタの設定確認メッセージが表示されます。



5. プリンタの追加ウィザードが起動します。指示に従って設定を行ってください。プリンタのテストページが出力されれば、プリンタの追加は完了です。

NetBEUI ワークグループの構造

ここでは、本製品に搭載しているNetBEUI のワークグループの構造について説明します。

【例】本製品のEthernet アドレス： 00:06:fb:01:07:12



¥¥Hi010712:コンピュータ (本製品)

¥¥Hi010712¥prn1:プリンタ



¥¥Hi010712¥report¥ConfigReport.txt:
設定レポート (読み取り専用)

¥¥Hi010712¥report¥HardReport.txt:
自己診断情報 (読み取り専用)

¥¥Hi010712¥report¥Status.txt:
システム状態レポート (読み取り専用)



¥¥Hi010712¥setup¥Config.ini:
初期設定ファイル (編集可能)

¥¥Hi010712¥setup¥WebSetup:
ショートカットファイル (読み取り専用)

○設定レポート

本製品を起動した時の内部情報を出力します。

○システム状態レポート

本製品を起動した時の本製品の状態を出力します。

○初期設定ファイル

- ・初期化ファイルでは「ワークグループ名」と「IPアドレス」を記述することができます。メモ帳等のエディタを使い編集後、ファイルを上書き保存することで設定します。
- ・上書き保存をすると、本製品は約3秒後に自動リセットし、再起動します。
- ・初期化ファイルを編集してファイルを上書き保存することで、ワークグループ名、IPアドレスの変更が可能です。

【例】

```
Workgroup = UserGroup
IP Address = 192.168.20.126
```

- ・ワークグループ名は、ネットワーク全体の中に既に存在するワークグループ名を指定してください。
- ・DHCP/BOOTP、RARP サーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てする場合は、「IP Address」に設定しても無効になります。

○ショートカットファイル

本製品にIPアドレスが設定されるとショートカット(WebSetup)が作成されます。ショートカットアイコンをダブルクリックするとWebブラウザが起動し本製品のWebページが表示されます。

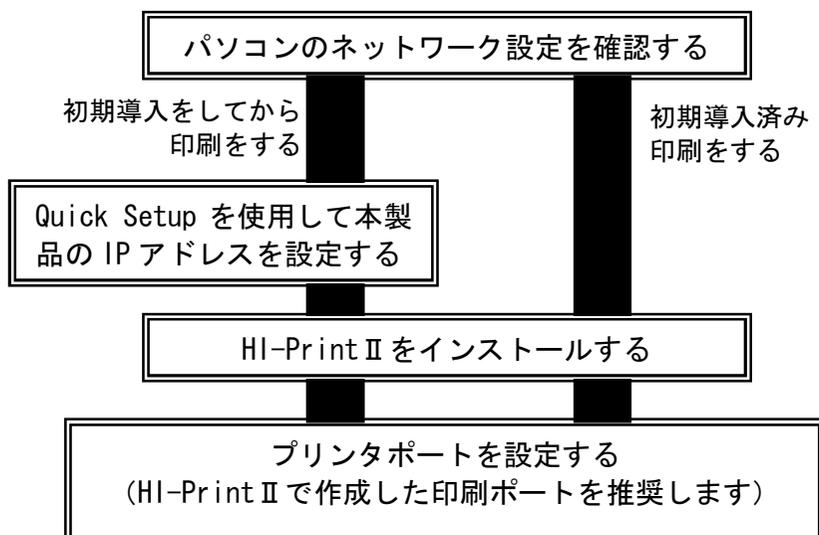
WebブラウザおよびWebページについては「第7章設定に関する機能」をご参照ください。

第4 章Windows NT 4.0/2000/Server 2003, 2008/ XP/Vista/7/8/2012 で使用する	4-1
TCP/IP で印刷する	4-3
パソコンのネットワーク設定を確認する	4-4
Windows NT 4.0 の場合	4-4
Windows 2000 の場合	4-6
Windows XP の場合	4-7
Windows Server 2003 の場合	4-9
Windows Vista の場合	4-11
Quick Setup による簡単設定	4-13
HI-Print II をインストールする	4-17
印刷ポートを追加する	4-20
LPR ポートを追加する場合	4-21
IPP ポートを追加する場合	4-23
Raw(TCP/IP 9100) ポートを追加する場合	4-26
プリンタドライバの設定	4-28
Windows NT 4.0/2000 からNetBEUI で印刷する	4-30
Windows NT 4.0 から印刷する	4-30
パソコンのネットワーク設定の確認をする	4-31
NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP で印刷する	4-32
Windows 2000 から印刷する	4-33
パソコンのネットワーク設定の確認をする	4-33
NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP で印刷する	4-35
Windows Server 2003,Windows XP からNetBIOS over TCP/IP で印刷する	4-36
Windows Server 2003,Windows XP から印刷する.	4-36
パソコンのネットワーク設定を確認する	4-37
NetBIOS over TCP/IP で印刷する	4-39
NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP について	4-40
NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP ワークグループの構造	4-40
OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する	4-42
Windows NT 4.0 のLPR ポートで印刷する	4-42
Windows 2000/Server 2003/XP のStandard TCP/IP ポートで 印刷する	4-47
Windows 2000/Server 2003/XP のLPR ポートで印刷する	4-54
Windows 2000/Server 2003/XP のIPP ポートで印刷する	4-62
Windows Vista のStandard TCP/IP ポートで印刷する	4-67

第4章 Windows NT 4.0/2000/Server 2003, 2008/XP/Vista/7/8/2012で使用する

本章では、Windows NT4.0/2000/Server 2003, 2008/XP/Vista/7/8/2012 環境で、TCP/IP、NetBEUI およびNetBIOS over TCP/IP で印刷を行う方法について説明します。

Windows NT 4.0/2000/Server 2003, 2008/XP/Vista/7/8/2013からTCP/IPで印刷する 本製品をTCP/IPプロトコルを利用して印刷する際の手順を説明します。



参考

- ・ 予め、ご使用のパソコンにプリンタドライバをインストールしてください。
- ・ 本製品をご使用の際は、HI-Print II で作成した印刷ポートの使用を推奨します。
- ・ セキュア (SSL) 通信印刷機能を利用した印刷を行う場合は、HI-Print II で作成した IPPポートの使用を推奨します。
- ・ セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になる SSL 証明書情報を本製品に設定する必要があります。設定方法については、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。
- ・ セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用して印刷をすると、印刷データを暗号化します。そのため、第三者による印刷データの盗用や改ざんを防止することができます。

パソコンのネットワーク設定を確認する

Windows NT4.0 の場合

Windows NT4.0 の「ネットワーク」に「TCP/IPプロトコル」と「Microsoft TCP/IP印刷」サービスが追加されていることを確認します。

1. 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択してください。
2. 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「プロトコル」の「ネットワークプロトコル」に「TCP/IPプロトコル」が追加されていることを確認してください。
4. 「TCP/IPプロトコル」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



「プロパティ」をクリックしてください。



・「TCP/IPプロトコル」がネットワークプロトコル一覧にない場合は、「追加」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの選択」-「TCP/IP プロトコル」の手順で追加してください。

5. 「IPアドレス」の設定で、ご使用の環境にあわせた設定が行われているか、確認をしてください。



6. 「ネットワーク」-「サービス」の「ネットワークサービス」に「Microsoft TCP/IP 印刷」が追加されていることを確認してください。



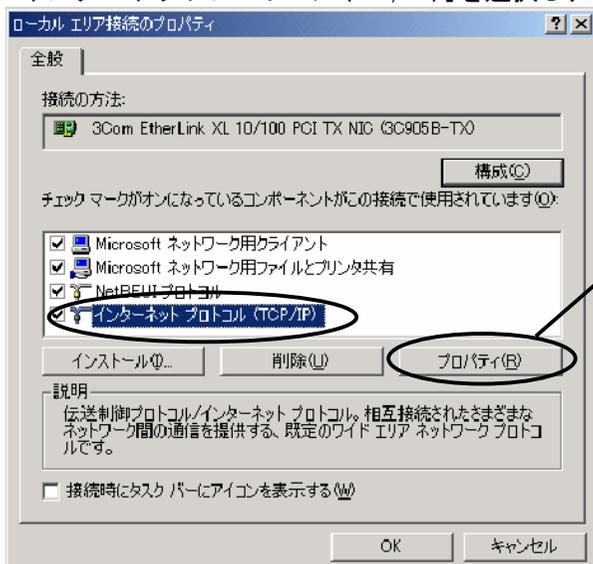
参考

- 「Microsoft TCP/IP 印刷」がサービス一覧にない場合は「追加」をクリックし、「ネットワークサービスの選択」-「Microsoft TCP/IP 印刷」の手順で追加してください。

Windows 2000 の場合

Windows 2000に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開き、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が追加されていることを確認してください。
3. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



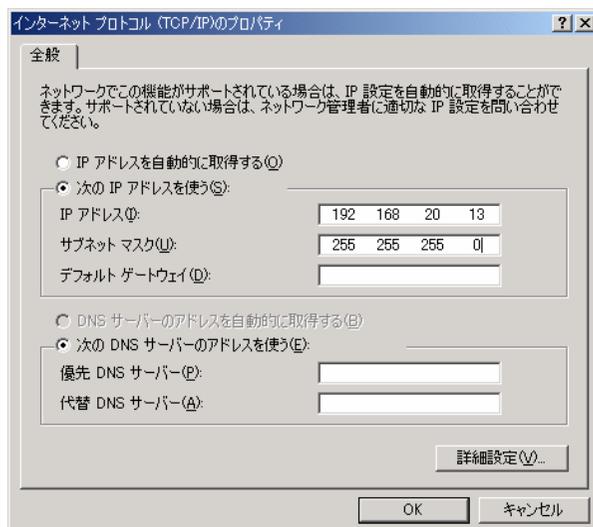
「プロパティ」をクリックしてください。



参考

・「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が追加されていない場合は「インストール」をクリックし、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択して追加してください。

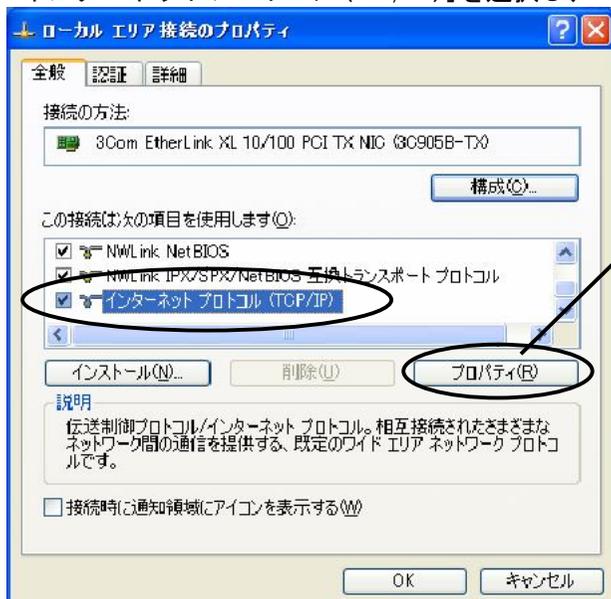
4. [全般]で、ご使用の環境にあわせた設定が行われているか確認してください。



Windows XP の場合

Windows XP に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワーク接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開き、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が追加されていることを確認してください。
3. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



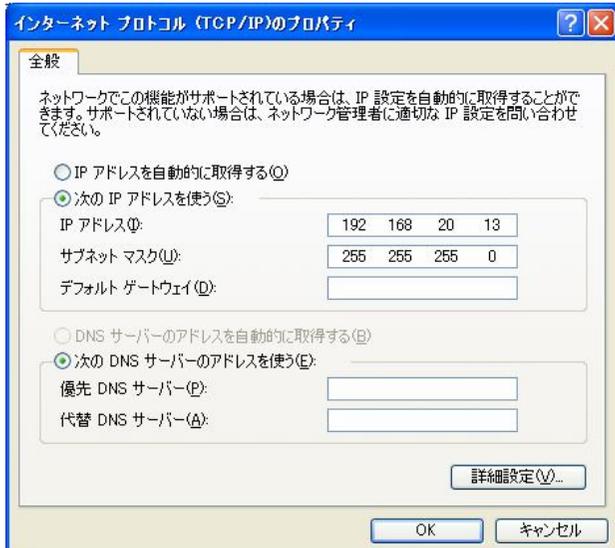
「プロパティ」をクリックしてください。



参考

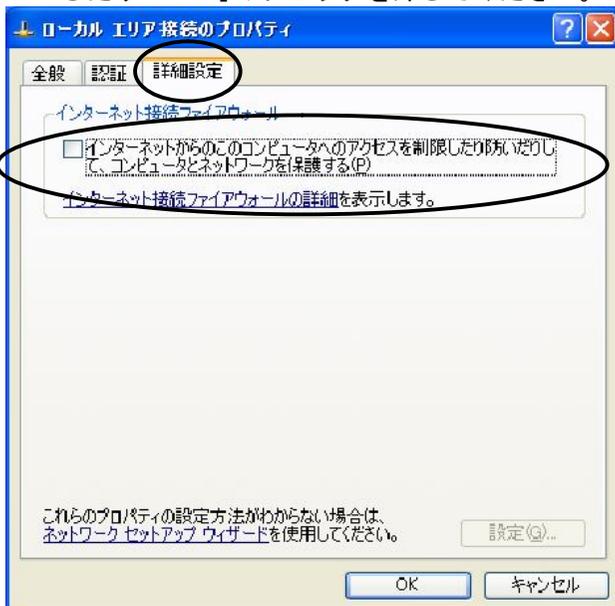
- ・「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの種類の選択」-「プロトコル」-「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、追加してください。

4. 「全般」で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



注意

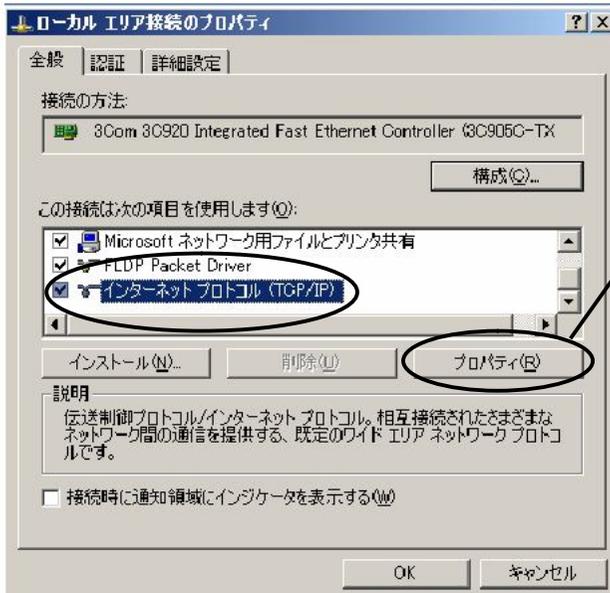
・Windows XP環境でTCP/IPプロトコルを使用する場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」-「詳細設定」で「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり・・・」のチェックを外してください。



Windows Server 2003の場合

Windows Server 2003 に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「ネットワークの接続」 - 「ローカルエリア接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開き、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が追加されていることを確認してください。
3. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



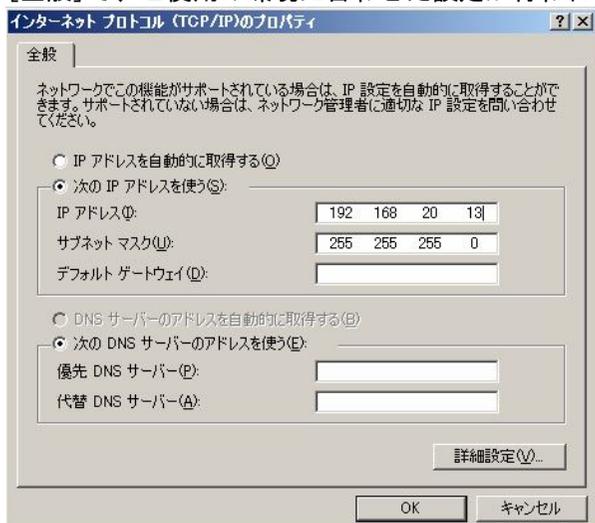
「プロパティ」をクリックしてください。



参考

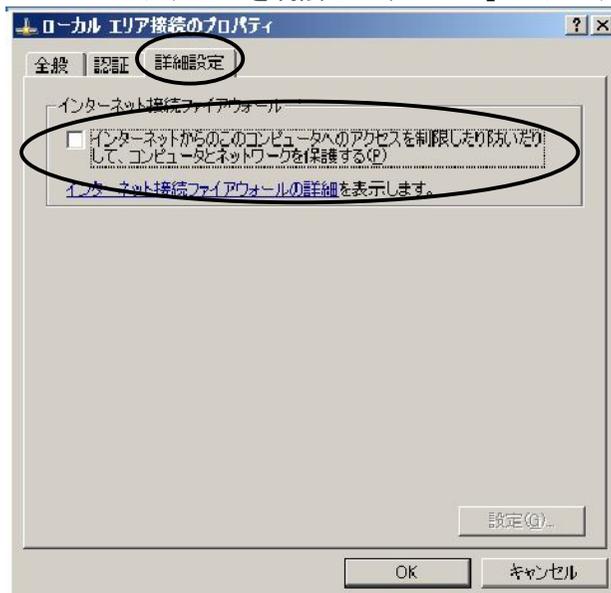
- ・「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が一覧にない場合は「インストール」をクリックし、「ネットワークコンポーネントの種類を選択」-「プロトコル」-「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、追加してください。

4. [全般]で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



注意

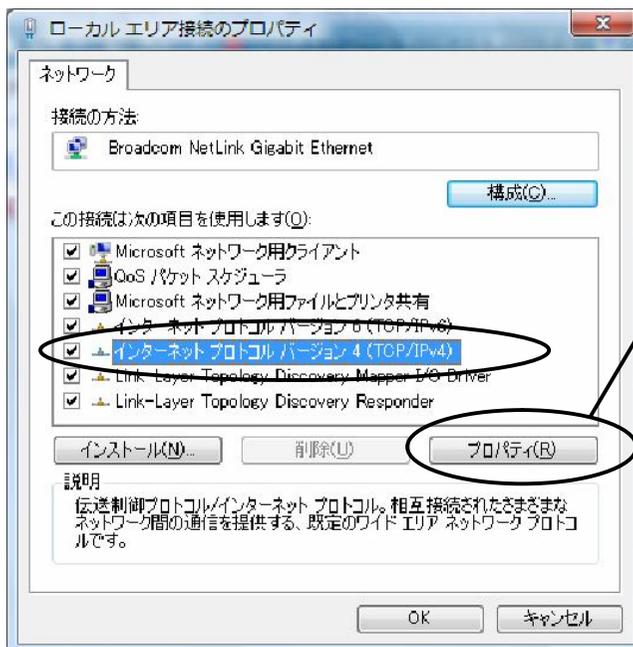
・Windows Server 2003環境でTCP/IPプロトコルをご利用になる場合は、「ローカル エリア接続のプロパティ」-「詳細設定」で「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり・・・」のチェックを外してください。



Windows Vista / 7 / Server 2008 / 8 / 2012 の場合 (OSにより表示に違いがあります)

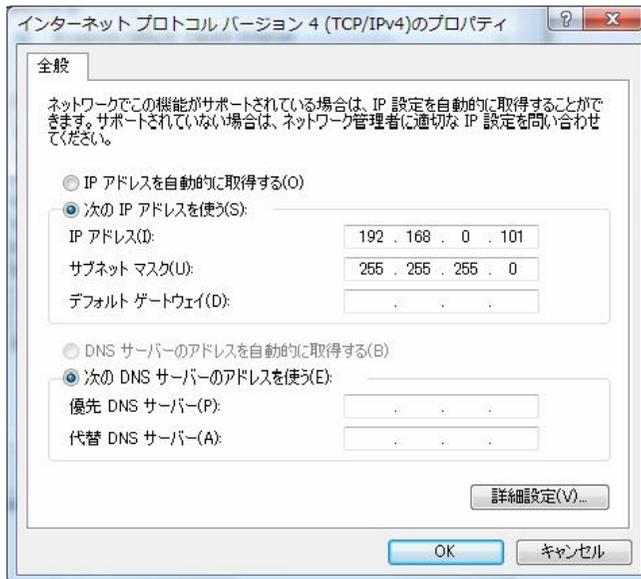
Windows Vistaに「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が選択されている事を確認します。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」-「ネットワークの状態とタスクの表示」-「ネットワーク接続の管理」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開き、「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」がチェックされていることを確認してください。
3. 「インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。



「プロパティ」をクリックしてください。

4. 「全般」で、ご使用の環境に合わせた設定が行われているか確認してください。



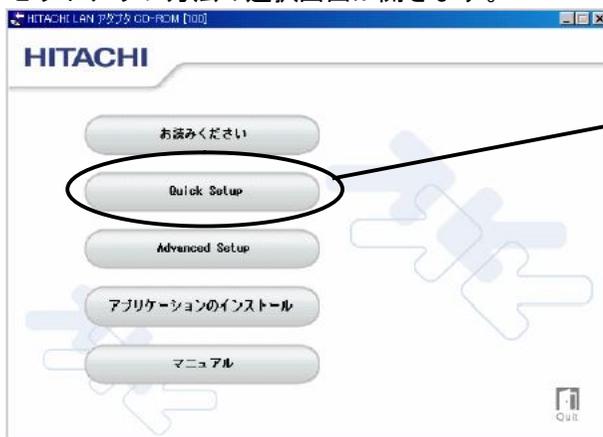
Quick Setupによる簡単設定

1. 本製品付属のCD-ROM(セットアップユーティリティ)をWindowsパソコンにセットすると、メインメニューが自動的に起動します。



はじめに「お読みください」をクリックしてください。
このCD-ROMについての注意事項や本製品の問合せ先等が記載されています。
ご利用の前に必ずご一読ください。

2. セットアップ方法の選択画面が開きます。



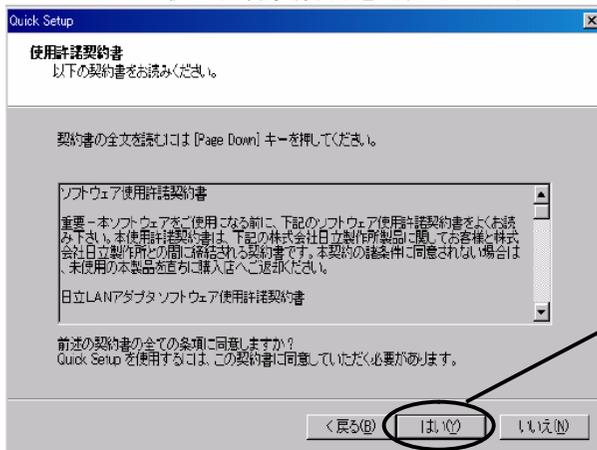
「Quick Setup」をクリックしてください。

3. Quick Setup が起動します。



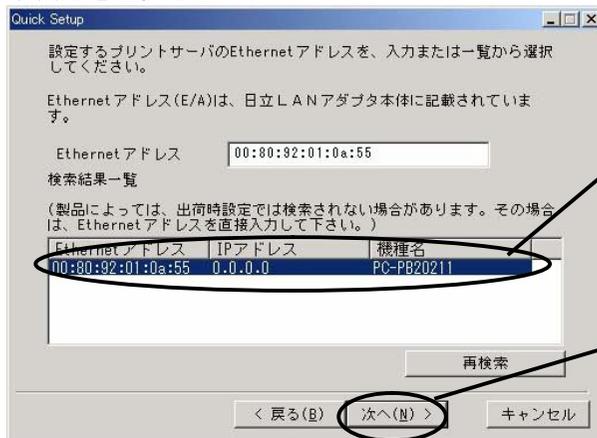
「次へ」をクリックしてください。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



「はい」をクリックしてください。

5. 本製品を選択します。



設定を行う製品を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

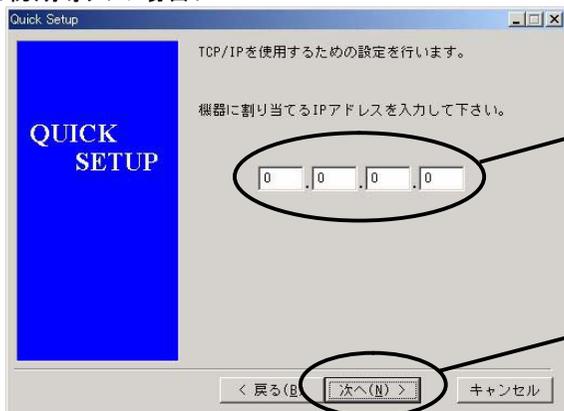


参考

- ・ 検索結果一覧に本製品が表示されていない場合は、「再検索」をクリックしてください。Ethernet アドレスを直接入力することで本製品を選択することもできます。
- ・ 本製品のEthernetアドレスは、自己診断印刷結果または本製品底面にシール表示で記載しています。(例: 00:80:92:08:b0:dd)

6. IP アドレスを設定します。

<初期導入の場合>

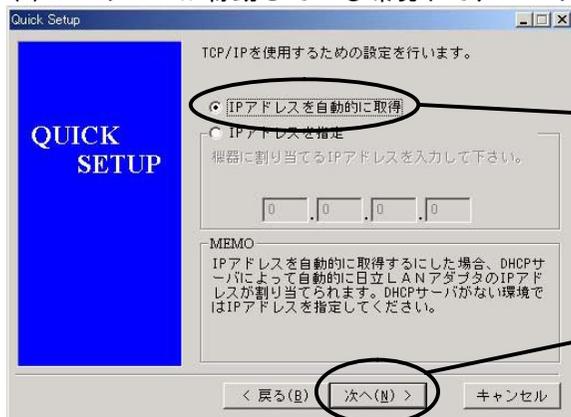


任意のIPアドレスを入力してください。

「次へ」をクリックしてください。

<本製品にIP アドレスが設定されている場合>

(A) DHCPサーバが稼動している環境下で、DHCPサーバからIPアドレスを自動的に取得する



「IPアドレスを自動的に取得する」をクリックしてください。

「次へ」をクリックしてください。

(B) 手でIPアドレスを設定する



任意のIPアドレスを入力してください。

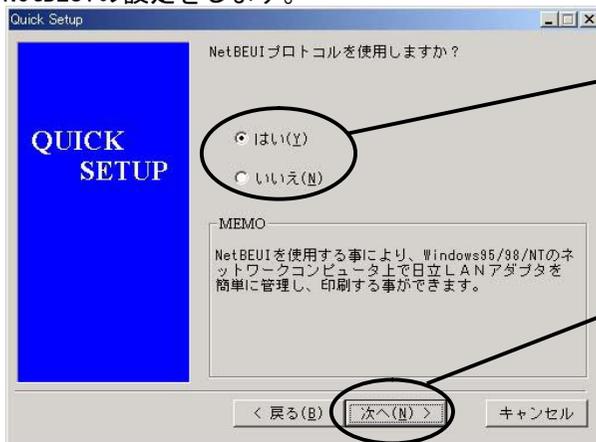
「次へ」をクリックしてください。



参考

・DHCPサーバからIPアドレスを自動的に取得する設定にする場合は、予め本製品のIPアドレスが設定されていなければなりません。その場合は、本製品と設定をするコンピュータのネットワークケーブルをクロスケーブルに変更し、仮のIPアドレスを設定してHUBやルータを介さずに直結にして設定をしてください。

7. NetBEUIの設定をします。



NetBEUIを使用する場合は、「はい」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

8. 設定完了です。設定内容を表示します。



「次へ」をクリックしてください。



参考

- ・引き続きHI-Print IIをインストールしてください。HI-Print IIはWindows から直接印刷を行うための印刷クライアントソフトウェアです。
- ・Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、7、8、2008/R2、2012の環境で、OS 標準の印刷機能をご利用になる場合は、本章中の「OS 標準の印刷クライアント機能で印刷する」を参照してください。
- ・更に詳細な設定を行う場合は、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。

HI-Print II をインストールする

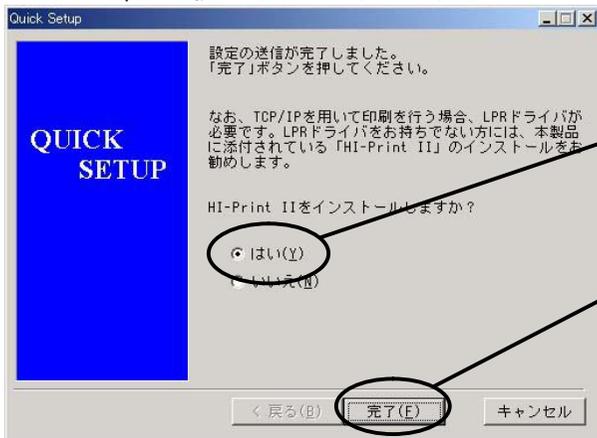
Windows NT4.0、Windows 2000、Windows Server 2003、Windows XP7、8、2008/R2、2012の環境で、本製品からTCP/IP プロトコルで直接印刷を行う場合、本製品に付属しているHI-Print II をご使用いただけます。HI-Print II は、LPR機能(弊社製品専用)、IPP機能及び、Rawモード(TCP/IP 9100) 機能をご使用いただける印刷クライアントソフトウェアです。インストールが完了すると、プリンタポート追加ウィザードが起動します。(OSによっては表記が異なります)。



参考

- ・LPR(Line Printer Remote)機能(本LPRポートをご使用いただくことを推奨します。)ローカルエリアネットワーク(LAN)上のプリンタに印刷することができます。一般に広く使用されているプロトコルです。
 - ・IPP(Internet Printing Protocol)機能
LAN上のプリンタに印刷する他に、インターネットを經由して遠隔地のネットワークプリンタに印刷ができます。またSSL(セキュア)通信印刷機能が使用できます。
 - ・Rawモード(TCP/IP 9100)機能
ローカルエリアネットワーク(LAN)上のプリンタに印刷することができます。印刷データをスプールしないため、高速に印刷することができます。
1. インストール方法を確認します。

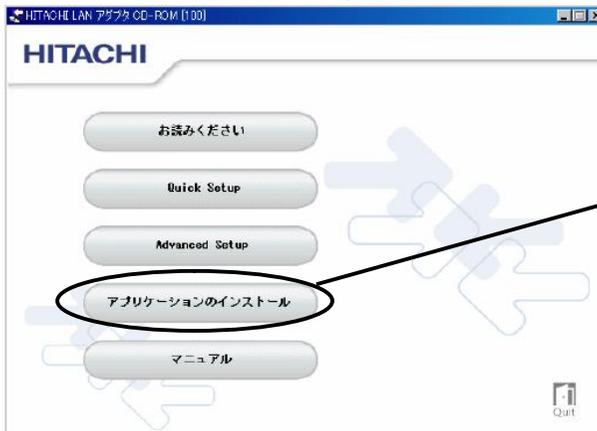
(A) Quick Setupから続いてインストールする



「はい」をクリックしてください。

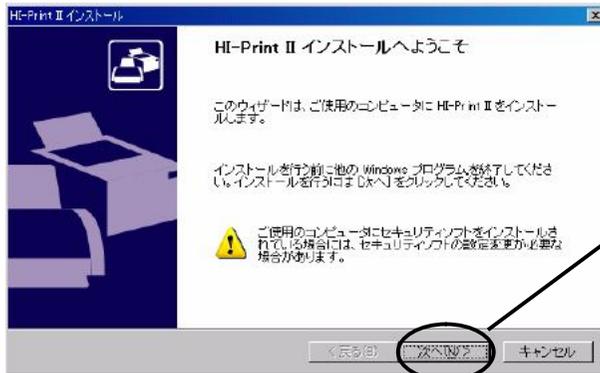
「完了」をクリックしてください。

(B) HI-Print IIのみインストールする



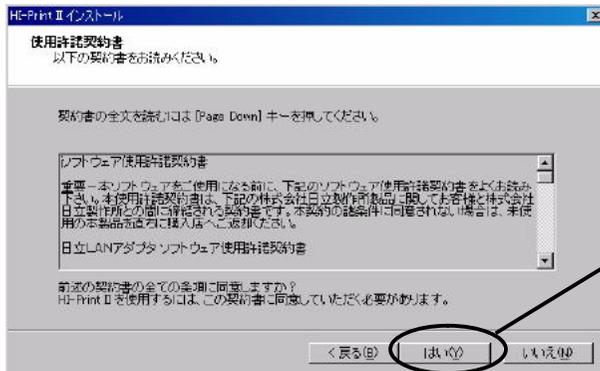
付属CD-ROMをセットし、「アプリケーションのインストール」をクリックしてください。

2. HI-Print II インストールウィザードが起動します。



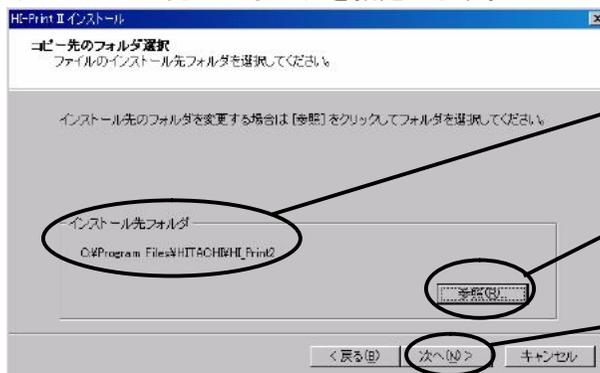
「次へ」をクリックしてください。

3. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



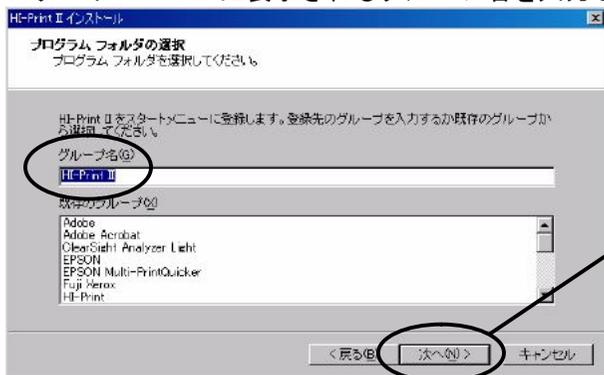
「はい」をクリックしてください。

4. インストール先のフォルダを指定します。

インストール先のフォルダを表示
します。「参照」をクリックするとインスト
ール先のフォルダを選択できます。

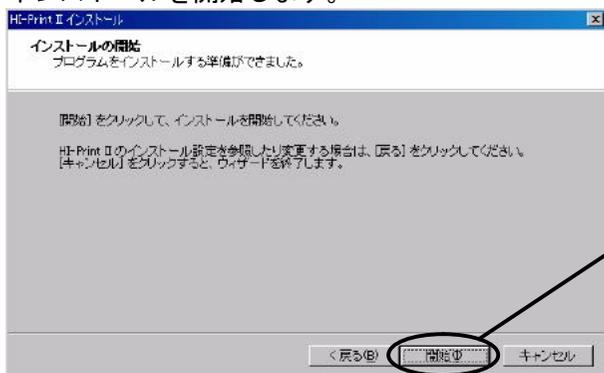
「次へ」をクリックしてください。

5. スタートメニューに表示されるグループ名を入力します。



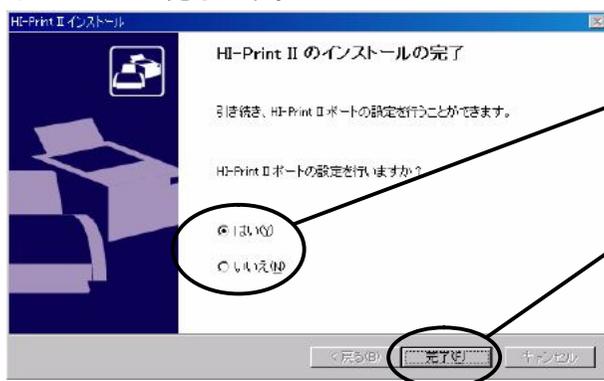
「次へ」をクリックしてください。

6. インストールを開始します。



「開始」をクリックしてください。

7. インストール完了です。



印刷ポートを作成する場合は、
「はい」をクリックしてください。

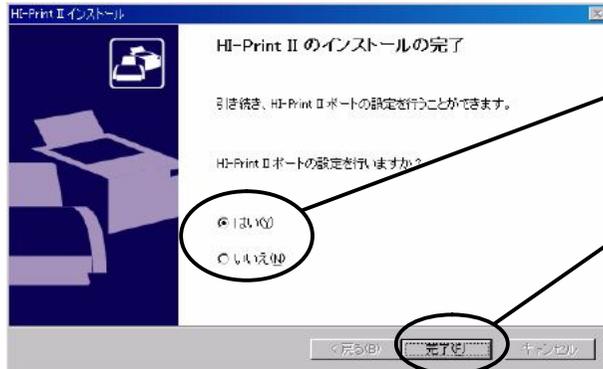
「完了」をクリックしてください。

印刷ポートを追加する

HI-Print II では、「LPR印刷」、「IPP印刷」、「Rawモード印刷」の三種類の印刷ポートが作成、使用できます。印刷に使用するプロトコルを選択し、「次へ」をクリックすると、各印刷方式での印刷ポート作成画面へ移ります。

(A) HI-Print II インストールから続いて追加する。

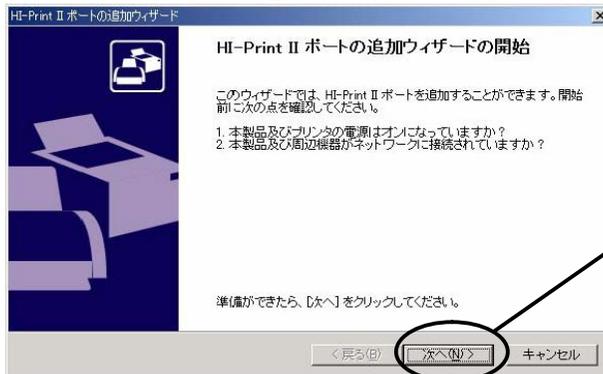
1. 「はい」を選択し、「完了」をクリックしてください。



「はい」をクリックしてください。

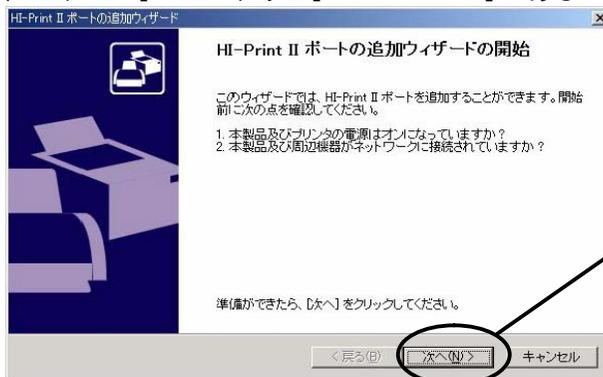
「完了」をクリックしてください。

2. HI-Print II ポート追加ウィザードが開始します。



「次へ」をクリックしてください。

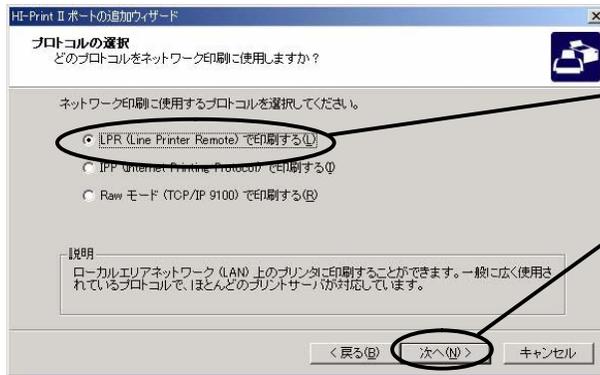
(B) 「スタート」-「プログラム」-「HI-Print II」にある「HI-Print II ポート追加」から追加する。



「次へ」をクリックしてください。

HI-Print II LPR ポートを追加する場合

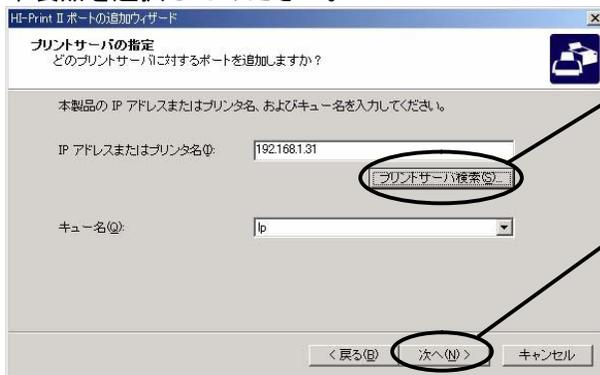
1. LPR(Line Printer Remote)を選択します。



「LPR (Line Printer Remote) で印刷する」を選択します。

「次へ」をクリックしてください。

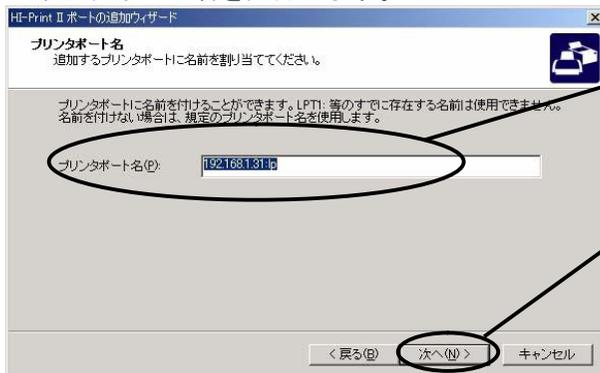
2. 「プリントサーバ検索」ボタンでネットワーク内のプリントサーバの一覧を表示させ、本製品を選択してください。



「プリントサーバ検索」ボタンをクリックして選択します。

「次へ」をクリックしてください。

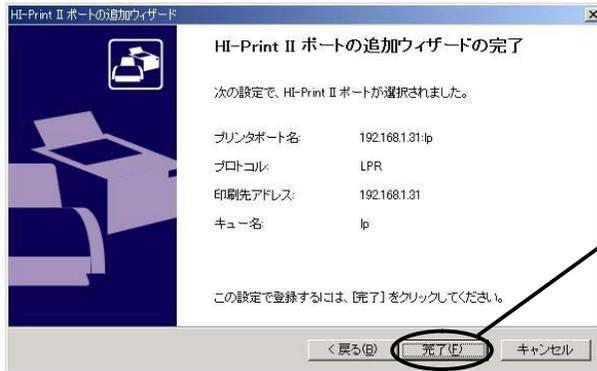
3. プリンタポート名を入力します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

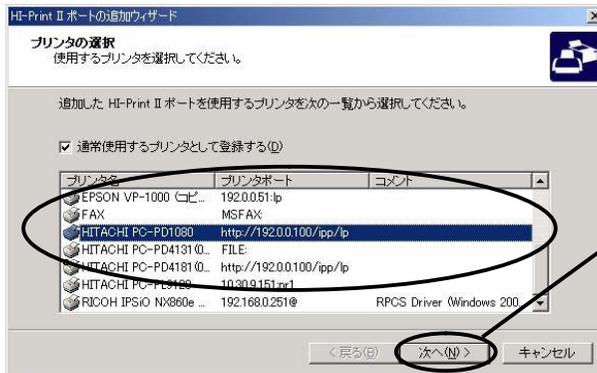
「次へ」をクリックしてください。

4. 設定内容を確認します。



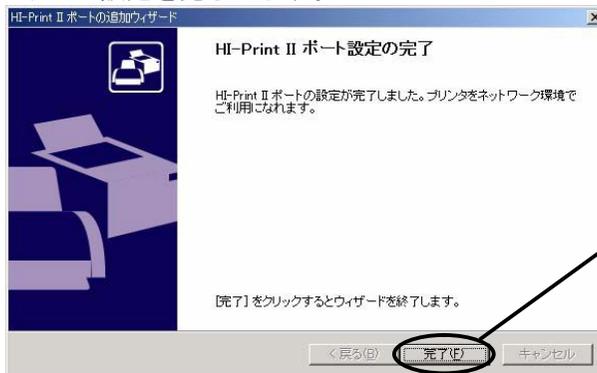
「完了」をクリックしてください。

5. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



「次へ」をクリックしてください。

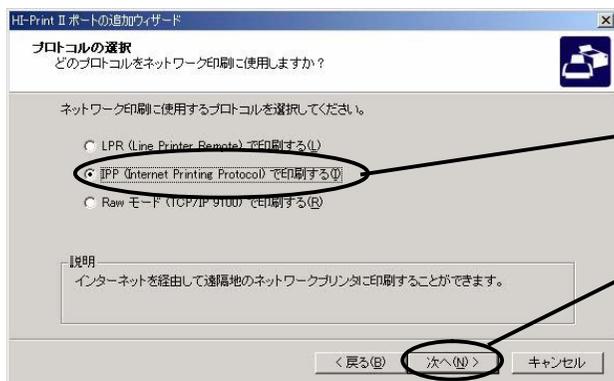
6. ポート設定を完了します。



「完了」をクリックしてください。

HI-Print II IPP ポートを追加する場合

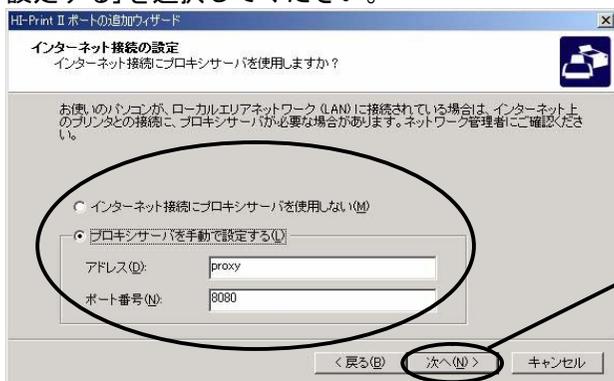
1. IPP(Internet Printing Protocol)を選択します。



「IPP(Internet Printing Protocol)で印刷する」を選択します。

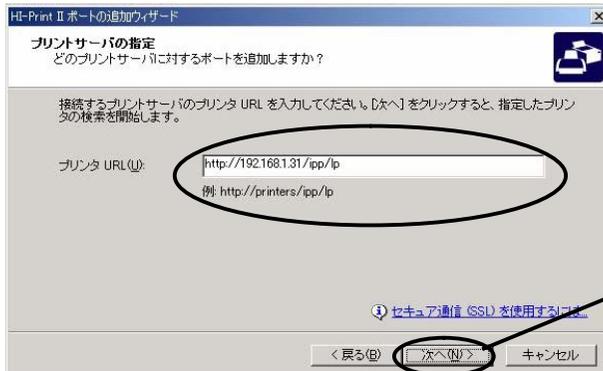
「次へ」をクリックしてください。

2. 「インターネット接続にプロキシサーバを使用しない」または、「プロキシサーバを手動で設定する」を選択してください。



「次へ」をクリックしてください。

3. 「プリンタURL」には、印刷先の本製品に割り当てられたURL を入力してください。
URL は“http:// ~ /ipp(/lp)” または“https:// ~ /ipp(lp)” と指定してください。
「次へ」をクリックすると、指定されたURLが存在するか、確認を行います。



「次へ」をクリックしてください。



参考

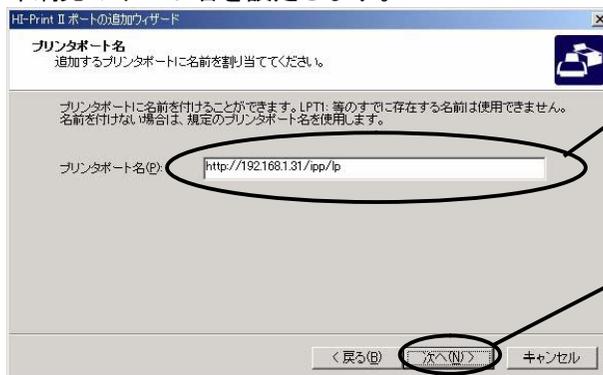
- ・ URL が「abc. co. jp」でセキュア (SSL) 通信印刷機能を使用しない場合
http://abc. co. jp/ipp またはhttp://abc. co. jp/ipp/lp
- ・ URL が「abc. co. jp」でセキュア (SSL) 通信印刷機能を使用する場合
https://abc. co. jp/ipp またはhttps://abc. co. jp/ipp/lp
- ・ IP アドレスが「192. 168. 20. 185」でセキュア (SSL) 通信印刷機能を使用しない場合
http://192. 168. 20. 185/ipp またはhttp://192. 168. 20. 185/ipp/lp
- ・ IP アドレスが「192. 168. 20. 185」でセキュア (SSL) 通信印刷機能を使用する場合
https://192. 168. 20. 185/ipp または[https://192. 168. 20. 185/ipp/lp](https://192.168.20.185/ipp/lp)



注意

- ・ セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用する場合は、URLは“https:// ~ ” と指定してください。
“http:// ~ ” と指定すると、セキュア (SSL) 通信印刷機能は動作しません。
- ・ セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になるSSL証明書情報を本製品に設定する必要があります。
設定方法については、「付録セキュア通信印刷機能について」を参照してください。

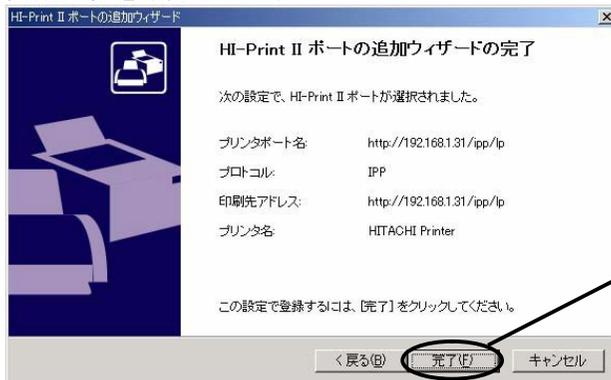
4. 印刷先のポート名を設定します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

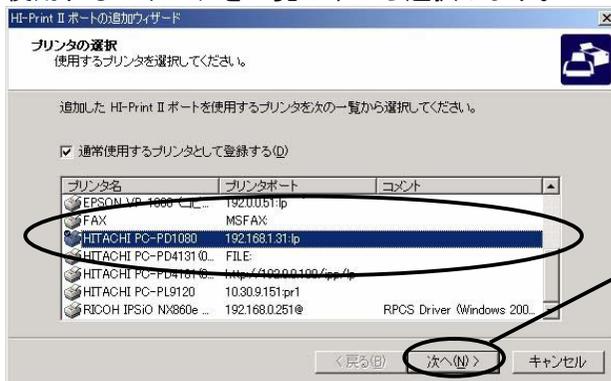
「次へ」をクリックしてください。

5. 設定内容を確認します。



「完了」をクリックしてください。

6. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



「次へ」をクリックしてください。

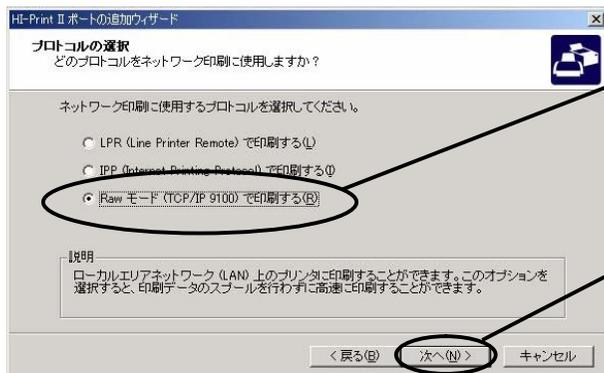
7. ポート設定を完了します。



「完了」をクリックしてください。

HI-Print II Raw(TCP/IP 9100) ポートを追加する場合

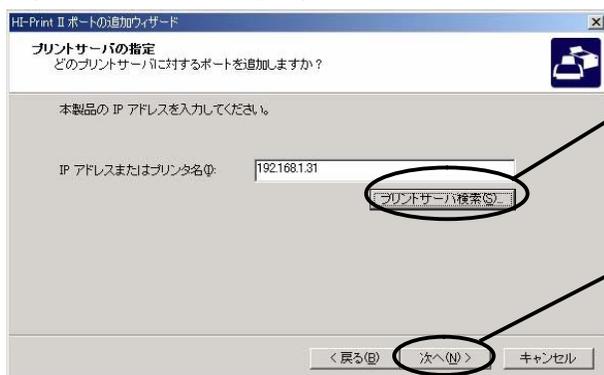
1. Raw モード (TCP/IP 9100) を選択します。



「Rawモード(TCP/IP 9100)で印刷する」を選択します。

「次へ」をクリックしてください。

2. 「プリントサーバ検索」ボタンでネットワーク内のプリントサーバ一覧を表示させ、一覧の中から本製品を選択してください。



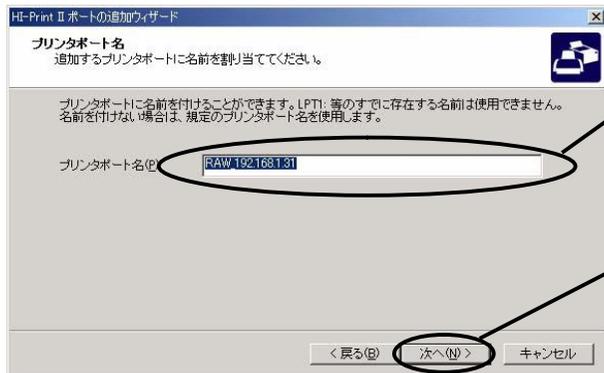
「プリントサーバ検索」ボタンをクリックして選択します。

「次へ」をクリックしてください。



・「次へ」をクリックすると、指定されたプリントサーバが9100ポートにアクセス可能か確認します。

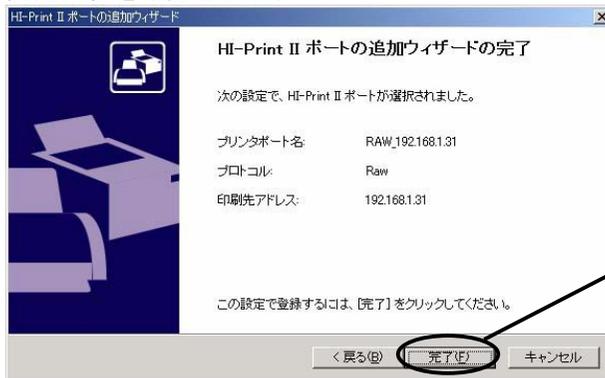
3. 印刷先ポート名を入力します。



名前を指定しない場合は、既定のプリンタポート名をご使用ください。

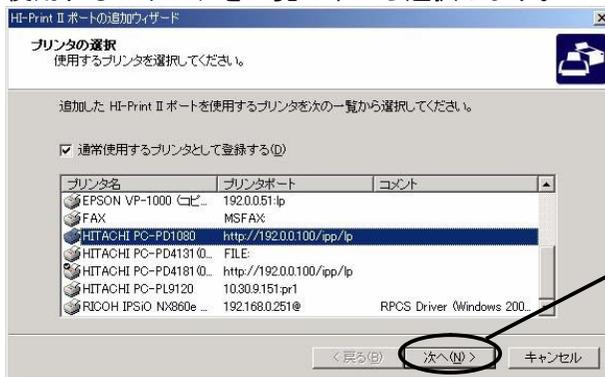
「次へ」をクリックしてください。

4. 設定内容を確認します。



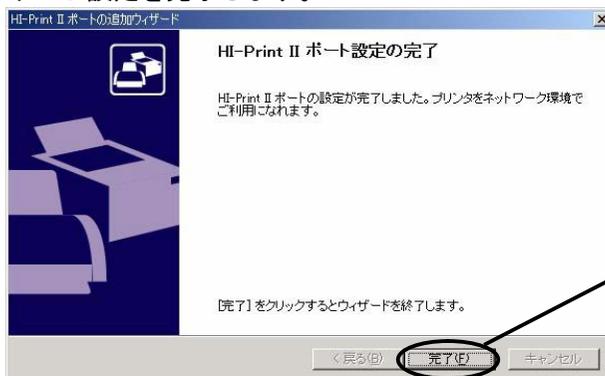
「完了」をクリックしてください。

5. 使用するプリンタを一覧の中から選択します。



「次へ」をクリックしてください。

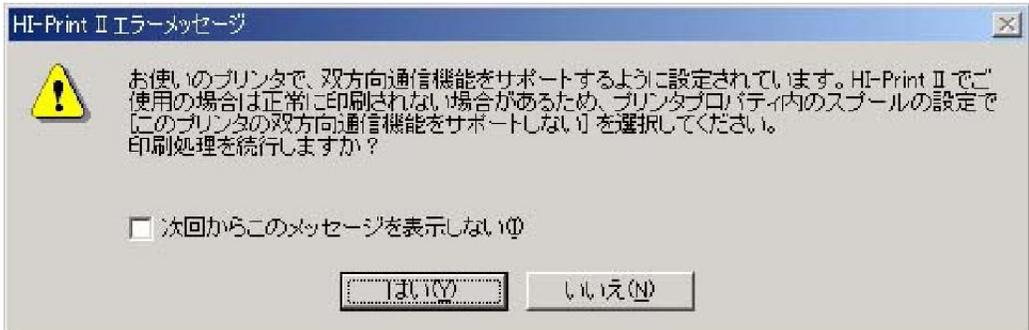
6. ポート設定を完了します。



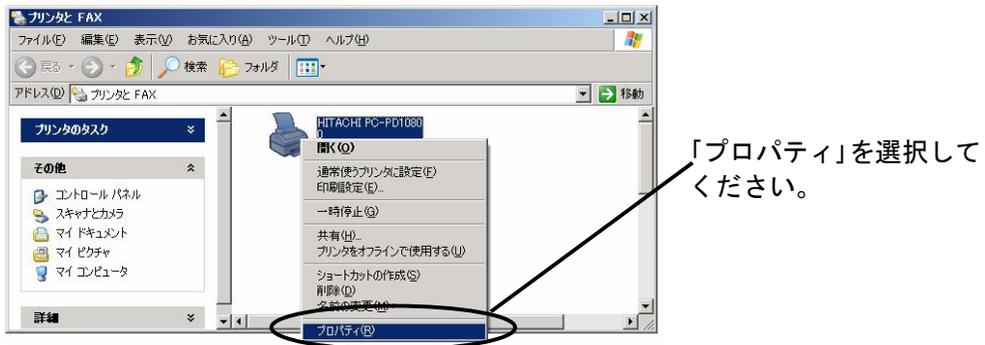
「完了」をクリックしてください。

プリンタドライバの設定

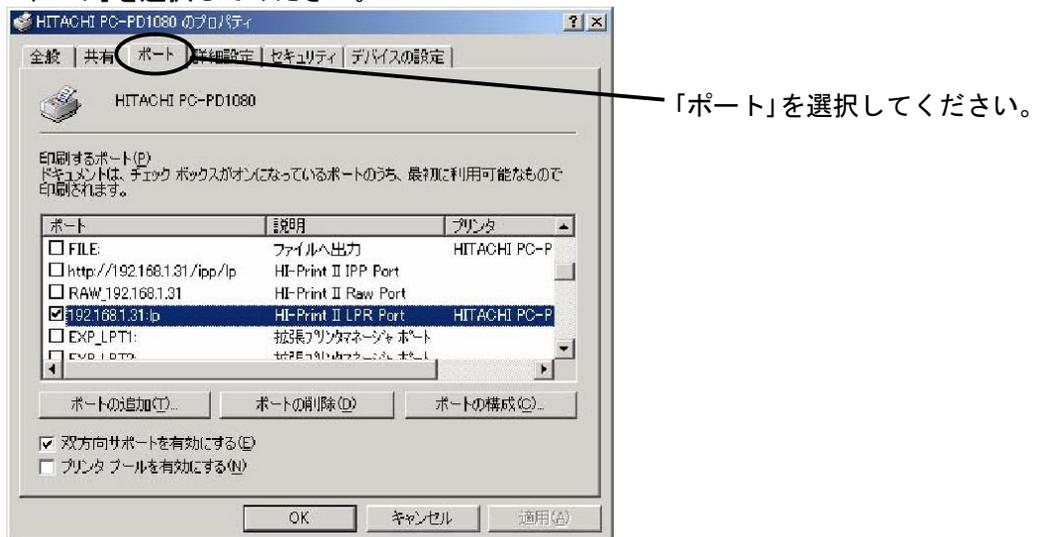
HI-Print II からの印刷で、プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合、次のエラー画面が表示されることがあります。「いいえ」を選択し、下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。



1. 「スタート」-「設定」-「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



2. 「ポート」を選択してください。



3. 双方向の設定をします。



「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。

4. 設定完了です。



「適用」をクリックしてください。

Windows NT 4.0/2000からNetBEUIで印刷する

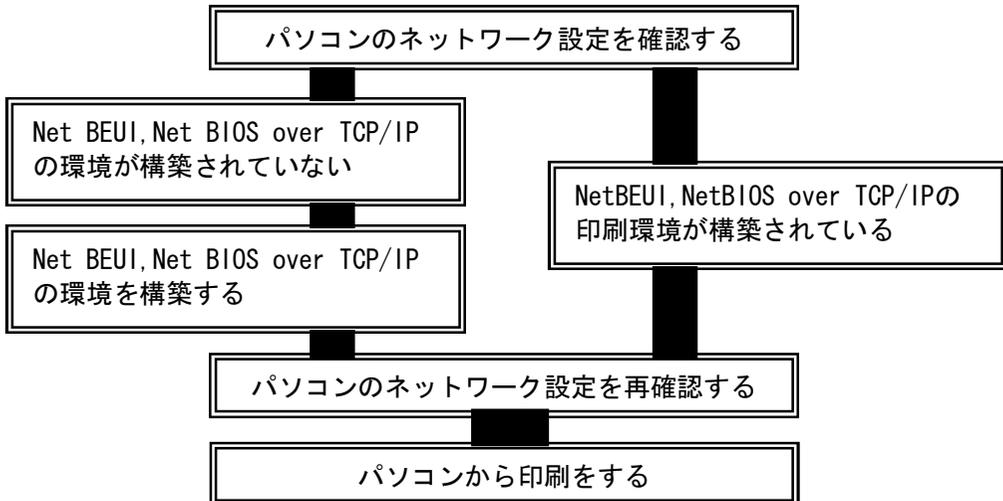
Windows NT 4.0から印刷する

本製品をNetBEUI、NetBIOS over TCP/IPプロトコルを利用してWindows NT4.0 から印刷する際の手順は以下の通りです。



参考

- ・あらかじめプリンタドライバをご使用のコンピュータにインストールしてください。
- ・NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP の詳細な設定を行う方法については「第7 章設定に関する機能」をご参照ください。



パソコンのネットワーク設定を確認する (NetBIOS over TCP/IPの場合)

Windows NT4.0の「ネットワーク」に、[TCP/IP]、「ワークステーション」と「NetBIOS インターフェイス」が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」を選択します。
2. 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「サービス」タブに、「ワークステーション」と「NetBIOSインターフェイス」が追加されていることを確認してください。



参考

・一覧に[ワークステーション] [NetBIOS インターフェイス] が無い場合は「追加」をクリックし、「ネットワークサービス」一覧から「ワークステーション」を選択してください。

4. 「プロトコル」タブに、「TCP/IP」が追加されていることを確認してください。



参考

・一覧に「TCP/IP」が無い場合は「追加」をクリックし、「ネットワークプロトコル」一覧から [TCP/IP] を選択してください。

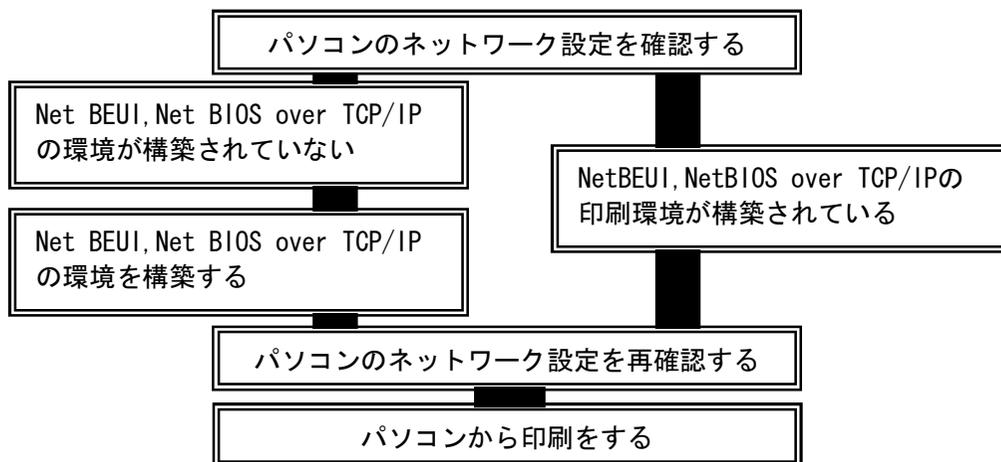
Windows 2000から印刷する

本製品をNetBEUI、NetBIOS over TCP/IPプロトコルを利用してWindows 2000から印刷する際の手順は以下の通りです。



参考

- ・あらかじめプリンタドライバをご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・NetBEUI、NetBIOS over TCP/IPの詳細な設定を行う方法については「第7章 設定に関する機能」をご参照ください。



パソコンのネットワーク設定の確認をする (NetBEUI の場合)

Windows2000の「ネットワーク」に、「NetBEUI」と「Microsoftネットワーク共有サービス」が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. 「Microsoft ネットワーク共有サービス」が追加されていることを確認してください。



参考

- ・一覧に「Microsoft ネットワーク共有サービス」が無い場合は「インストール」をクリックし、「クライアント」-「Microsoft ネットワーク共有サービス」を選択してください。

4. 「NetBEUI プロトコル」が追加されていることを確認してください。



参考

- ・一覧に「NetBEUIプロトコル」が無い場合は「インストール」をクリックし、「プロトコル」-「NetBEUI プロトコル」を選択してください。

パソコンのネットワーク設定を確認する (NetBIOS over TCP/IPの場合)

Windows2000 の「ネットワーク」に、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」と「Microsoft ネットワーク共有サービス」が追加されていること、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」にNetBIOS 設定が設定されていることを確認します。

1. 「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続」のプロパティを開きます。
3. 「Microsoft ネットワーク共有サービス」が追加されていることを確認してください。



参考

・一覧に [Microsoft ネットワーク共有サービス] が無い場合は「インストール」をクリックし、「クライアント」-「Microsoft ネットワーク共有サービス」を選択してください。

4. インターネットプロトコル (TCP/IP)]が追加されていることを確認してください。



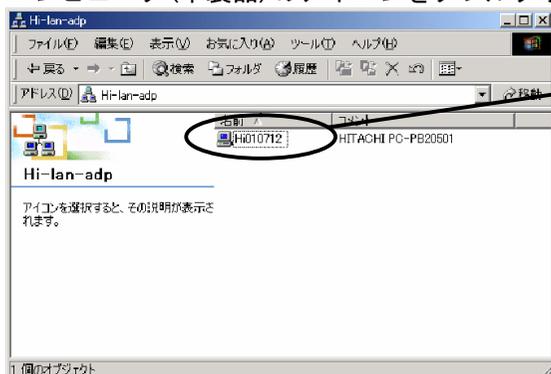
参考

・一覧に[インターネットプロトコル (TCP/IP)]が無い場合は「インストール」をクリックし、「プロトコル」-「インターネットプロトコル (TCP/IP) 」を選択してください。

5. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」-「プロパティ」-「詳細設定」-「WINS」タブを開き、「NetBIOS over TCP/IPを有効にする」が選択されていることを確認してください。

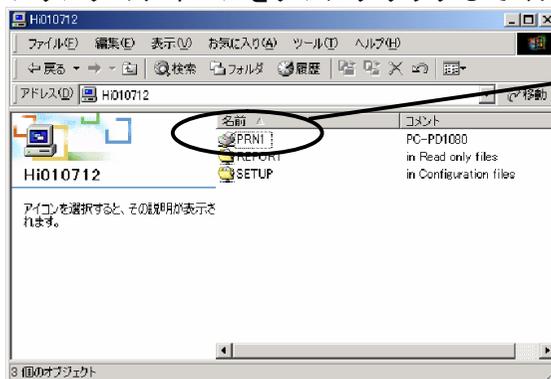
NetBEUI、NetBIOS over TCP/IP で印刷する

1. 「マイネットワーク」-「ネットワーク全体」-「Microsoft Windows Network」アイコンをダブルクリックし、ワークグループ名「Hi-lan-adp」を開きます。
2. コンピュータ（本製品）のアイコンをダブルクリックしてください。



コンピュータ（本製品）のアイコンをダブルクリックしてください。

3. プリンタのアイコンをダブルクリックしてください。



プリンタのアイコンをダブルクリックしてください。

4. プリンタ設定確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、プリンタの追加ウィザードが起動します。指示に従って設定を行ってください。プリンタのテストページが出力されれば、プリンタの追加は完了です。



「はい」をクリックしてください。

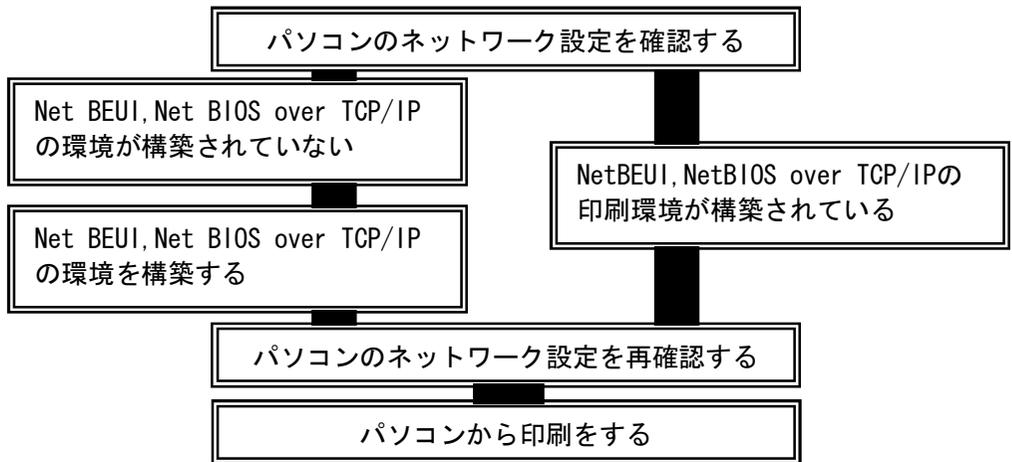
Windows Server 2003/XP/VistaからNetBUIEで印刷する

Windows Server 2003/XP/Vistaから印刷する

本製品をNetBIOS over TCP/IP プロトコルを利用してWindows Server 2003、Windows XP から印刷する際の手順は以下の通りです。



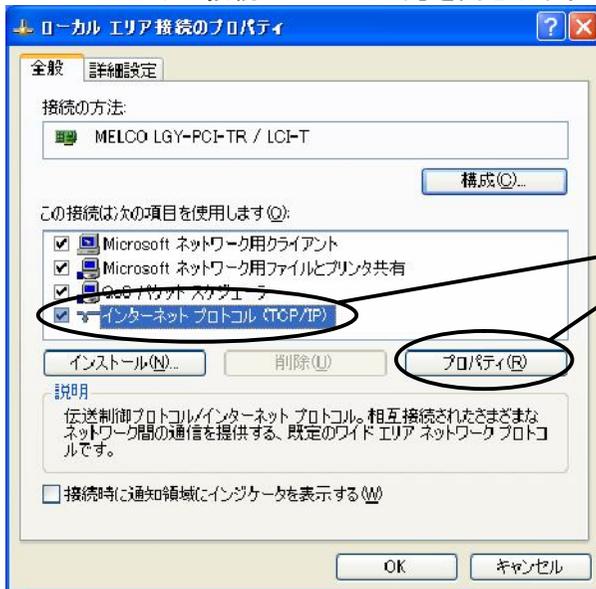
- ・プリンタドライバを予め、ご使用のパソコンにインストールしてください。
- ・NetBIOS over TCP/IP の詳細な設定を行う方法については「第7 章設定に関する機能」をご参照ください。



パソコンのネットワーク設定を確認する

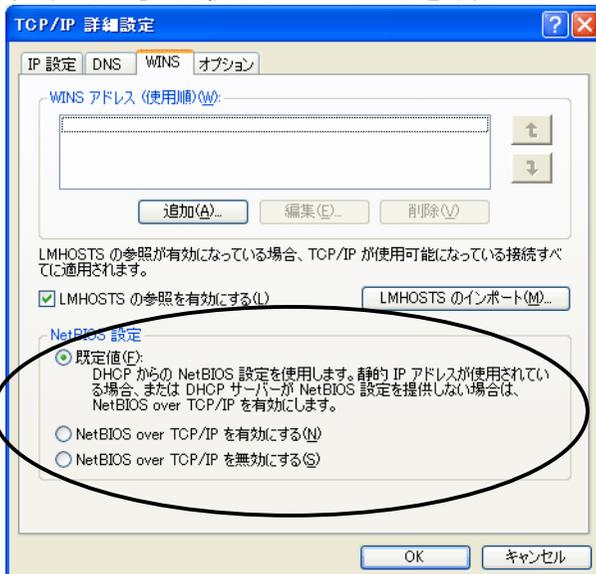
Windows Server 2003、Windows XP、Windows Vistaの「インターネットプロトコル(TCP/IP)」にNetBIOSの設定がされていること、「ネットワーク」に「Microsoft ネットワーク用クライアント」が追加されていることを確認します。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワーク接続」を選択します。
2. 「ローカルエリア接続のプロパティ」を開きます。



「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックしてください。

3. 「詳細設定」-「WINS」を開き、NetBIOS 設定が「既定値」あるいは「NetBIOS over TCP/IP を有効にする」が選択されていることを確認してください。

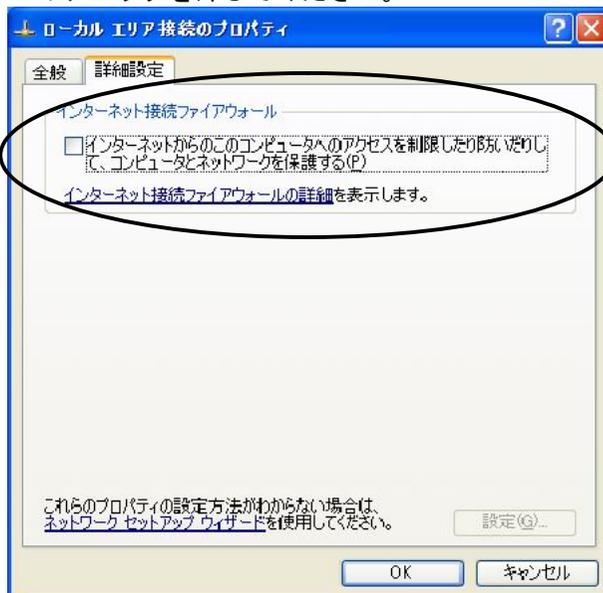


4. 同じく、「Microsoftネットワーク用クライアント」が追加されていることを確認してください。



注意

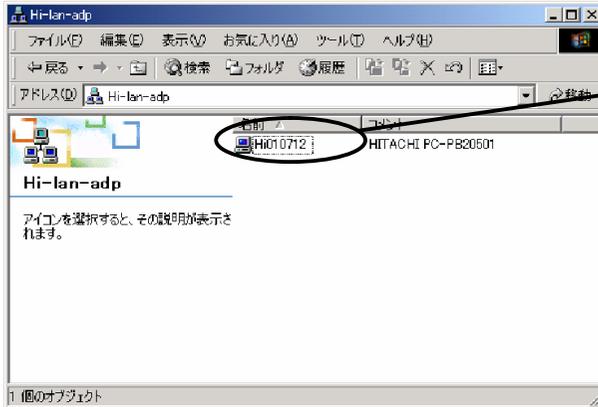
- Windows Server 2003、Windows XP、Windows Vista 環境でNetBIOS over TCP/IP プロトコルをご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」-「詳細設定」で「インターネットからのこのコンピュータへのアクセスを制限したり・・・」のチェックを外してください。



NetBIOS over TCP/IPで印刷する

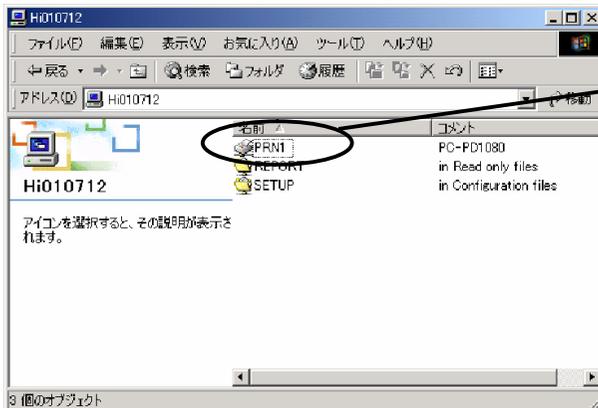
1. 「マイネットワーク」-「ワークグループのコンピュータを表示する」-「Microsoft Windows Network」をクリックし、ワークグループ名「Hi-lan-adp」を開きます。

2. コンピュータ（本製品）のアイコンをダブルクリックしてください。



コンピュータ（本製品）のアイコンをダブルクリックしてください。

3. プリンタのアイコンをダブルクリックしてください。



プリンタのアイコンをダブルクリックしてください。

4. プリンタ設定確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、プリンタの追加ウィザードが起動します。指示に従って設定を行ってください。プリンタのテストページが出力されれば、プリンタの追加は完了です。



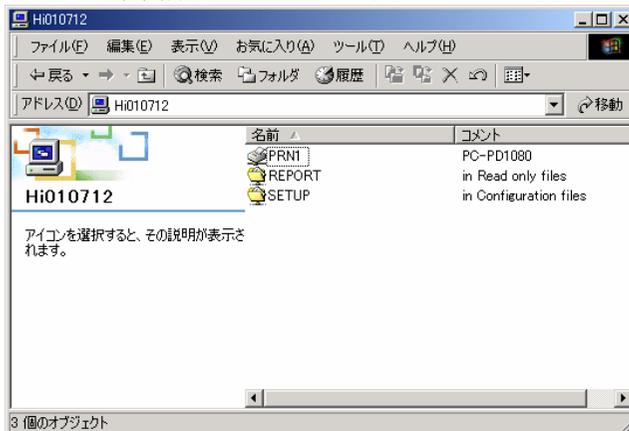
「はい」をクリックしてください。

NetBEUI、NetBIOS over TCP/IPについて

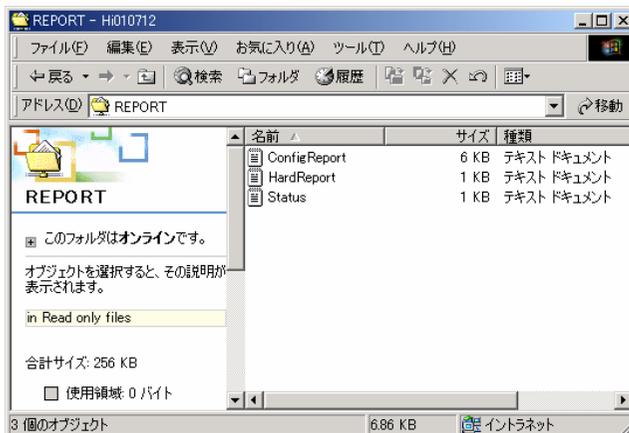
NetBEUI、NetBIOS over TCP/IPワークグループの構造

ここでは、本製品に搭載しているNetBEUI、NetBIOS over TCP/IPのワークグループの構造について説明します。

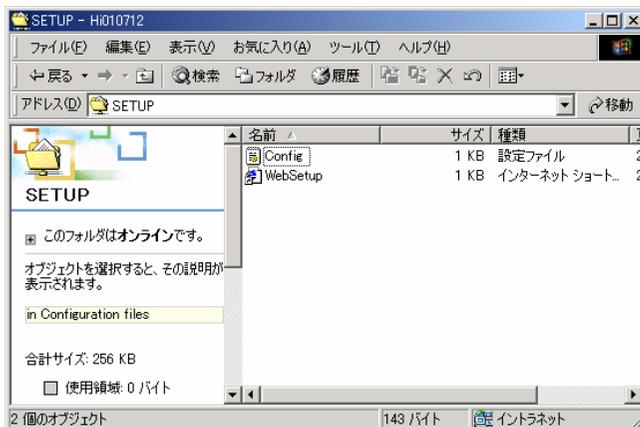
(例) 本製品のEthernet アドレス : 00:06:FB:01:07:12



¥¥Hi010712:コンピュータ (本製品)
¥¥Hi010712¥prn1:プリンタ



¥¥Hi010712¥report¥ConfigReport.txt:
設定レポート (読み取り専用)
¥¥Hi010712¥report¥HardReport.txt:
自己診断情報 (読み取り専用)
¥¥Hi010712¥report¥Status.txt:
システム状態レポート (読み取り専用)



¥¥Hi010712¥setup¥Config.ini:
初期設定ファイル (編集可能)
¥¥Hi010712¥setup¥WebSetup:
ショートカットファイル
(読み取り専用)

○設定レポート

本製品を起動した時の内部情報を出力します。

○システム状態レポート

本製品を起動した時の本製品の状態を出力します。

○初期設定ファイル

初期化ファイルでは「ワークグループ名」と「IP アドレス」を記述することができます。

- ・メモ帳等のエディタを使い編集後、ファイルを上書き保存することで設定します。
- ・上書き保存すると、本製品は約3 秒後、自動リセットされ、再起動します。
- ・初期化ファイルを編集し、ファイルを上書き保存することでワークグループ名、IPアドレスの変更が可能です。

(例)

```
Workgroup = UserGroup  
IP Address = 192.168.1.31
```

ワークグループ名は、ネットワーク全体の中に既に存在するワークグループ名を指定してください。DHCP/BOOTP、RARP サーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てする場合は、「IP address」に設定しても無効となります。

○ショートカットファイル

本製品にIP アドレスが設定されるとショートカット (WebSetup) が作成されます。ショートカットアイコンをダブルクリックするとWebブラウザが起動し、本製品のWebページを表示します。



参考

・Web ブラウザについては「第7章 設定に関する機能」をご参照ください。

OS標準の印刷クライアント機能で印刷する

PR-Port Monitorを使わず、OS標準印刷のクライアント印刷機能を利用して印刷する方法を説明します。

Windows NT4.0のLPRポートで印刷する



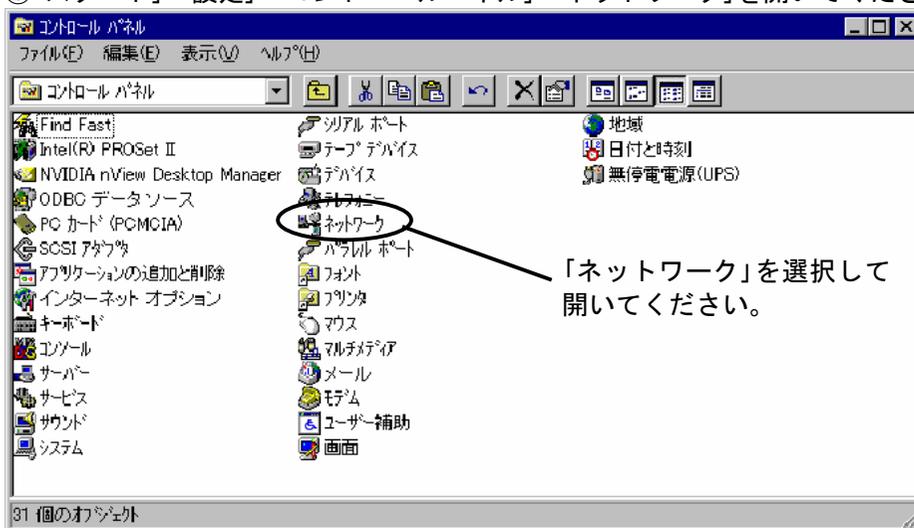
注意

・LPR Portから複数JOBを連続印刷した場合、途中のJOBが印刷終了してから暫くの間、印刷が停止(最大約4分)してから再開することがあります。また、プリンタエラー状態で放置した場合、リトライ印刷が当該JOBの先頭ページから始まる為、重複印刷をすることがあります。このような場合は、HI-Print IIを使用してください。

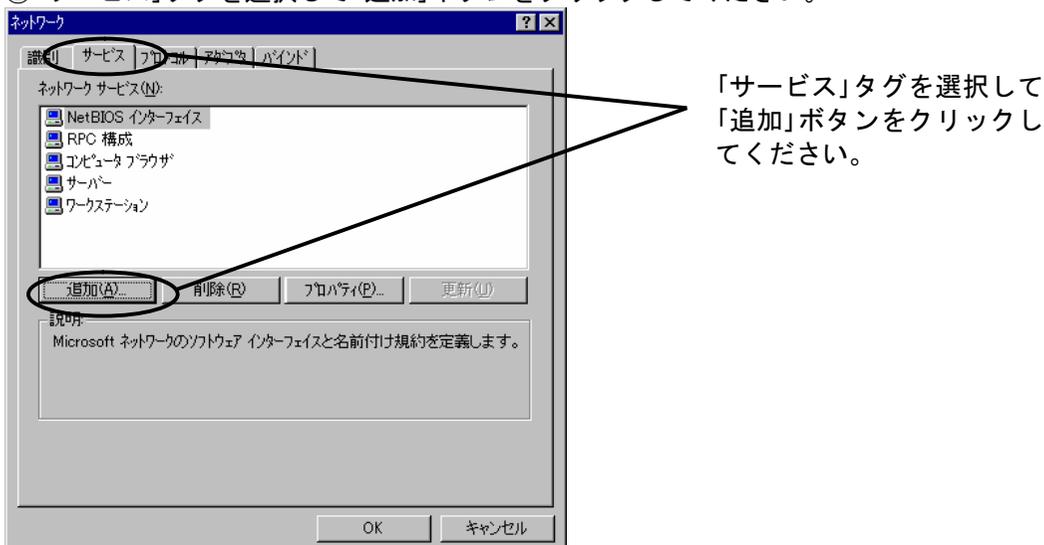
1. LPR Portの追加

Windows NT4.0のLPR印刷機能を使用して印刷する場合、LPR Portを追加する必要があります。

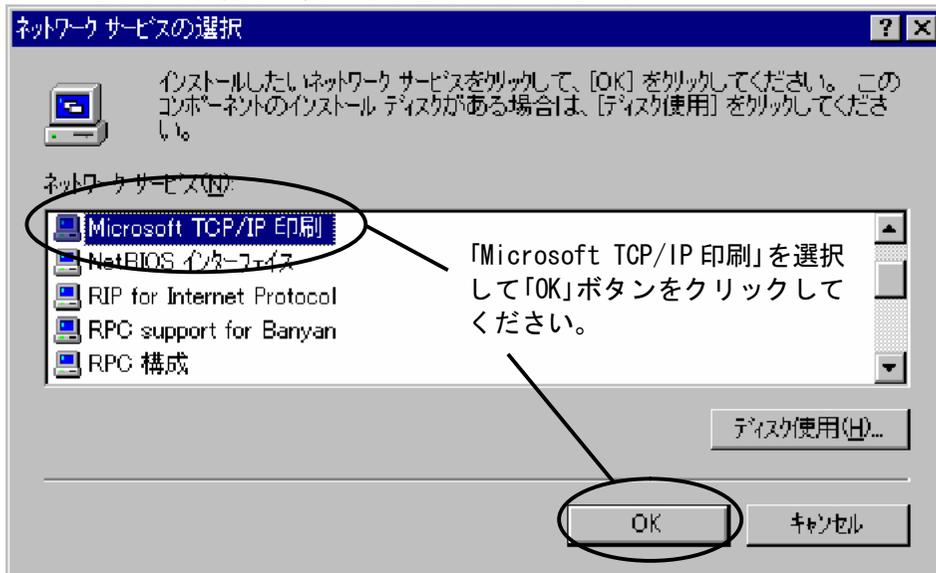
①「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワーク」を開いてください。



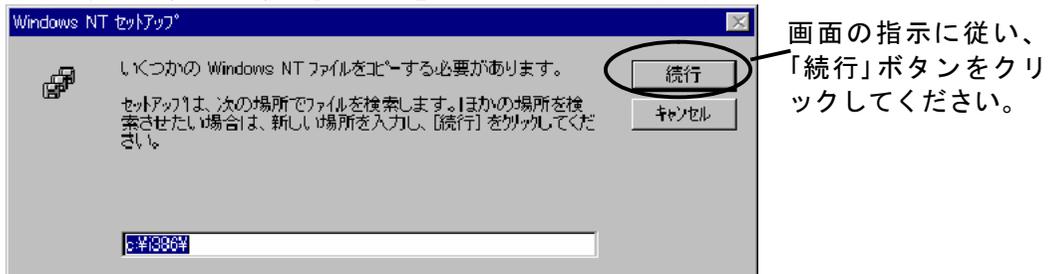
②「サービス」タブを選択して「追加」ボタンをクリックしてください。



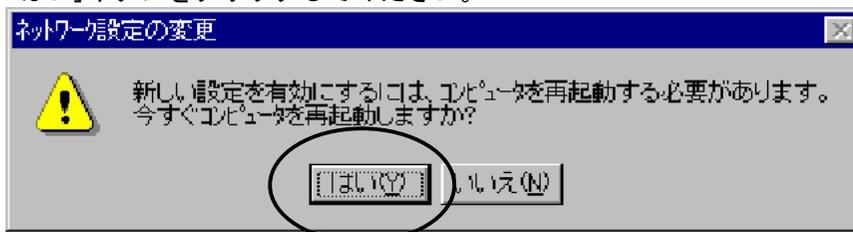
- ④「Microsoft TCP/IP印刷」を選択して「OK」ボタンをクリックすると、コンポーネントがインストールされます。指示に従って再起動してください。



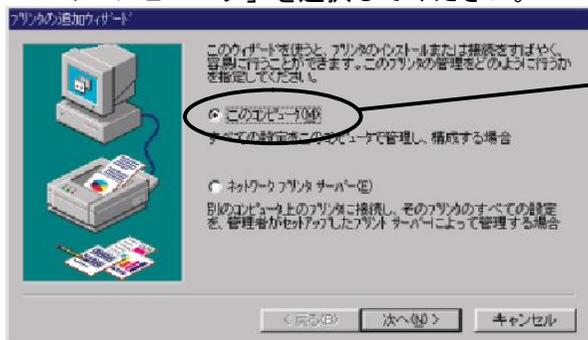
- ⑤画面の指示に従い、「続行」ボタンをクリックしてください。



- ⑥設定を有効にするために、システムの再起動が必要になります。すぐに再起動をする場合は「はい」ボタンをクリックしてください。



2. 「スタート」-「設定」-「プリンタ」を開き、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。
3. 「このコンピュータ」を選択してください。



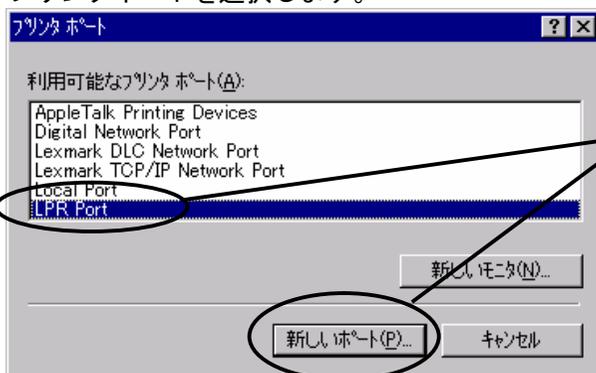
「このコンピュータ」を選択してください。

4. 印刷ポートを追加します。



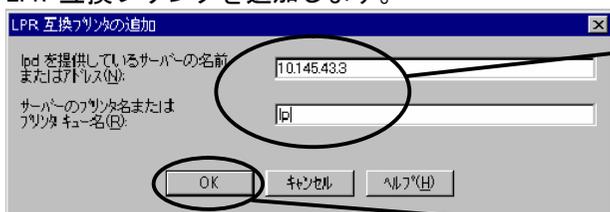
「ポートの追加」をクリックします。

5. プリンタポートを選択します。



「LPR Port」を選択し、「新しいポート」をクリックしてください。

6. LPR 互換プリンタを追加します。



本製品に設定したIPアドレスとプリント名または印刷キュー（本例の場合は「lp」）を入力してください。

「OK」をクリックしてください。

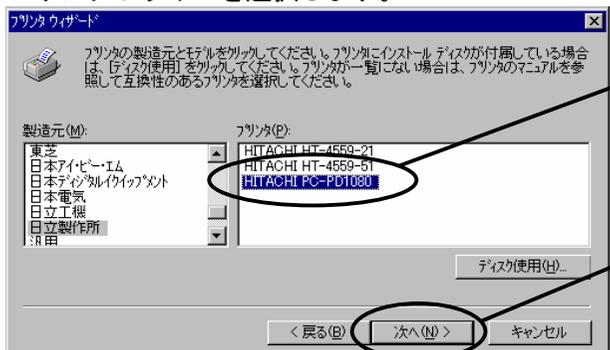
7. 印刷ポートを確認します。



作成したポートにチェックが入っていることを確認してください。

「次へ」をクリックしてください。

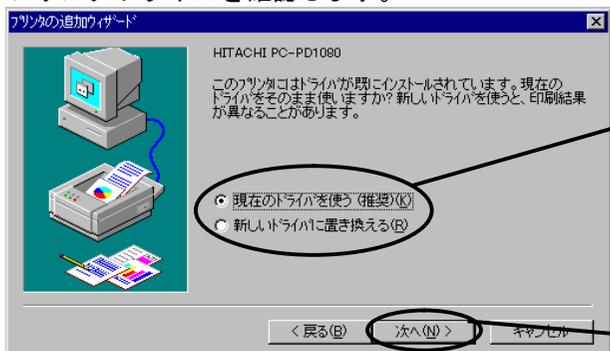
8. プリンタドライバを選択します。



使用するプリンタドライバを選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

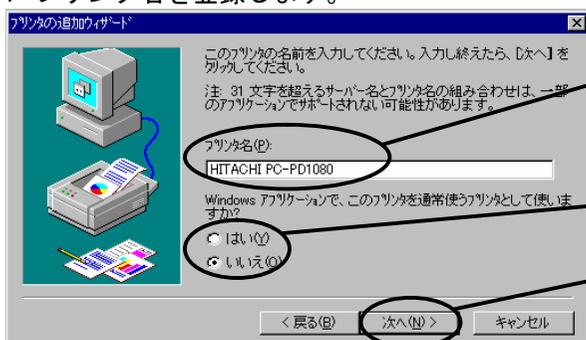
9. プリンタドライバを確認します。



「現在のドライバを使う」か「新しいドライバに置き換える」が選択してください。なお、最新ドライバを別途インストールした場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

10. プリンタ名を登録します。



プリンタ名を指定しない場合は既定のプリンタ名をご利用ください。

このプリンタを通常使うプリンタとするか選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

11. プリンタを共有するかを選択します。



プリンタを「共有する」、「共有しない」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。



参考

・同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタを使用する場合は「共有する」を選択してください。

12. テストページの印刷を選択します。



「はい」を選択してください。

「完了」をクリックしてください。

13. プリンタのテストページが正常に印刷されれば、設定完了です。

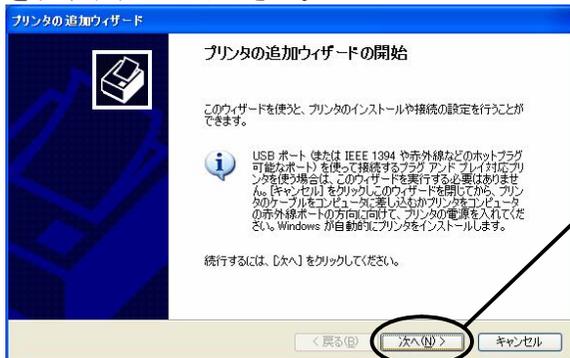
Windows Server 2003/XP/7/8/2008/2012のStandard TCP/IPポートで印刷する



注意

- ・各印刷ポートの制限事項については、「第7章 困ったときには」を参照してください。
- ・以下の説明は、Windows XPの画面で行っております。OSによっては画面が異なります。
- ・Standard TCP/IPのLPRモードで印刷を行う場合は、LPRバイトカウントを有効にしてください。LPRバイトカウントが有効でないと、印刷をしない、印刷が途中で終了する等、異常終了する場合があります。本製品をご使用の際は、HI-Print IIで作成した印刷ポートをご使用いただくことを推奨します。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとFAX」を開き、「プリンタのインストール」をクリックしてください。



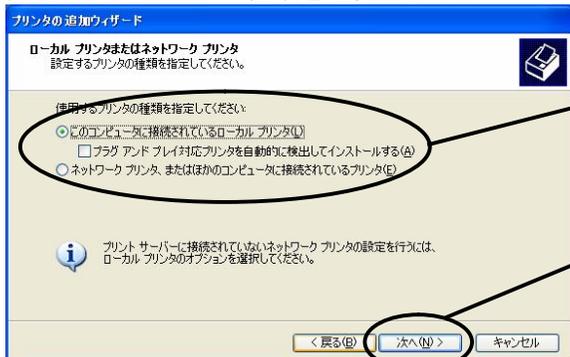
「次へ」をクリックしてください。



参考

- ・Windows 2000をご利用の場合は、「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「プリンタ」を開き、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。

2. 設定するプリンタの種類を選択します。



「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイ対応プリンタを…」のチェックを外してください。

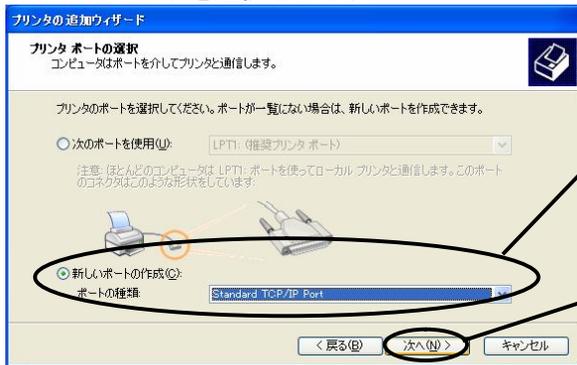
「次へ」をクリックしてください。



参考

- ・Windows 2000をご利用の場合は、「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイ対応プリンタを…」のチェックを外してください。

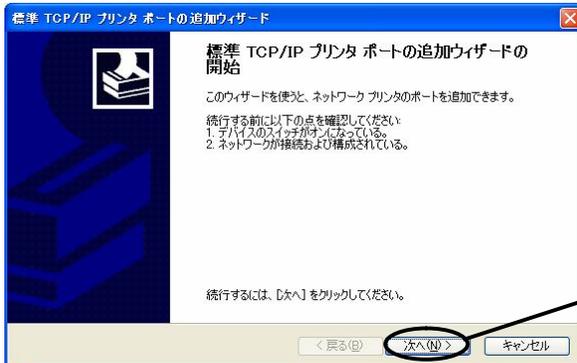
3. プリンタポートを選択します。



「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「Standard TCP/IP Port」を選択します。

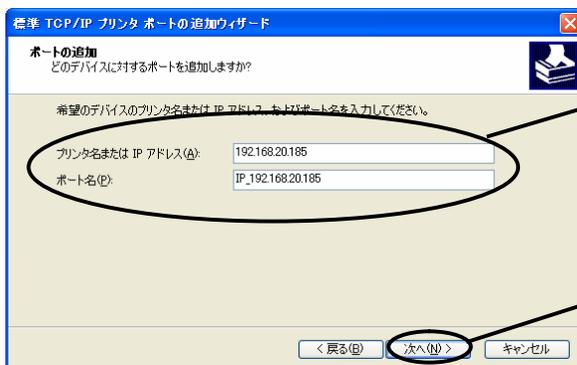
「次へ」をクリックしてください。

4. 標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザードが開始します。



「次へ」をクリックしてください。

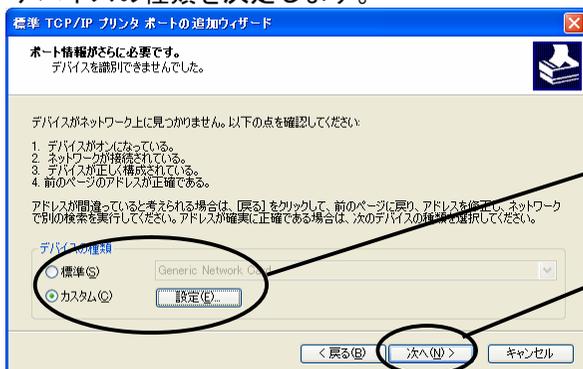
5. プリンタポートを追加します。



IPアドレスとポート名を設定します。本製品に設定したIPアドレスを入力してください。ポート名に名前を付けない場合は、既定値(IP_XXX.XXX.XXX.XXX)をご使用ください。

「次へ」をクリックしてください。

6. デバイスの種類を決定します。



「カスタム」にチェックを入れ、「設定」をクリックしてください。

「次へ」をクリックしてください。

7. ポート情報を入力します。

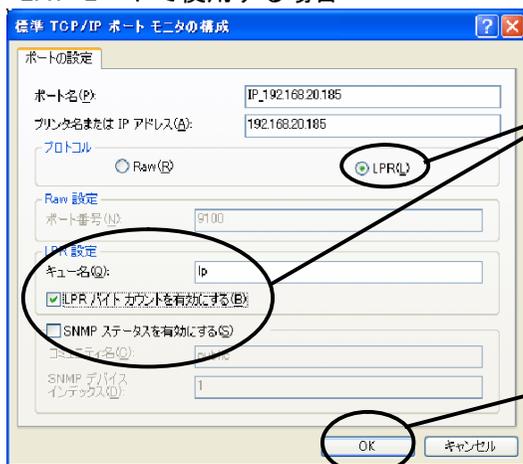
(A) Raw モードで使用する場合



「Raw」にチェックを入れてください。
「9100」を入力してください。

「OK」をクリックしてください。
「OK」をクリックすると「6.」の画面に戻ります。「次へ」をクリックしてください。

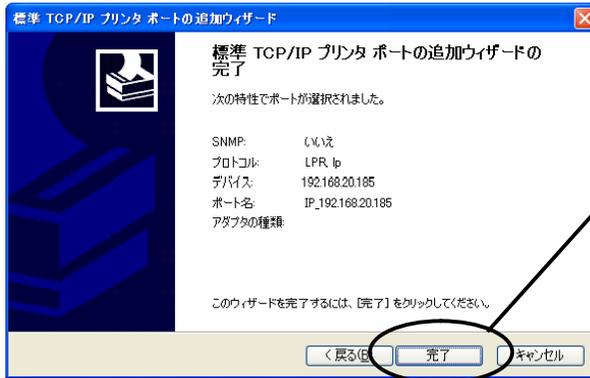
(B) LPR モードで使用する場合



キュー名は「lp」を入力し、「LPRバイトカウントを有効にする」にチェックを入れてください。
また、「SNMPステータスを有効にする」のチェックを外してください。

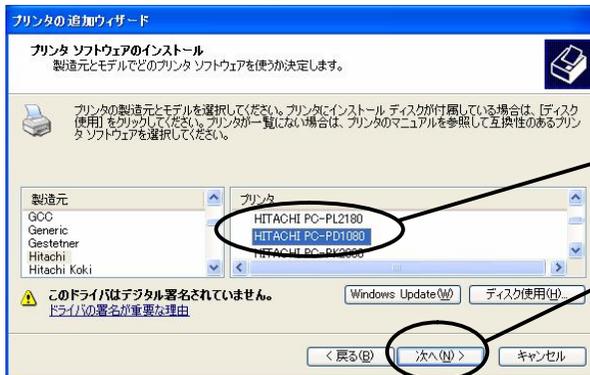
「OK」をクリックしてください。
「OK」をクリックすると「6.」の画面に戻ります。「次へ」をクリックしてください。

8. 設定内容を確認します。



「完了」をクリックしてください。

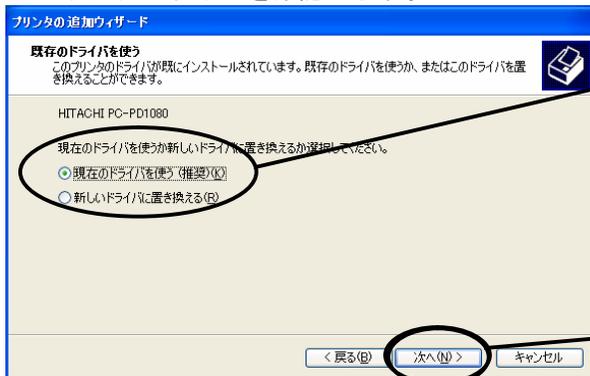
9. プリンタドライバを選択します。



ご使用になるプリンタの
ドライバを選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

10. プリンタドライバを確認します。



「現在のドライバを使う」か「新しい
ドライバに置き換える」か選択して
ください。

最新ドライバを別途インストール
された場合は、「新しいドライバに
置き換える」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

1 1. プリンタ名を登録します。

The screenshot shows the 'Printer Name' step of the 'Printer Installation Wizard'. The title bar reads 'プリンタの追加ウィザード'. The main heading is 'プリンタ名' with the instruction 'このプリンタに名前を割り当ててください。'. Below this, a text box explains: 'このプリンタの名前を入力してください。一部のプログラムでは、32 文字以上になるプリンタ名とサーバー名の組み合わせがサポートされていないため、名前はある程度短くしてください。'. A text input field contains 'HITACHI PC-PD1080'. Below the input field, a question asks 'このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか?'. Two radio buttons are present: 'はい (Y)' (selected) and 'いいえ (N)'. At the bottom, there are three buttons: '< 戻る (B)', '次へ (N) >', and 'キャンセル'.

プリンタ名の登録を行います。

このプリンタを通常使うプリンタとするか選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

1 2. プリンタの共有を選択します。

The screenshot shows the 'Printer Sharing' step of the 'Printer Installation Wizard'. The title bar reads 'プリンタの追加ウィザード'. The main heading is 'プリンタ共有' with the instruction 'このプリンタをほかのネットワーク ユーザーと共有できます。'. Below this, a text box explains: 'このプリンタを共有するには、共有名を作成する必要があります。推奨されている名前を使用するか、または新しい名前を入力することもできます。共有名はほかのネットワーク ユーザーによって参照されます。'. Two radio buttons are present: 'このプリンタを共有しない (N)' (selected) and '共有名 (S)'. A text input field is empty. At the bottom, there are three buttons: '< 戻る (B)', '次へ (N) >', and 'キャンセル'.

プリンタの共有を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。



参考

・ 同じネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタをご使用になる場合は「共有する」を選択してください。

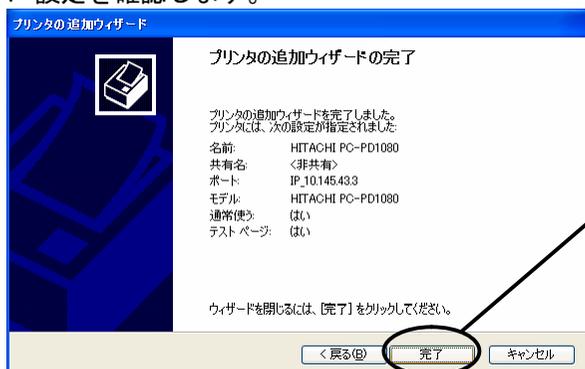
1 3. テストページの印刷を選択します。

The screenshot shows the 'Test Page Printing' step of the 'Printer Installation Wizard'. The title bar reads 'プリンタの追加ウィザード'. The main heading is 'テストページの印刷' with the instruction 'テスト ページを印刷すると、プリンタが正しくインストールされたかどうかを確認することができます。'. Below this, a question asks 'テスト ページを印刷しますか?'. Two radio buttons are present: 'はい (Y)' (selected) and 'いいえ (N)'. At the bottom, there are three buttons: '< 戻る (B)', '次へ (N) >', and 'キャンセル'.

「はい」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

14. 設定を確認します。



「完了」をクリックしてください。

15. プリンタのテストページが正常に出力されれば、設定完了です。

プリンタドライバの設定

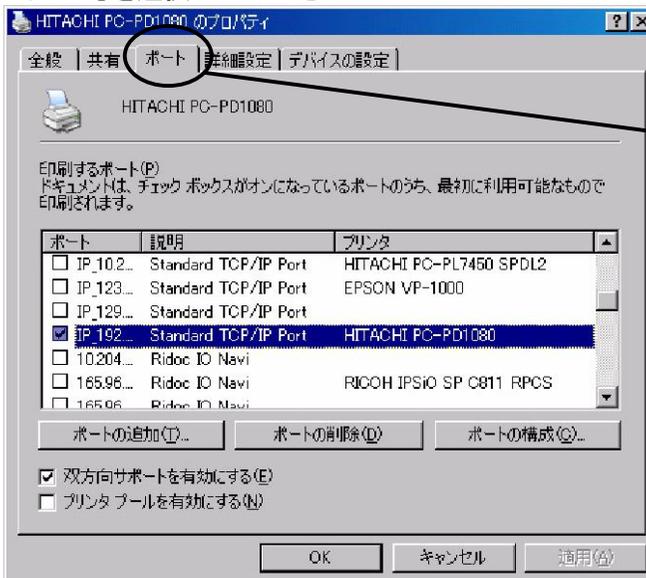
プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合があります。下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。

1. 「スタート」-「設定」-「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



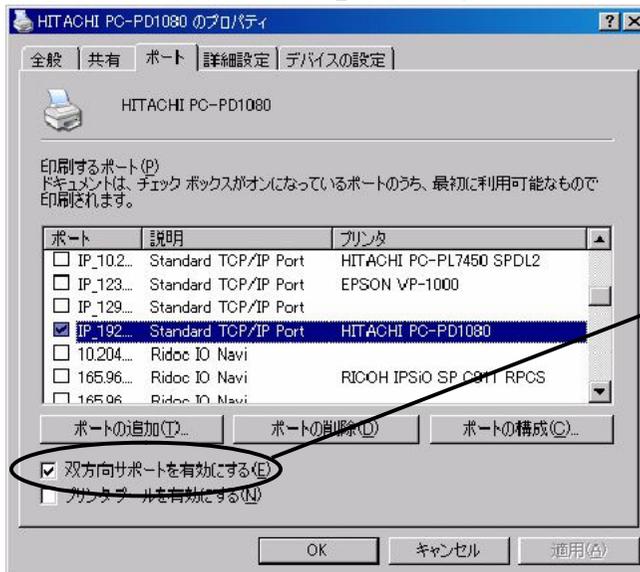
「プロパティ」をクリックして開いてください。

2. 「ポート」を選択してください



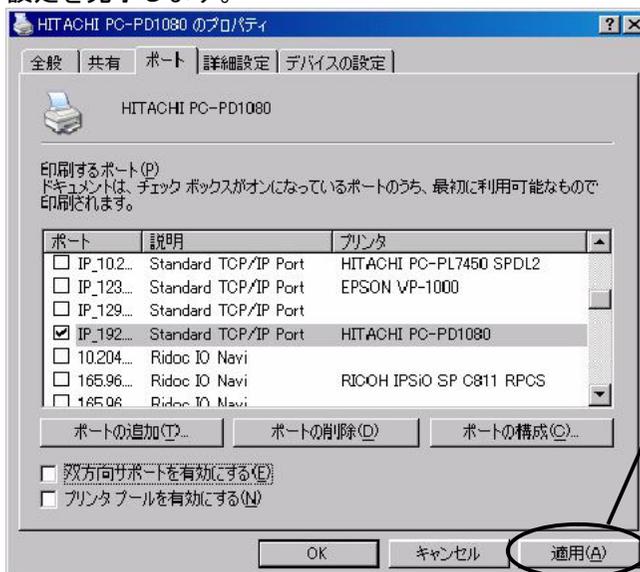
「ポート」をクリックしてください。

3. 双方向サポートのチェックを外します。



「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。

4. 設定を完了します。



「適用」をクリックしてください。

Windows 2000/Server 2003/XP/のLPRポートで印刷する

LPR Portの追加

Windows 2000/Server 2003/XPでLPR印刷機能を使用して印刷する場合はLPR Portを追加する必要があります。

「スタート」-「コントロールパネル」-「プログラムの追加と削除」(Windows 2000の場合は「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「アプリケーションの追加と削除」)を開き、「Windows コンポーネントの追加と削除」をクリックします。



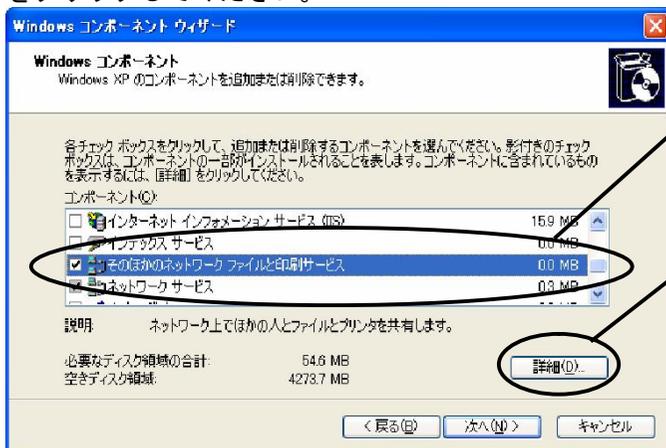
注意

- ・ LPR Port から複数JOB を連続印刷した場合、途中のJOB が印刷終了してから暫くの間印刷が停止(最大約4分)してから、印刷を再開することがあります。また、プリンタエラー状態で放置した場合、リトライ印刷が当該JOBの先頭ページから始まる為、重複印刷することがあります。このような場合は、HI-Print IIの印刷ポートを使用してください。

1. 「プログラムの追加と削除」-「Windowsコンポーネントの追加と削除」を選択してください。



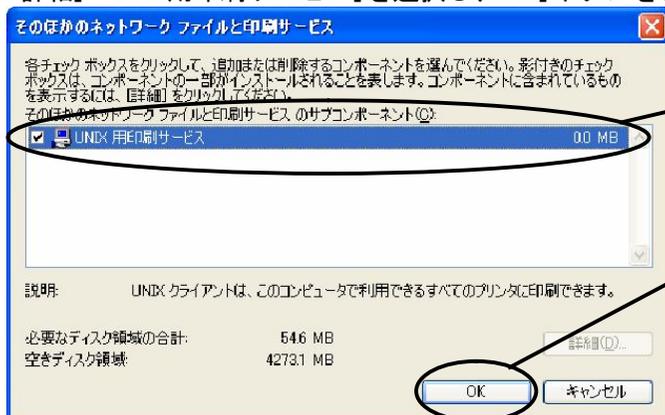
2. 「コンポーネント」-「その他のネットワークファイルと印刷サービス」を選択し、「詳細」をクリックしてください。



「その他のネットワークファイルと印刷サービス」を選択してください。

「詳細」をクリックしてください。

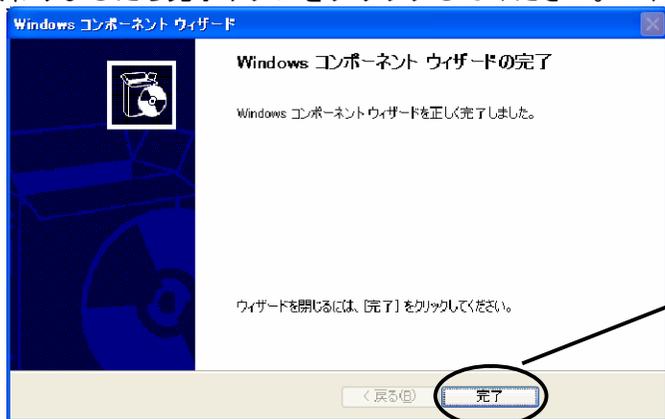
3. 「詳細」-「UNIX用印刷サービス」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



「UNIX用印刷サービス」にチェックを入れてください。

「OK」をクリックしてください。

次に「Windows コンポーネントウィザード」を表示し、コンポーネントの追加を行います。終わりましたら完了ボタンをクリックしてください。これでLPR Portの追加は完了です。



「完了」をクリックしてください。

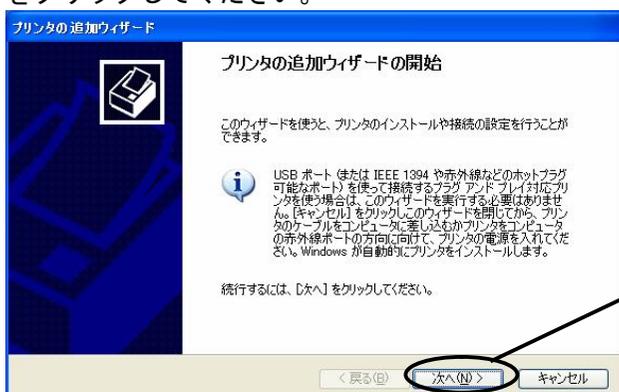


本説明はWindows XP の画面で行っております。

注意 Windows 2000やWindows Server 2003をご利用の場合、画面が異なります。

プリンタの追加

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとFAX」を開き、「プリンタのインストール」をクリックしてください。



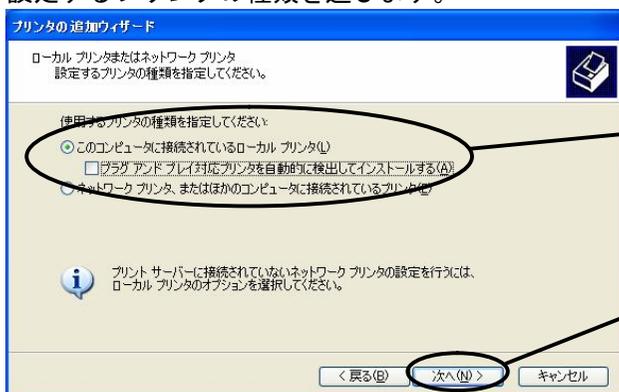
「次へ」をクリックしてください。



参考

- ・ Windows 2000をご利用の場合は、「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「プリンタ」を開き、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。

2. 設定するプリンタの種類を選びます。



「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイ対応プリンタを…」のチェックを外してください。

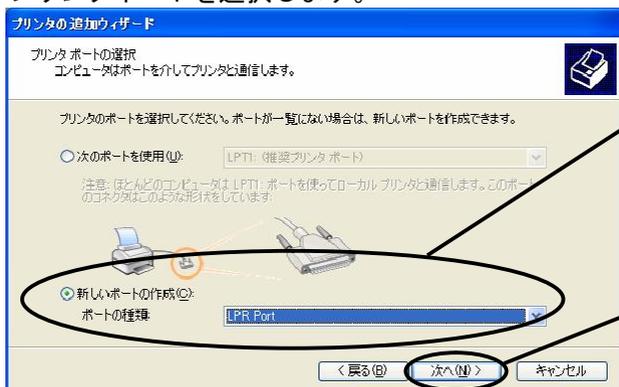
「次へ」をクリックしてください。



参考

- ・ Windows 2000をご利用の場合は、「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイ対応プリンタを…」のチェックを外してください。

3. プリンタポートを選択します。

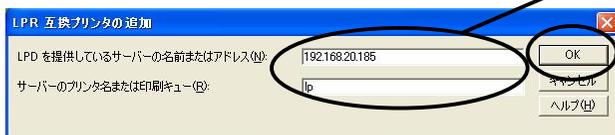


「新しいポートの作成」にチェックを入れ、種類は「LPR Port」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

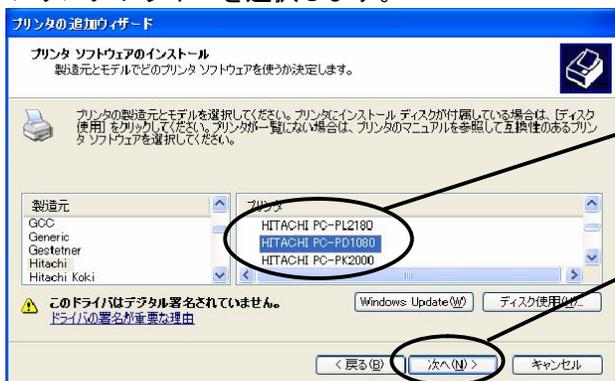
4. LPR 互換プリンタを追加します。

本製品に設定したIPアドレスと「lp」を入力してください。



「OK」をクリックしてください。

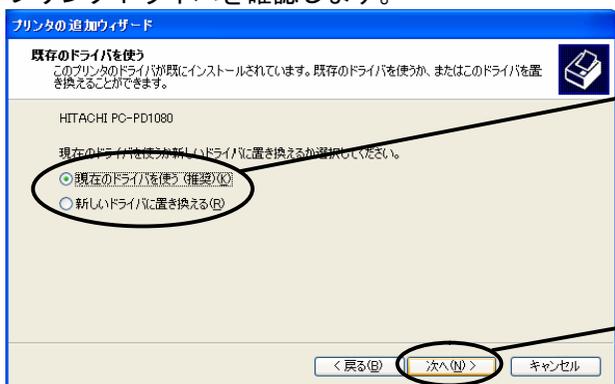
5. プリンタドライバを選択します。



プリンタドライバを選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

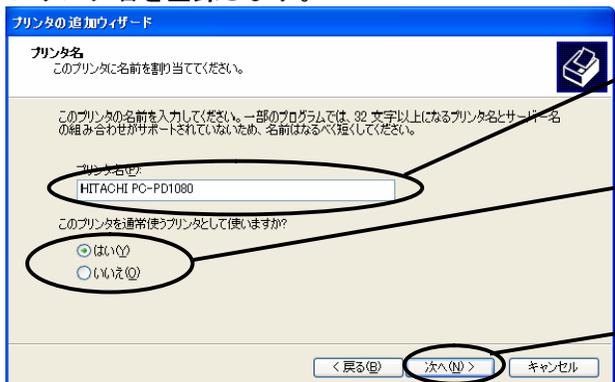
6. プリンタドライバを確認します。



「現在のドライバを使う」か、「新しいドライバに置き換える」が選択してください。
 なお、最新ドライバを別途インストールされた場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

7. プリンタ名を登録します。

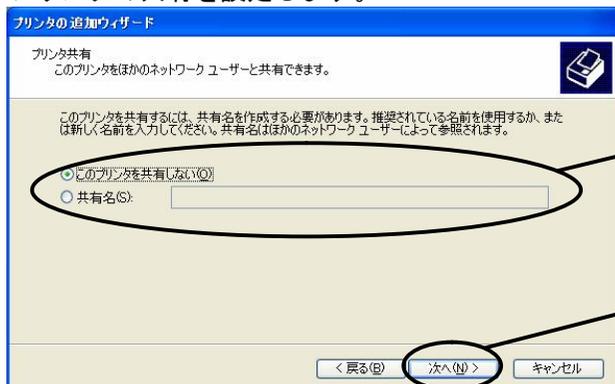


プリンタ名を入力してください。

このプリンタを通常使用するプリンタにする場合は、「はい」をクリックしてください。

「次へ」をクリックしてください。

8. プリンタの共有を設定します。



プリンタの共有の設定を選択してください。

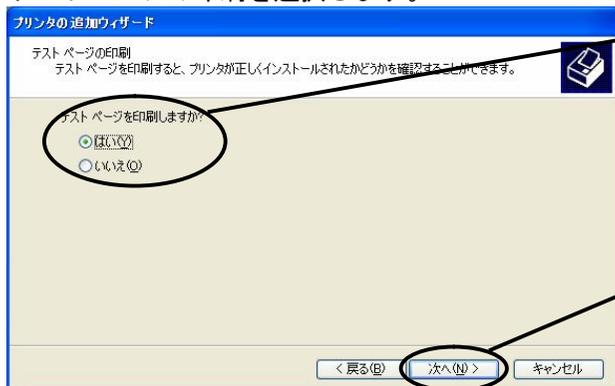
「次へ」をクリックしてください。



・同一ネットワーク内にある他のコンピュータからもこのプリンタへ印刷を行う場合は、本設定を「共有する」にしてください。

参考

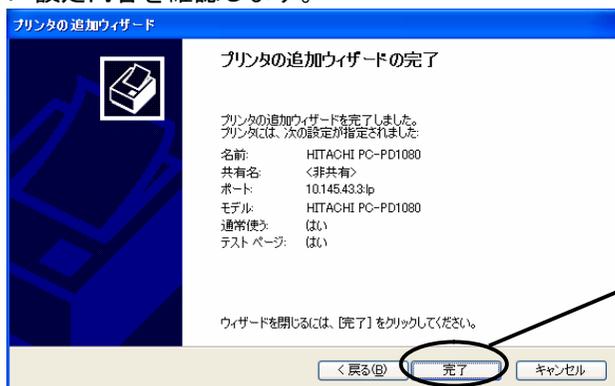
9. テストページの印刷を選択します。



「はい」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

10. 設定内容を確認します。



「完了」をクリックしてください。

11. プリンタのテストページが正常に印刷されれば、設定完了です。

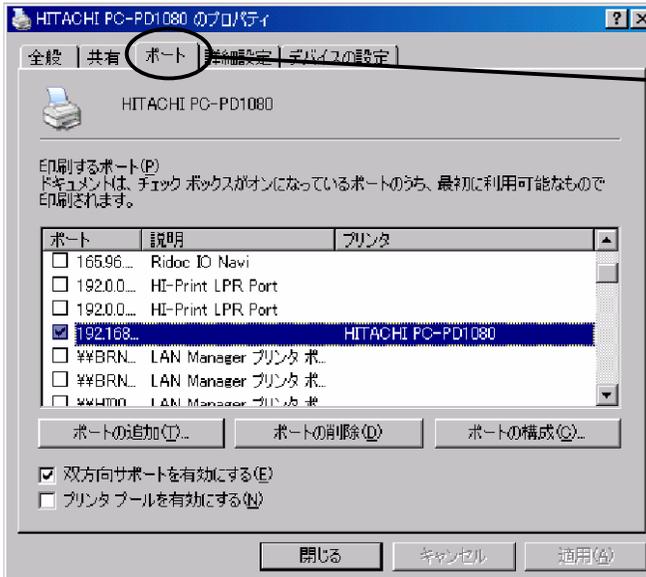
プリンタドライバの設定

プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合があります。下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。

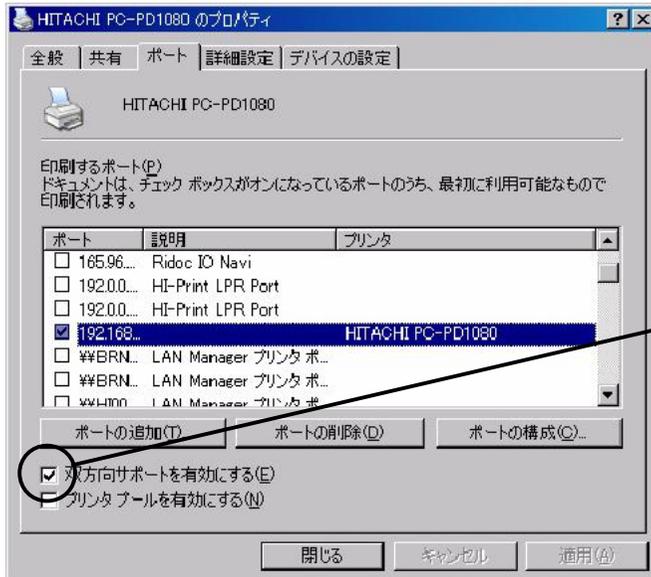
1. 「スタート」-「設定」-「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



2. 「ポート」を選択してください。

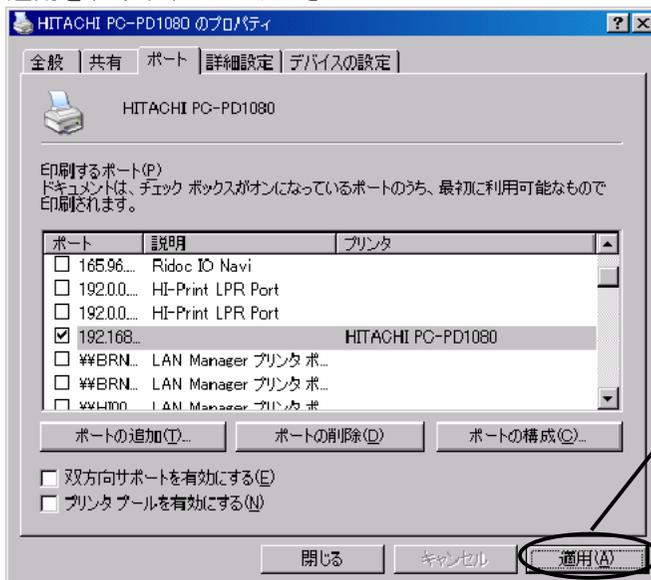


3. 双方向の設定をします。「双方向サポートを有効にする」のチェックを外してください。



「双方向サポートを有効にする」のチェックを外してください。

4. 適用をクリックしてください



「適用」をクリックしてください。

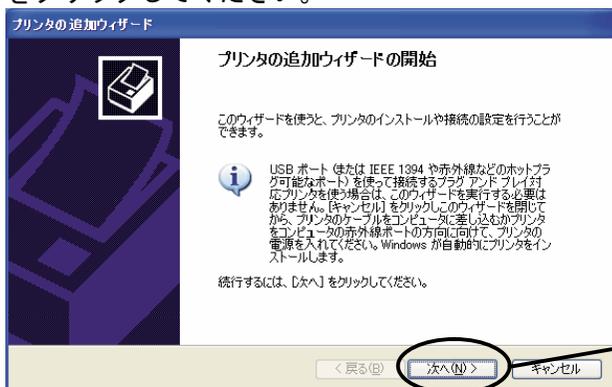
5. 設定完了です。「閉じる」をクリックしてください。

Windows 2000/Server 2003/XP/のIPPポートで印刷する



- ・本説明は、Windows XPの画面で行っております。OSによっては画面が異なります。注意
- ・セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用するには、セキュア通信で必要になるSSL証明書情報を、予め本製品に設定する必要があります。設定方法については、「付録 セキュア通信印刷機能について」を参照してください。
- ・セキュア (SSL) 通信印刷機能は、印刷データを暗号化するためデータ量が増えます。そのためデータ転送時間がかかり、通常印刷と比較して印刷性能が低下します。

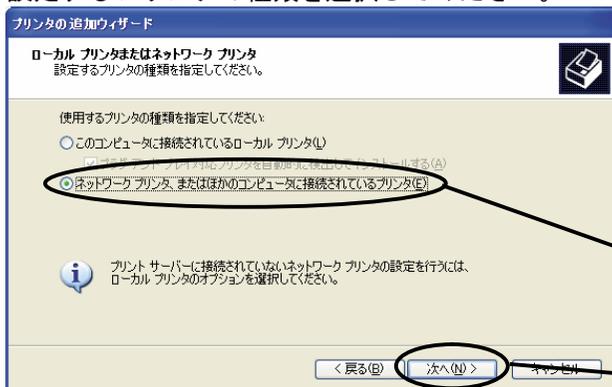
1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとFAX」を開き、「プリンタのインストール」をクリックしてください。



- ・Windows 2000をご利用の場合は、「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「プリンタ」を開き、「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックしてください。

「次へ」をクリックしてください。

2. 設定するプリンタの種類を選択してください。

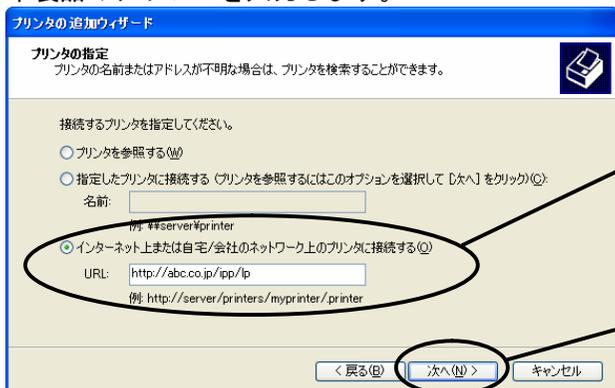


- ・Windows 2000をご利用の場合は、「ネットワーク プリンタ」を選択してください。

「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

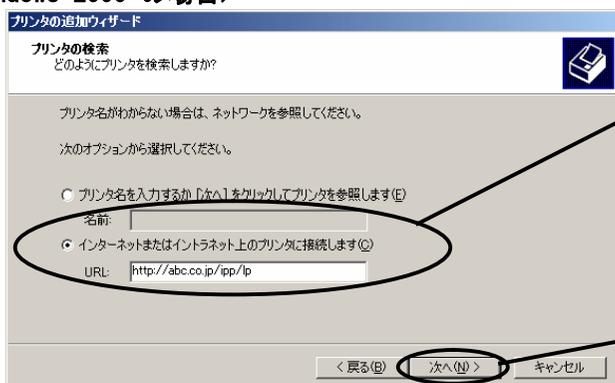
3. 本製品のアドレスを入力します。



「インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する」を選択し、本製品のURLまたはIPアドレスを入力してください。

「次へ」をクリックしてください。

<Windows 2000 の場合>



「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します」を選択し、本製品のURLまたはIPアドレスを入力してください。

「次へ」をクリックしてください。



参考

例) URL が「abc.co.jp」でセキュア通信 (SSL) 印刷機能を使わない場合

http://abc.co.jp/ipp または http://abc.co.jp/ipp/lp

例) URL が「abc.co.jp」でセキュア通信 (SSL) 印刷機能を使う場合

https://abc.co.jp/ipp または https://abc.co.jp/ipp/lp

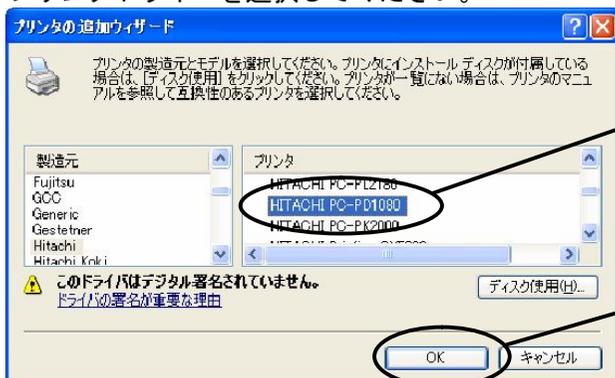
例) IP アドレスが「10.145.43.2」でセキュア通信 (SSL) 印刷機能を使わない場合

http://10.145.43.2/ipp または http://10.145.43.2/ipp/lp

例) IP アドレスが「10.145.43.2」でセキュア通信 (SSL) 印刷機能を使う場合

https://10.145.43.2/ipp または https://10.145.43.2/ipp/lp

4. プリンタドライバを選択してください。



ご使用になるプリンタドライバを選択してください。

「OK」をクリックしてください。

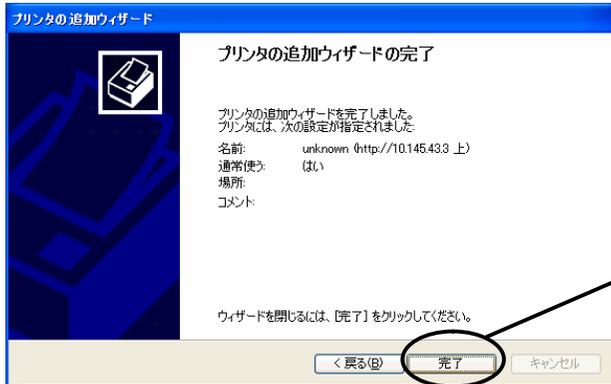
5. 通常使うプリンタとするか選択します。



通常使うプリンタとするか選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

6. 設定完了です。

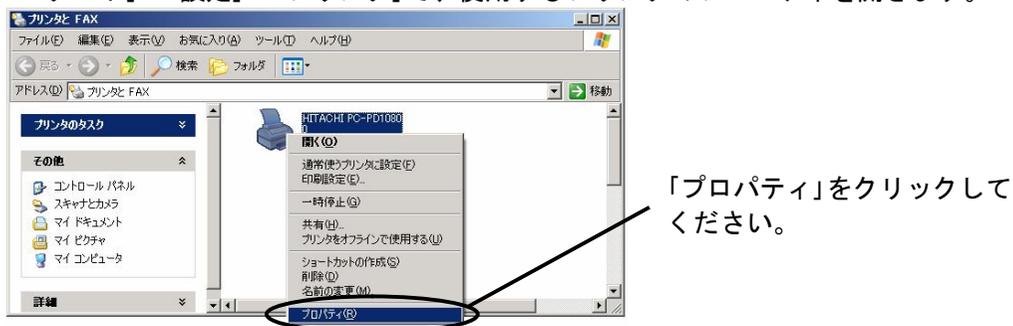


「完了」をクリックしてください。

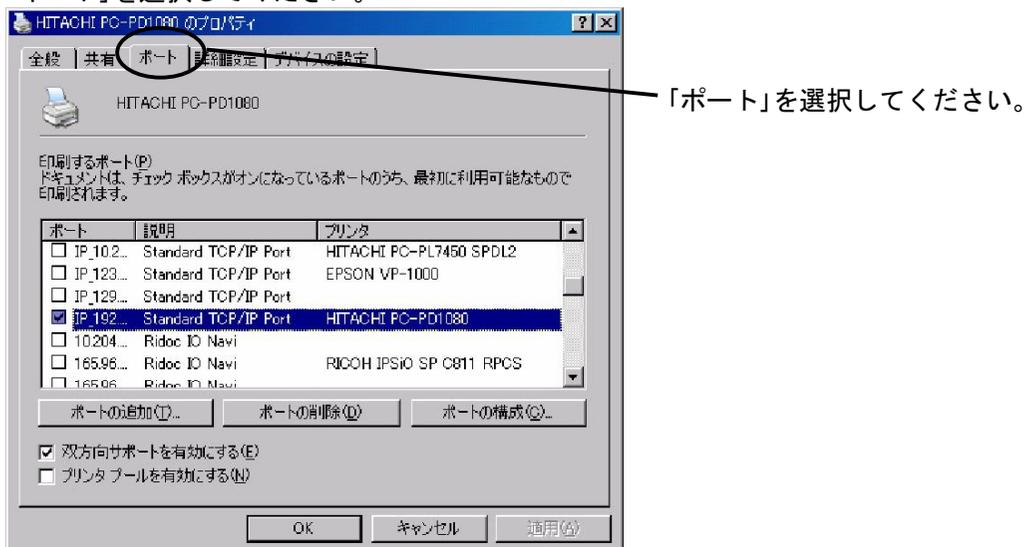
プリンタドライバの設定

プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合があります。下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。

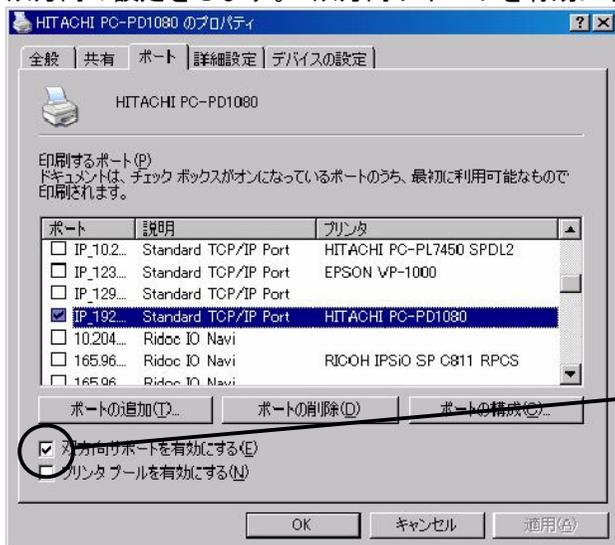
1. 「スタート」-「設定」-「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開きます。



2. 「ポート」を選択してください。



3. 双方向の設定をします。「双方向サポートを有効にする」のチェックを外してください。



「双方向サポートを有効にする」のチェックを外してください。

4. 適用をクリックしてください



「適用」をクリックしてください。

5. 設定完了です。「閉じる」をクリックしてください。

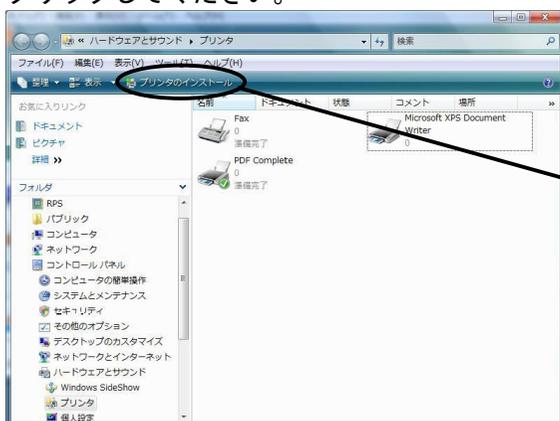
Windows Vista/ 7 /Server2008/8/2012 のStandard TCP/IPポートで印刷する



注意

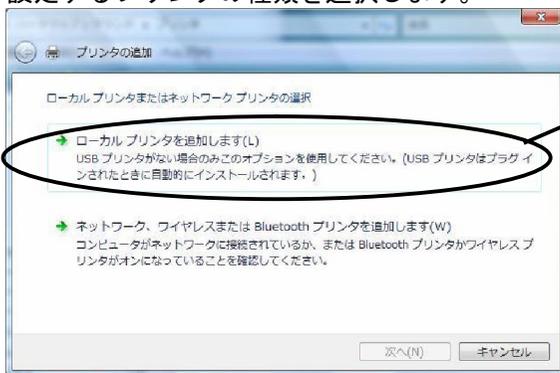
- ・各印刷ポートの制限事項については、「第8章 困ったときには」を参照してください。
- ・Standard TCP/IPのLPRモードで印刷を行う場合は、LPRバイトカウントを有効にしてください。LPRバイトカウントが無効の場合、印刷をしない、印刷が途中で終了するなど、異常動作を起こす場合があります。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタ」を開き、「プリンタのインストール」をクリックしてください。



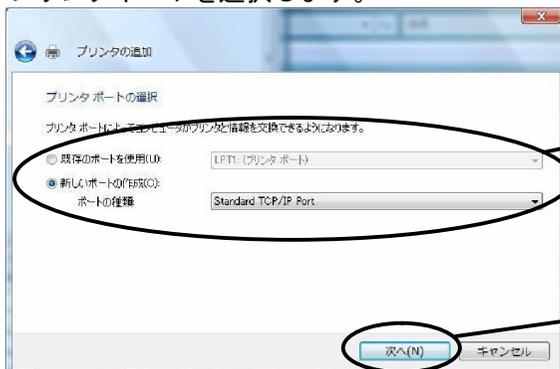
「プリンタのインストール」をクリックしてください。

2. 設定するプリンタの種類を選択します。



「ローカルプリンタを追加します」を選択してください。

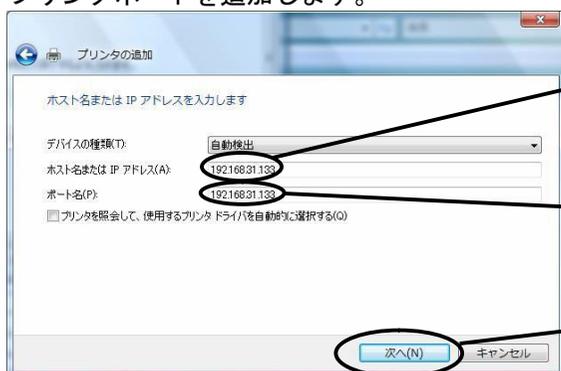
3. プリンタポートを選択します。



「新しいポートの作成」にチェックを入れてください。
ポートの種類は「Standard TCP/IP Port」を選択します。

「次へ」をクリックしてください。

4. プリンタポートを追加します。

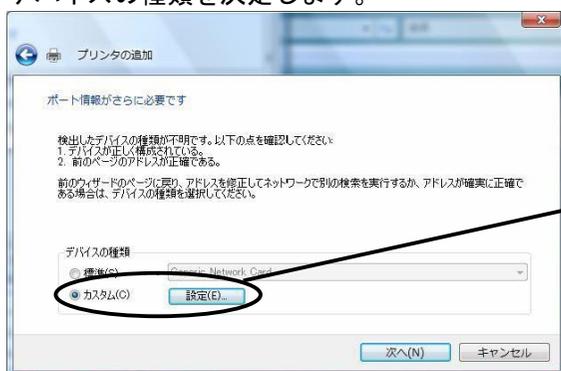


本製品に設定したIPアドレスを入力してください。

名前を付けない場合は、既定値 (xxx. xxx. xxx. xxx) をご使用ください。

「次へ」をクリックしてください。

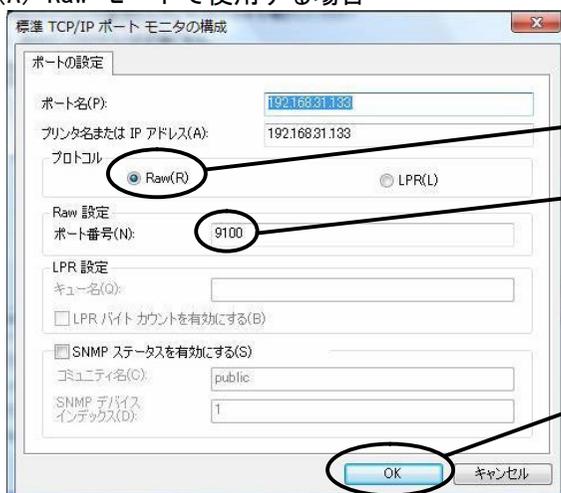
5. デバイスの種類を決定します。



「カスタム」にチェックを入れ、「設定」をクリックしてください。

6. ポート情報を入力します。

(A) Raw モードで使用する場合



「Raw」にチェックを入れてください。

「9100」を入力してください。

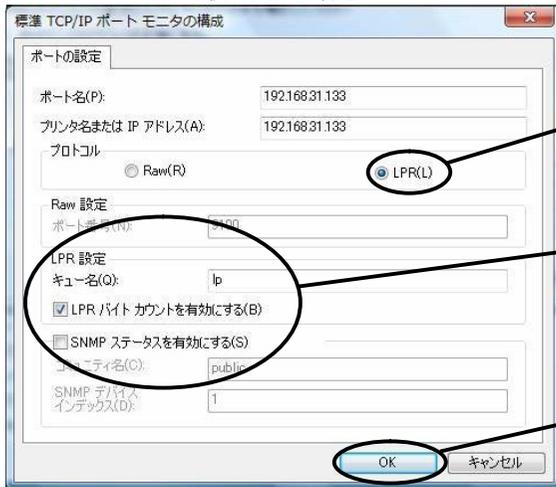
「OK」をクリックしてください。



参考

・「OK」をクリックすると「5.」の画面に戻ります。「次へ」をクリックしてください。

(B) LPR モードで使用する場合



「LPR」にチェックを入れてください。

- ・キュー名は「lp」を入力してください。
- ・「LPRバイトカウントを有効にする」にチェックを入れてください。
- ・「SNMPステータスを有効にする」のチェックを外してください。

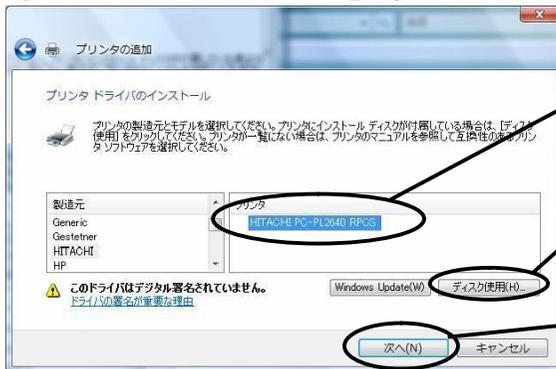
「OK」をクリックしてください。



・「OK」をクリックすると「5.」の画面に戻ります。「次へ」をクリックしてください。

参考

7. 使用するプリンタドライバを選択してください。

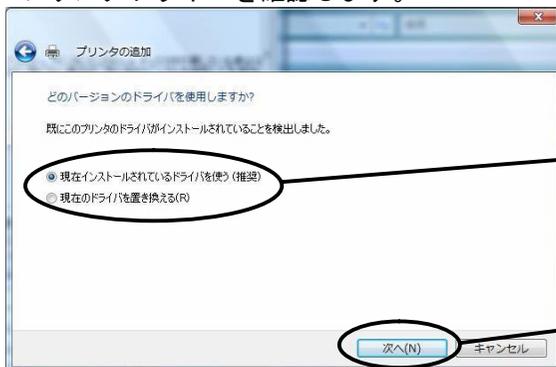


使用するプリンタドライバを選択してください。

使用するプリンタドライバが一覧に無い場合は、「ディスクを使用」をクリックし、プリンタドライバを選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

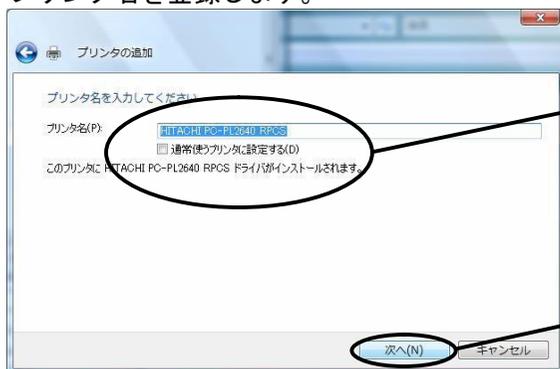
8. プリンタドライバを確認します。



「現在のドライバを使う」か「新しいドライバに置き換える」か選択してください。なお、最新ドライバを別途インストールした場合は、「新しいドライバに置き換える」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

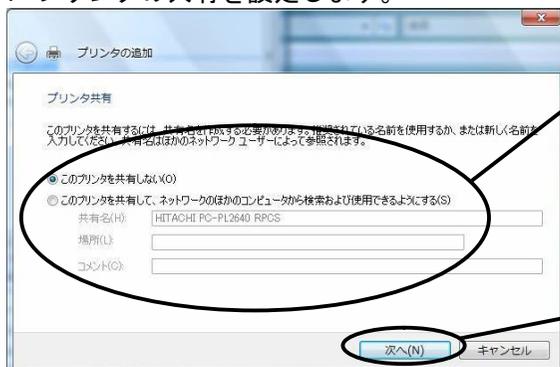
9. プリンタ名を登録します。



「プリンタ名」の登録ができます。
また、このプリンタを通常使うプリンタとするか選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

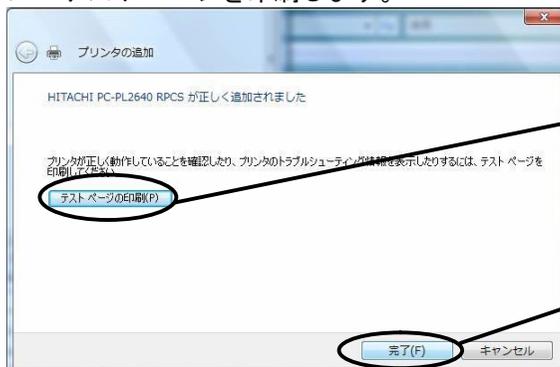
10. プリンタの共有を設定します。



プリンタの共有の設定を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。

11. テストページを印刷します。



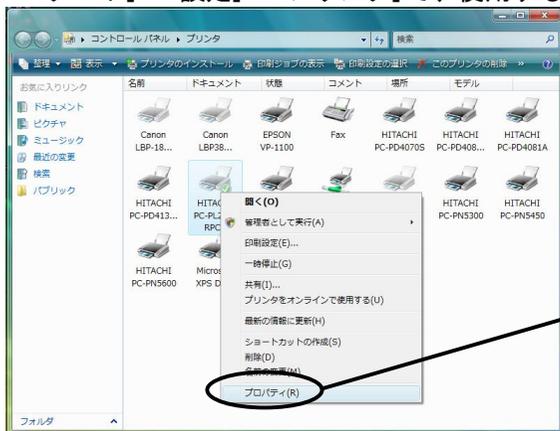
「テストページの印刷」を選択してください。テストページの印刷に問題なければ、設定は終了です。

「次へ」をクリックしてください。

プリンタドライバの設定

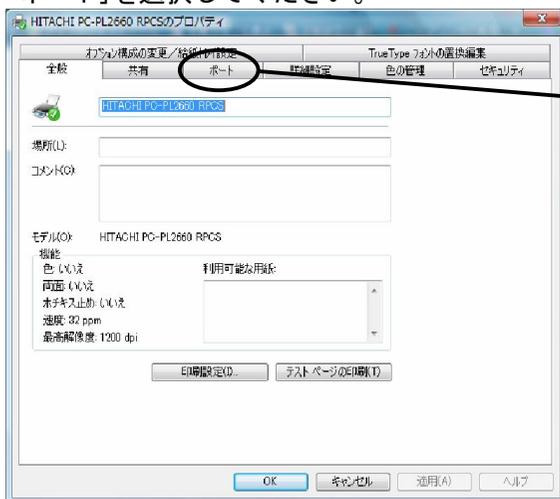
プリンタドライバが「双方向通信機能をサポートする」に設定されている場合があります。下記の手順でプリンタドライバの設定を変更してください。

1. 「スタート」-「設定」-「プリンタ」で、使用するプリンタのプロパティを開いてください。



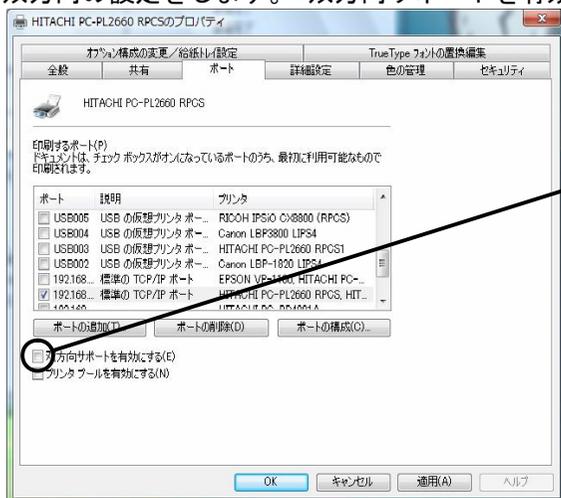
「プロパティ」をクリックしてください。

2. 「ポート」を選択してください。



「ポート」を選択してください。

3. 双方向の設定をします。「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。



「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずしてください。

4. 「適用」をクリックしてください。



「適用」をクリックしてください。

5. 設定完了です。「OK」をクリックしてください。

第5章 UNIX/Linux 環境で使用する	5-2
IP アドレスの設定	5-3
ARP による設定	5-3
RARP による設定	5-4
BOOTP による設定	5-5
hosts ファイルの設定	5-6
LPD を使用した印刷	5-7
HI-UX 環境で使用する	5-8
Solaris 環境で使用する	5-9
HP-UX 9.x/10.x 環境で使用する	5-13
AIX 4.x.x 環境で使用する	5-20
BSD 系UNIX の環境で使用する	5-22
Linux 環境で使用する	5-24
FTP を使用した印刷	5-28

第5章 UNIX/Linux環境で使用する

本章では、UNIX/Linux環境で使用するために必要な設定と、LPDおよびFTPによる印刷について説明します。設定方法は一例ですので、詳細はご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。

<UNIX/Linux環境で印刷するまでの手順>



- ・本章の記載は、LAN ボードの漢字フィルタ (sjis/euc) を使用することを想定しています。本製品のプリンタエミュレーションの設定が「ESC/P」に設定されていることを確認してください。詳細は「第6章 設定に関する機能」をご参照ください。

IPアドレスの設定

UNIX/Linux 環境では、ARP、BOOTP、RARPの何れかの方法でIP アドレスの設定ができます。以下に設定方法を示します。



- ・ IPアドレスを設定した後は、Telnetで本製品の詳細設定を行ってください。Telnetについては、「第8章 設定に関する機能」をご参照ください。



- ・ BOOTPを使用するために、「DHCP/BOOTP」設定を「ENABLE」に設定してください。また、RARPを使用するためには、「RARP」設定を「ENABLE」に設定してください。「DHCP/BOOTP」、「RARP」の各設定を「ENABLE」に設定するには、ARPを実行した後にTelnetを起動し、各設定を変更してください。

ARPによる設定

IPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせをARPテーブルに登録し、pingを実行すると、IPアドレスを設定することができます。



- ・ この方法により設定されたIPアドレスは一時的な設定であり、本製品に登録されません。設定後は必ずTelnetなどでIPアドレスの登録を行ってください。
- ・ 更に詳細な設定を行う場合は、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。

(例) Ethernetアドレス : 「0006fb00110f」
IPアドレス : 「192.168.10.100」
ホスト名 : 「pbox」

1. 本製品の電源を投入します。
2. ARPコマンドを使い、IPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせをARPテーブルに登録します。

```
arp -s 192.168.10.100 00:06:fb:00:11:0f temp
```
3. pingを設定したIPアドレスへ送信します。

```
ping 192.168.10.100
```
4. 送信後、本製品より応答があれば設定完了です。

```
192.168.10.100 is alive.
```

RARPによる設定

UNIXの/etc/ethersに本製品に登録するIPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせを追加し、RARPDを起動します。その後、本製品の電源を再投入することでIPアドレスを設定することができます。



注意

- ・ RARPによるIPアドレスの設定を行うためには、ネットワーク内にRARPデーモンが動作しているワークステーションが必要です。
- ・ RARPを使用するためには、「RARP」設定を「ENABLE」にする必要があります。詳細は、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。
- ・ 更に詳細な設定を行う場合は、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。

(例) Ethernetアドレス : 「0006fb00110f」

IPアドレス : 「192.168.10.100」

ホスト名 : 「pbox」

1. /etc/ethersに下記設定を追加します。
`00:06:fb:00:11:0f 192.168.10.100 #pbox`
2. RARPDを起動します。
`rarpd -a`
3. プリンタの電源を再投入します。

BOOTPによる設定

本製品に登録するIPアドレスとEthernetアドレスの組み合わせをBOOTPサーバに登録・起動し、プリンタの電源を再投入することでIPアドレスを設定することができます。



- ・BOOTPでIPアドレスとEthernetアドレスの設定を行うためには、ネットワーク内にBOOTPサーバが動作しているワークステーションが必要です。
- ・本製品のEthernetアドレスは、設定情報印刷結果または本製品底裏面にシール表示で記載しています。
- ・BOOTPを使用するためには、「DHCP/BOOTP」設定を「ENABLE」にする必要があります。詳細は、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。
- ・更に詳細な設定を行う場合は、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。

(例) Ethernet アドレス : 「0006fb00100f」
IPアドレス : 「192.168.10.100」
ホスト名 : 「pbox」

1. /etc/bootptabに次の設定を追加します。

```
pbox:¥  
ht=ether:¥ # Target hardware type is ETHERNET  
ha=0006fb00110f:¥ # Target hardware address  
ip=192.168.10.100:¥ # Target IP address  
gw=192.168.10.254:¥ # Default gateway address (If required)  
sm=255.255.255.0: # Target subnet mask (If required)
```

2. /etc/inetd.confに次の設定を追加します。

```
bootps dgram udp wait root /etc/bootpd bootpd
```

3. inetdを再起動します。

```
kill -1 1
```

4. プリンタの電源を再投入します。

hostsファイルの設定

UNIXまたはLinuxマシンのhostsファイルにホスト名とIPアドレスを登録します。



- ・hosts ファイルを編集する場合は、ネットワーク管理者に確認の上作業してください。
- ・DNS等のIP管理システムをご利用の場合は、hostsファイルの編集を行う必要がない場合があります。

1. UNIX/Linuxマシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

2. /etc/hostsファイルに本製品のホスト名とIPアドレスを登録します。

hosts ファイルの編集には“vi”などのエディタを使用します。

(例) IPアドレス : 「192.168.10.100」

ホスト名 : 「pbox」

```
192.168.10.98 venus # UNIX-A
```

```
192.168.10.99 mars # UNIX-B
```

```
192.168.10.100 pbox # Print-Server
```

3. プリンタの電源をONにし、「ping」コマンドを使用してネットワークとの接続が行えるか、確認してください。

```
# ping pbox
```



- ・応答がない場合やエラーが表示される場合は、本製品のIPアドレスの設定、hostsファイルの記述またはネットワークの状態に問題があります。ネットワーク管理者にご確認ください。注意

LPDを使用した印刷

TCP/IPのLPDプロトコルを使用して印刷するための設定方法を説明します。

「lpr」、「lp」コマンドの詳細は、ご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。



参考

- ・ LPDプロトコルについて

LPD(Line Printer Daemon)プロトコルは、ネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。

- ・ 論理プリンタについて

本製品には3つの論理プリンタがあります。

プリンタドライバを使ったファイルを印刷する場合は「lp」のプリンタへ、シフトJIS漢字コードのテキストファイルへ変換し印刷する場合は「sjis」のプリンタへ、EUC 漢字コードのテキストファイルへ変換し印刷する場合は「euc」のプリンタへ出力してください。

機能論理プリンタ	機能
直接出力	lp
シフトJIS漢字出力	sjis
EUC漢字変換出力	euc

HI-UXの環境で使用する

HI-UX/WE2 の場合

HI-UX/WE2から印刷するための設定を行います。システムにより、コマンドの絶対パスや設定方法が異なる場合があります。

詳細については、ワークステーション装置に添付されているHI-UX/WE2日立CSMA/CDネットワークCD105 (TCP/IP) マニュアル(3000-3-200)の「第9章 リモートプリンティング」をご参照ください。

1. /etc/printcapファイルに本製品を登録します。

(例) プリントキューポート「HI_lp」を登録する

```
HI_lp:¥ . . . . . ①
      :lp=:rm=HITACHI:¥rp=lp:¥ . . . . . ②
      :sd=/usr/spool/HI_lp:¥ . . . . . ③
      :lf=/usr/pool/HI_lp/HI_lp_errs: . . ④
```

< 各変数の意味 >

①プリンタ名を登録します。

②LP：プリンタを接続するためのデバイス名称

ネットワーク接続の場合は、本設定は必要ありません。

rm：リモートプリンタのホスト名

/etc/hosts ファイルに登録したホスト名を入力します。

rp：リモートプリンタのプリンタ名

本製品の論理プリンタ名で、lp、sjis、eucの何れかを選択します。

③sd：スプールディレクトリ

④lf：エラーログファイル

③と④は絶対パスで指定します。

2. /etc/printcapファイルに登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを製作します。

(例) スプールディレクトリ「HI_lp」、エラーログファイル「HI_lp_errs」を生成する

```
# mkdir/usr/spool/HI_lp ←スプールディレクトリ作成
# touch/usr/spool/HI_lp/HI_lp_errs ←エラーログファイル作成
# chown -R demon /usr/spool/HI_lp ←オーナーをdemonに変更
# chgrp -R demon /usr/spool/HI_lp ←グループをdemonに変更
```

3. lpd(プリンタデーモン)が起動しているか確認します。

```
# PS aux | grep lpd
```

lpd が起動していない場合、スーパーユーザのアカウントで下記コマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

4. 作成したプリントキューを有効にします。

```
# lpc restart HI_lp
```

Solaris環境で使用する

Solaris2.6/7/8 の場合

Sun Microsystems 社のSolaris2.6/7/8 から印刷するための設定を行います。
OS のバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。
ご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。



・本製品ではリモートプリンタはご利用になれません。

1. プリントキューを作成します。

(1) 「root」でログインします。

```
# login root
```

(2) プリントサーバを登録します。

(例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する

```
# lpadmin -p pboxlp -m netstandard -o protocol=bsd
          (プリントキュー名)
          -o dest= pbox pbox:lp -v /dev/null
          (ホスト名) (論理プリンタ名)
```



・「:」の後に続く「lp」は、本製品の論理プリンタ名になります。
・EUC漢字テキストデータを印刷する場合は下記のように設定することで、直接EUC漢字テキストデータを印刷することができます。

```
# lpadmin -p pboxeuc -m netstandard -o protocol=bsd
          -o dest=pbox: euc -v /dev/null
          (EUCポート指定)
```

(3) プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept pboxlp
#/usr/bin/enable pboxlp
```

2. 印刷を実行します。

「lp」コマンドを使用して印刷する方法を説明します。詳細についてはSolaris のマニュアルをご参照ください。

```
# lp -d pboxlp <印刷ファイル名>
```

このまま印刷するとバナーページが自動的に付加されます。バナー印字が不要な場合は、

```
# lp -d pboxlp -o nobanner <印刷ファイル名>
```

と「-o nobanner」を付け加えてください。

また、# lpadmin -p pboxlp -o nobanner

と設定する、または/etc/lp/interfacesの下に作成されるフィルタファイルを直接編集しても、常にバナー印字を禁止することができます。

(例) 「vi」などのエディタで下記ファイルを開き「nobanner=no」を「nobanner=yes」に修正します。

```
# vi /etc/lp/interfaces/ pboxlp
          nobanner=no ---> nobanner=yes
```

3. 印刷要求を取り消します。

「cancel」コマンドで印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# cancel pboxlp- <ジョブ番号>
```



・キャンセルのタイミングやSolarisの仕様により、正常にキャンセルすることができない場合があります。

4. プリンタの状態を確認します。

「lpstat」コマンドでプリンタの状態を確認することができます。

```
# lpstat -p pboxlp
```



・Solarisの仕様により、正常に表示できない場合があります。

2. 印刷を行います。

(1) 「lp」コマンドを使用して印刷します。

```
# lp -d pboxlp <印刷ファイル名>
```

3. 印刷要求を取り消します。

(1) 「cancel」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# cancel pboxlp- <ジョブ番号>
```

4. プリンタの状態を確認します。

(1) 「lpstat」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。

```
# lpstat -p pboxlp
```



・UNIX の仕様により、正常に表示できない場合があります。

【制限事項】

本製品をSolaris 2.x でご利用になる場合、Solaris の仕様により以下の制限事項があります。

(1) 印字開始後、プリンタがオフラインなどでデータを受け付けられない状態が長く続いた場合、Solaris側でタイムアウトし、再印字（再接続）されるため、印字データが途中で切れ、1ページ目から再度印字される場合があります。

(2) “lpstat -p<プリンタ名>”にてプリンタのステータスを表示した場合、プリンタの状態ステータスとして返す任意の文字列（PrinterReady など）をSolaris 側で解釈できず“Faulted”と表示した後、任意の文字列を表示します。

(3) Solaris よりデータを出力中は、同じマシンから本製品に対する印字関連コマンドが正常に動作しません。これはSolaris側がデータの送信が終了するまで他のパケットを出すことができないため、以下の現象が発生します。“lpstat -p <プリンタ名>”に対して、“system not responding”と表示されます。

(4) cancel コマンドの後、lpstat などを行うとlpstat がエラーになる場合があります。この場合は、プリンタスケジューラデーモンが停止している可能性がありますので、“lpstat -r”で確認する必要があります。“scheduler is not running”と表示された場合はデーモンが停止しています。下記のように入力して、プリンタスケジューラデーモンを再起動してください。

```
/bin/sh /etc/init.d/lp start
```

(5) “cancel”で存在しないジョブを削除しても、Solaris ではエラーになりません。

HP-UX 9.x/10.x環境で使用する

ヒューレットパッカード社のHP-UX から印刷するための設定を行います。

OS のバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。

1. リモートスプーラを設定します。

使用しているHP-UX マシンに、リモートスプーラが設定されていない時は以下の設定を行ってください。

- (1) UNIX マシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

- (2) プリントスプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

- (3) /etc/inetd.conf ファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /usr/lib/rplpdaemon -i
```

- (4) inetd を再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

2. プリントキューを作成します。

- (1) UNIX マシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

- (2) プリントキューを設定します。

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合

```
#/usr/lib/lpadmin -ppboxlp -mrmodel -ormpbox  
-orplp -ocmrcmodel -ob3 -v/dev/null
```



参考

- ・「-orp」の後に続く「lp」は、本製品の論理プリンタ名になります。
- ・SJIS漢字テキストデータを印刷する場合は下記のように設定することで、直接SJIS漢字テキストデータを印刷することができます。

```
#/usr/lib/lpadmin -ppboxsjis -mrmodel -ormpbox  
- orpsjis -ocmrcmodel -osmrsmodel -ob3 -v/dev/null
```

3. プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept pboxlp
```

```
#/usr/bin/enable pboxlp
```

4. プリントスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

5. 印刷を行います。

(1) 「lp」コマンドを使用して印刷します。

```
# lp -d pboxlp <印刷ファイル名>
```

6. 印刷要求を取り消します。

(1) 「cancel」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# cancel pboxlp- <ジョブ番号>
```

7. プリンタの状態を確認します。

(1) 「lpstat」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。

```
# lpstat -p pboxlp
```



・UNIX の仕様により、正常に表示できない場合があります。

setnetlp ツールを使用する

setnetlp ツールはHP-UX Ver. 10.10 以降でご使用いただけます。

例) IP アドレス ⇒ 「192.168.10.100」

ホスト名 ⇒ 「pbox」

上記はすでに/etc/hosts に登録されており、プリントキュー名「pboxlp」で登録する場合。

1. rootでログインし、/usr/sbin/setnetlpを実行します。下記メニューを表示しますので、「1) Add Printer」を選択します。

```
# /usr/sbin/setnetlp

#####
#           MAIN MENU           #
# Network Printer Configuration #
#####

    1) Add Printer
    2) Remove Printer

    q) Quit

Please enter a selection : 1
```

2. 下記メニューを表示します。「1) LP destination name:」を選択します。

```
Configurable Parameters:           Current Settings
-----
0) Done. Make Configuration now!
1) Lp destination name             [(N/A)]
2) Remote System name              [(N/A)]
3) Remote Printer name             [(N/A)]
4) Local model script              [(N/A)]

q) Quit

Select an item for change or select "0" : 1
```

3. 既に登録されているプリンタの一覧が表示されます。「Please enter a lp destination name:」の後に、設定を行うプリンタ名を入力します。

```
Currently used names:
-----
pbox1lp  pbox3lp

Please enter a lp destination name : pboxlp
```

4. 「2) Remote System name:」を選択します。「Please enter a remote system name/IP address:」の後に、本製品に設定したIP アドレス、または/etc/hosts に登録した本製品のホスト名を入力します。この例ではホスト名を入力しています。

```
Select an item for change or select "0" : 2
Please enter a remote system name/IP address : pbox
```

6. 「3) Remote Printer name:」を選択します。「Please enter a remote printer name:」の後に、「lp」を入力します。

```
Select an item for change or select "0" : 3
Please enter a remote printer name : lp
```

7. 「4) Local Model Script:」を選択します。モデルファイルのリストとプロンプトが表示されます。「Please enter a model file:」の後に、使用するモデルファイル名を入力します。

本製品では、「ESCP」を選択してください。

```
Select an item for change or select "0":4
Valid Models:
-----
ESCP          colorpro      hp2228a      hp2934a      laserjet4
HPGL1         deskjet       hp2235a      hp33440a     laserjet4Si
HPGL2         deskjet1200C  hp2276a      hp33447a     laserjet4v
HPGL2.cent   deskjet1600CM hp2300-1100L hp3630a      laserjet5Si
LIPS3         deskjet500    hp2300-840L  hp5000c30    laserjet11Si
LIPS4         deskjet500C   hp2560       hp5000f100   paintjet
PCL1          deskjet550C   hp2563a      hp7440a      paintjetXL300
PCL2          deskjet850C   hp2564b      hp7475       a postscript
PCL3          deskjet855C   hp2565a      hp7550a      print_mode.sh
PCL4          draftpro      hp2566b      hp7570a      quietjet
PCL4.nloo    dumb          p2567b       hp7595a      rmodel
PCL5          dumbplot      hp256x.cent  hp7596a      rmodel.asx
PCL5.asia    fonts         hp2631g      hpC1208a     ruggedwriter
PCL5.nloo    hp2225a       hp2684a      hpc1200aj    sharedprint
PS.nlio      hp2225b       hp2686a      hpc1208a     thinkjet
colorlaserjet hp2227a       hp2932a      laserjet
Please enter a model file : ESCP
```

8. すべての設定の完了後、以下のように表示されます。内容変更がなければ「0) Done. Make configuration now! :」を選択します。

```
Configurable Parameters: Current Settings
-----
0) Done. Make Configuration now!
1) Lp destination name: [pboxlp]
2) Remote System name: [pbox]
3) Remote Printer name: [lp]
4) Local Mode Script: [ESCP]
q) Quite
Select an item for change or select "0": 0
```

9. 現在、このマシンから印刷が行われていないことを確認し、「y」を入力します。

```
WARNING:This opereConfigurable Parameters: Current Settings
```

10. プリンタの追加は完了しました。「リターンキー」を押してください。

10. 登録内容確認画面へ戻ります。「q」を2回入力し、setnetlp ツールを終了させます。

5-19 UNIX/Linux環境で使用する

UNIX / Linux 環境で使用する

5-19

11. テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認します。

例) 日本語テキストファイルの印刷

日本語テキストファイルを印刷する場合、以下のようなオプションが必要になります。(詳細はHP-UX のマニュアルをご参照ください。)

11-1. シフトJIS のテスト印刷を行う場合

テスト印刷を行うコマンド例を下記に示します。

```
#lp -d pboxlp -ojapanese 半角スペースを空け、テキストの場所を指定します。
```

11-2. 日本語EUC のテスト印刷を行う場合

テスト印刷を行うコマンド例を下記に示します。

```
#lp -d pboxlp -ojapanese.euc 半角スペースを空け、テキストの場所を指定します。
```

・プリンタを削除する。

登録したプリンタを削除するには下記のコマンドを入力します。

```
#/usr/sbin/setnetlp -x <destination>
```

<destination> は登録したプリンタ名です。

文字コードlpオプション

シフトJIS japanese

日本語EUC japanese.euc

参考

5-20 UNIX/Linux環境で使用する

UNIX / Linux 環境で使用する

5-20

AIX 4. x. x環境で使用する

IBM 社のAIX から印刷するための設定を行います。

OS のバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご

使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。

1. プリントキューを作成します。

1-1. UNIX マシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

1-2. プリントサーバを追加します。

例) 「pbox」という名前のホスト名を追加する場合

```
# ruser -a -p pbox
```

1-3. リモートプリンタデーモンを起動します。

```
# startsrc -s lpd
```

```
# mkitab 'lpd:2:once:startsrc -s lpd'
```

1-4. smitコマンドを利用してプリントキューの追加を行います。

1-4-1. smit コマンドを起動し、「印刷待ち行列の追加」の項目へ移行します。

```
# smit mkrque
```

1-4-2. 「接続タイプ」から「remote」（リモートホストに接続されたプリンタ）を選択します。

1-4-3. 「リモート印刷のタイプ」から「標準処理」を選択します。

1-4-4. 「標準リモート印刷待ち行列の追加」で以下の項目を設定します。

（下記以外の設定はご利用環境に応じて変更してください。）

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合

追加する待ち行列[pboxlp]

リモートサーバのホスト名[pbox]

リモートサーバ上の待ち行列名[lp]

リモートサーバ上の印刷スプーラのタイプ[BSD]

リモートサーバ上のプリンタ名記述[任意のコメント]

- ・リモートサーバ上の待ち行列名の「lp」は、本製品の論理プリンタ名になります。
- ・SJIS 漢字テキストデータを印刷する場合は、「リモートサーバ上の待ち行列名」に[sjis]を入力することで、直接SJIS 漢字テキストデータを印刷することができます。

参考

5-21 UNIX/Linux環境で使用する

UNIX/Linux 環境で使用する

5-21

2. 印刷を行います。

2-1. 「lp」コマンドを使用して印刷します。

```
# lp -d pboxlp <印刷ファイル名>
```

3. 印刷要求を取り消します。

3-1. 「cancel」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# cancel pboxlp- <ジョブ番号>
```

4. プリンタの状態を確認します。

4-1. 「lpstat」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。

```
# lpstat -p pboxlp
```

- ・UNIX の仕様により、正常に表示できない場合があります。

注意

5-22 UNIX/Linux環境で使用する

UNIX/Linux 環境で使用する

5-22

BSD系UNIXの環境で使用する

BSD 系UNIX から印刷するための設定を行います。

OSのバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。

1. プリントキューを作成します。

1-1. UNIX マシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

1-2. /etc/printcap ファイルに本製品を登録します。

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合

```
pboxlp:¥ ..... ①
```

```
:lp=:rm=pbox:rp=lp:¥ ..... ②
```

```
:sd=/usr/spool/pboxlp:¥ ..... ③
```

```
:lf=/usr/spool/pboxlp/pboxlp_errs: ..... ④
```

<各変数の意味>

① プリンタ名を記述します。

② lp : プリンタを接続するためのデバイスファイル名。

ネットワークの場合は指定する必要はありません。

rm : リモートプリンタのホスト名。

/etc/hosts ファイルに登録したホスト名を入力します。

rp : リモートプリンタのプリンタ名。

本製品の論理プリンタ名で、lp、sjis、euc のいずれかを選択します。

③ sd : スプールディレクトリ名。絶対パスで指定します。

④ lf : エラーログファイル名。絶対パスで指定します。

1-3. /etc/printcapファイルに登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを作成します。

例) スプールディレクトリ「pboxlp」及び、エラーログファイル「pboxlp_errs」を作成する場合

```
# mkdir /usr/spool/pboxlp ←スプールディレクトリ作成
```

```
# touch /usr/spool/pboxlp/pboxlp_errs ←エラーログファイル作成
```

```
# chown -R daemon /usr/spool/pboxlp ←オーナーをdaemon に変更
```

```
# chgrp -R daemon /usr/spool/pboxlp ←グループをdaemon に変更
```

5-23 UNIX/Linux環境で使用する

U N I X / L i n u x 環境で使用する

5-23

1-4. lpd (プリンタデーモン) が起動しているかを調べます。

```
# ps aux | grep lpd
```

lpdが動作していない場合、スーパーユーザのアカウントで下記のコマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

1-5. 作成したプリントキューを有効にします。

```
#lpc restart pboxlp
```

2. 印刷を行います。

2-1. 「lpr」コマンドを使用して印刷します。

```
# lpr -P pboxlp <印刷ファイル名>
```

3. 印刷要求を取り消します。

3-1. 「lprm」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# lprm -Ppboxlp <ジョブ番号>
```

4. プリンタの状態を確認します。

4-1. 「lpq」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。

- ・UNIX の仕様により、正常に表示できない場合があります。
- ・lpq のショートフォーマットはUNIX互換フォーマットですが、ロングフォーマットはプリンタの状態を表示する本製品独自のフォーマットとなっています。

例) ショートフォーマットの場合

```
# lpq -P pboxlp
```

例) ロングフォーマットの場合

```
# lpq -l -P pboxlp
```

注意

5-24 UNIX/Linux環境で使用する

U N I X / L i n u x 環境で使用する

5-24

Linux環境で使用する

Linux から印刷するための設定を行います。

OSのバージョンによっては、コマンドの絶対パスや設定方法が異なることがあります。ご使用のワークステーションのマニュアルをご参照ください。

・Red Hat Linux およびTurbo Linux のプリントキュー作成ツールにつきましては本章中「Red Hat Linux のプリントキュー作成ツールを使用する」「Turbo Linux のプリントキュー作成ツールを使用する」をご参照ください。

1. プリントキューを作成します。

1-1. Linux マシンに「root」でログインします。

```
# login root
```

1-2. /etc/printcap ファイルに本製品を登録します。

例) プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合

```
pboxlp:¥ ..... ①
```

```
:lp=:rm=pbox:rp=lp:¥ ..... ②
```

```
:sd=/usr/spool/pboxlp:¥ ..... ③
```

```
:lf=/usr/spool/pboxlp/pboxlp_errs: ..... ④
```

<各変数の意味>

① プリンタ名を記述します。

② lp : プリンタを接続するためのデバイスファイル名。
ネットワークの場合は指定する必要はありません。

rm : リモートプリンタのホスト名。

/etc/hosts ファイルに登録したホスト名を入力します。

rp : リモートプリンタのプリンタ名。

本製品の論理プリンタ名で、lp、sjis、euc のいずれかを選択します。

③ sd : スプールディレクトリ名。絶対パスで指定します。

④ lf : エラーログファイル名。絶対パスで指定します。

1-3. /etc/printcapファイルに登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを作成します。

例) スプールディレクトリ「pboxlp」及び、エラーログファイル「pboxlp_errs」を作成する

場合

```
# mkdir /usr/spool/pboxlp ←スプールディレクトリ作成
```

```
# touch /usr/spool/pboxlp/pboxlp_errs ←エラーログファイル作成
```

```
# chown -R daemon /usr/spool/pboxlp ←オーナーをdaemon に変更
```

```
# chgrp -R daemon /usr/spool/pboxlp ←グループをdaemon に変更
```

参考

5-25 UNIX/Linux環境で使用する

U N I X / L i n u x 環境で使用する

5-25

1-4. lpd (プリンタデーモン) が起動しているかを調べます。

```
# ps aux | grep lpd
```

lpdが動作していない場合、スーパーユーザのアカウントで下記のコマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

1-5. 作成したプリントキューを有効にします。

```
#lpc restart pboxlp
```

2. 印刷を行います。

2-1. 「lpr」コマンドを使用して印刷します。

```
# lpr -P pboxlp <印刷ファイル名>
```

3. 印刷要求を取り消します。

3-1. 「lprm」コマンドを使用して、印刷ジョブの要求を取り消すことができます。

```
# lprm -Ppboxlp <ジョブ番号>
```

4. プリンタの状態を確認します。

4-1. 「lpq」コマンドを使用して、プリンタの状態を確認することができます。

- ・Linux の仕様により、正常に表示できない場合があります。

- ・lpq のショートフォーマットはUNIX 互換フォーマットですが、ロングフォーマットはプリンタの状態を表示する本製品独自のフォーマットとなっています。

例) ショートフォーマットの場合

```
# lpq -P pboxlp
```

例) ロングフォーマットの場合

```
# lpq -l -P pboxlp
```

5-26 UNIX/Linux環境で使用する

U N I X / L i n u x 環境で使用する

5-26

Red Hat Linux のプリントキュー作成ツールを使用する。

- ・ここではRed Hat Linux7.1 のプリントキュー作成ツールを使ったプリンタの登録方法について説明します。ご使用のRed Hat Linux のバージョンによっては操作方法が異なる場合がありますのでご注意ください。

例) etc/hosts ファイルにIP アドレスが「192.168.10.100」、ホスト名が「pbox」で登録しており、プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合。

1. 「メインメニュー」-「プログラム」-「システム」-「プリンタ設定」を選択します。
2. [printconf.gui]の画面で[新規]ボタンをクリックします。
3. [名前とエイリアス]をクリックし、[プリンタ名]に「pboxlp」を入力し、「追加」をクリックします。
4. [エイリアス]にも「pboxlp」を入力します。「OK」をクリックします。
5. [プリンタタイプ]をクリックし、LPDを選択します。サーバには「pbox」を入力し、プリンタには「lp」を入力します。
6. [プリンタドライバ]と[プリンタオプション]は、ご使用の環境に合わせたものを選択してください。
7. すべての設定が終了した後、[プリンタの編集]画面の「OK」をクリックします。
8. [printconf.gui]画面に、作成したプリンタが表示・選択されていることを確認します。「適用」ボタンをクリックします。
9. [lpdの再起動は成功しました]というダイアログメッセージを確認し、「OK」をクリックします。
10. [printconf.gui]画面の「テスト」ボタンをクリックし、テストページが出力されれば設定終了です。

注意

5-27 UNIX/Linux環境で使用する

U N I X / L i n u x 環境で使用する

5-27

Turbo Linux のプリントキュー作成ツールを使用する。

- ・ここではTurbo Linux6.0 のプリントキュー作成ツールを使ったプリンタの登録方法について説明します。ご使用のTurbo Linux のバージョンによっては操作方法が異なる場合がありますのでご注意ください。

例) etc/hosts ファイルにIP アドレスが「192.168.10.100」、ホスト名が「pbox」で登録しており、プリントキュー名を「pboxlp」という名前で登録する場合。

1. 「メインメニュー」-「Turbo Linux ツール」-「ターボセントロ」を選択します。
2. [Turbo Centro-GT]内の「Turboprintcfg」をクリックします。
3. [プリンタの設定]画面の「追加」をクリックします。
 - 3-1. [プリンタの追加]項目では、「リモートLPD キュー」を選択します。
 - 3-2. [新しいキュー名]項目では、「pboxlp」を入力します。
 - 3-3. [プリンタ設定の変更]項目では[LPD 設定]内の「変更」をクリックします。

3-3-1. [ホスト名]には、「pbox」を入力します。

3-3-2. [キュー名]には、「lp」を入力します。

3-4. [プリンタタイプ]項目では「変更」をクリックし、ご使用の環境に合ったプリンタドライバを選択してください。

3-5. [用紙サイズ][色深度]設定は、ご使用の環境に合ったものを選択してください。

4. すべての設定が終了した後、[プリンタの設定]画面の「OK」をクリックします。

5. 「保存及び終了」をクリックすると設定は完了です。

注意

5-28 UNIX/Linux環境で使用する

U N I X / L i n u x 環境で使用する

5-28

FTPを使用した印刷

TCP/IP のFTP プロトコルを使用して印刷する方法を説明します。「ftp」コマンドの詳細は、ご使用のワークステーションのマニュアルをご覧ください。

・FTP プロトコルについて

FTP (File Transfer Protocol) プロトコルは、TCP/IP でファイルを転送するためのプロトコルです。本製品の論理ディレクトリに対して、印刷データを転送することで印刷を行います。

・論理ディレクトリについて

本製品には、3つの論理ディレクトリがあり、「cd」コマンドにて移動する必要があります。プリンタドライバを使ったファイルを印刷する場合は「lp」のディレクトリへ、シフトJIS 漢字コードのテキストファイルへ変換し印刷する場合は「sjis」のディレクトリへ、EUC漢字コードのテキストファイルへ変換し印刷する場合は「euc」のディレクトリへ移動した後、印刷ファイルを転送してください。

< 本製品の論理ディレクトリ構成 >

ルート

lp 直接出力

sjis シフトJIS 漢字変換出力

euc EUC 漢字コード変換出力

参考

5-29 UNIX/Linux環境で使用する

U N I X / L i n u x 環境で使用する

5-29

F T P から印刷をする

1. 本製品へログインします。

- ・「ftp」コマンドで印刷する場合、「User」と「Password」は、どのような入力をしてでも印刷可能です。ただし、ユーザ名が「root」の場合は、環境設定で設定した「パスワード」が必要となります。

例) ホスト名「pbox」のプリンタにログインする場合

(または、IP アドレス「192.168.10.100」のプリンタにログインする場合)

```
#ftp pbox (または、ftp 192.168.10.100 )
Connected to pbox
220 PC-PB20501 Ver 1.0. 1.0.00000 FTP Server.
User(silex:root): root
331 Password required.
Password:
230 User Logged in.
ftp>
```

2. 「cd」コマンドで、転送先ディレクトリへ移動します。

- ・本製品は、転送先ディレクトリが階層構造となっています。また、ルートディレクトリへの印刷データの出力は「lp」への出力として処理されます。

例) lp ディレクトリへ移動し、現在のディレクトリを確認する場合

```
ftp>cd /lp
250 Command Ok.
ftp>pwd
257 "/lp" is current directory.
ftp>
```

注意

注意

5-30 UNIX/Linux環境で使用する

U N I X / L i n u x 環境で使用する

5-30

3. 転送モードを変更します。

- ・転送モードには、LF コードをCR+LF コードに変換する「ASCII モード」とファイルの内容をそのまま出力する「BINARYモード」の2種類があります。プリンタドライバで変換されたバイナリファイルを転送する場合は、転送モードを「BINARY モード」に設定します。(指定しない場合は「ASCII モード」で出力されます。)

例) 転送モードをBINARY モードに変更し、現在のモードを確認する場合

```
ftp>type binary
200 Type set to I.
ftp>type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

4. 「put」コマンドを用いて、印刷データを本製品へファイル転送します。

- 「put」コマンドによるファイル転送には、2種類の形式があります。

例) 印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp>put test.prn
```

印刷データをディレクトリ指定「/users/test/test.prn」で指定して転送する場合

```
ftp>put /users/test/test.prn /lp
```

- ・印刷データをディレクトリ指定で印刷する場合は、転送先論理ディレクトリを指定します。

cdコマンドでディレクトリを移動する必要はありません。

5. 「quit」コマンドを使い、本製品からログアウトします。

```
ftp>quit
```

参考

参考

5-31 UNIX/Linux環境で使用する

U N I X / L i n u x 環境で使用する

5-31

F T P から状態を確認する

- ・「quote」コマンドの「stat」を使って、IP アドレス、ログインユーザ名、転送モードの3つの状態を確認することができます。

また、「stat」の後にディレクトリ (lp, sjis, euc) を指定すると、プリンタの状態を確認することができます。

例) ・イーサネットボードの状態表示

```
ftp>quote stat
```

```
211-FTP server status:
```

```
Connected to: 192,168,10,100
```

```
User logged in: guest
```

```
Transfer type: BINARY
```

```
Data connection:Closed.
```

```
211 End of status.
```

```
ftp>
```

- ・プリンタ (ディレクトリ名 : lp) の状態表示

```
ftp>quote stat /lp
```

```
211-FTP directory status:
```

```
Ready
```

```
211 End of status.
```

```
ftp>
```

参考

はじめに

このたびは、本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルは、本製品の設定およびご利用方法を記載したものです。正しく安全にお使いいただくために、ご熟読ください。

本製品の導入

本製品の導入手順について説明します。ご利用の環境に合わせた手順で本製品をネットワークに接続し、ご利用のプリンタをネットワークプリンタとしてお使いいただくことができます。本製品の導入手順に従って、

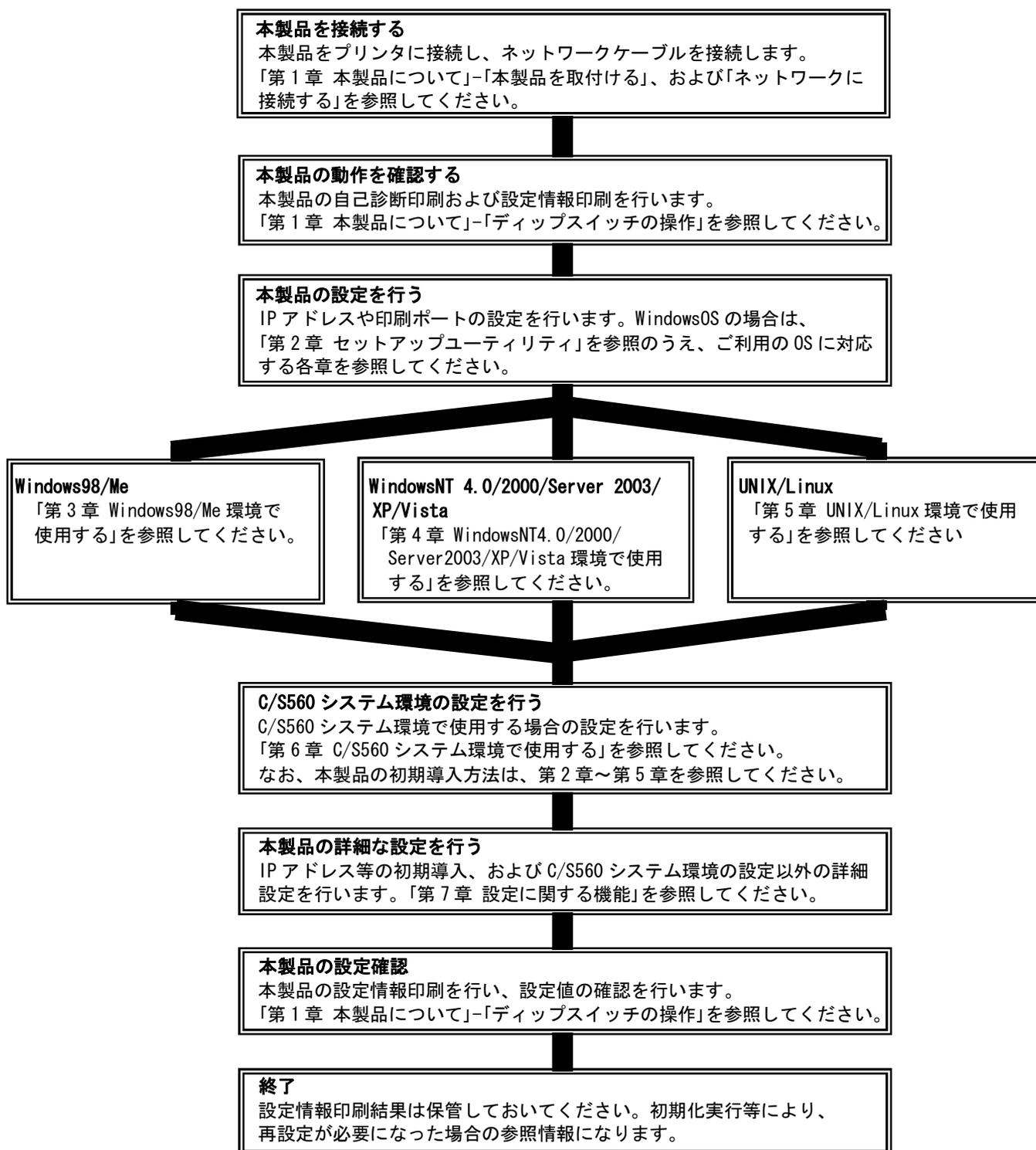
本マニュアルの関係する章を参照しながら、導入を進めてください。

ご利用の環境によっては、本章で説明する導入手順と異なる場合があります。

ご利用のコンピュータに予めプリンタドライバをインストールしてください。



製品の導入と設定

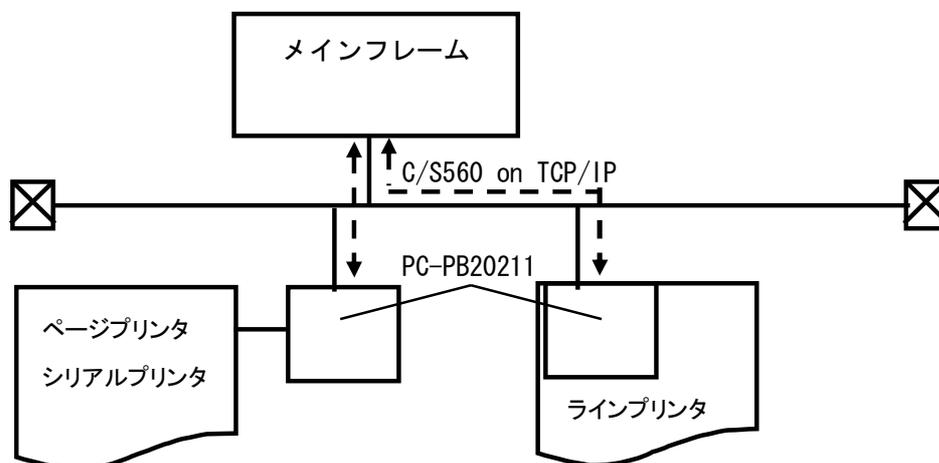


第 6 章 C/S560 システム環境で使用する	6-2
システム構成について	6-2
C/S560 を設定する	6-3
日立メインフレームから印刷をする	6-3
注意事項	6-3

第6章 C/S560システム環境で使用する

システム構成について

C/S560 システムの構成例を示します。構成としてはメインフレームと 10BASE-T/100BASE-TX のネットワークシステムでの接続を前提としています。なお、C/S560 システム上では、本製品はクライアントになります。



C/S560を設定する

「第7章設定に関する機能」を参照して、ゲートウェイアドレス等、本製品をC/S560環境下で使用するための設定を行ってください。



注意

- ・ ルータ等を介してゲートウェイとプリンタが別のネットワークになっている場合は、「ゲートウェイアドレス」にルータのIPアドレスを設定してください。
- ・ C/S560ゲートウェイの機種により、「Mainframe Name(メインフレーム名称)」を参照しない装置があります。そのような場合でも、メインフレーム名称をスペースにせずに設定してください。なお、デフォルトの「MAINFRAME1」ままでも問題はありません。
- ・ 「Application name: 端末アプリケーション名称」は、接続できる上位装置が1つのみのため、任意の名称で問題はありません。ただし、メインフレーム名称同様、スペースにせずに設定をしてください。本設定をスペースにすると、上位装置と接続ができなくなる場合があります。
- ・ C/S560ゲートウェイ、メインフレームの設定については、各々のマニュアルを参照してください。

日立メインフレームから印刷をする

本製品とプリンタの電源をON にすると、ゲートウェイに対して接続要求を行います。

ゲートウェイがメインフレームからの応答を受け、本製品へ接続要求受理を通知すると、印刷可能な状態（アソシエーション確立状態）になります。この状態で印刷データを受信すると、印刷を開始します。

注意事項

- ①アソシエーション確立後、メインフレームと本製品間のLANケーブルが抜けた等の原因でデータ送受信ができなくなると、一定時間経過後、メインフレームはコネクション情報をリセットします。
そのため、LANケーブルを接続し直す等、原因を直してもコネクションの再確立はできません。
その様な場合は、本製品とプリンタの電源を入れ直してください。
- ②本製品が上位ホスト装置とC/S560接続をしている場合、ホスト装置とのデータ送受信がなくなってから一定時間経過すると、Keepaliveパケットを送信してホストとの接続状態を確認します。例えば、Keepaliveパケットの送信間隔が10分に設定されている場合は、ホストとのデータ送受信がなくなった約10分後からKeepaliveパケットを送信します。その後、設定時間毎にKeepaliveを送信し続け、6回送信を繰り返してもホストからの応答がない場合、リセットを実行してコネクションの再確立処理を行います。
コネクションの再確立ができない場合は、「C/S560 error retry」の設定により、リトライを繰り返します。また、Keepaliveパケットの送信間隔は設定により変更ができます。
- ③本製品がアソシエーション確立要求拒否を受信すると、C/S560エラーリトライ時間の設定時間に従い、設定時間経過後にリトライを実行します。エラーリトライ時間の設定値は、0秒/30秒/1分/5分/10分/30分/60分/12時間/24時間/None(リトライしない)があります。
特に長時間の設定でのリトライ待ち状態や、None設定の場合は人手介入なしに再接続できませんので注意してください。なお、設定時間の経過を待たずにリトライをさせるには、本製品とプリンタ電源を入れ直してください。
- ④「C/S560 Job timeout (C/S560切替待ち時間)」設定により、オープン系の印刷よりもC/S560印刷を優先するため、C/S560印刷中にオープン系の印刷ジョブを受信しても、C/S560印刷が終了してから本設定時間経過するまではオープン系の印刷を開始しません。C/S560印刷ではジョブの概念が無く、印刷の切れ目がわからないため、時間の経過で印刷モードを切り替えます。そのため、設定時間内に次のC/S560印刷データを受信すると、オープン系の印刷データ受信後であってもC/S560印刷を継続します。
ただし、設定を0秒にすると、C/S560データの作りによってはデータの途中にオープン系の印刷が割り込む可能性があるため、注意が必要です。本設定のデフォルトは10秒です。
- ⑤「Moji pitch (文字間隔)」設定はデータ内に文字間隔(字間値)の設定が無い時に有効になります。
データ内に字間値設定が無く本設定で「0」または「1」を設定した場合、またはデータ内のコマンドで設定値が「0」または「1」になっている場合には、印刷結果としての文字の視認性を上げる為に、文字フォントを変更しています。
- ⑥従来の画面ハードコピー (PA3含む) 機能はサポートしていません。Communitnet 560+ PC画面の印刷機能 (Ctrl+P) を使用してください。この機能ではプリンタのフォントでは印刷せずに、画面のイメージデータの印刷になります。

- ⑦ オンデマンド外字処理やPPB印刷(非同期印刷、ラインプリンタのみサポート)を行う場合は、本製品での対応だけでなく、メインフレーム側の対応も必要です。ドットインパクトプリンタを接続して印刷する場合は、LUタイプ3とLUタイプ2の両方で使用可能ですが、ラインプリンタでPPB印刷を行う場合はLUタイプ2に設定してください。また、PPB印刷中はオンデマンド外字処理は行えません。
なお、ページプリンタを接続して印刷する場合は、LUタイプ3に設定してください。
- ⑧ 本製品で印刷する文字フォントは、接続したプリンタに搭載しているフォントで印刷をします。そのため、ご使用になられていたプリンタと文字フォントのデザインが異なる場合があります。
- ⑨ 本製品の設定項目には、ページプリンタ専用またはドットインパクトプリンタ専用の設定項目があります。

注意事項 (ページプリンタ)

- ① 同軸系やHT-4305/4535ページプリンタに対して、印刷の書き出し位置が異なります。事前に印刷結果を確認するようにしてください。
- ② 1ページのデータが改ページコマンドしかない場合、プリンタは白紙出力をしません。
セパレータを出力する場合は任意の文字を指定してください。
- ③ 同軸系やHT-4305/4535系プリンタと比較して、グラフィック、文字パターンはより細かくなっています。
事前に印刷結果を確認するようにしてください。
- ④ 同軸系やHT-4305/4535系のページプリンタの解像度は240/400dpiです。本製品で接続するページプリンタの解像度は600dpiです。そのため、解像度240/400dpiの560ページプリンタの画像データは、プリンタの処理により擬似的に解像度を変換します。事前に印刷結果を確認するようにしてください。
なお、罫線を最大印字範囲に印刷すると、解像度変換により右端と下端の罫線が細く印刷されることがあります。事前に印刷結果を確認してください。
- ⑤ 文字フォントを600dpi用に変更しています。そのため、同軸系やHT-4305/4535系のページプリンタとは文字フォントが異なります。事前に印刷結果を確認してください。
- ⑥ C/S560データストリームからA4用紙に印刷を行う場合、用紙セット方向をページプリンタの用紙走行方向に対して横方向(A4横)にセットしてください。縦方向(A4縦)にセットすると満足な印刷結果が得られません。
- ⑦ 印刷する用紙やデータによっては、ページプリンタの印刷速度が低下します。
- ⑧ 本製品はPDLスルーモードには対応していません。

注意事項（ドットインパクトプリンタ）

- ①ドットインパクトプリンタでC/S560印刷を行う場合は、プリンタの設定を「T0F位置でのFFは無効」に設定し、受信バッファを「無効」または同期印刷を「する」に設定してください。
設定方法については各プリンタの取扱説明書を参照してください。
- ②プリンタの機能を活用するために、接続しているプリンタの種別 (Serial/Inserter/Line/LinePE) を本製品に登録する必要があります。登録の内容や方法については「第7章 設定に関する機能」を参照してください。
- ③本製品とプリンタ間はパラレルインタフェースポートまたはUSBインタフェースポートで接続しており、オペレータ介入やエラー回復後にデータが残留している場合があります。
そのため、T0F位置でも残留データの押し出し印刷により、改ページをする場合があります。
- ④通常のドットインパクトプリンタ (プリンタ種別:Serial) の単票手差し給紙は使用できません。
単票を使用する場合は、オプションの自動給紙機構をご利用ください。
なお、水平インサータプリンタ (プリンタ種別:Inserter) では、単票手差し給紙による印刷が可能です。
- ⑤本製品で印刷をすると、旧製品 (HT-4305/4525/4526系) に対して1行中の文字数が1文字少なく印刷される場合 (赤色文字があります。詳細は下表を参照してください)。

字間値	文字間隔	HT-4305-S1 HT-4525-61 HT-4526-31		PC-PB20211 互換モード		PC-PB20211 拡張ラインモード 標準グリッドなし		PC-PB20211 拡張ラインモード 標準グリッドあり	
		132 文字	136 文字	132 設定時	136 設定時	132 設定時	136 設定時	132 設定時	136 設定時
0 ポイント	0 ドット	198	204	197	203	197	203	197	203
1 ポイント	1 ドット	182	188	182	188	182	187	182	188
2 ポイント	3 ドット	158	163	158	163	158	163	158	163
3 ポイント	4 ドット	148	153	148	153	148	152	148	152
4 ポイント	6 ドット	132	136	132	136	132	136	132	136
5 ポイント	7 ドット	125	129	125	129	123	128	125	128
6 ポイント	9 ドット	113	117	113	116	113	116	113	116
7 ポイント	10 ドット	108	111	108	111	108	111	108	111
8 ポイント	12 ドット	99	102	99	102	99	102	99	102
9 ポイント	13 ドット	95	98	95	98	95	98	95	98
10 ポイント	15 ドット	88	91	88	91	88	91	88	90
11 ポイント	16 ドット	85	88	85	87	85	87	85	87
12 ポイント	18 ドット	79	82	79	82	79	82	79	81
13 ポイント	19 ドット	77	79	77	79	77	79	76	79
14 ポイント	21 ドット	72	74	72	74	72	74	72	74
15 ポイント	22 ドット	70	72	70	72	70	72	70	72

- ⑥字間値「0」および「1」を選択しているときは、隣同士の文字を接触させないように、1バイトのANK文字を全角文字を半角指定で印刷をします。
- ⑦字間値「0」および「1」を選択しているときは、OCRフォントを指定しても全角文字を半角指定で印刷をします。
そのため、字間値「0」および「1」では、OCR文字が印刷できません。
- ⑧ページ長設定機能は本製品とプリンタの双方にあります。本製品でページ長「0」以外を指定した場合は、プリンタは本製品で設定したページ長で動作します。また、本製品でページ長を「0」に設定した場合、プリンタに設定されているページ長で動作します。

第7章 設定に関する機能	7-2
HI-PrintManager の操作方法	7-3
HI-PrinManager を起動する	7-4
HI-PrinManager で本製品を検索する	7-6
HI-PrinManager の機能	7-7
HI-PrinManager メニュー構成	7-7
プリンタステータス	7-8
システムステータス	7-8
設定項目一覧表示	7-9
本製品を設定する	7-10
Webブラウザから設定する	7-10
本製品のWebページを表示する	7-11
本製品のWebページから設定する	7-12
TELNETで設定する	7-14
本製品をTELNETで設定する	7-15
Webブラウザ/TELNET設定項目	7-16
C/S560オペレータ設定	7-16
ページプリンタ	7-16
ドットインパクトプリンタ	7-17
Dot Page Size *	7-17
メインフレーム接続切替	7-18
共通設定	7-19
一般設定	7-19
TCP/IP 設定	7-20
メインフレーム選択	7-22
メインフレーム*	7-23
ページプリンタ	7-24
ドットインパクトプリンタ	7-26
拡張プリントマネージャの設定	7-27
SSL設定	7-28
SSL設定	7-28
証明書情報作成/有効期限設定	7-28
E-Mail受信設定	7-29
E-Mail送信機能設定	7-30
日付と時刻設定	7-30
保守機能	7-31
その他の設定	7-32
その他の設定-NetBEUI設定	7-32

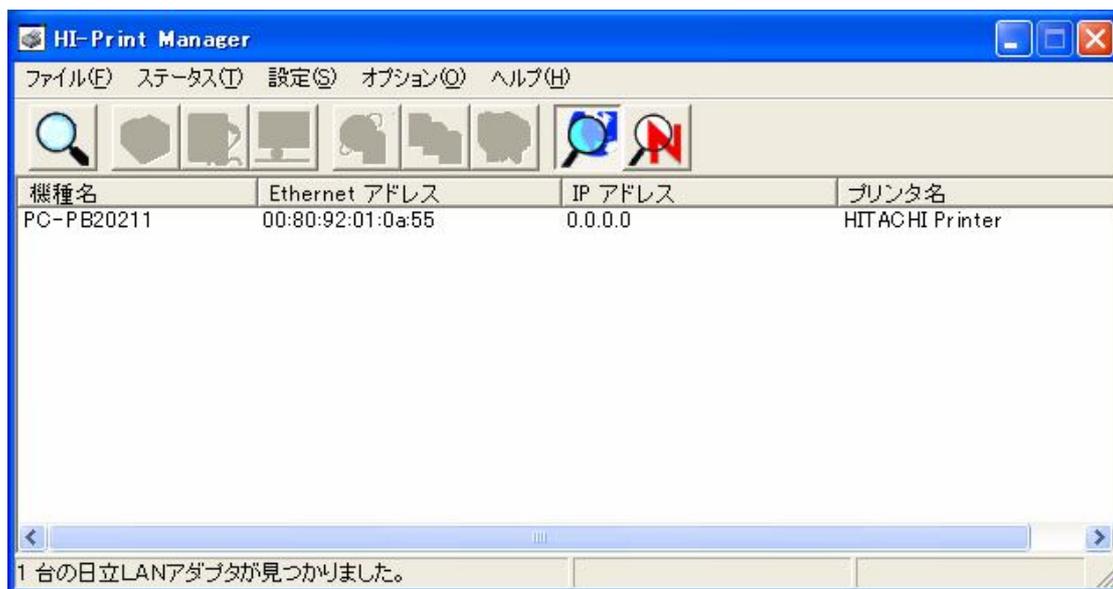
その他の設定-SNMP設定	7-32
その他の設定-PRINTER設定	7-33

第7章 設定に関する機能

本章ではHI-PrintManager、Webブラウザ、TELNETを利用して詳細な設定を行う方法について説明します。

HI-PrintManagerの操作方法

総合ユーティリティ「HI-PrintManager」は、本製品の詳細な設定及び設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動や自己診断印刷、プリンタステータスマニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。



- ・HI-PrintManager をご利用になる場合は、ご使用のパソコンにTCP/IP プロトコルをインストールしてください。
- ・ご利用の環境やご使用の機種によっては、「HI-PrintManager」に表示される内容が異なる場合があります。
- ・Windows Server 2003、Windows XP、Vista、7、8。2008。2012 環境でご利用になる場合は、「ローカルエリア接続のプロパティ」 - 「詳細設定」 - 「インターネット接続ファイアウォール」のチェックを外してください。

HI-PrintManagerを起動する

1. 本製品に付属してしているCD-ROMからセットアップユーティリティを起動してください。
初期画面が表示されます。

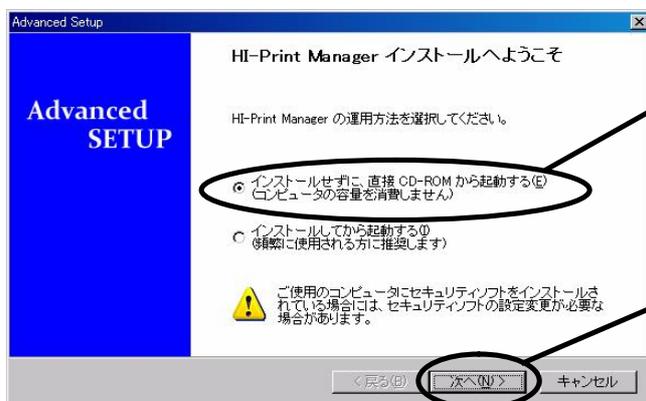


2. 選択画面が表示されます。



「Advanced Setup」をクリックしてください。

3. インストール確認画面が表示されます。



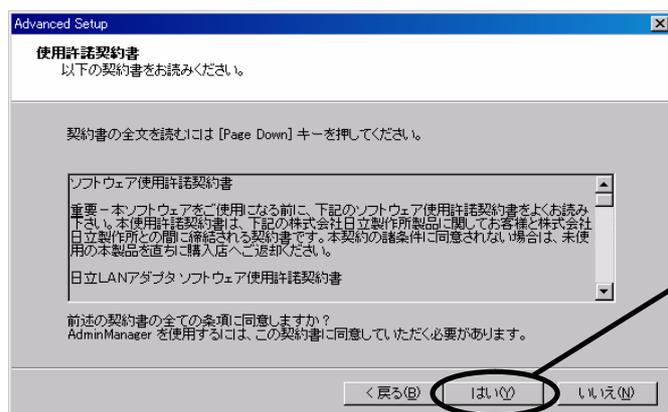
「インストールせずに、直接CD-ROMから起動する」を選択してください。

「次へ」をクリックしてください。



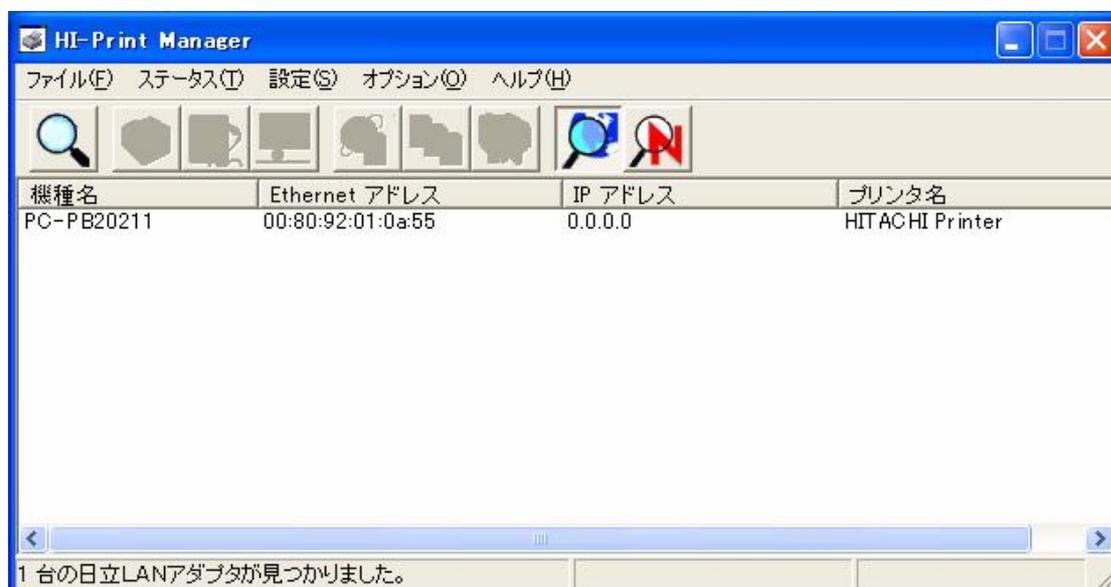
・HI-PrintManagerを頻りに使用される方は、「インストールしてから起動する」を選択して、ご利用のパソコンにインストールすることをお奨めします。

4. ソフトウェア使用許諾契約書を確認します。



「はい」をクリックしてください。

5. HI-PrintManagerが起動します。



注意

- ・本製品の設定を行う前に、HI-PrintManagerで上図のように、本製品が検索できるか、ご確認ください。
- ・本製品が検索できない場合は、「設定」-「IPアドレス設定」でIPアドレスの設定を行ってください。
- ・ご利用のパソコンにセキュリティソフトウェアがインストールされていて、ファイアウォール機能が有効になっていると、本製品を検索できないことがあります。そのような場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

HI-PrintManagerで本製品を検索する

本製品の設定を行う前に、HI-PrintManagerで上図のように、本製品が検索できるか、ご確認ください。
本製品が検索できない場合は、「設定」-「IPアドレス設定」でIPアドレスの設定を行ってください。



注意

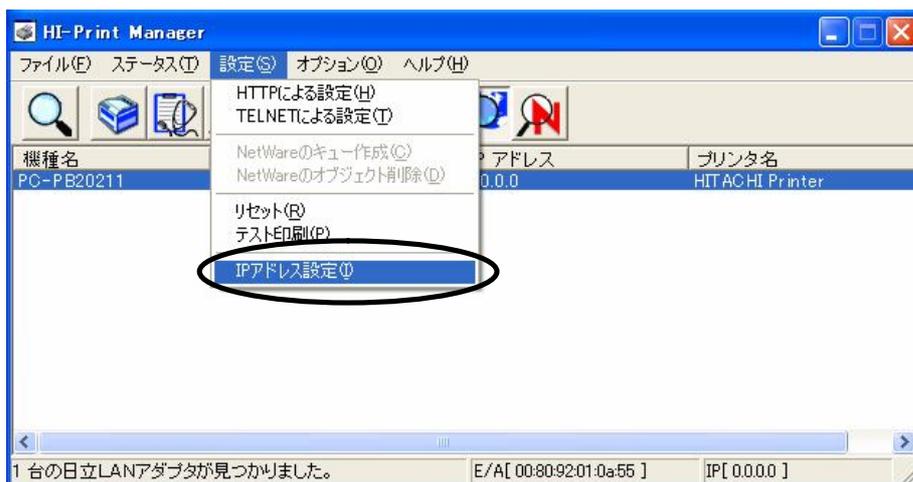
- ・ご利用のパソコンにセキュリティソフトウェアがインストールされていて、ファイアウォール機能が有効になっていると、本製品を検索できないことがあります。そのような場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。

IPアドレス設定

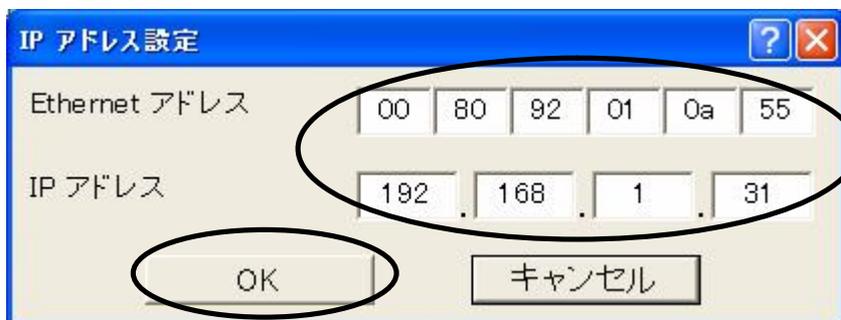
IPアドレスの設定を手動で行います。

注意 ・本設定を行う前に、本製品のEthernet アドレスをご確認ください。Ethernet アドレスは、自己診断印刷結果または本製品基板裏面にシール表示で記載されています。（例：00:06:fb:08:b0:dd）

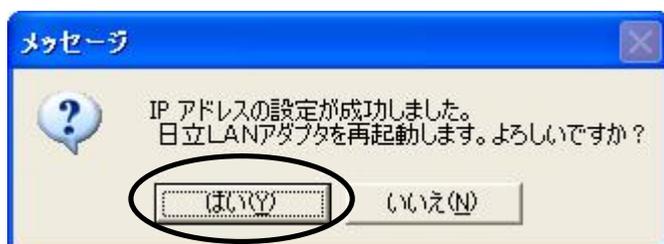
1. HI-PrintManager のメニューバーから「設定」－「IP アドレス設定」を選択し、IPアドレス設定ツールを起動してください。



2. 設定する製品のEthernetアドレスとIPアドレスを入力し、「OK」をクリックしてください。



3. 設定したIP アドレスを有効にするために本製品をリセットします。「はい」をクリックしてください。



注意 ・再起動処理ができなかった場合は、プリンタの電源をOFF/ONしてください。

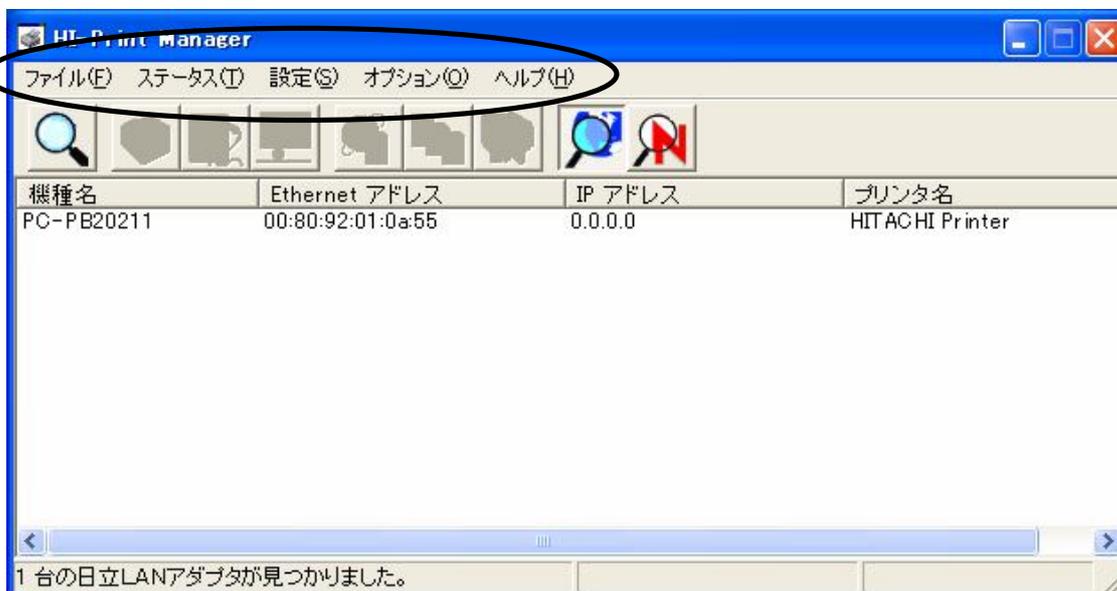
HI-PrintManagerの機能

HI-PrintManager メニュー構成



・ご利用の環境によっては、「HI-PrintManager」に表示される内容が異なる場合があります。

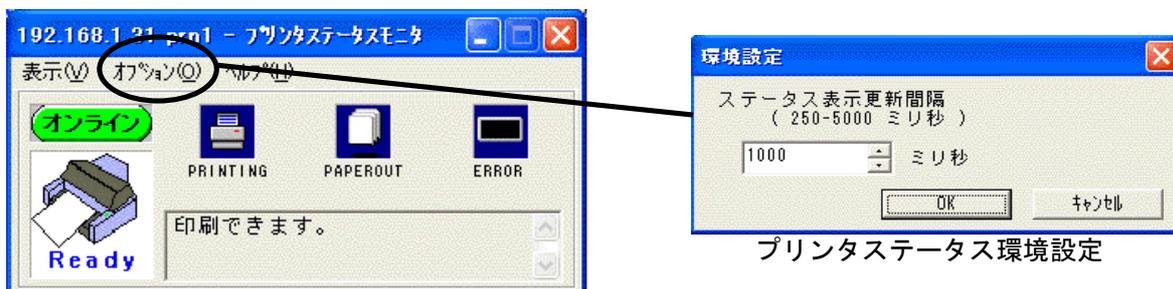
注意



メニュー	項目	説明
ファイル	検索	ネットワーク上の本製品を検索します。
	終了	Standerd Setup を終了します。
ステータス	プリンタステータス	プリンタステータスマニタを表示します。
	システムステータス	システムステータスマニタをします。
	設定項目一覧表示	本製品の内部設定情報を表示します。
設定	Web ブラウザによる設定	本製品のホームページを起動します。
	TELNET による設定	TELNET を起動します。
	NetWare のキュー作成	本製品では選択できません。
	NetWare のオブジェクト削除	本製品では選択できません。
	リセット	本製品の再起動を実行します。
	テスト印刷	本製品の自己診断印刷を実行します。
オプション	IP アドレス設定	IP アドレスの手動設定を行います。
	TCP/IP プロトコルの使用	本製品では選択できません。
	IPX/SPX プロトコルの使用	本製品では選択できません。
	環境設定	HI-PrintManager の環境設定を行います。
ヘルプ	バージョン表示	HI-PrintManager のバージョンを表示します。

プリンタステータス

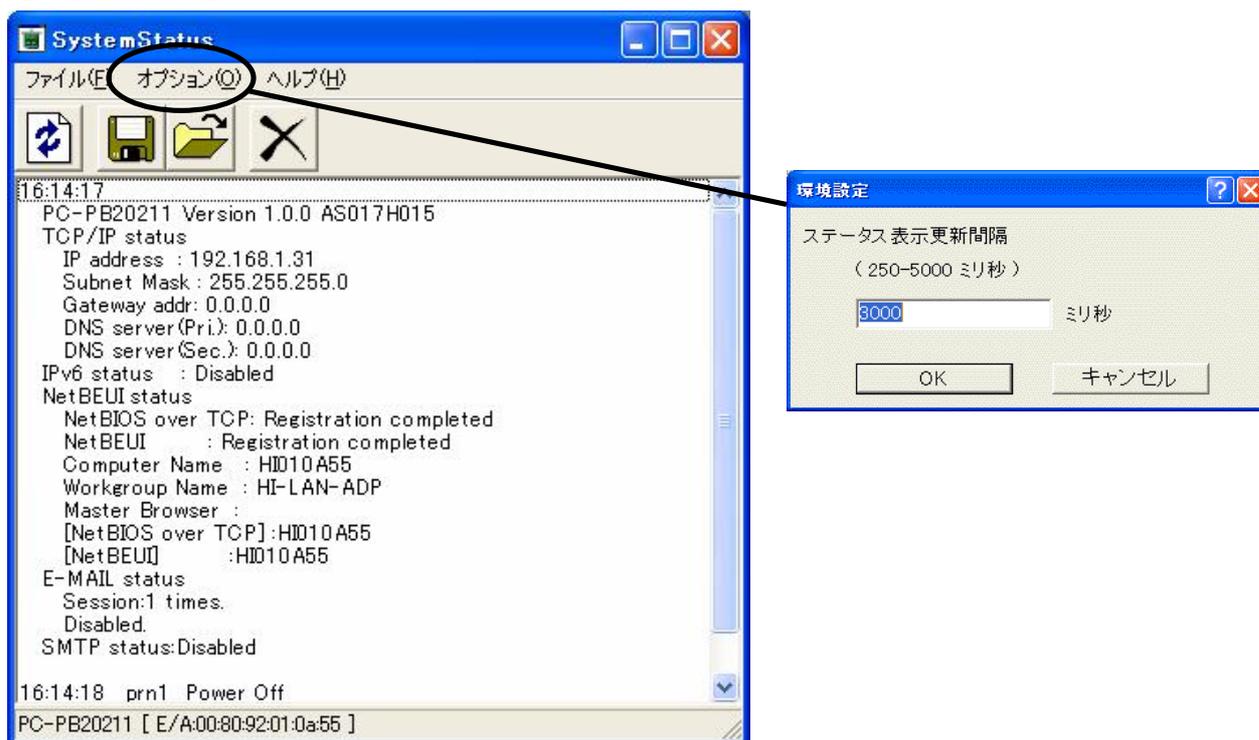
HI-PrintManager画面で選択した本製品に接続されているプリンタの状態をリアルタイムで表示します。また、環境設定画面からプリンタステータスの更新時間を指定することができます。



- ・プリンタの機種によっては、プリンタの状態を正常に取得できない場合があります。
- ・プリンタ名は本章の「General」-「プリンタ名」で設定した内容を表示します。

システムステータス

HI-PrintManager画面で選択した本製品の動作状態をリアルタイムに表示します。本製品の動作状態をファイルに保存（ログの登録）し、参照することができます。また、環境設定画面からシステムステータスの更新時間を指定することができます。

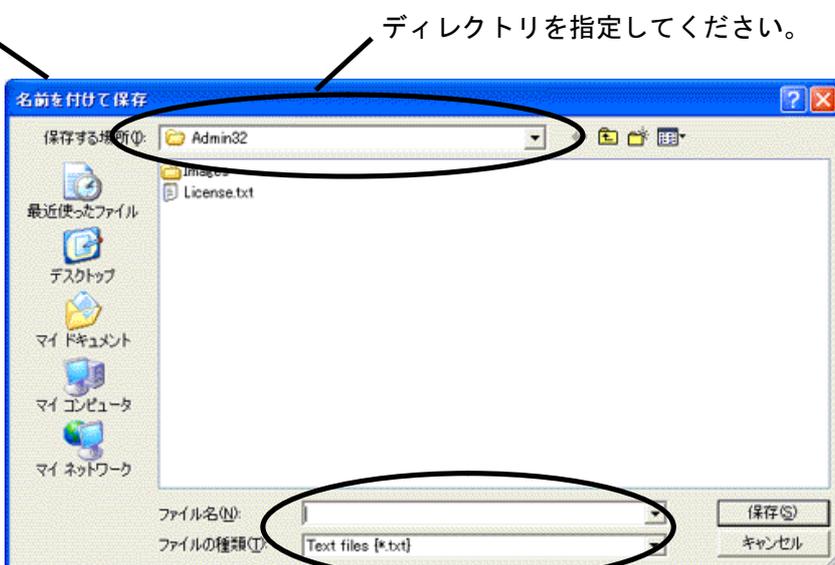
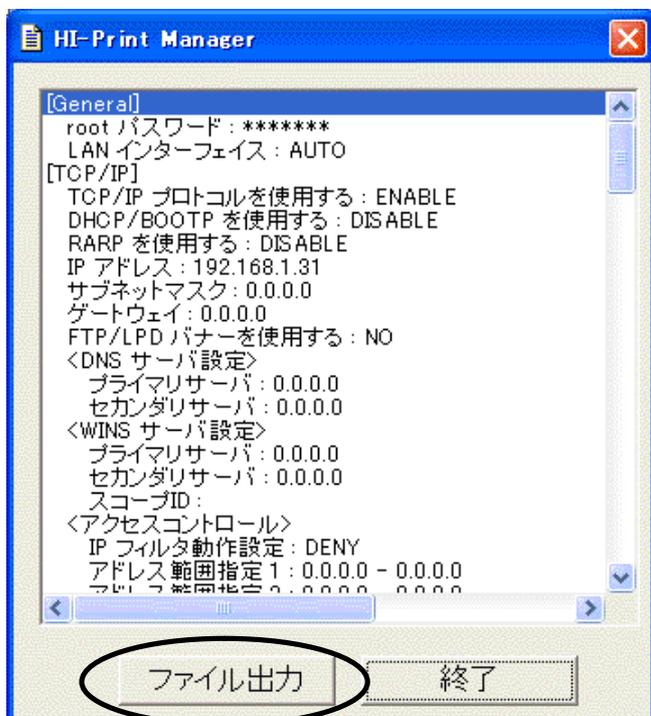


設定項目一覧表示

本製品に設定した各項目の設定値を一覧で表示します。また、設定内容をファイル出力し、管理する事ができます。



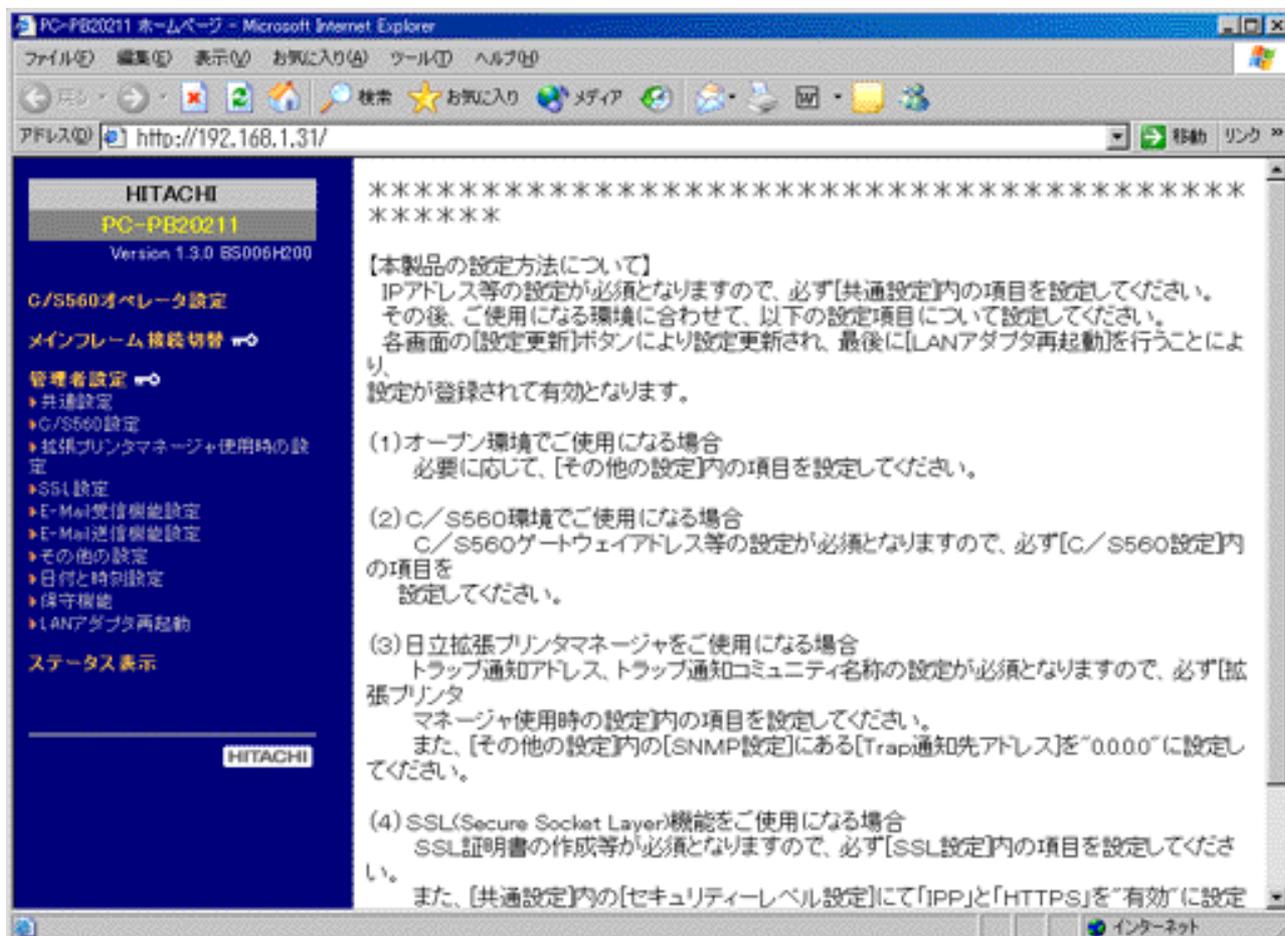
- ・ C/S560設定 (オペレータ設定を含む) および拡張プリンタマネージャ設定の設定内容は表示しません。
- また、これら項目については、ファイル出力もできません。



本製品を設定する

Web ブラウザから起動する

本製品は HTTP プロトコルを搭載しています。そのため、Web ブラウザを利用して本製品の詳細な設定及び設定内容の変更を行うことができます。また、リモートでの再起動や自己診断印刷、プリンタステータスマニタなどの便利な機能をご利用いただくことができます。



注意

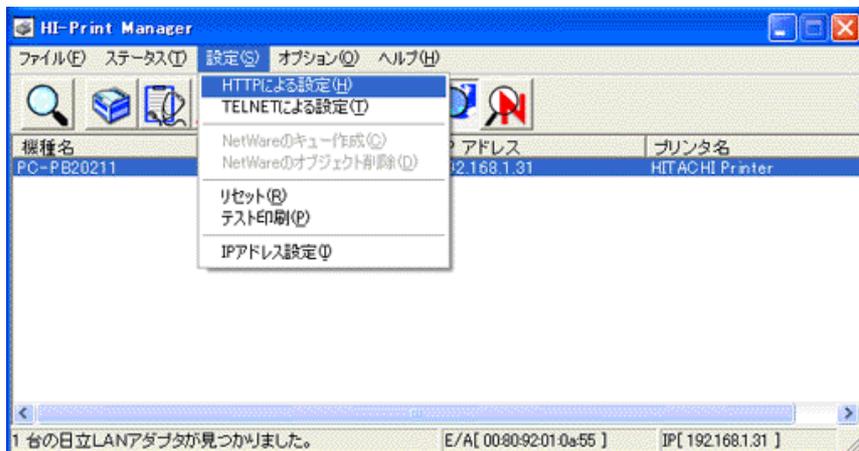
- Webブラウザを利用する場合、本製品のTCP/IPプロトコル設定が有効で、IPアドレスが設定されている必要があります。
- Webブラウザは、Netscape Navigator 3.0以降及びInternet Explorer 3.0以降のバージョンを推奨します。また、ご利用になるWebブラウザにより、多少表示が異なる場合があります。
- Webブラウザを利用して設定変更を行った際は、各ページ最下段にある「設定」ボタンを必ずクリックしてください。クリックをしないと、変更した設定情報が本製品に登録されません。
- C/S560オペレータ設定以外の項目の設定を変更した場合は、必ず「LANアダプタ再起動」を行ってください。再起動をしないと、変更した設定情報が本製品に反映されません。

本製品のWebページを表示する

設定を行う本製品のWebページを表示します。表示方法は2つあります。

①HI-PrintManagerからWebページを表示する

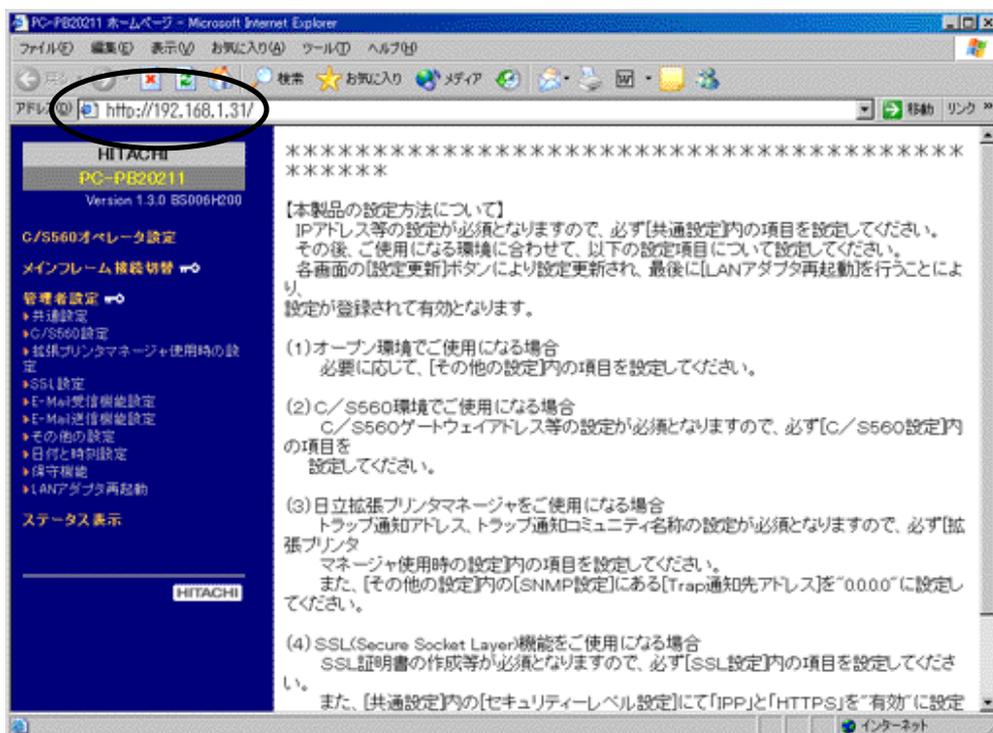
HI-PrintManagerの一覧表示から、設定を行う本製品を選択し、メニューの「設定」-「Webブラウザによる設定」をクリックする。



②WebブラウザからWebページを表示する

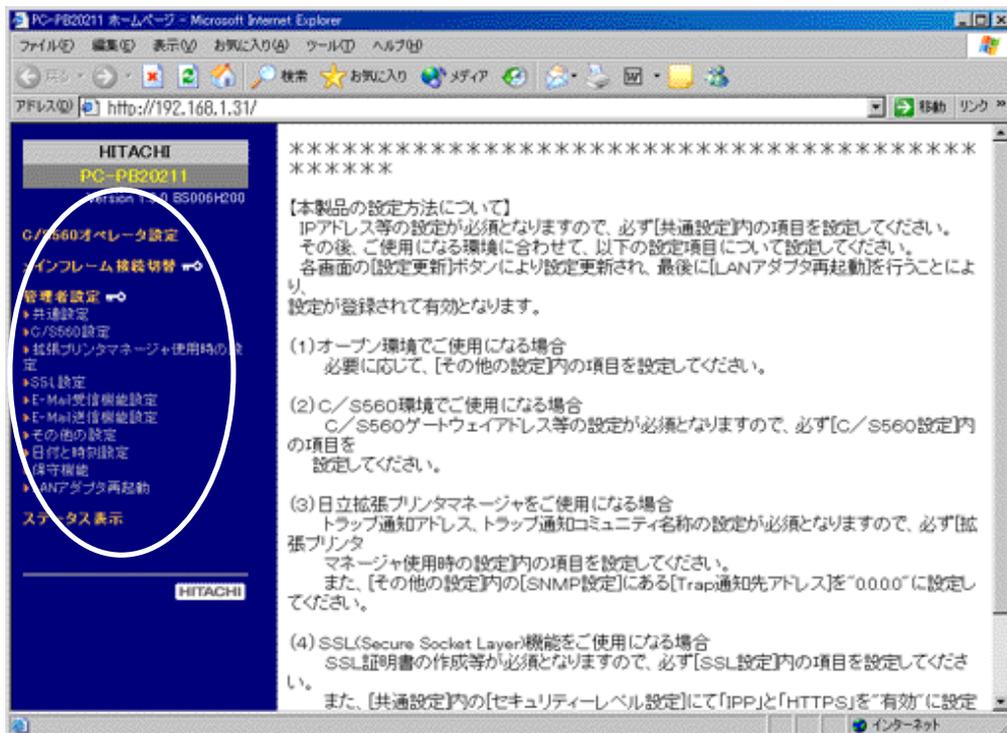
本製品に設定された「IPアドレス」をWebブラウザに入力する。

例 : <http://192.168/1/31>



本製品のWebページから設定する

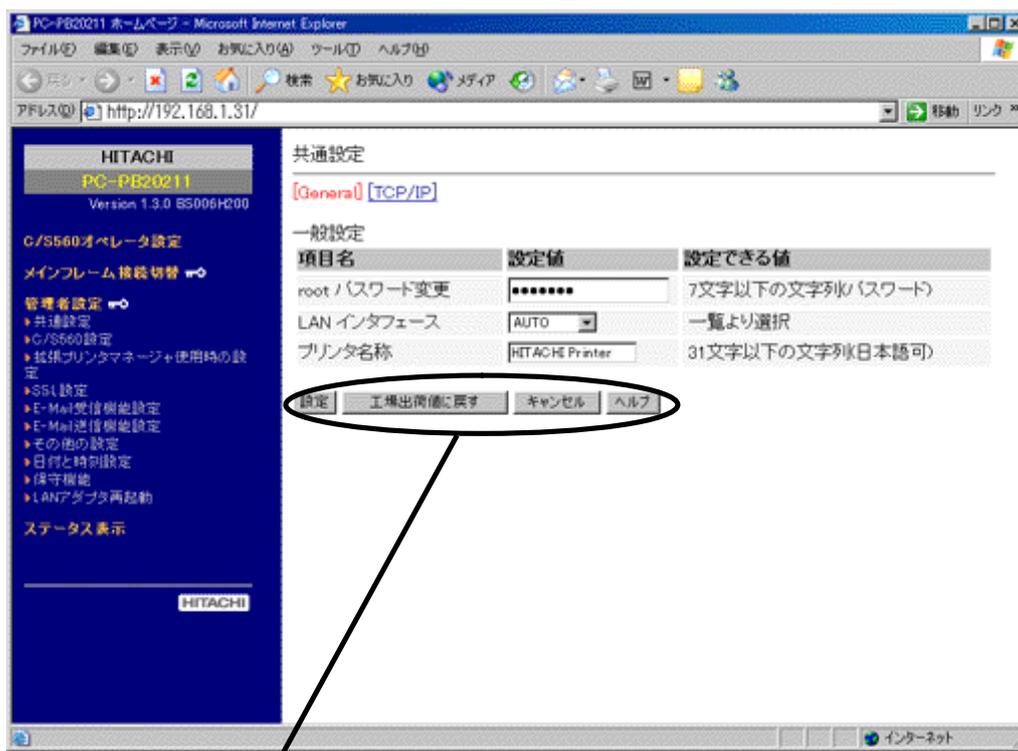
設定したい項目をクリックすると、設定画面を表示します。必要な項目を設定してください。



本製品のWebブラウザメニュー構成

項目	説明	
C/S560オペレータ設定	用紙サイズや改行ピッチなどの、プリンタへ印刷するための基本設定の変更を行います。 ・ rootパスワードは必要ありません。 ・ 本項目の設定を変更しても、再起動の必要はありません。	
メインフレーム接続切替	接続先メインフレームを切り替えることができます。 ・ 設定できるメインフレーム数は4台です。 ・ 接続できるメインフレームは1台です。	
管理者設定	共通設定	本製品をネットワークに接続するための基本設定を行います。
	C/S560設定	C/S560プロトコルに接続するための設定を行います。
	拡張プリントマネージャ使用時の設定	拡張プリントマネージャを使用するための設定を行います。
	SSL設定	本製品のセキュア(SSL)通信印刷機能に関する設定を行います。
	E-Mail受信機能設定	E-Mail受信機能の設定を行います。
	E-Mail送信機能設定	E-Mail送信機能の設定を行います。
	その他の設定	その他、本製品の詳細機能に関する設定を行います。
	日時と時刻設定	日時と時間を入力します。
保守機能	本製品を再起動します。	
LANアダプタ再起動	LANアダプタを再起動します。	
ステータス表示	プリンタとシステムの状態を表示します。 ・ rootパスワードは必要ありません。	

本製品のWebページボタン構成



項目	説明
設定	クリックすると、項目の値を設定値として記憶します。
工場出荷値に戻す	本ページの設定項目の設定値を工場出荷値に戻します。
キャンセル	変更した項目の設定値を破棄します。
ヘルプ	本ページの設定項目の説明を画面表示します。



・項目の設定を変更した場合は、必ず「設定」ボタンをクリックしてください。

注意

TELNETで設定する

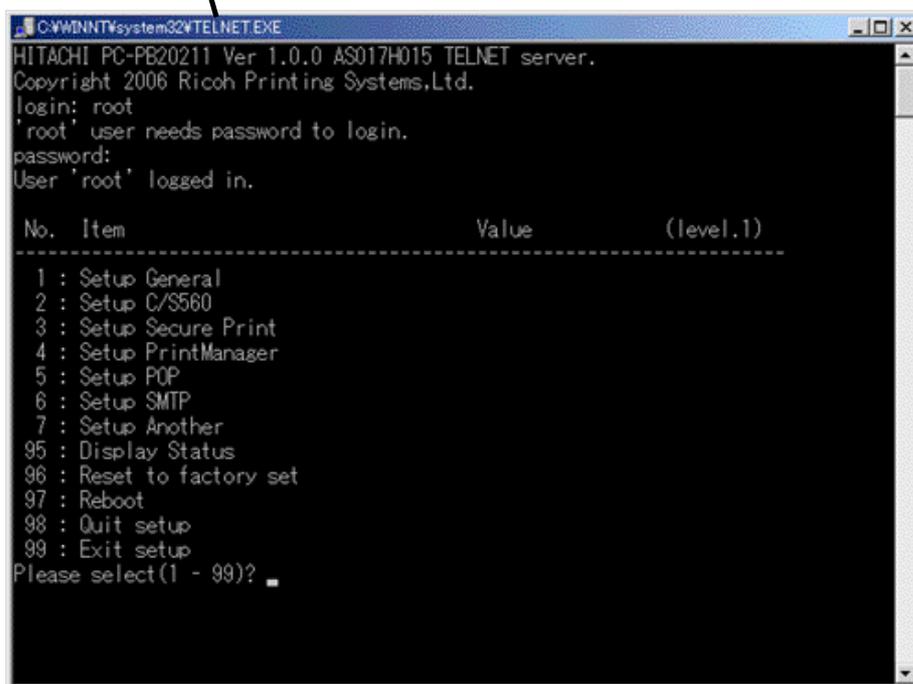
本製品はTELNETプロトコルを搭載していますので、UNIX/Linux OS搭載のコンピュータや、パソコンのTCP/IPソフトに付属しているTELNETを利用して、本製品の設定内容の変更を行うことができます。表示方法は、HI-Print ManagerからTELNETを起動する方法と、コマンドラインからTELNETを起動する方法があります。

①HI-PrintManagerから起動する

HI-PrintManagerの一覧表示の中から、設定を行う本製品を選択し、メニューの「設定」-「TELNETによる設定」をクリックしてください。下記画面を表示します。

②コマンドラインから起動する

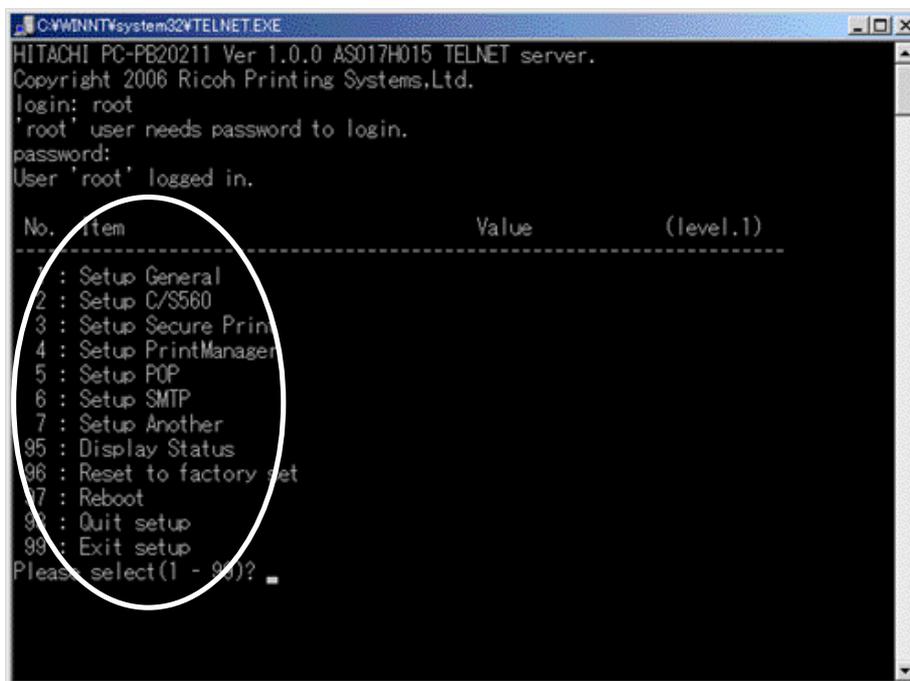
コマンドラインから、「tlnet XXX.XXX.XXX.XXX(XXXはIPアドレス)」と入力し、「リターン」キー(Enter)を押下してください。下記画面を表示します。



- ・ TELNETを利用する場合は、IPアドレスの設定が必要です。
- ・ TELNETで設定を行うには、rootユーザでログインしてください。
- ・ ログインネーム及びパスワードの初期値はLogin:root、password:未設定(「リターン」押下)です。

本製品をTELNETで設定する

TELNET接続画面に表示されている設定項目の中から、設定したい項目を選択し、番号を入力してください。設定画面を表示します。必要な項目を設定してください。



本製品のWebページボタン構成

項目	説明
1 : Setup General	本製品の基本設定を行います。
2 : Setup C/S560	C/S560プロトコルに接続するための設定を行います。
3 : Setup C/S560 User	C/S560オペレータ設定の変更を行います。
4 : Setup Secure Print	拡張プリントマネージャを使用するための設定を行います。
5 : Setup PrintManager	本製品のセキュア(SSL)通信印刷機能に関する設定を行います。
6 : Setup POP	E-Mail受信機能の設定を行います。
7 : Setup SMTP	E-Mail送信機能の設定を行います。
8 : Setup Another	その他、本製品の詳細機能に関する設定を行います。
95 : Display Status	プリンタとシステムの状態を表示します。
96 : Reset to Factory set	本製品の設定を初期化(工場出荷状態)します。
97 : Reboot	LANアダプタを再起動します。
98 : Quit setup	セットアップを中止し、変更内容を破棄します。
99 : Exit setup	セットアップを終了します。



注意

・項目の選択には、「Please select(1 -99)?」の後に該当する番号を入力し、「リターン」キー(Enter)を押下してください。次画面に選択した設定項目を表示します。

Web ブラウザ／TELNET 設定項目

C/S560 オペレータ設定 / Setup C/S560 User

C/S560オペレータ設定(Setup C/S560 User)はC/S560印刷をする際に、用紙サイズ変更など、よく使用する設定をまとめた設定項目です。これらの設定を変更する場合、rootパスワードや設定変更後の再起動は必要ありません。ページプリンタ、ドットインパクトプリンタそれぞれで設定ができます。

ページプリンタ / Setup Page Printer

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
ページプリンタ / Setup Page Printer				
C/S560オペレータ設定 (Setup C/S560 User)	デフォルト用紙サイズ	Paper Size	給紙カセットの用紙サイズを設定します。上位ホスト装置から用紙サイズ指定がない場合、本設定の値で動作します。設定値は A5P/B5P/A4P/B4P/A3P/A5L/B5L/A4L/B4L/A3L です。	A4P
	フェースアップ出力機能	Output Face up	フェースアップ出力(印刷面を上にして排紙する)の設定を行います。プリンタに両面ユニットが搭載されていることが前提になります。両面ユニットが搭載されていない場合は、本機能は有効になりません。本機能を使用すると、印刷性能は両面印刷時の速度になります。設定値は ENABLE(有効)/DISABLE(無効)です。	DISABLE
	給紙トレイ選択 (A5)	Type Select (A5)	A5サイズの給紙トレイを選択します。設定値は None、Tray1～Tray7、Bypass Tray(手差し)です。	None
	給紙トレイ選択 (A4)	Type Select (A4)	A4サイズの給紙トレイを選択します。設定値は None、Tray1～Tray7、Bypass Tray(手差し)です。	None
	給紙トレイ選択 (A3)	Type Select (A3)	A3サイズの給紙トレイを選択します。設定値は None、Tray1～Tray7、Bypass Tray(手差し)です。	None
	給紙トレイ選択 (B5)	Type Select (B5)	B5サイズの給紙トレイを選択します。設定値は None、Tray1～Tray7、Bypass Tray(手差し)です。	None
	給紙トレイ選択 (B4)	Type Select (B4)	B4サイズの給紙トレイを選択します。設定値は None、Tray1～Tray7、Bypass Tray(手差し)です。	None



注意

- ・本設定は変更後、再起動の必要はありません。「C/S560設定」-「メインフレーム選択」-「メインフレーム設定」-「C/S560印刷待ち時間(デフォルト：10秒)」経過後、設定内容が反映されます。そのため、印刷の途中で用紙サイズが変わるなどの影響が出る場合があります。
- ・本設定を変更する際に、既にC/S560印刷待ち時間を経過している場合は、設定内容は直ちに反映されます。
- ・本項目の設定内容の変更には、rootパスワードは必要ありません。
- ・本設定は、最後に受信した設定が有効になります。そのため、複数のクライアントから接続して、設定を変更すると、最後に接続したクライアントからの設定内容が有効になります。特定のクライアントからのみ接続するなど、運用で回避してください。
- ・C/S560印刷データに用紙サイズ指定コマンドが無い場合は、「デフォルト用紙サイズ」で設定した用紙で印刷をします。また、「給紙トレイ選択」で設定されている場合は、設定された給紙トレイから給紙をして印刷をします。

ドットインパクトプリンタ / Setup Dot Impact Printer

C/S560オペレータ設定 (Setup C/S560 User)	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
ドットインパクトプリンタ / Setup Dot Impact Printer				
	ユーザー用紙サイズ	Select Dot Page Size	ユーザー用紙サイズを選択します。設定値は Dot Page Size 1~Dot Page Size 16 です。	Dot Page Size*

Dot Page Size */ Dot Page Size *

C/S560オペレータ設定 (Setup C/S560 User)	項目		設定内容	工場出荷設定
	Webブラウザ	TELNET		
ドットインパクトプリンタ - Dot Page Size * / Dot Impact Printer - Dot Page Size *				
	Change Name	Change Name	この用紙の用紙名称を変更します。	Dot Page Size*
	C/S560 改行量設定	C/S560 Line Pitch	C/S560 印刷時の改行量を設定します。設定値は 3LPI/4LPI/6LPI/8LPI です。	6LPI
	C/S560 ページ長設定	C/S560 Page Length	C/S560 印刷時のページ長を行単位で設定します。設定値は 0~99 の整数値です。	0
	1 行の文字列	Moji/Line	1 行あたりの最大文字数を設定します。設定値は 132/136 文字です。	132
	文字間隔	Moji Pitch	文字間隔を設定します。設定値は 0~15 の整数値です。	4
	単票吸入量設定	Cut Sheet Top Margine	水平インサータプリンタの単票吸入量を指定します。設定値は-1/12~18/12 です。単位は「インチ」です。	0/12



注意

- ・本設定は変更後、再起動の必要はありません。「C/S560設定」-「メインフレーム選択」-「メインフレーム設定」-「C/S560印刷待ち時間(デフォルト：10秒)」経過後、設定内容が反映されます。そのため、印刷の途中で用紙サイズが変わるなどの影響が出る場合があります。
- ・本設定を変更する際に、既にC/S560印刷待ち時間を経過している場合は、設定内容は直ちに反映されます。
- ・本項目の設定内容の変更には、rootパスワードは必要ありません。
- ・本設定は、最後に受信した設定が有効になります。そのため、複数のクライアントから接続して、設定を変更すると、最後に接続したクライアントからの設定内容が有効になります。特定のクライアントからのみ接続するなど、運用で回避してください。
- ・「Dot Page Size *」はDot Page Size1~Dot Page Size16まで、合計16個の設定を登録できます。

メインフレーム接続切替 / -

メインフレーム接続切替は、接続するメインフレームを切替える機能です。登録できるメインフレームは4台です。ただし、本製品が一度に接続できるメインフレームは1台です。同時に複数のメインフレームと接続することはできません。

メインフレーム接続切替 / -

メインフレーム 接続切替 (-)	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
	メインフレーム接続切替 / -			
	メインフレーム 切替	-	接続するメインフレームを切り替えます。切替可能なメインフレームは、メインフレーム1～メインフレーム4の計4台です。	なし



注意

- ・本設定は、TELNETからは設定できません。Webブラウザから設定してください。
- ・初期状態では、メインフレームの設定がされていないため、メインフレームの切替えはできません。本機能を有効にするためには、「C/S560設定」-「メインフレーム選択」-「メインフレーム選択から、各項目の設定をしてください。各項目が設定されると、設定・登録をしたメインフレーム番号を表示し、メインフレームの切替えが可能になります。
- ・メインフレーム1を設定すると、自動的にメインフレーム1の設定内容で接続処理を行います。そのため、切替処理をしなくても再起動後にメインフレーム1へ接続します。通常使うメインフレームの設定は、必ず「メインフレーム1」に設定してください。
- ・メインフレーム1～4まで全て設定されていても、デフォルトはメインフレーム1です。
- ・メインフレーム1を設定せずに、メインフレーム2～メインフレーム4を設定した場合は、メインフレーム接続切替で切替処理を行わないと、メインフレームへの接続処理を行いません。ご注意ください。
- ・登録できるメインフレームは計4台です。
- ・「メインフレーム接続切替」で接続したメインフレームは、本製品の電源OFF/ON または再起動により開放され、再接続時はメインフレーム1の設定内容で接続します。
- ・一度に接続できるメインフレームは1台です。同時接続には対応しておりません。ご注意ください。
- ・C/S560 ゲートウェイ、メインフレームの設定については、各々のマニュアルを参照してください。

共通設定 / Setup General

一般設定 / Setup General

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
共通設定 (Setup General)	共通設定 / Setup General			
	root パスワード 変更	Change root Password	本製品の管理パスワードを ASCII 文字列 (7 文字以内) で設定します。このパスワードは本製品の設定を行う際の認証パスワードとして使用します。本項目は設定の有無に関わらず "*" を表示します。	なし
	LAN インタフェース	LAN Interface	物理ネットワークの種類を設定します。通常は AUTO で使用してください。本製品の電源投入時に本製品が接続される HUB の LINK ランプが点灯しない場合は、本設定をネットワーク種別に変更してください。設定項目は AUTO/10HALF/10FULL/100HALF/100FULL です。	AUTO
	プリンタ名称	Printer Name	プリンタ名称を設定します。本項目が設定されていない場合は、Device ID から取得する Model 名を設定します。Device ID が取得できない等の理由から「不明」の場合は、本項目に「HITACHI Printer」と設定します。	Device ID から取得する Model 名
—	PDL	使用する PDL を設定します。本設定は PDL が設定できない時のみ変更してください。設定値と詳細は下記の通りです。 AUTO : 使用言語を自動選択します。 RPCS : 使用言語を RPCS に設定します。 ESC/P : 使用言語を ESC/P に設定します。	AUTO	



注意

- ・プリンタ名称 (Printer Name) 「HITACHI Printer」は、本製品が工場出荷状態で、プリンタが接続されていない場合、またはデバイス ID の取得に対応していないプリンタを接続して起動した場合に表示します。
- ・「プリンタ名称 (Printer Name)」は、デバイス ID 取得により値が設定されると、他のプリンタを接続しても設定値は変わりません。プリンタ名称を変更する場合は、初期化の実行または直接入力をして設定値を変更してください。
- ・「PDL」の設定は Web ブラウザから設定できません。TELNET から設定してください。
- ・「PDL」の設定が AUTO の場合、本製品電源 ON 後、最初のネゴシエーション結果により PDL を選択・設定します。印刷途中等に本製品に接続されているプリンタが変更されても、本製品の PDL は、最初に設定した PDL で動作します。
- ・印刷結果に文字化けなどの不正印刷がある場合は、PDL の設定が間違えていることが考えられます。TELNET を起動して、PDL の設定をご使用のプリンタにあったものに変更してください。
- ・「プリンタ名称 (Printer Name)」および「PDL」の設定は、プリンタのプラグアンドプレイ機能を使用して設定値を変更します。お使いになるプリンタがプラグアンドプレイ機能に対応していない場合は、Web ブラウザまたは TELNET を起動し、設定値を手動で切り替えてください。
- ・プリンタの機能については、ご使用になるプリンタのマニュアル (取扱説明書) 等をご参照ください。

TCP/IP設定 / TCP/IP

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
共通設定 (Setup General)	TCP/IP 設定 / TCP/IP			
	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTP	DHCP/BOOTP プロトコルを設定します。DHCP/BOOTP は、起動時に DHCP サーバまたは BOOTP サーバから IP アドレスの取得を行うプロトコルです。本製品の IP アドレスを DHCP/BOOTP によって設定するには、サブネットワーク内に適切に設定された DHCP/BOOTP サーバが稼動していなければなりません。本設定を有効(ENABLE)にすると、DHCP と BOOTP を自動認識し、先に応答のあった IP アドレスを自分のアドレスとして採用します。	DISABLE
	RARP	RARP	RARP プロトコルを設定します。RARP(Reverse Address Resolution Protocol)とは、クライアントが起動時に RARP サーバから IP アドレスやホスト名、ドメイン名等を取得する為のプロトコルです。本製品の設定を RARP によって設定するには、サブネットワーク内に適切に設定された RARP サーバが稼動していなければなりません。	DISABLE
	IP アドレス	IP Address	IP アドレスを 10 進数(「xxx.xxx.xxx.xxx」)で設定します。	0.0.0.0
	サブネットマスク	Subnet Mask	サブネットマスクを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。「0.0.0.0」に設定した場合、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	0.0.0.0
	ゲートウェイアドレス	Gateway Address	デフォルトゲートウェイを 10 進数(「xxx.xxx.xxx.xxx」)で設定します。オープン印刷のみの場合は、本設定のゲートウェイアドレスを設定してください。ただし、本設定は、C/S560 設定のゲートウェイアドレスの設定値に従い、設定値を変更します。C/S560 接続をする場合は、C/S560 設定のゲートウェイアドレスを変更してください。	0.0.0.0
	FTP/LPD パナ ーを使用する	Use FTP/LPD Banner	FTP/LPD 印刷時のパンナーページ印刷を有効(YES)にします。	NO
	IPv6 機能	IPv6 Function	IPv6 の使用可否を指定します。IPv6 とは、ホストアドレスを表すためのフィールドを拡大し、従来の TCP/IP で問題となっていた部分を修正、機能追加をした新しいプロトコル形態です。	DISABLE
	NetworkPnP 機 能	NetworkPnP Enable	UPnP 機能を設定します。本機能は、Windows ME/XP 上のマイネットワークやネットワークコンピュータに自動的にデバイスのアイコンを表示する機能です。本機能を有効にすると、表示されたアイコンをダブルクリックすると、Web ブラウザから本製品の Web ページが表示され、ステータス確認や設定変更を行うことが出来ます	ENABLE
	—	TCP#9100 Bi-Directional mode	TCP9100 双方向モード対応ポートを設定します。本設定を有効にすると、双方向モードに対応したプリンタとの組合せで、上位装置へプリンタ状態の送信が可能になります。通常は無効(DISABLE)で使用してください。設定値は ENABLE(有効) / DISABLE(無効)です。本設定は Web ブラウザからは設定できません。TELNET から設定してください。	DISABLE
	Keep Alive 送信時間	Keep Alive	キープアライブ信号の送出間隔を設定します。 設定値は 1min/6min/10min/24hr です。	10min
	Windows スプー ラー再送印刷	Windows Spooler retransmit	プリンタがエラー等で長時間無応答状態で放置されると、Windows はスプーラーを再起動します。そのため、印刷中の JOB を取り消し、スプーラー上にある JOB の先頭から印刷データを再送信します。本機能の設定を受け捨て(Data deletion)にすると、JOB 名(送信元アドレス)、JOB 番号、バイト数をチェックし、同一の場合は既印刷 JOB として受信データを受け捨てます。設定値は印刷(Print)/受け捨て(Data deletion)です。	印刷 (Print)



- ・ 赤字の設定は、本製品で最低限の印刷をするために設定が必要な項目です。
- ・ 「TCP#9100 Bi-Directional mode」は、Webブラウザでは設定できません。TELNETで設定してください。
- ・ ルータ等を介してゲートウェイとプリンタが別のネットワークになっている場合は、「ゲートウェイアドレス」にルータのIPアドレスを設定しなければ、本製品と通信ができないため、印刷できません。
- ・ C/S560システムの印刷を行わない場合は、本項目から「ゲートウェイアドレス」を設定してください。C/S560設定の「ゲートウェイアドレス」が設定されている場合、本項目のゲートウェイアドレスの値を、C/S560設定の値に書換えます。

TCP/IP設定 / TCP/IP (続き)

項目	設定内容		工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET	
TCP/IP 設定 - DNS 設定 / TCP/IP - DNS			
プライマリサーバ	Primary Server	DNS サーバ(プライマリ)アドレスを設定します。POP/SMTP サーバ名を IP アドレスで直接設定する場合は、設定する必要はありません。10 進数(「xxx.xxx.xxx.xxx」)で設定します。本設定により、POP/SMTP サーバ名と IP アドレスを対応させることができます。	0.0.0.0
セカンダリサーバ	Secondary Server	DNS サーバ(セカンダリ)アドレスを設定します。	0.0.0.0
TCP/IP 設定 - WINS 設定 / TCP/IP - WINS			
プライマリサーバ	Primary Server	WINS サーバ(プライマリ)アドレスを設定します。WINS サーバはホスト名を IP アドレスに割り当てます。本設定により、TCP/IP 印刷の際に IP アドレスを使用せず、NetBIOS で設定したホスト名で印刷を行うことができます。設定値は、10 進数(「xxx.xxx.xxx.xxx」)で設定します。	0.0.0.0
セカンダリサーバ	Secondary Server	WINS サーバ(セカンダリ)アドレスを設定します。	0.0.0.0
スコープ ID	Scope ID	スコープ ID は登録されたホスト名を認識するコンピュータのグループを定義します。	なし
TCP/IP 設定 - IP フィルタ設定 / TCP/IP - IP Filter Config			
IP フィルタ動作設定	Filter Mode	IP フィルタの動作を設定します。設定には「allow」と「deny」があり、「allow」にすると設定した IP アドレス範囲からのみデータを受けとります。「deny」にすると設定した IP アドレス範囲からのデータを受けとりません。	DENY
フィルタ #0-#3 開始/終了アドレス	Filter #0-3 start/end address	IP フィルタの範囲を設定します。フィルタしたい IP アドレスの範囲は4組まで設定できます。設定が不要な場合はアドレス範囲を「0.0.0.0」から「0.0.0.0」にしてください。	0.0.0.0
TCP/IP 設定 - セキュリティーレベル設定 / TCP/IP - Setup Secure Print			
セキュリティーレベル設定	Security Configuration	セキュリティーレベルを設定します。本項目を CUSTOM に設定すると、各プロトコル毎で有効/無効を設定できます。ただし、Setup Protocol, TELNET, HTTP, HTTPS の 4 項目全てを無効にすると、本製品の設定変更が出来なくなるため、エラー表示して設定の見直しを要求します。また、セキュリティーレベルが Level1/Level2 の場合、個々のプロトコルを手動で有効/無効設定はできません。なお、本設定が CUSTOM 以外の場合、TELNET から本製品への接続はできません。TELNET からの接続がある場合は、セキュリティーレベルを CUSTOM にして、TELNET を有効(ENABLE)に変更してください。	Level1

共通設定
(Setup General)

C/S560 設定 / Setup C/S560

メインフレーム / Mainframe Select

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
	メインフレーム接続切替 / -			
C/S560 設定 (Setup C/S560)	メインフレーム 選択	Mainframe Select	設定を行うメインフレームの選択をします。 設定値はメインフレーム 1(Mainframe1)~4 です。 ・通常接続するメインフレームの設定は、必ずメインフレーム 1 に設定してください。メインフレーム 1 が未設定の場合、メインフレームへの自動接続は行いません。 ・メインフレーム 1 の設定を行い、LAN アダプタを再起動すると、メインフレーム 1 へ接続処理を行います。 ただし、メインフレーム 2~4 の設定をして LAN アダプタを再起動しても、メインフレーム 2~4 へは接続しません。メインフレーム 2~4 へ接続する場合は、メインフレーム選択画面で接続するメインフレームを選択してください。	メインフレーム 1 (Mainframe1)



注意

- ・本設定は、C/S560システムから印刷する場合での必須設定項目です。
- ・通常使用するメインフレームを「メインフレーム 1」へ設定・登録してください。
- ・C/S560システムから印刷を行わない場合は、本設定は不要です。
- ・C/S560印刷からは、セキュア(SSL)通信印刷機能は使用できません。ご注意ください。
- ・C/S560ゲートウェイ、メインフレームの設定については、各々のマニュアルを参照してください。

メインフレーム * / Mainframe *

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
C/S560 設定 (Setup C/S560)	メインフレーム接続切替 / -			
	ゲートウェイ アドレス	Gateway Address	本製品のデフォルトゲートウェイを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」で設定します。本設定は、「一般設定」-「TCP/IP 設定」のゲートウェイアドレスを書換えます。ご注意ください。	0.0.0.0
	メインフレーム* 説明	Mainframe* description	メインフレーム接続切替画面で、切替対象のメインフレームに任意の説明文を表示させることができます。	なし
	C/S560 ゲート ウェイアドレス	C/S560 G/W Address	C/S560 印刷のゲートウェイサーバの IP アドレスを 10 進数「xxx.xxx.xxx.xxx」で設定します。	0.0.0.0
	C/S560 ポート 番号	C/S560 Port No.	C/S560 印刷の TCP/IP のポート番号を設定します。	40004
	メインフレーム 名称	Mainframe Name	メインフレーム名称を設定します。	MANFRAME1
	端末アプリ ケーション名称	Application Name	端末アプリケーションの名称を設定します。	APPLICATION 1
	アプリケーション セレクタ名称	AP Selector Name	アプリケーションのセレクタ名称を設定します。	AP000
	C/S560 切替待ち時間	C/S560 Job Timeout	C/S560 印刷からオープン系印刷への移行時間を設定します。設定値は 0sec/10sec/20sec/40sec です。	10sec
	C/S560 エラー リトライ時間	C/S560 error Timeout	上位ホスト装置が起動していない、ゲートウェイサーバがダウンしている等の理由から、アソシエーション確立時にエラーが発生した場合や、TCP/IP コネクションでエラーが発生した場合、本設定時間後にリトライ処理を開始します。設定値は 0sec/30sec/1min/5min/10min/30min/60min/12hr/24hr/None です。None に設定すると、エラーリトライを実行しません。	0sec
オープン印刷中の エラー応答	Error Response	オープン系印刷中に C/S560 印刷が競合した場合の NAK 応答を設定します。設定値は NAK27/NAK29 です。	NAK27	

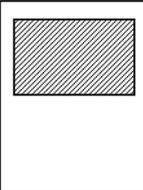
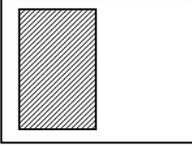
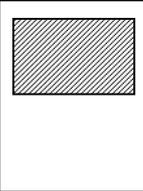
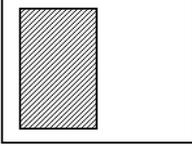


- ・本設定は、C/S560システムから印刷する場合での必須設定項目です。
- ・C/S560印刷からは、セキュア (SSL) 通信印刷機能は使用できません。ご注意ください。
- ・メインフレーム* (Mainframe*) の* (アスタリスク) には、メインフレーム選択で指定した1~4の番号を表示します。なお、設定できるメインフレームは計4台までです。
- ・オープン印刷中にC/S560印刷が競合した時にメインフレームがアソシエーションを切断する場合は、「オープン印刷中のエラー応答 (Error Response)」の設定をNAK29へ変更してください。なお、本設定を変更する場合は、事前に他装置やプログラム等に対して新たな問題が発生しないか、十分に検証、確認をしてください。
- ・本項目のゲートウェイアドレスは、TCP/IP関連項目の「ゲートウェイアドレス」を書換えます。C/S560システム環境で使用する場合は、本項目から設定をしてください。
- ・C/S560システムからの印刷を行わない場合は、本項目の設定は不要です。
- ・メインフレーム接続切替で接続するメインフレームを切り替えると、TCP/IP関連項目の「ゲートウェイアドレス」の設定値は、接続するメインフレーム設定のゲートウェイアドレスの値に変更してください。本設定により、接続するゲートウェイが変わると、セグメント相違によりプリンタへの印刷ができなくなる場合があります。そのような場合は、システム管理者にご相談ください。
- ・C/S560ゲートウェイの機種により、「メインフレーム名称 (Mainframe Name)」を参照しない装置があります。そのような場合でも、メインフレーム名称をスペースにせず設定してください。デフォルトの「MAINFRAME1」ままでも問題はありません。
- ・「端末アプリケーション名称 (Application name)」は、接続できる上位装置は1つのみのため、任意の名称で問題はありません。ただし、メインフレーム名称同様、スペースにせず設定をしてください。本設定をスペースにすると、上位装置と接続ができなくなる場合があります。
- ・C/S560ゲートウェイ、メインフレームの設定については、各々のマニュアルを参照してください。

ページプリンタ / Setup Page Printer

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
ページプリンタ / Setup Page Printer				
C/S560 設定 (Setup C/S560)	エラー待ち時間	Error Timeout	プリンタエラー発生時のタイムアウト時間を設定します。プリンタエラーが発生した場合、本設定時間経過後、上位ホスト装置にエラー発生を通知します。タイムアウト前に復旧すれば、エラー発生を上位ホスト装置に通知せず、印刷動作を継続します。設定値は 0min/5min/10min/15min/20min/None(通知なし)です。 ・設定値を 0min に設定した場合、プリンタエラー発生と同時に、上位ホスト装置にプリンタエラーを通知します。 ・設定値を None に設定すると、プリンタエラーが発生してもエラー通知しません。ただし、上位ホスト装置でタイムアウトになる場合があります。運用形態および上位ホスト装置の設定を確認してから設定をしてください。	5min
	キャラクタサイズ	Character Size	文字サイズを設定します。設定値は 7p/9p です。	7p
	全角文字種	ZENKAKU MOJI Type	印刷する全角文字コード種を設定します。設定値は KEIS'78/KEIS'83/KEIS'90 です。	KEIS'90
	Windows 特殊文字	Windows undefined code Font type	KEIS コードの(ADA1)h から(ADFE)h の文字データに対して、印刷する文字種を設定します。設定値は KEIS(KEIS 文字印刷)と Windows(Windows 特殊文字印刷)です。	KEIS
	半角文字種	HANKAKU MOJI Type	印刷する半角文字コード種を設定します。設定値は EBCDIC/EBCDIK/EBCDIK' です。	EBCDIK'
	FF 後の EM 動作	EM after FF	C/S560 印刷データ受信による改頁(FF)動作実行後の改行(EM)動作を行う/行わないを設定します。設定値は ENABLE(行う)/DISABLE(行わない)です。	ENABLE
	文字のベースライン	Character Base Line	印刷する文字の基準位置であるベースラインを、上下方向に 1 ドット(1/600 インチ)単位で微調整します。本設定は図形データや画像データには影響しません。設定値は -50~+50 ドットの整数値から設定します。	0
	HT コマンド	OT Top Margin	オンラインタブ指定時の上マージン設定を有効/無効にします。設定値は ENABLE(有効)/DISABLE(無効)です。	ENABLE
	エミュレーション実行単位	Emulation Run Unit	C/S560 印刷—互換モード時の改頁コマンドが無い印刷データを受信した際の、エミュレーション変換—印刷を行うタイミングを行単位/ページ単位で設定します。設定値は TEXT(行単位)/PAGE(ページ単位)です。	PAGE
	上余白補正	Upper blank	上余白の値を設定します。設定範囲は -50mm~+50mm で、0.1mm 毎に設定可能です。設定範囲を超えた場合は、それぞれの最大値(-50mm または+50mm)を表示・動作します。なお、受信データに上余白指定コマンドがある場合、本指定の余白を加算して印刷します。	0.0
	左余白補正	Left blank	左余白の値を設定します。設定範囲は -50mm~+50mm で、0.1mm 毎に設定可能です。設定範囲を超えた場合は、それぞれの最大値(-50mm または+50mm)を表示・動作します。なお、受信データに上余白指定コマンドがある場合、本指定の余白を加算して印刷します。	0.0
白紙出力抑止機能	Save blank paper	白紙ページを出力する/出力しないを設定します。設定値は ENABLE(抑止)/DISABLE(出力)です。	ENABLE	

ページプリンタ / Setup Page Printer (続き)

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
ページプリンタ / Setup Page Printer				
C/S560 設定 (Setup C/S560)	用紙サイズ変換 (A3→A4)	Paper size conversion (A3→A4)	<p>印刷データの用紙サイズ A3P/A3L 指定を、用紙サイズ A4P/A4L に変換する/変換しないを設定します。設定値は ENABLE(変換する)/DISABLE(変換しない)です。本機能は、縮小印刷機能ではありません。</p> <p>(例)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>①A3P</p>  <p>A3P の上半分を A4L で印刷します。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②A3L</p>  <p>A3L の左半分を A4P で印刷します。</p> </div> </div> <p>・本機能が ENABLE(変換する)の状態、印刷データに用紙サイズ指定が無い場合でも、用紙サイズ設定が A3P/A3L の場合、A4P/A4L 用紙に出力します。</p> <p>・給紙は、給紙トレイ選択 (A3) の設定に従います。</p>	DISABLE
	用紙サイズ変換 (B4→B5)	Paper size conversion (B4→B5)	<p>印刷データの用紙サイズ B4P/B4L 指定を、用紙サイズ B5P/B5L に変換する/変換しないを設定します。設定値は ENABLE(変換する)/DISABLE(変換しない)です。本機能は、縮小印刷機能ではありません。</p> <p>(例)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>①B4P</p>  <p>B4P 用紙の上半分を B5L で印刷します。</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>②B4L</p>  <p>B4L 用紙の左半分を B5P で印刷します。</p> </div> </div> <p>・本機能が ENABLE(変換する)の状態、印刷データに用紙サイズ指定が無い場合でも、用紙サイズ設定が B4P/B4L の場合は、B5P/B5L 用紙へ出力します。</p> <p>・給紙は、給紙トレイ選択 (B4) の設定に従います。</p>	DISABLE
	A4,B5 用紙セット 方向	A4,B5 paper direction	A4,B5 用紙カセットにセットする方向(用紙送りに対する向き)	long



- ・用紙サイズ指定コマンドが無く、用紙サイズ変更がENABLE(変換する)に設定されていて、かつデフォルト用紙サイズがA3P/A3L/B4P/B4Lの場合、用紙サイズ変換に従って印刷します。変換元のサイズ(A3、B4)への印刷はできません。ご注意ください。
- ・用紙サイズ変換(A3→A4)または(B4→B5)がENABLE(変換する)に設定されている場合、給紙トレイ選択(A3)、(B4)の設定値に従って給紙します。

ドットインパクトプリンタ / Setup Dot Impact Printer

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
ドットインパクトプリンタ / Setup Dot Impact Printer				
C/S560 設定 (Setup C/S560)	プリンタ種別	Printer Class	本製品で使用するプリンタ種別を設定します。 設定値と詳細は下記の通りです。 ・ Serial : 通常のドットインパクトプリンタ ・ Inserter : 水平インサータプリンタ (装置前面から単票給排紙可能な装置) ・ Line : ラインプリンタ ・ LinePE : ページ保証機能を有するラインプリンタ	Serial
	プリンタエラー 待ち時間	Error Recovery Time	プリンタエラー回復時の上位ホスト装置に対する NTF 報告待ちを設定します。 設定値は ENABLE(する)/DISABLE(しない)です。 ENABLE の場合、NTF 報告待ち時間は約 15 秒です。	DISABLE
	全角文字種	ZENKAKU MOJI Type	印刷する全角文字コード種を設定します。 設定値は KEIS'78/KEIS'83/KEIS'90 です。	KEIS'90
	Windows 特殊文字	Windows undefined code Font type	KEIS コードの(ADA1)h から(ADFE)h の文字データに対して、 印刷する文字種を設定します。設定値は KEIS(KEIS 文字印 刷)と Windows(Windows 特殊文字印刷)です。	KEIS
	半角文字種	HANKAKU MOJI Type	印刷する半角文字コード種を設定します。 設定値は EBCDIC/EBCDIK/EBCDIK' です。	EBCDIK'
	半角フォント種	HANKAKU Font Type	印刷する半角文字フォント種を設定します。 設定値は MINCHOU/OCR-B です。	MINCHOU
	ED 機能	ED Effect	C/S560 印刷データの ED 機能を設定します。 設定値は ENABLE(有効)/DISABLE(無効)です。	ENABLE
	VT 機能	VT Effect	C/S560 印刷データの VT 変換機能を設定します。 設定値は Surplus(切捨て)/Space(スペース)です。	Space
	FF 後の EM 動作	EM Affter FF	C/S560 印刷データの改ページ動作実行後の改行動作を設 定します。 設定値は ENABLE(行う)/DISABLE(行わない)です。	ENABLE
	印刷方向	AUTO Direction	OCR-B フォントの印刷方向を設定します。 設定値は Uni(片方向)/Bi(両方向)です。	Uni
	アソシエーション 確立後の初期化	Association after Reset	アソシエーション確立後のページ長設定コマンド、 初期化コマンドの送信を設定します。 設定値は ENABLE(する)/DISABLE(しない)です。	ENABLE
	単票前排出制御 コード動作	Paper Eject	C/S560 制御コード「単票前排出制御コード」を受信した 場合の動作を設定します。設定値は前排出(Front)/ プリンタ設定(Printer Setting)です。 ・ 前排出 (Front) : 前方向に単票を排出します。 プリンタの排出方向設定は無効になります。 ・ プリンタ設定 (Printer Setting) : プリンタの排出 方向設定で設定された方向に用紙を排出します。	前排出 (Front)
	半角文字セット タイプ	HANKAKU MOJI Set Type	活字ラインプリンタからの移行支援のための設定です。 通常は、本設定を変更する必要はありません。	選択しない (NONE)



- ・ ご使用になるプリンタと「プリンタ種別 (Printer Class)」の設定が異なる場合は、それら製品で使用する拡張コマンドは動作しません。
- ・ プリンタが対応していない拡張コマンドを受信した場合、プリンタは文字列として認識、印刷することがあります。ご使用になるプリンタと「プリンタ種別 (Printer Class)」の設定は必ず合わせてください。
- ・ 本製品で機能を設定しても、ご使用になるプリンタに該当する機能が搭載されていない場合は、その設定は動作しません。
- ・ 半角文字セットタイプは、活字ラインプリンタからの移行支援のための特殊機能です。通常の使用で本設定を変更すると、文字化け等の誤印刷の原因になります。ご注意ください。
- ・ プリンタの機能については、ご使用になるプリンタのマニュアル (取扱説明書) 等をご参照ください。

拡張プリンタマネージャの設定 / Setup PrintManager

拡張プリンタマネージャの設定 / Setup PrintManager

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
拡張プリンタ マネージャ (Print Manager)	拡張プリンタマネージャの設定 / Setup PrintManager			
	認証 コミュニティ名	Authentic Community	SNMP の認証コミュニティ名を設定します。このコミュニティ名は SNMP Set Request を受け付けるときに認証されます。設定値は 15 文字以内の文字列です。本コミュニティ名は拡張プリンタマネージャ専用の設定です。本項目は設定の有無に関わらず "*" を表示します。	public
	印刷トラップ コミュニティ名称	Print Trap Community	印刷完了時に SNMP で Trap 通知をする際に使用するコミュニティ名称を設定します。設定値は 15 文字以内の文字列です。本印刷トラップコミュニティ名称は拡張プリンタマネージャ専用の設定です。	public
	印刷トラップ アドレス	Print Trap Address	印刷完了時に SNMP で Trap 通知する通知先 IP アドレスを指定します。本印刷トラップアドレスは拡張プリンタマネージャ専用の設定です。	0.0.0.0



注意

- ・本設定は、拡張プリンタマネージャ専用の設定です。拡張プリンタマネージャからの印刷を行わない場合は、本項目の設定は必要ありません。
- ・拡張プリンタマネージャからの印刷では、セキュア (SSL) 通信印刷機能は使用できません。ご注意ください。

SSL 設定 / Setup Secure Print

SSL設定 / Setup Secure Print

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
SSL 設定 (Setup Secure Print)	SSL 設定 / Setup Secure Print			
	暗号化を使用する	Secure Print	本設定を有効(ENABLE)にすることで、印刷データを暗号化します。印刷データの暗号化にはセキュア(SSL)通信を使用します。セキュア(SSL)通信には、インターネットで個人情報等を入力する際に、盗聴やなりすまし防止に使用される通信方式で、一般化されたセキュリティ機能の一つです。	ENABLE
	暗号化方式	SSL Mode	暗号化方式を設定します。 暗号化方式には性能重視(速度優先:Level1)と品質重視(高暗号化:Level2)が設定できます。	Level1



- ・セキュア (SSL) 通信印刷機能を使用する場合は、本設定のほかに証明書情報の作成及び有効期限の設定が必要です。
- ・セキュア (SSL) 通信印刷を行う場合は、ポート名を「https:// ~」に設定してください。

証明書情報作成 / 有効期限設定 (Webブラウザからのみ設定可能)

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
SSL 設定 (-)	証明書情報作成 / -			
	都道府県名	-	都道府県名を設定します。設定値は 128 文字以下の文字列(仮名、漢字の場合は 64 文字以下)です。 本項目は必ず設定してください。	なし
	市区町村名	-	市区町村名を設定します。設定値は 128 文字以下の文字列(仮名、漢字の場合は 64 文字以下)です。 本項目は必ず設定してください。	なし
	組織名	-	組織を設定します。設定値は 64 文字以下の文字列(仮名、漢字の場合は 32 文字以下)です。 本項目は必ず設定してください。	なし
	部門名	-	部門を設定します。設定値は 64 文字以下の文字列(仮名、漢字の場合は 32 文字以下)です。 本項目は必ず設定してください。	なし
	一般名	-	一般名を設定します。設定値は 64 文字以下の文字列(仮名、漢字の場合は 32 文字以下)です。 本項目は必ず設定してください。	なし
	メールアドレス	-	メールアドレスを設定します。設定値は 128 文字以下の文字列です。本項目は空欄でも設定可能です。	なし
	有効期限設定 / -			
	発効日	-	本証明書を発行するコンピュータの日時情報を参照して設定するため、変更できません。	-
	有効期限日	-	発行する証明書の有効期限日を設定します。	なし



- ・本設定はTELNETからは設定できません。Webブラウザから設定をしてください。

E-Mail受信設定 / Setup POP

E-Mail受信機能設定 / Setup POP

	項目		設定内容	工場出荷設定	
	Webブラウザ	TELNET			
E-Mail 受信機能設定 / Setup POP					
E-Mail 受信 (Setup POP)	基本設定	POP プロトコル	POP Protocol	POP プロトコルの使用可否を設定します。 設定値は有効(ENABLE)/無効(DISABLE)です。	DISABLE
		着信チェック 間隔(分)	Check Interval(min.)	メールサーバへの着信問い合わせ間隔を分単位で 設定します。	15
	ユーザー設定 1~4 (User Profile 1~4)	このユーザ設 定を使用する	User Profile *	各ユーザのメール受信機能を設定します。 設定値は ENABLE(有効)/DISABLE(無効)です。	DISABLE
		POP サーバ名	POP Server Name	メールサーバのホスト名(または IP アドレス)を設定 します。ドメイン名を使用する場合は DNS サーバ の設定が必要です。	なし
		POP ポート 番号	POP Port Number	POP ポート番号を設定します。 通常はデフォルト値(110)で使用してください。	110
		POP ユーザ名	POP User Name	メールアカウント no ログイン名(ユーザ名)を設定し ます。	なし
		POP パスワード	POP Password	メールサーバに接続する際に使用するパスワード を設定します。本項目は設定の有無に関わらず "*"を表示します。	なし
		APOPを使用 する	Use APOP	APOP を設定します。APOP を利用するには、 メールサーバが APOP に対応している必要があります。	NO
		受信したメール を削除する	Delete Mail after Retrieve	本製品が受信・印刷したメールをメールサーバ上 から削除するかを設定します。印刷対象でない添 付ファイルのあるメールは、この設定を有効(YES) にしてもメールを削除しません。	NO
		メール受信 制限(Kbyte)	Maximum Retrieve(KByte)	指定サイズ以上のメールは処理しません。 処理対象から除外されたメールは、「受信メールを サーバから削除」の項目にチェックをしている場合 でも削除しません。本設定を 0 に設定した場合、 サイズによる制限は行わず、全てのメールを受信 します。	0
		フィルタ設定	Filter Setting	特定のメールのみ印刷します。ヌル(空文字列)の 場合は、全てのメールが印刷の対象になります。 タイトル条件(S:文字列)、宛先条件(T:文字列)、同 報宛先条件(C:文字列)、送信元条件(F:文字列)の 4種類のセンテンスを OR 条件(!)または、AND 条件 (&)で接続した文字列で設定します。	なし
	開封通知	Request a read receipt	開封通知が指定されたメールに対して返信を行 うかを設定します。開封通知メールは、SMTP 設定 のサーバ情報に対して送信処理を行います。	NO	

E-Mail送信設定 / Setup SMTP

E-Mail送信機能設定 / Setup SMTP

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
E-Mail 送信 (Setup SMTP)	E-Mail 送信機能設定 / Setup SMTP			
	SMTP プロトコルを使用する	SMTP Protocol	SMTP プロトコルを有効(ENABLE)にします。無効にすると E-Mail 送信機能が停止します。	DISABLE
	SMTP サーバ名	SMTP Server Name	SMTP サーバのホスト名を設定します。ホスト名にはドメイン名または IP アドレスを入力します。ドメイン名を使用する場合は DNS サーバの設定が必要です。	なし
	SMTP ポート番号	SMTP Port Number	SMTP ポート番号を設定します。通常はデフォルト値(25)で使用してください。	25
	送信元アドレス	From Address	送信元のアドレスを設定します。通常はネットワーク管理者のメールアドレスを設定します。	なし
	署名	Signature Line (1~4)	メールの送信メッセージの文末に付加する文字列の内容を設定します。	HITACHI PC-PB20211 [XX:XX:XX:XX:XX:XX] (製品名と Ethernet アドレス)
	送信アドレス(1~2)	Event to Address(1~2)	送信アドレス(1~2)の送信条件を設定します。	—
	送信先アドレス(1~2)	To Address(1~2)	送信先のメールアドレスを設定します。	なし
	チェック間隔(分)	Check Interval (min.)	イベントの記録を一定間隔(分単位)でチェックします。この間隔内に1つ以上のイベントが発生した場合、その記録をまとめて送信します。	10
	オフライン	Offline	オフライン時にメールを送信します。	OFF
	紙切れ	Paper Empty	プリンタ用紙無し時にメールを送信します。	OFF
	プリンタ異常	Fault	プリンタ異常発生時にメールを送信します。	OFF
	SMTP 認証	SMTP AUTH Enable	SMTP 認証の使用有無を指定します。	DISABLE
	SMTP 認証名	SMTP AUTH Name	SMTP 認証名を指定します。	なし
	SMTP 認証パスワード	SMTP AUTH Password	SMTP 認証パスワードを指定します。本項目は設定の有無に関わらず"*"を表示します。	なし

日付と時刻設定 (Webブラウザからのみ設定可能)

日付と時刻設定 / —

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
日付と時刻設定 (-)	日付と時刻設定 / —			
	ローカルタイム(日付)	—	日付を設定します。日付は「yyyy/mm/dd」です。	1970/01/01
	ローカルタイム(時間)	—	時刻を設定します。時刻は「hh:mm」です。	0:00
	ローカルタイムゾーン	—	タイムゾーンを設定します。日本は+9:00 に設定してください。	+9:00



- ローカルタイムゾーンはグリニッジ標準時(GMT)を基準にしています。
- 本設定はTELNETから設定ができません。Webブラウザから設定してください。

保守機能 / Setup HEX Dump Mode

保守機能/ Setup HEX Dump Mode

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
印刷機能 / Setup Another - HEX Dump Mode				
自己診断印刷	—		「実行」をクリックすると自己診断印刷を行います。	—
設定情報印刷	—		「実行」をクリックすると設定情報印刷を行います。	—
プレロード外字印刷	—		「実行」をクリックすると、本装置に登録されたプレロード外字を印刷します。	—
登録情報更新機能 / -				
設定情報コピー (保存)	—		LAN アダプタの設定情報をファイルへ保存します。設定を「ON」にして「実行」をクリックしてください。	OFF
設定情報コピー (更新)	—		ファイルに保存された LAN アダプタの設定情報を、LAN アダプタに送信して設定情報を更新します。設定を「ON」にしてファイル名を入力し、「実行」をクリックしてください。	OFF
初期化	—		本製品の設定値を工場出荷時設定に戻します。設定を「ON」にして「実行」をクリックしてください。	DISABLE
プレロード外字コピー (保存)	—		LAN アダプタにプレロードされた外字をファイルへ保存します。設定を「ON」にして「実行」をクリックしてください。	OFF
プレロード外字コピー (更新)	—		ファイルに保存されたプレロード外字ファイルを、LAN アダプタに送信して登録します。設定を「ON」にして、ファイル名を入力し、「実行」をクリックしてください。	OFF
プレロード外字クリア	—		本製品にプレロードされた外字を消去します。設定を「ON」にして「実行」をクリックしてください。	DISABLE
16 進ダンプ機能 / Setup Another - HEX Dump Mode				
16 進ダンプ印刷	HEX Dump to Print		C/S560 印刷時のプリンタコードを 16 進数形式(HEX)で印刷します。設定値は ENABLE(有効)/DISABLE(無効)です。Web ブラウザからの設定の場合は、ENABLE(DISABLE)に設定してから「実行」をクリックしてください。	DISABLE
16 進ダンプメモリー格納	—		C/S560 印刷時のプリンタコードを内部メモリーに格納します。設定値は ENABLE(有効)/DISABLE(無効)です。プリンタコードは 16 進数形式(HEX)で内部メモリーに格納されます。本製品を ftp プロトコルで接続し、コマンドで指定することで、取り出すことができます。詳細は「第 9 章 保守機能」を参照してください。	DISABLE
Syslog 機能	—		登録した syslog キーワードが syslog に発生した場合に syslog(F)に格納します。 複数 syslog キーワードを指定する場合で空白 1 行を入れた場合は条件分けします。 改行で連続した(空白 1 行を入れない場合はそれらの出現順が一致した時に syslog(F)に格納します。 入力コードは ASCII コードです。 部分一致で判断します。 大文字・小文字を区別します。 <ウェイト時間指定> !"#%xxx 仕掛データなしからのウェイト時間及び、印刷完了からのウェイト時間(xxx=1~360) &'()=xxx DMA 転送停止からのウェイト時間及び、syslog キーメッセージ成立からのウェイト時間(xxx=1~360)	—



・16進ダンプ印刷機能以外は、TELNETでは設定できません。Webブラウザから設定してください。

注意

その他の設定 / Setup Another

NetBEUI 設定/ NetBEUI

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
その他の設定 (Setup Another)	NetBEUI 設定 / Setup Another - NetBEUI			
	NetBEUI プロトコル	NetBEUI Protocol	NetBEUI プロトコルを設定します。 設定値は ENABLE(有効)/DISABLE(無効)です。	ENABLE
	NetBIOS over TCP プロトコル	NetBIOS over TCP Protocol	NetBIOS over TCPプロトコルを設定します。通常、NetBIOSによるサービスはNetBEUIプロトコルを使用します。本設定をENABLE(有効)にすると、プロトコルをNetBEUIからTCP/IPに変更します。設定値はENABLE(有効)/DISABLE(無効)です。	ENABLE
	コンピュータ名	Computer Name	Windowsのエクスプローラに表示されるコンピュータ名を設定します。	Hixxxxxx (Ethernetアドレス 下6桁)
	ワークグループ	Workgroup	本製品が所属するワークグループを設定します。ネットワークに無い、新しいワークグループ名はワークグループとして認識されません。	HI-LAN-ADP
	コメント	Comment	本製品のコメント(説明)を設定します。ここで設定した情報が、Windowsのエクスプローラ上に本製品のコメント(説明)として表示されます。	HITACHI PC-PB20211
	マスタブラウズ 機能	Master Browse	マスタブラウズ機能を設定します。 設定値はENABLE(有効)/DISABLE(無効)です。	ENABLE

SNMP 設定/ SNMP

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
その他の設定 (Setup Another)	SNMP 設定 / Setup Another - SNMP			
	認証 コミュニティ名	Authentic Community	SNMPの認証コミュニティ名を設定します。このコミュニティ名はSNMP Set Requestを受付けるときに承認されます。本項目は設定の有無に関わらず"*"を表示します。	public
	Trap コミュニティ名	Trap Community	SNMPのトラップコミュニティを設定します。このコミュニティ名は本製品がトラップを発行するときに使用されます。	public
	Trap通知先 アドレス	Trap Address(ip)	SNMPトラップの送信先IPアドレスを設定します。設定値は、10進数「xxx.xxx.xxx.xxx」で設定します。「0.0.0.0」を設定すると本項目は無効になり、トラップを発行しません。	0.0.0.0
	SysContact	SysContact	SysContactを設定します。 通常は管理者のメールアドレスを設定します。	なし
	SysName	SysName	SysNameを設定します。 通常は本製品のホスト名、ドメイン名を設定します。	なし
	SysLocation	SysLocation	SysLocationを設定します。 通常は本製品の設置されている場所を設定します。	なし
	Enable AuthenTrap	Enable AuthenTrap	Enable AuthenTrapを許可(1)/禁止(2)で設定します。この設定を許可(1)にすると、SNMPでコミュニティ違反が発生した場合、SNMPトラップが「Trap通知先アドレス」で設定したIPアドレスに向けて発信されます。	2

PRINTER 設定 / PrintPort

	項目		設定内容	工場出荷設定
	Web ブラウザ	TELNET		
その他の設定 (Setup Another)	PRINTER 設定 / Setup Another - PrintPort			
	BOJ 文字列	BOJ String	直接出力ポート(lpポート)に出力する前に、プリンタに送出する文字列(最大31文字)を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	EOJ文字列	EOJ String	直接出力ポート(lpポート)に出力した後に、プリンタに送出する文字列(最大31文字)を設定します。印刷後に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	BOJ文字列 (sjis/euc)	BOJ String (sjis/euc)	漢字フィルタ経由出力ポート(sjis/eucポート)に出力する前に、プリンタに送出する文字列を設定します。印刷前に制御コード等を送信する必要がある場合に文字列を設定します。	なし
	プリンタ エミュレーション	Printer Emulation	プリンタのエミュレーション(PDL)に応じた設定をします。漢字フィルタ経由出力ポート(sjis/euc)に出力する際に、プリンタのエミュレーションに応じたコードに変換します。	ESC/P
	タブサイズ (char.)	TAB Size (char.)	漢字フィルタ経由出力ポート(sjis/euc)に出力する時のタブコード(0x09)を半角スペース(0x20)に変換する文字数を設定します。この文字数を0にすると、タブ変換処理は行われません。設定値は0~16です。	8
	1行の文字数 (char.)	Page Width (char.)	漢字フィルタ経由出力ポート(sjis/euc)に出力する時の1行の文字数を設定します。この文字数を0にすると行の文字数制御を行いません。設定値は0~255です。	0
	1ページの行数 (line)	Page Width (char.)	漢字フィルタ経由出力ポート(sjis/euc)に出力する時の1行の文字数を設定します。この文字数を0にすると行の文字数制御を行いません。設定値は0~255です。	なし
	1ページの行数 (line)	Page Length (line)	漢字フィルタ経由出力ポート(sjis/euc)に出力する時の1頁の行数を設定します。この行数を0にするとページの行制御を行いません。設定値は0~255です。	なし
双方向モード	Print port mode	パラレルインタフェースポートの動作モードを設定します。通常はAUTOで使用してください。設定値はNONE/NIBBLE/ECP/AUTOです。	NONE	

第8章 困った時には

困った時には	8-2
使用上の制限事項について	8-7

第8章 困ったときには

困った時には

本章では本製品の導入時に想定される問題と、その対処方法を説明します。これらの対処方法により解決できない場合は、担当営業や保守会社へ連絡してください。

No.	現象	原因	対処
1	電源スイッチをONにしてもPOWERランプが点灯しない。	ACアダプタまたは本製品に電源が供給されていない。	電源コードがACアダプタから抜けていないか、差込みが浅い、斜めに差込まれていないか確認してください。 電源プラグがコンセントから抜けていないか、差込みが浅くないか、斜めに差込まれていないか確認してください。 DCケーブルが電源コネクタから抜けていないか、差込みが浅くないか確認してください。 ～を確認のうえ、電源をONにしてもPOWERランプが点灯しない場合は、本製品の故障が考えられます。 電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いて、販売会社、担当営業または保守会社へお問合せください。
2	電源スイッチをONにするとERRORランプが点灯/点滅する。	電源をONにするとERRORランプが点灯/点滅する場合は、本製品が動作不能あるいはハードエラーが発生していることが考えられます。	本製品の電源をOFF/ONして、再起動させてください。 ～を実行してもERRORランプが消灯しない場合は、本製品の故障が考えられます。 電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いて、保守会社までお問い合わせください。
3	自己診断印刷結果にNGがある。	本製品がプリンタに正しく取り付けられていない。または、ネットワークケーブルが正しく接続されていない。	ROM, RAM CheckがNGの場合、本製品がプリンタに正しく接続されていない可能性があります。本製品とプリンタの接続を確認してください。 EEPROM CheckがNGの場合、本製品がプリンタに正しく接続されていない、またはディップスイッチの設定が正しく設定されていない可能性があります。本製品とプリンタとの接続を確認のうえ、ディップスイッチの設定を確認してください。 NIC CheckがNGの場合、ネットワークケーブルが正しく接続されていない可能性があります。ネットワークケーブルの接続を確認してください。 ～を確認しても自己診断にNGが表示される場合は、本製品の故障が考えられます。 電源をOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いて、保守会社までお問い合わせください。

No.	現象	原因	対処
4	CD-ROMを挿入してもメインメニューが起動しない。	Windows環境でご使用の場合、お使いのパソコンによっては、CD-ROMをセットしてもメニュー画面が自動的に起動しないことがあります。	ルートディレクトリ(お使いのCD-ROMがDドライブなら、「D:¥」)にある[Autorun.exe]を直接実行してください。
5	設定ユーティリティ(Quick Setup、Standerd Setup)で検索を行っても、本製品が一覧に表示されない。またはネットワーク上で認識されない。	(1)電源がONになっていない。	電源をONにしてください。
		(2)本製品がプリンタに正しく取り付けられていない。またはネットワークケーブルが正しく接続されていない。	自己診断印刷(印刷方法については、「本製品について」を参照)を行い、印刷結果にNGがないか確認してください。NGがあった場合、本表No.1の対処を参照し、対処してください。
		(3)稼動している本製品と接続イーサネットハブ(HUB)のLINK LEDが点灯していない。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。 イーサネットハブ(HUB)のポートが故障していないか確認してください。 ネットワークケーブルが断線していないか確認してください。
		(4)Windows XP/Vista環境でファイアウォール機能が有効になっている。	「ローカルエリア接続のプロパティ」-「詳細設定」-「インターネットからこのコンピュータへのアクセスを制御したり・・・」のチェックを外してください。
		(5)ご利用のパソコンにセキュリティソフトウェアがインストールされていて、ファイアウォール機能が有効になっている。	一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。
		(6)LANボードが有効になっていない。	プリンタの取扱説明書を参照し、プリンタ側の設定でLANボードが"有効"になっているか確認してください。"無効"になっている場合は、"有効"に設定してください。
6	IPアドレスの設定を行うと通信エラーになる。	(1)本製品と通信ができない。	本表No.5の対処を参照し、対処してください。
		(2)設定ユーティリティを起動しているパソコンのIPアドレスが確定していない。	ご使用のパソコンとネットワークに存在する他のパソコンが通信できているか確認してください。 例) Windows XPのコマンドプロンプトでPingを実行する場合 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」で、 Ping xxx.xxx.xxx.xxxを実行すると下記内容が表示されます。 xxx.xxx.xxx.xxxは設定ユーティリティを起動しているパソコンのIPアドレスです。 Pingに応答がある場合、 「Reply from xxx.xxx.xxx.xxx: ~」を表示し Pingに応答がない場合は、 「Request timed out.」を表示します。
		(3)ご利用のパソコンが本製品と同一セグメントに存在しない。	ご利用のパソコンのIPアドレスと、本製品に設定しようとしているIPアドレスが同一セグメントであるか確認してください。
		(4)ネットワーク上DHCP/BOOTPサーバまたはRARPサーバが存在している。	IPアドレスの自動割当をおこなうため、本製品に設定したIPアドレスが書き換えられてしまう可能性がありますので、「DHCP/BOOTP」および「RARP」設定を"DISABLE"にしてください。
		(5)本製品の設定値が異常な設定になっている。	本製品の初期化(操作方法については、「第1章 本製品について」を参照)を行ってください。なお、初期化を行った後は、ご利用のネットワーク環境に合わせて、再度設定を行ってください。

No.	現象	原因	対処
7	印刷ができない。	(1)ご使用のパソコンと本製品が通信できていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・本表No.5の対処を参照し、対処してください。 ・ご使用のパソコンと本製品が通信できているか確認してください。 例) Windows XPのコマンドプロンプトでPingを実行する場合 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「コマンドプロンプト」で、 Ping xxx.xxx.xxx.xxxを実行すると下記内容が表示されます。 xxx.xxx.xxx.xxxは設定ユーティリティを起動しているパソコンのIPアドレスです。 Pingに応答がある場合は、 「Reply from xxx.xxx.xxx.xxx: ~」を表示し Pingに応答がない場合は、 「Request timed out.」を表示します。
		(2)使用しているプリンタドライバの印刷先ポートが設定できていない。	「プリンタ」のプロパティの「詳細」で「印刷先のポート」が正しいか確認してください。
		(3)ネットワーク上DHCP/BOOTPサーバまたはRARPサーバが存在している。	IPアドレスの自動割当をおこなうため、本製品に設定したIPアドレスが書き換えられてしまう可能性がありますので、「DHCP/BOOTP」および「RARP」設定を"DISABLE"にしてください。
		(4)ご使用のパソコンが本製品と同一セグメントに存在しない。	「サブネットマスク」および「ゲートウェイアドレス」が正しく設定されているか確認してください。
		(5)印刷データに排出コマンドがない。	印刷データに排出コマンドがあるか確認してください。 (本製品の"E0J string"や"E0J string(kanji)"に"%f"を指定しておくこと、排出コマンドを持たないテキストデータ等を排出します。)
		(6)C/S560の接続に問題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・C/S560の設定が正しく設定されているか確認してください。 ・メインフレーム選択で、接続しようとしているメインフレームが選択されているか、確認してください。 ・メインフレームのホスト定義に誤りがないか、確認してください。 ・設定については、「第6章 C/S560システム環境で使用する」および「第7章 設定に関する機能」を参照してください。
8	複数JOBを連続印刷すると、途中で印刷が停止し、しばらくすると印刷を再開する。	WindowsNT4.0/Windows2000/Server2003/XP/Vistaの標準印刷クライアントであるLPRポートの仕様により、発生する場合があります。	本製品に付属しているHI-Print のLPRポートを使用してください。
9	印刷中のエラーを長時間放置した後に印刷を再開すると、同じ内容の印刷を繰り返すことがある。	Windows2000/Server2003/XP/Vistaの印刷ポートの仕様により、印刷でタイムアウトが発生した場合、JOBの先頭から印刷データを再送します。	対象JOBを一旦Windowsのスプーラーから削除した後、未印刷データのみ再送してください。 (本製品と合わせて、拡張プリンタマネージャなどの印刷管理ソフトウェアをご使用いただくと、未印刷の当該頁からリカバリ印刷を行うことができます。)
10	印刷中に通信エラーが発生した後、回復させ「再試行」すると文字化けが発生する。	プリンタに印刷データが残っている状態で、「再試行」によりJOB先頭から印刷データを送信した場合、データ不正となり、文字化けする場合があります。	プリンタの電源をOFF/ONし、用紙を再セットした後、「再試行」してください。

No.	現象	原因	対処
11	印刷中にエラーが発生する。	他の人が大量に印刷していたり、大きなサイズのデータを印刷している時に印刷を行い、他の人の印刷終了まで長時間待たされた場合、タイムアウトが発生して、エラーになる場合があります。	再度印刷を行ってください。
12	印刷を行うとダイヤルアップが起動する。	Windowsの仕様です。	ダイヤルアップを「キャンセル」してください。ダイヤルアップアダプタから本製品に処理が移行され、印刷を開始します。
13	印刷が途中で停止したり、文字が化けて印刷される。	(1)Windows2000/Server2003/XP/VistaのStandard TCP/IPポートのLPRモードの仕様により、発生する場合があります。	<ul style="list-style-type: none"> 「プリンタ」-「プロパティ」-「ポート」-「ポートの構成」から「LPRバイトカウントを有効にする」をチェックしてください。 本製品に付属しているHI-Print のLPRポートを使用してください。
		(2)双方向サポートの設定により発生する場合があります。	「プリンタ」-「プロパティ」-「ポート」-「双方向サポートを有効にする」から、チェックを外してください。
		(3)C/S560の設定が、接続したプリンタの設定と異なる。	<ul style="list-style-type: none"> 「PDL」の設定が、使用するプリンタのPDLと合致するか、確認してください。 ドットインパクトプリンタの「プリンタ種別」の設定が、使用するプリンタの種別と合致するか、確認してください。 設定の詳細については、「第7章 設定に関する機能」を参照してください。
14	拡張プリンタマネージャで印刷していると、印刷が終了する前にパソコンのスピーラから印刷JOBが消える。	拡張プリントマネージャをインストールしたパソコンのIPアドレスをSNMP設定のTrap Addressに設定している。	<ul style="list-style-type: none"> 拡張プリンタマネージャをインストールしたパソコンのIPアドレスは、拡張プリンタマネージャ設定(Setup PrintManager)の印刷トラップアドレス(Print Trap Address)にだけ設定してください。 拡張プリンタマネージャをインストールしたパソコンのIPアドレスを、その他の設定 - SNMP(Another - SNMP)のTrap Addressには設定しないでください。
15	拡張プリンタマネージャ以外の印刷ポートからの印刷時に、エラー発生により以降のデータが印刷されない場合がある。	拡張プリンタマネージャ設定(Setup PrintManager)項目内のプリントトラップアドレス(Print Trap Address)が"0.0.0.0"以外に設定されている。	印刷トラップアドレス(Print Trap Address)を"0.0.0.0"に設定してください。
16	NetBEUI, NetBIOS over TCP/IP環境で印刷した時、エラーメッセージを表示する。	Microsoft Network印刷の仕様により、プリンタの状態により、エラーメッセージが表示される場合があります。	運用上、問題がある場合は、HI-Print のLPRポートからの印刷を使用してください。
17	UNIX環境で漢字テキストの印刷で、漢字コードが化けて、正常に印刷できない。	漢字フィルタ経由の印刷を行っていない。	印刷データの漢字コードを確認して、「SJIS」または「EUC」の漢字フィルタを使用してください。

No.	現象	原因	対処
19	SSLを使用して印刷をすると、エラーメッセージが表示される。	SSL証明書が作成されていない。	Webブラウザで本製品にアクセスし、SSL証明書が作成されているか確認してください。SSL証明書が作成されていない場合は、SSL証明書を作成してください。
20		SSL証明書の有効期限が切れている。	Webブラウザで本製品にアクセスし、SSL証明書の有効期限を確認してください。有効期限が切れている場合は、SSL証明書を再発行してください。
21		4台以上のコンピュータからSSL印刷をしている。	SSLを用いた印刷は、最大3台(3回線)までになっています。現在印刷中のJOBが終了してから再送してください。
22		Netscapeから印刷をしている。	ブラウザに設定されている暗号化方式と、本製品に搭載されている暗号化方式が一致しない場合にエラーメッセージが表示されます。Netscapeのバージョンを確認し、最新版にしてください。
23	SSLの設定ができない、印刷ポートが作成できない。	Secure PrintがDISABLEになっている。	Secure Print設定のSecure PrintをENABLEにしてください。
24		SSL Modeの設定がCUSTOMになっている、かつhttps、IPPがDISABLEになっている。	SSL Modeの設定から、httpsとIPPをENABLEにしてください。
25		接続先プリンタのURLが「http://」で始まっている。	「https://」に変更してください。「http://」ではセキュア通信印刷機能が動作しません。
26		HI-Print を使用していない。	HI-PrintはSSL機能をサポートしていません。HI-Print を使用してください。
27	Webブラウザ設定の表示文字が化ける。	OSおよびInternet Explorerの仕様による。	OSおよびInternet Explorerの修正プログラムにより、最新版にアップデートしてください。
28	ページプリンタで印刷をすると、印刷が遅い、印刷ができない。	プリンタケーブル(パラレルケーブル)を使って接続している。	プリンタケーブル(パラレルケーブル)ではデータ転送スピードが遅いため、ページプリンタでは印刷速度が大幅に低下する場合があります。ページプリンタから印刷を行う際は、USBケーブル(PC-PC2020AB)で接続してください。



参考

・SSLとはSecure Socket Layerの略称です。SSLはインターネットで個人情報などを入力する際に盗聴やなりすまし防止に利用される通信方式で、一般化されたセキュリティ機能のひとつです。本製品は、このSSLを利用したセキュア通信印刷機能を有しています。本機能により、パソコンから印刷を行う際に印刷データを暗号化し、プリントサーバで復号化することを実現しています。

使用上の制限事項について

本製品を使用する上で以下の注意事項および制限事項があります。問題発生時に合せて確認してください。

- (1)本製品は、パラレルインタフェースとUSBインタフェースを同時に使用できません。
- (2)本製品を使用して印刷をする際は、「プリンタ」-「プロパティ」-「ポート」-「双方向サポートを有効にする」からチェックを外してください。印刷が途中で終了したり、文字が化けて印刷されることがあります。
- (3)本製品をドットインパクトプリンタで印刷する場合は、各ドットインパクトプリンタの取扱説明書を参照し、プリンタ側の設定を下記の設定に変更してください。
 - ・受信バッファ：無効
 - ・TOF(用紙先頭)位置時の改頁コード：無効
- (4)ご使用のパソコンにセキュリティソフトウェアがインストールされていてファイアウォール機能が有効になっている、または、Windows OSのファイアウォール機能が有効になっていると、ユーティリティのLANアダプタ検索機能で本製品を検索できないことがあります。ユーティリティの検索機能をご使用する際は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。
- (5)本製品のご使用にあたっては、通常印刷の場合はHI-Print で作成するLPRポート、セキュア(SSL)通信印刷を行う場合はHI-Print で作成するIPP(HTTPS)ポートを推奨していますが、各印刷ポートには次ページの制限事項があります。業務形態にあった印刷ポートをご使用頂くようお願いします。
- (6)C/S560システム環境から印刷する場合の注意事項および制限事項については、「第6章 C/S560システム環境で使用する」を参照してください。

【HI-Print 印刷ポート】

プリンタの状態監視を行っているため、複数JOB連続印刷時、印刷JOBと印刷JOBの間に一時停止する場合があります。

プリンタエラー(通信エラー以外)状態で放置した場合、タイムアウトになると、エラーメッセージが表示(*1)されます。

エラーが回復した場合、または「再試行」を選択してエラー回復させた場合、続きのデータが送信されて継続印刷をします。「キャンセル」を選択した場合、スプール上に仕掛かっている当該JOBを削除します。ただし、LANボードで受信済みのデータが残っているため、次のJOBを印刷すると文字化け等が発生します。「キャンセル」を選択する場合は、必ずプリンタの電源OFF/ONを行い、用紙を再セットしてください。

(*1)印刷ポートにより、初期値が異なります。

LPRポート/RAWポート:15分、IPPポート:3分

本値はプリンタドライバの「プロパティ」-「ポートの構成」-「タイムアウト値」で変更することができます。

通信エラーが発生した場合、エラーメッセージが表示されます。エラーを回復させて「再試行」を選択すると、スプール上に仕掛かっている当該JOBの先頭からデータが再送されて継続印刷を行います。ただし、プリンタの電源断以外による通信エラーの場合、LANボードで受信済みのデータは残っているため、「再試行」を選択する前に必ずプリンタの電源OFF/ONを行ってください。「キャンセル」を選択した場合、スプール上に仕掛かっている当該JOBを削除します。ただし、プリンタの電源断以外による通信エラーの場合、LANボードで受信済みのデータが残っているため、次のJOBを印刷すると文字化け等が発生します。「キャンセル」を選択する場合は、必ずプリンタの電源OFF/ONを行い、用紙を再セットしてください。

また、通信エラー状態で放置した場合、「HI-Print での送信中にエラーが発生しました。印刷を中止します。」のエラー表示をする場合があります。「OK」を押すと仕掛のJOBが削除されますので、必ずプリンタの電源OFF/ONを行い、用紙を再セットして、印刷JOBを再送してください。

エラー発生タイミングや印刷データサイズにより、タイムアウトになってもエラーメッセージが表示されない場合があります。この場合、プリンタのエラーが回復すると、「再試行」と同様に継続印刷を行います。

HI-Print のRAWおよびIPPポートについては、上記以外に以下のような制限事項があります。

- ・セキュリティソフトウェアが常駐している、またはWindows OSでファイアウォール機能が有効になっている場合、プリンタエラー状態で印刷JOBを送信した後、通信エラーにより、次のJOBを暫くの間送信できなくなる場合があります。その時は、プリンタと本製品の電源OFF/ONを行い、用紙を再セットして印刷JOBを再送してください。
- ・プリンタエラー状態で放置してタイムアウトになった場合、エラーの発生タイミングや印刷データサイズによっては、印刷を再開したときに文字化けや通信エラーが発生し、次の印刷JOBを暫くの間、送信できなくなる場合があります。その様な場合は、プリンタと本製品の電源OFF/ONを行い、用紙を再セットして印刷JOBを再送してください。

【HI-Print 以外の印刷ポート】

HI-Print で付加されている機能が使用できません。また、OS標準ポートでは以下制限事項があるため、HI-Print で作成した印刷ポートの使用を推奨します。

Standard TCP/IP LPRポート

- ・LPRバイトカウントを有効にしないと印刷が異常終了する場合があります。必ずLPRバイトカウントを有効にしてください。また、SNMPステータスを無効にしてください。なお、印刷データサイズが大きい場合、LPRバイトカウント処理を行うため、スプーリングに時間を要することがあります。
- ・プリンタエラー状態で放置した場合、当該JOBの先頭頁からリトライされるため、重複印刷することがあります。

Standard TCP/IP RAWポート

- ・データサイズをカウントしていないため、印刷データが抜ける場合があります。
- ・セキュリティソフトウェアが常駐していたり、Windows OSでファイアウォール機能が有効になっている場合、プリンタエラー状態で印刷JOBを送信した後、通信エラーが発生し、暫くのあいだ、次の印刷JOBを送信できなくなることがあります。その様な場合は、プリンタの電源OFF/ONを行い、用紙を再セットして印刷JOBを再送してください。
- ・プリンタエラー状態で放置してタイムアウトになった場合、エラーの発生タイミングや印刷データサイズによっては、印刷を再開させると文字化けが発生したり、通信エラーが発生し、暫くのあいだ、次の印刷JOBを送信できなくなることがあります。その様な場合は、プリンタの電源OFF/ONを行い、用紙を再セットして印刷JOBを再送してください。

LPR Port (UNIX 印刷サービス)

- ・複数 JOB を連続印刷した場合、OS の仕様により、途中の JOB が印刷終了してからしばらく印刷が停止 (最大 4 分) した後に印刷を再開することがあります。

このような場合は、HI-Print で作成した印刷ポートから印刷をしてください。本現象についての詳細内容はマイクロソフト社の技術情報を参照ください。

- ・プリンタエラー状態で放置した場合、当該 JOB の先頭頁からリトライされるため、重複印刷することがあります。

このような場合は、HI-Print で作成した印刷ポートから印刷をしてください。

(5) セキュア (SSL) 通信印刷機能をご使用になる場合は、以下の点に注意してください。

セキュア (SSL) 通信印刷機能は、以下の条件により使用可能となります。

- ・対応 OS: Windows (R) 98/Me, Windows (R) 2000/XP/Server2003/Vista
- ・対応プロトコル: HTTPS, IPP
- ・LAN ボードに下記設定を実施してください。
 - 1) 「セキュリティレベル」設定で上記プロトコルを "有効" に設定してください。
 - 2) Web ブラウザ画面から SSL 証明書を作成してください。
 - 3) 「暗号化を使用する」を "ENABLE" に設定してください。
- ・HTTPS での IPP 印刷は Windows (R) 2000/XP/Server2003/Vista で標準サポートしています。ただし、プリンタ追加の設定画面を開いている場合、状態通知のための通信トラフィックが増大しますので、HI-Print から IPP (HTTPS) ポートを作成してご使用いただくことを推奨します。
- ・C/S560 環境でのセキュア (SSL) 通信印刷機能はサポートしていません。
- ・拡張プリンタマネージャは専用のポートを作成・使用して印刷を行うため、セキュア (SSL) 通信印刷機能をサポートしていません。ご注意ください。
- ・セキュア (SSL) 通信機能は、印刷データを暗号化するためにデータ量が増加します。そのため、データ転送時間がかかり、通常印刷と比較して印刷性能が低下する場合があります。ご注意ください。
- ・複数クライアントからセキュア (SSL) 通信印刷が競合した場合、「セキュリティ認証に失敗しました。印刷を開始できません。」のエラーメッセージを表示する場合があります。「OK」を押すと仕掛 JOB が削除されますので、現在印刷中の JOB が終了しだい、再度印刷 JOB を再送してください。再度エラーメッセージが表示された場合は、同様の操作を繰り返してください。
- ・暗号化方式を印刷性能優先 (Level 1) と暗号化強度優先 (Level 2) のいずれかを選択することができます。ご使用の環境にあわせて選択してください。ただし、OS 側の暗号化サポート状況により、本設定を変更しても暗号化方式が変わらないことがあります。ご注意ください。

- ・HTTPSでWebブラウザ (Internet Explorer)画面を表示させた場合、文字化けが発生することがあります。この場合は、OSおよびInternet Explorerの修正プログラムを最新版にアップデートすることで改善されます。
- ・HTTPSでWebブラウザ (Netscape)画面を表示させた場合、正常に表示できなくなることがあります。また、セキュア(SSL)通信印刷機能により、Netscapeから印刷を行うと、エラーメッセージが表示されて、印刷が出来ない場合があります。Internet Explorerを使用してください。

(6)拡張プリンタマネージャを用いてエラーリカバリ機能を使用する場合、以下の点にご注意の上、設定してください。詳細については、「付録 エラーリカバリ支援機能」を参照してください。

- ・拡張プリンタマネージャをインストールしたパソコンのIPアドレスは、「拡張プリンタマネージャの設定(Setup PrintManager)」の「印刷トラップアドレス(Print Trap Address)」に設定してください。
- ・「その他の設定 - SNMP 設定(Setup Another - SNMP)」の「Trap 通知先アドレス(Trap Address(IP))」への設定は必要ありません。
- ・他の印刷ポートからの印刷と拡張プリンタマネージャポートからの印刷が混在した場合は、プリンタエラーが発生すると以降の印刷JOBが印刷されないことがあります。他の印刷ポートからの印刷と拡張プリンタマネージャからの印刷が混在しないようにしてください。
- ・拡張プリンタマネージャを使用しない場合は、「拡張プリンタマネージャの設定(Setup PrintManager)」の「印刷トラップアドレス(Print Trap Address)」を"0.0.0.0"に設定してください。(デフォルトは"0.0.0.0"です。)
- ・拡張プリンタマネージャとC/S560プロトコルの印刷を混在させた場合、プリンタエラーが発生すると、ページリカバリ機能が動作しません。拡張プリンタマネージャとC/S560プロトコルの印刷が混在しないようにしてください。

(7)Solaris2.x対応について

本製品をSolaris2.xでご利用になる場合、Solarisの仕様により以下の制限事項があります。

印刷開始後、プリンタがオフライン等でデータを受け付けられない状態が長く続いた場合、Solaris側でタイムアウトし再印刷(再接続)されるため、印刷データが途中で切れ、1頁から再度印刷される場合があります。

"lpstat -p プリンタ名"にてプリンタのステータスを表示した場合、プリンタの状態ステータスとして返す任意の文字列(PrinterReady等)をSolaris側で解釈できず"Faulted"と表示した後、任意の文字列を表示します。

Solarisよりデータを出力中は、同じマシンから本製品に対する印刷関連コマンドが正常に動作しません。これは Solaris 側がデータの送信が終了するまで他のパケットを出す事が出来ない為で、以下の現象が発生します。

"lpstat -p [プリンタ名]" に対して "system not responding"と表示されます。cancel コマンドの後、lpstat などを行うと lpstat がエラーになる場合があります。この場合は、プリンタスケジューラデーモンが停止している可能性がありますので "lpstat -r" で確認する必要があります。

"scheduler is not running" と表示された場合デーモンが停止していますので、下記の様に入力しプリンタスケジューラデーモンを再起動してください。

```
/bin/sh /etc/init.d/lp start
```

"cancel" で存在しないジョブを削除しても Solaris ではエラーになりません。

付録

IPv6 機能について	2
IPv6 とは?	2
本製品 IPv6 機能概要	3
利用方法	4
Network Plug & Play について	7
E-Mail 送信機能設定(SMTP)	8
E-Mail 印刷設定(POP)	13
エラーリカバリ支援機能	16
セキュリティレベル設定機能	18
セキュア通信印刷機能について	20
保守機能	29

IPv6機能について

製品に搭載される IPv6 機能についての利用方法と制限事項について説明します。

IPv6 とは？

TCP/IPはInternetとともに広く普及してきたプロトコルですが、現在のInternet Protocol (IPv4)ではホストアドレスを表わすためのフィールドが32bitしかないため、あと数年すればそのアドレス空間が枯渇してしまう見込みとなっています。そこで、アドレス空間の拡大を図り、さらに従来TCP/IPで問題となっていた部分を修正したり、欠けていた機能を追加して、新しいプロトコル体系の取り決めが行われています。それがInternet Protocol, Version 6 (IPv6)です。



注意

IPv6機能のご利用にあたっては、本製品だけでなくネットワークを構成する各ネットワーク機器 (Router や PC) が IPv6 に対応している必要があります。

本製品IPv6機能概要

IPv6 に対応する操作

本製品の IPv6 機能では IPv6 ネットワークにて以下の操作を行うことができます。

- * TELNET または HTTP による設定
- * FTP または LPR による印刷
- * ping6 コマンドによる応答確認
- * traceroute6 コマンドによる経路追跡

本製品の IPv6 アドレス

本製品のリンクローカルアドレスは以下のとおりです。

リンクローカルアドレス： FE06:0:0:0:0:0280:FBFF:FE`xx`:`yyzz`
(`xyyyzz` は本製品の Ethernet アドレスの下 3 桁です)



参考

- ・IPv6ネットワーク上にステートレス自動設定機能を持つIPv6ルータが存在する場合は、ルータから自動設定することができます。



注意

制限事項

- ・本製品の IPv6 アドレス設定方法はリンクローカル及びステートレス自動設定の 2 種類だけです。マニュアル設定およびステートフル自動設定(DHCPv6)には対応していません。
- ・セキュリティ機能は認証ヘッダ(AH)、暗号ペイロード(ESP)ともに対応していません。
- ・IPv6 ヘッダのトラフィック・クラスおよびフロー・ラベルは 0 固定です。
- ・巨大ペイロード・オプションには対応していません。
- ・パケットの断片化/再構成には対応していますが、ヘッダ部を含め 3072byte を上限としています。
- ・SNMP の IPv6 MIB には対応していません。
- ・IPv6 ネットワーク上における付属ツールの一覧検索には対応していません。
- ・IPv6 を利用してパナーページの印刷を行った場合、IP アドレス部分は 0.0.0.0 として印刷されます。

利用方法

本製品の IPv6 機能を有効にする

本製品の IPv6 機能は工場出荷時設定にて機能しないよう設定されています。

IPv6 機能を有効にするには以下の操作を行います。

- (1) 通常の TCP/IP 設定により IPv4 アドレスを割り当てます。
(通常の TCP/IP 設定は、本製品に付属するクイックガイドを参照ください。)
- (2) Web ブラウザ、または、telnet コマンドを用いて本製品にアクセスします。
- (3) 本製品の「TCP/IP 設定」の「IPv6」項目を "ENABLE" に設定します。
- (4) 設定を保存後、本製品を再起動します。

以上の操作にて本製品の IPv6 機能が有効になります。

OS の IPv6 機能を有効にする

ここでは Windows XP 上での IPv6 環境構築例を記載します。その他 OS 環境下での IPv6 環境構築方法に関しましては、各 OS のマニュアルをご参照ください。

- (1) Windows XP の IPv6 機能を有効にする
コマンドプロンプトを起動し、"ipv6.exe" を実行します。

(コマンド入力例)



参考

ipv6.exe に関する詳しい操作方法は、マイクロソフト社の Web ページをご参照ください。

```
C:¥> ipv6 install
```

(2) Hosts ファイルに IPv6 アドレスを登録する

Windows XP の Hosts ファイルに本製品の IP アドレスとホスト名との関連付け情報を登録します。

Hosts ファイルに関連付け情報を登録することで、IP アドレスではなくホスト名を指定して本製品と通信できるようになります。

Windows XP の Hosts ファイルは下記フォルダに格納されています。
メモ帳などを用いて本製品の情報を追加してください。

格納先フォルダ： C:\windows\system32\drivers\etc
(OS インストールドライブが C: の場合)
ファイル名： hosts



(Hosts ファイル入力例)

```
# Copyright (c) 1993-1999 Microsoft Corp.
#
# This is a sample HOSTS file used by Microsoft TCP/IP for Windows.
#
# Additionally, comments (such as these) may be inserted on individual
# lines or following the machine name denoted by a '#' symbol.
#
# For example:
#
# 102.54.94.97 rhino.acme.com # source server
# 38.25.63.10 x.acme.com # x client host

127.0.0.1 localhost
fe06::280:fbff:fe12:3456 PC-PB20211
本製品の IP アドレス 本製品のホスト名 (任意)
```

(3) Windows XP 付属の下記ユーティリティで本製品へのアクセスを行います。
Windows XP では下記の操作が可能です。

- ・ Internet Explorer6.0 による本製品の設定操作
- ・ UNIX 用印刷サービスによるアプリケーション印刷操作
- ・ コマンドプロンプトからの "lpr" 、 "FTP" コマンドを使用しての印刷動作。
- ・ コマンドプロンプトからの "ping6" コマンドを使用しての応答確認。



- ・ Windows Sever 2003 や Windows XP、Windows Vista 標準の印刷サービスである、Standard TCP/IP port 印刷、IPP 印刷は IPv6 環境に対応していません。
GUI 操作による印刷を行う場合は、追加サービスである「UNIX 用印刷サービス」を Windows コンポーネントに追加してご利用ください。
- ・ Internet Explorer6 および UNIX 用印刷サービスで本製品のアドレスを指定する場合は、Hosts ファイルに登録した Host 名を指定してください。
IP アドレスの直接指定は Windows の仕様上、対応していません。

Network Plug & Playについて

本製品は Windows Me/XP/Vista 環境において自動的にネットワーク接続を検知することができます。本製品をネットワークに接続するだけで、Windows Me/XP/Vistaの「マイ ネットワーク」内に本製品のアイコンが一覧表示されます。表示された本製品のアイコンをダブルクリックすることで、本製品のWebページが表示され、設定の変更やステータス情報の参照が行えます。



この機能を使用するにはパソコン に下記の設定を行います。

Windows XP/Vistaの設定

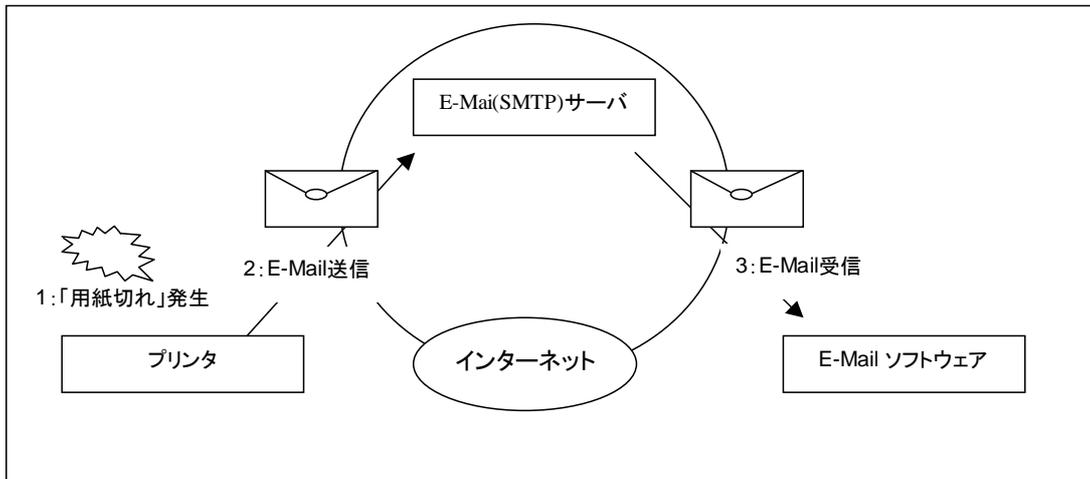
1. マイネットワークを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
2. ネットワーク接続の「詳細設定」メニューから「オプション ネットワークコンポーネント」を選択し、オプション ネットワークコンポーネントウィザードを起動します。
3. 「ネットワークサービス」を選択し、「詳細」をクリックします。
4. 「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。
5. 「次へ」をクリックします。

Windows Meの設定

1. 「スタート」 - 「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を起動します。
2. 「Windows ファイル」タブより、「通信」を選択して、「詳細」をクリックします。
3. 「ユニバーサルプラグアンドプレイ」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。

E-Mail送信機能設定(SMTP)

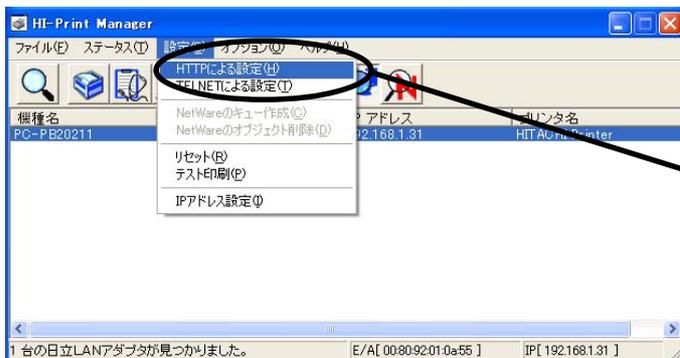
E-Mail送信機能を使用すると、プリンタステータスをE-Mailで検知することができます。本製品はプリンタステータスが変化する毎に、指定のE-Mailアドレス(2アドレスまで指定可能)にE-Mailでプリンタステータスを送信します。この機能を用いるとインターネットを介してプリンタステータスの「用紙切れ」「オフライン」「プリンタエラー」を検知することができます。



本機能の設定は、Web ブラウザ、TELNETで行うことができます。ここでは、Web ブラウザを使って本機能の設定を行う手順を紹介します。

1. Web ブラウザを起動し、一覧画面から設定する本製品を選択します。

2.



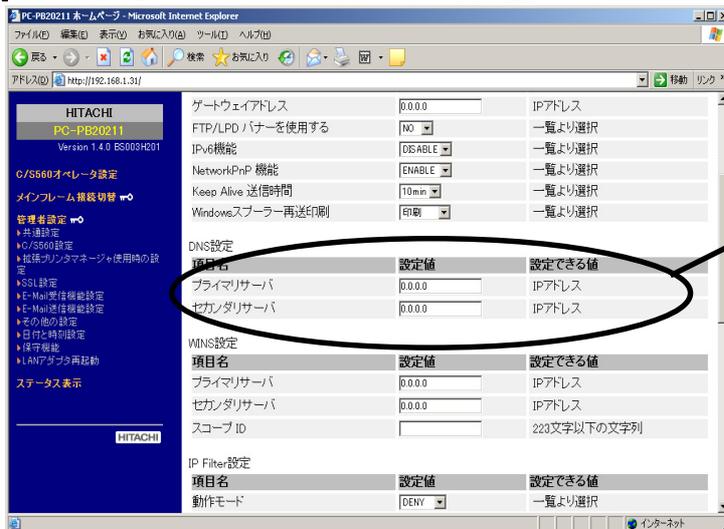
「設定」-「HTTPによる設定」を選択します。

3. Web ブラウザから「共通設定」-「TCP/IP 設定」を選択してください。



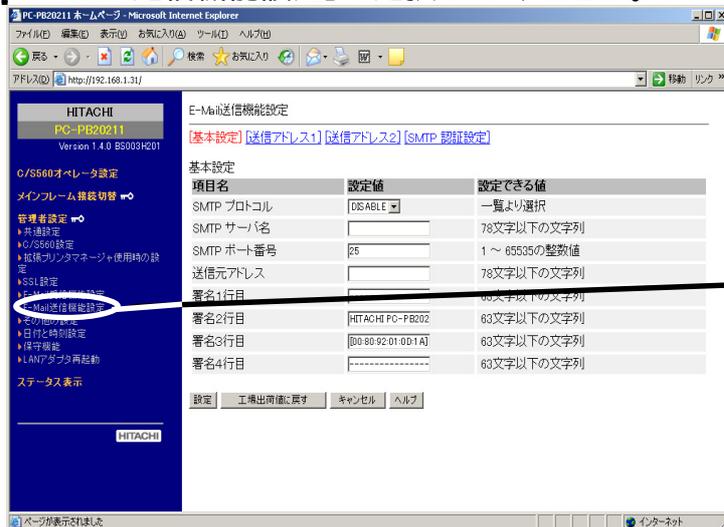
「TCP/IP 設定」をクリックしてください。

4. 「DNS 設定」の DNS サーバアドレスを入力してください。



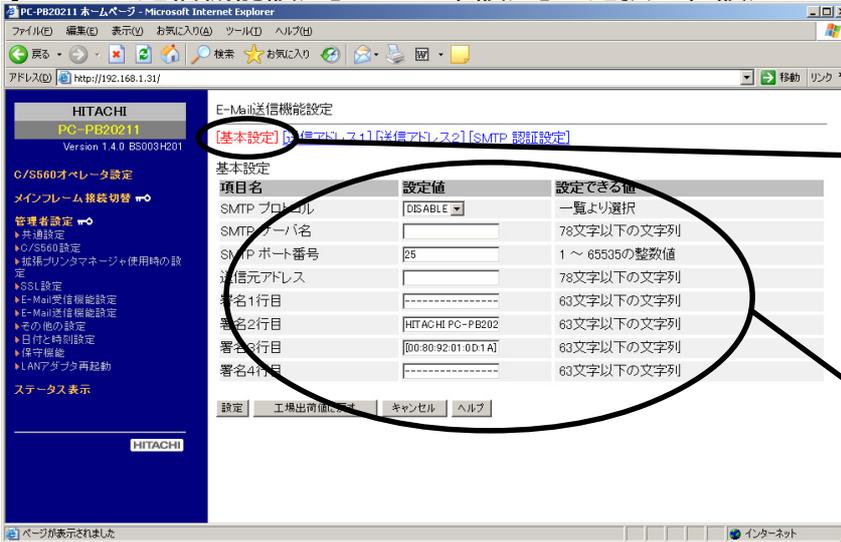
DNS サーバアドレスを入力してください。

5. 「E-Mail 送信機能設定」を選択してください。



「E-Mail 送信機能設定」をクリックしてください。

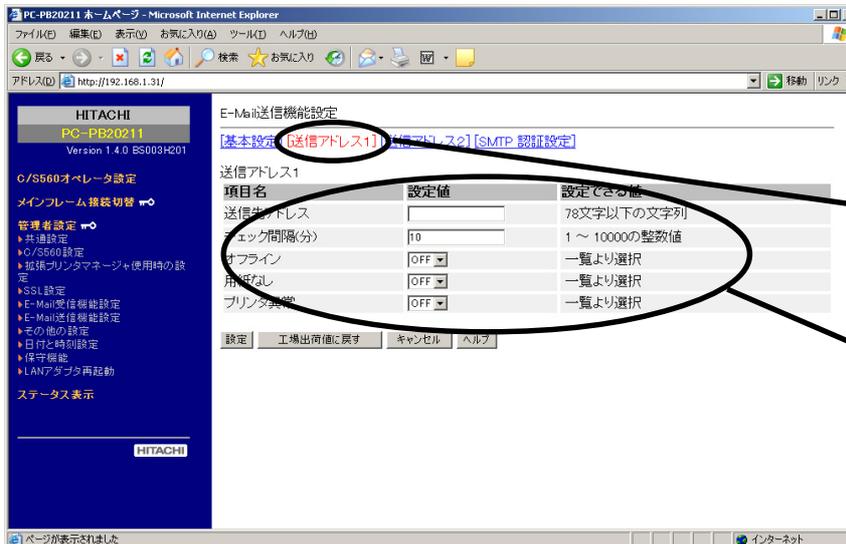
6 「E-Mail 送信機能設定」 - 「基本設定」を選択し、設定をしてください。



「基本設定」をクリックしてください。

各項目を設定してください。

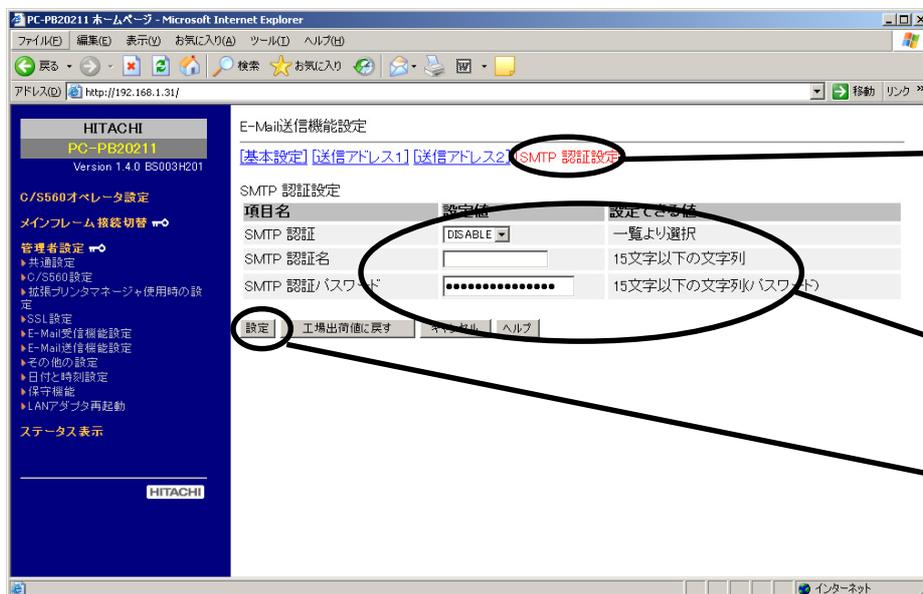
7 「E-Mail 送信機能設定」 - 「送信アドレス1」を選択し、設定をしてください。送信アドレスは2箇所(送信アドレス1、送信アドレス2)まで設定できます。



「送信アドレス1」をクリックしてください。

各項目を設定してください。

8. 「E-Mail 送信機能設定」 - 「SMTP 認証設定」を選択し、設定をしてください。



「SMTP 認証設定」をクリックしてください。

各項目を設定してください。

「設定」をクリックしてください。

9. 各設定項目の入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。変更した設定値が記憶されます。

10. 「LANアダプタの再起動」をクリックして、本製品を再起動してください。再起動後、設定が有効になります。

本製品からは次のようなE-Mail メッセージが送信されます。

```

PC-PB20211 Version x.x.x
Copyright 2006,Hitachi,Ltd.
TCP/IP status
  IP Address      : 192.168.0.200
  Subnet Mask    : 255.255.255.0
  Default Gateway : 192.168.0.254
  DNS server(Pri.) : 0.0.0.0
  DNS Server(Sec.) : 0.0.0.0
IPv6 status
  Address #0000   : FE80::0206:FBFF:FE01:2345/64
  Address #0001   : FEC0::0001:0206:FBFF:FE01:2345/64
  Router #0000    : FE80::0200:F4FF:FE90:B9CA D
  Router #0001    : FE80::0200:F4FF:FE90:B9CA/64
NetWare status : Disabled
AppleTalk status :Disabled
NetBIOS status
  NetBIOS over TCP: Registration completed
  NetBEUI          : Registration completed
  Computer Name    : PR012345
  Workgroup        : PRINTSERVERS
  Master Browser   :
  [NetBIOS over TCP] :PR012345
  [NetBEUI]        :PR112233
E-MAIL status
  Session:2 times.
All profiles are disabled.
SMTP status
TO-ADDR1
  E-MAIL Address: <user1@silex.jp>
  Last Session  : Nothing
  Current status: Waiting for Interval time.
  Try to send   : 0 times.
  Fail to sendr : 0 times.
TO-ADDR2
  E-MAIL Address: <user2@silex.jp>
  Last Session  : Nothing
  Current status: Idle.
  Try to send   : 0 times.
  Fail to sendr : 0 times.

```

本製品のシステムステータス

```

[PRINTER STATUS]
00:04:27 <00010100> Offline
00:04:22 <00110100> Paper Empty

```

プリンタステータス(プリンタエラーが発生した時間(本製品を起動してからの時間)とステータス文字列)

```

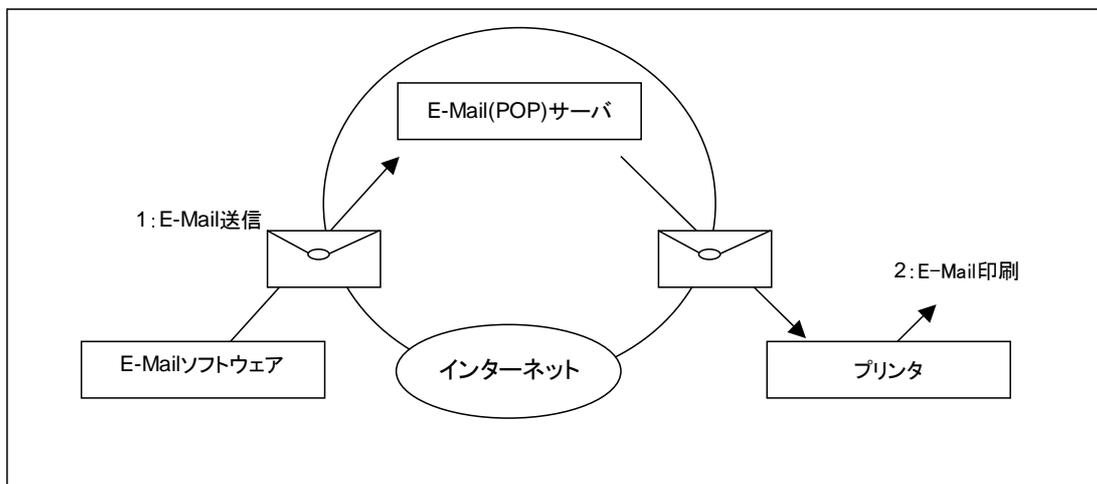
-----
HITACHI PC-PB20211
[00:06:FB:01:23:45]
-----

```

本製品のシグネチャ情報

E-Mail印刷設定(POP)

E-Mail受信機能を使うと、インターネットを介して送信されてきたE-Mailデータを直接プリンタに出力することができます。プリンタに出力するE-Mailデータは、E-Mail本文、及び、E-Mailに添付されるテキストファイル(*.txt)、または、プリンタドライバを介して生成された印刷データファイル(*.prn)を印刷することができます。(ファイル拡張子が".prn", ".txt"以外の添付ファイルはファイル名のみが印刷されます。)



注意

- E-Mail本文およびテキストファイルを印刷する場合は、プリンタがフォントを搭載している必要があります。
- プリンタドライバ生成ファイル(*.prn)を添付印刷する場合は、出力するプリンタのプリンタドライバで生成された印刷データファイルを添付する必要があります。
- 添付ファイルのみを印刷する場合は、件名に"/nobody"の文字列を含んでE-mail送信してください。

本機能の設定は、Webブラウザ、TELNETで行うことができます。ここでは、Webブラウザを使って本機能の設定を行う手順を紹介します。

1. Webブラウザを起動し、一覧画面から設定する本製品を選択します。



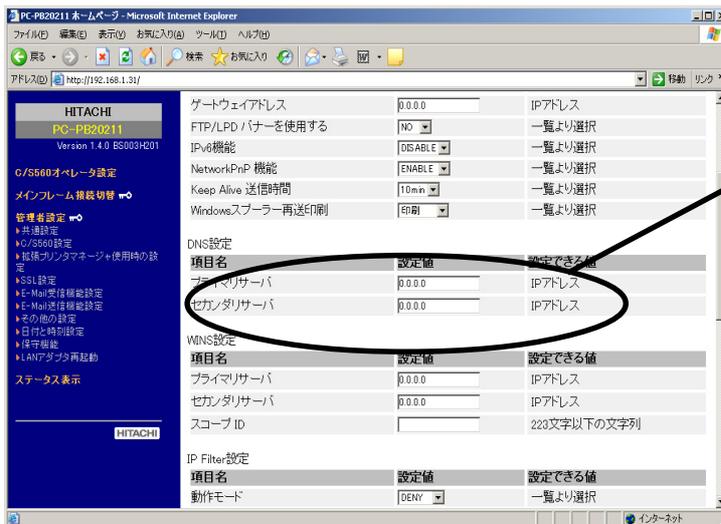
「設定」メニューより「プリントサーバ設定」を選択します。

3. Web ブラウザから「共通設定」-「TCP/IP 設定」を選択してください。



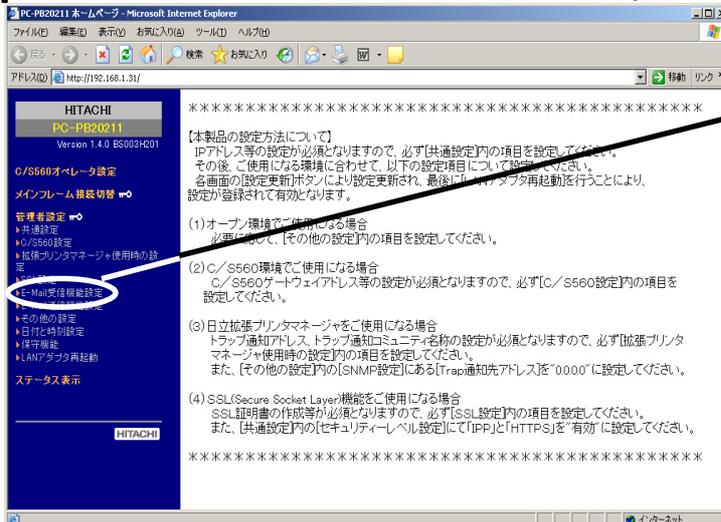
「TCP/IP 設定」をクリックしてください。

4. 「DNS 設定」の DNS サーバアドレスを入力してください。



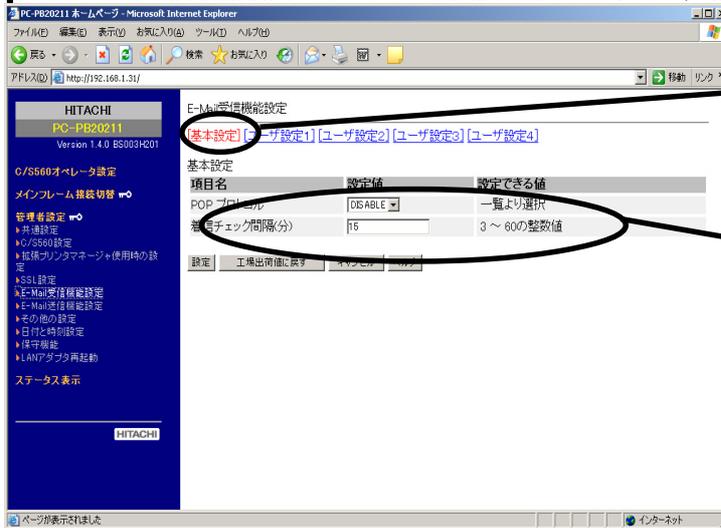
DNSサーバアドレスを入力してください。

5. 「E-Mail 受信機能設定」を選択してください。



「E-Mail 受信機能設定」をクリックしてください。

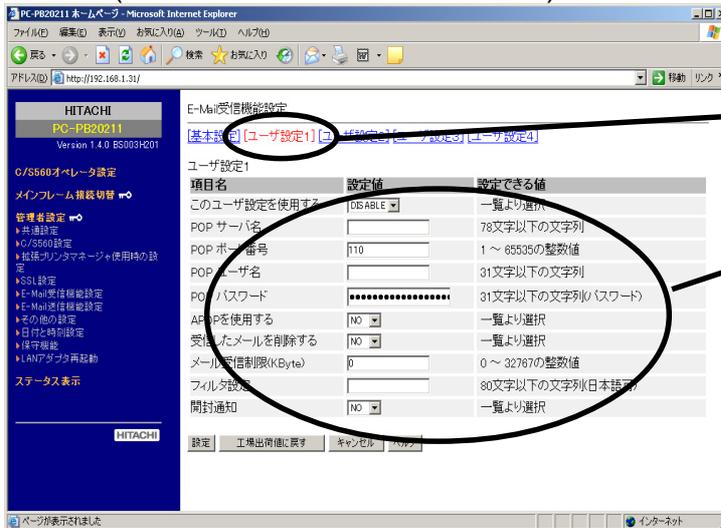
6. 「E-Mail 受信機能設定」 - 「基本設定」を選択し、設定をしてください。



「基本設定」をクリックしてください。

各項目を設定してください。

7. 「E-Mail 受信機能設定」 - 「ユーザ設定1」を選択し、設定をしてください。ユーザ設定は4箇所(ユーザ設定1～ユーザ設定4)まで設定できます。



「ユーザ設定1」をクリックしてください。

各項目を設定してください。

8. 各設定項目の入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。変更した設定値が記憶されます。

9. 「LANアダプタの再起動」をクリックして、本製品を再起動してください。再起動後、設定が有効になります。

エラーリカバリ支援機能

WindowsNT4.0,Windows2000/XPでの設定

本製品はエラーリカバリ支援機能を搭載しています。本機能は、WindowsNT4.0またはWindows2000/XPで別売のプログラムプロダクトと連動することにより、より効果的なエラーリカバリ機能を実現します。

主な機能として次のものがあります。

- ・印刷障害発生時のページ単位のリカバリ
- ・障害発生時のリカバリ印刷データ表示

製品名	適用OS
拡張プリンタマネージャ2000	Windows 2000 Professional,Windows 2000 Server Windows 2000 Advanced Server Windows XP Professional,Windows XP Home Edition Windows NT 4.0 Workstation,Windows NT 4.0 Server
拡張プリンタマネージャVersion3	Windows NT 4.0 Workstation,Windows NT 4.0 Server

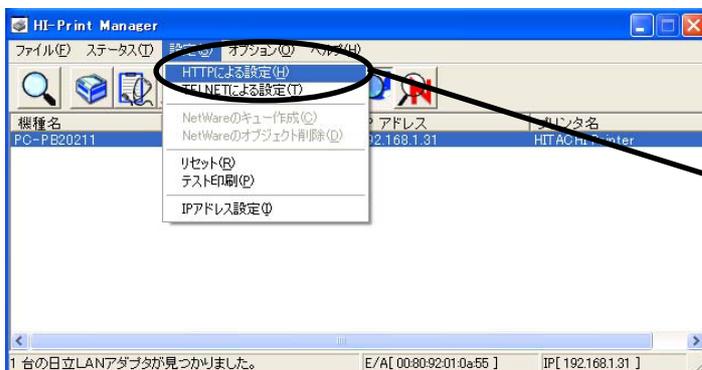
本製品の設定

拡張プリンタマネージャを使用する場合、Windowsからの印刷を行うための設定のほかに、本製品の設定が必要になります。拡張プリンタマネージャの使用方法については、拡張プリンタマネージャのマニュアルを参照してください。本機能の設定は、Webブラウザ、TELNETで行うことができます。

ここでは、Webブラウザを使って本機能の設定を行う手順を紹介します。

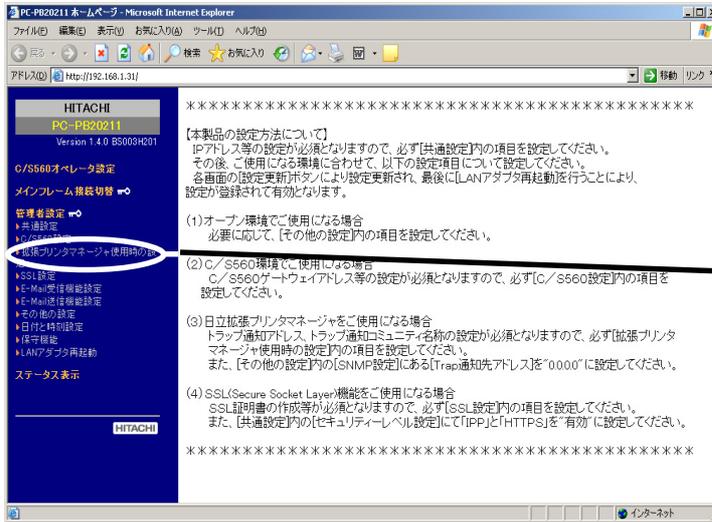
1. Webブラウザを起動し、一覧画面から設定する本製品を選択します。

2.



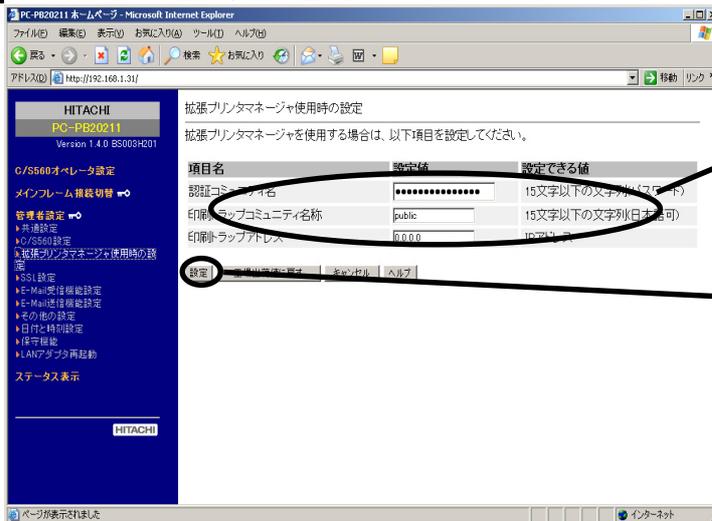
「設定」-「HTTPによる設定」を選択します。

3. 「拡張プリントマネージャ使用時の設定」を選択してください。



「拡張プリントマネージャ使用時の設定」をクリックしてください。

4. 各項目を設定し、「設定」ボタンをクリックしてください。変更した設定値が記憶されます。



各項目を設定してください。

「設定」をクリックしてください。

5. 「LANアダプタの再起動」をクリックして、本製品を再起動してください。再起動後、設定が有効になります。



・拡張プリントマネージャはSSLを使用した印刷に対応していません。

注意

セキュリティレベル設定機能

セキュリティレベルの設定

本製品は任意のプロトコル(サービス)を有効または無効にすることができます。

プロトコル(サービス)を無効にすると、該当プロトコル(サービス)での通信を排除し、有効設定されているプロトコル(サービス)のみ通信を行います。

セキュリティレベル設定機能は3段のセキュリティレベルを用途に応じて設定することができます。設定範囲は下表の通りです。なお、セキュリティレベルをCUSTOMに設定すると、プロトコル(サービス)個々に有効/無効の設定を行うこともできます。

セキュリティレベル	LPR	RAW	IPP	HTTP	HTTPS	Telnet	FTP	SNMP	Protocol SETUP
CUSTOM									
Level1						x	x	x	
Level2	x	x		x		x	x	x	x

:有効(設定により無効)

:有効(有効固定)

x:無効(無効固定)

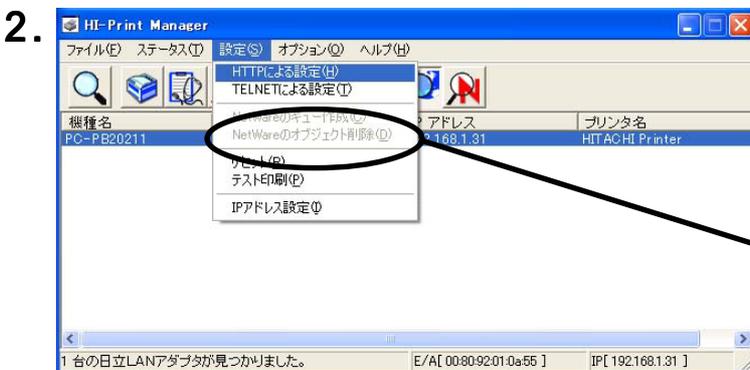


注意

- ・「CUSTOM」を選択した場合、「HTTP」、「HTTPS」、「Telnet」のいずれかを必ず有効にしてください。
- ・「CUSTOM」を選択し、「HTTPS」のみ有効にする場合は、必ず「SSL設定」項目の「暗号化を使用する」を「ENABLE」に設定し、SSL証明書を作成してください。
- ・本設定はSSL非対応版ファームウェアには対応していません。

本機能の設定は、Webブラウザ、TELNETで行うことができます。ここでは、Webブラウザを使って本機能の設定を行う手順を紹介します。

1. Webブラウザを起動し、一覧画面から設定する本製品を選択します。



「設定」-「HTTPによる設定」を選択します。

3. Web ブラウザから「共通設定」-「TCP/IP 設定」を選択してください。



「TCP/IP 設定」をクリックしてください。

4. 「セキュリティーレベル設定」の各項目を設定し、「設定」をクリックしてください。変更した設定値が記憶されます。



各項目を設定してください。

「設定」をクリックしてください。

5. 「LAN アダプタの再起動」をクリックして、本製品を再起動してください。再起動後、設定が有効になります。



注意

- ・「セキュリティーレベル」を CUSTOM に設定すると、各プロトコル毎で有効 / 無効を設定できます。ただし、Setup Protocol, TELNET, HTTP, HTTPS の 4 項目全てを無効にすると、本製品の設定変更ができなくなるため、エラー表示をして設定の見直しを要求します。
- ・「セキュリティーレベル」が Level1, Level2 の場合は、個々のプロトコルを手動で有効 / 無効に設定できません。
- ・「セキュリティーレベル」が CUSTOM 以外の場合は、TELNET から本製品への接続はできません。TELNET からの接続がある場合は、設定を CUSTOM にして TELNET を有効(ENABLE)に変更してください。

セキュア通信印刷機能について

WebブラウザやTelnetでSSLの設定を行う

セキュア通信(SSL通信)をするために、本製品の設定をします。

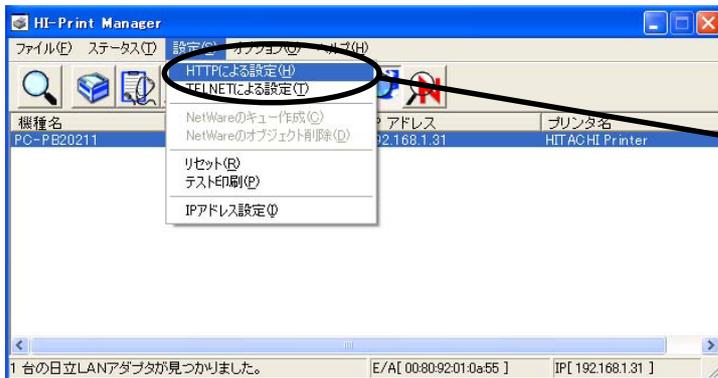


注意

- SSL の設定を行う前に、本製品の IP アドレスを設定する必要があります。設定方法は「はじめに」を参照してください。
- SSL を使用して印刷するには、SSL 証明書および有効期限の設定が必要になります。SSL 証明書および有効期限の設定は、Web ブラウザの「SSL 設定」から作成できます。
- 「IPP ポート」以外の印刷ポートでは、セキュア通信印刷機能は使用できません。
- 「IPP ポート」からセキュア通信印刷機能を使用して印刷する場合の URL は "https:// ~ " と指定してください。"http:// ~ " と指定すると、セキュア通信印刷機能は動作しません。
- WindowsVista で使用する場合は、IPP ポート作成前に予め、SSL 証明書のダウンロードが必要になります。

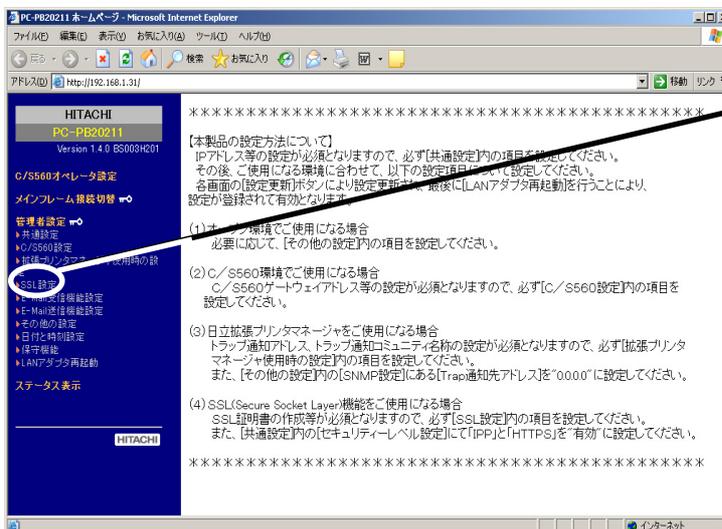
1. Web ブラウザを起動し、本製品に接続します。

2.



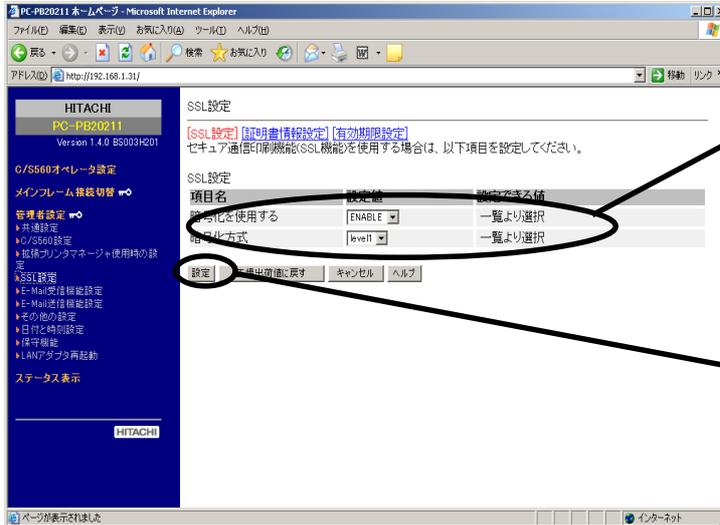
「設定」-「HTTPによる設定」を選択します。

3. Web ブラウザが起動したら、「SSL 設定」をクリックしてください。



「SSL設定」をクリックしてください。

4. 「SSL 設定」の各設定項目の入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。変更した設定値が記憶されます。



- ・「暗号化を使用する」を ENABLE にしてください。
- ・「暗号化方式」を設定してください。

「設定」をクリックしてください。変更した設定値が記憶されます。

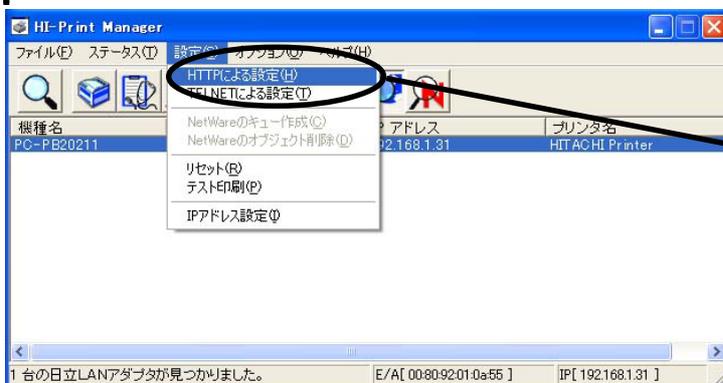
5. 「LAN アダプタの再起動」をクリックして、本製品を再起動してください。再起動後、設定が有効になります。

Web ブラウザで SSL 証明書と有効期限の設定を行う

続いて、セキュア通信 (SSL 通信) をするために、SSL 証明書情報と有効期限を本製品に設定します。

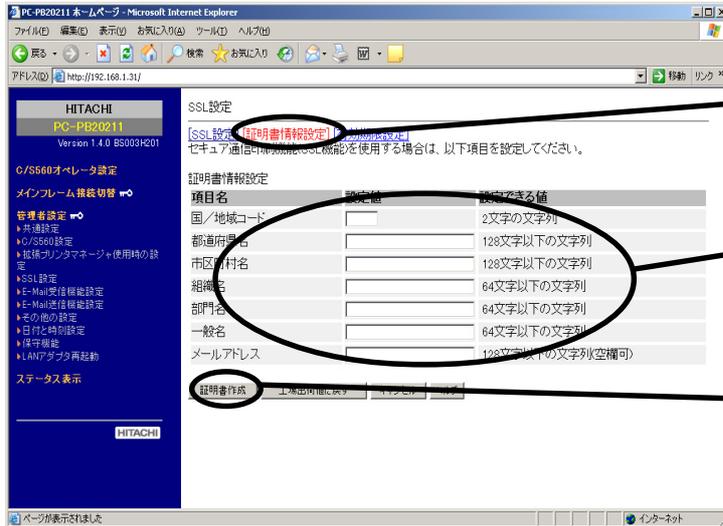
1. Web ブラウザを起動し、本製品に接続します。

2.



「設定」- 「HTTPによる設定」を選択します。

3. Web ブラウザが起動したら、「SSL 設定」 - 「証明書情報設定」をクリックしてください。各設定項目の入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。変更した設定値が記憶されます。

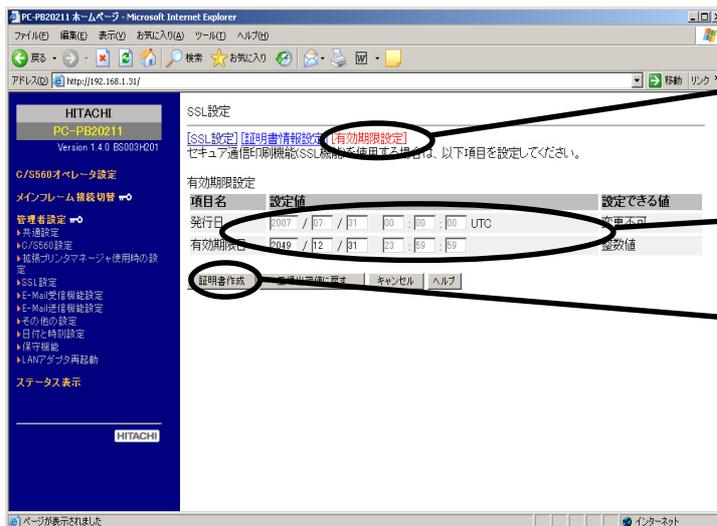


「証明書情報設定」をクリックしてください。

各項目に入力してください。

各項目の入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。変更した設定値が記憶されます。

4. 続いて、「有効期限設定」を行います。「SSL 設定」 - 「有効期限設定」をクリックしてください。各設定項目の入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。変更した設定値が記憶されます。



「有効期限設定」をクリックしてください。

各項目に入力してください。

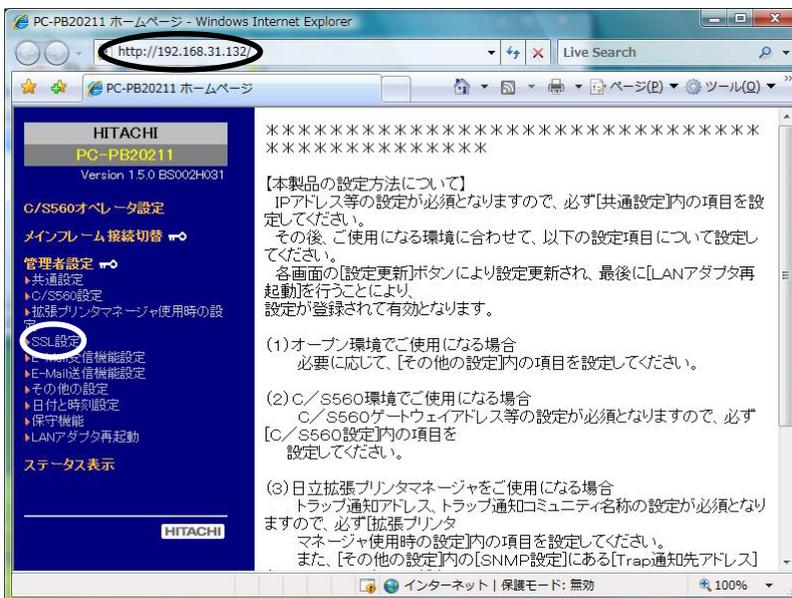
各項目の入力が完了したら、「設定」をクリックしてください。変更した設定値が記憶されます。

5. 「LAN アダプタの再起動」をクリックして、本製品を再起動してください。再起動後、設定が有効になります。

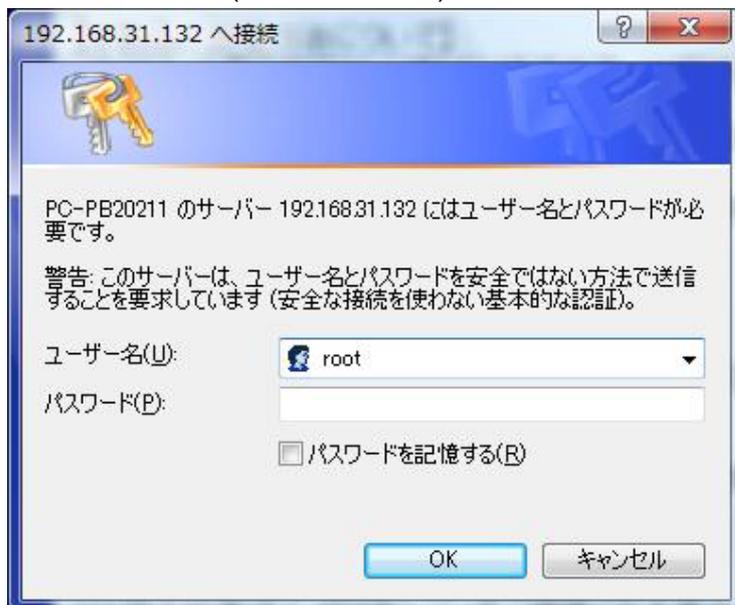
WindowsVistaでセキュア通信印刷をする

WindowsVistaでセキュア通信印刷を行うためには、IPPポートを追加する前に、WebブラウザからSSL証明書のインストールを行う必要があります。この操作は、SSL証明書作成後に、IPPポート追加作業を行う前に実施してください。なお、本作業は印刷を実行するパーソナルコンピュータ毎に実施してください。

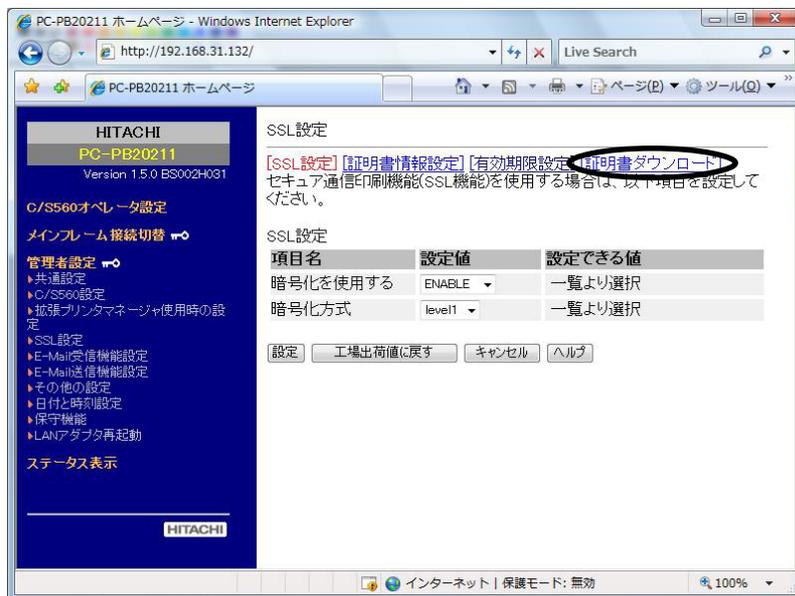
1. Web ブラウザを起動し、本製品に接続します。
2. Web ページ右側のメニューから「SSL 証明書作成」をクリックしてください。



3. パスワード認証画面が表示されます。工場出荷時設定の場合は、ユーザ名に「root」、パスワード無し(リターン押下)を入力して「OK」をクリックします。

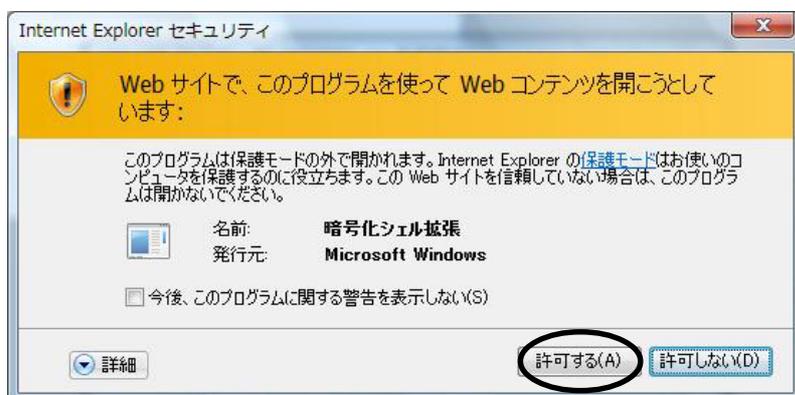
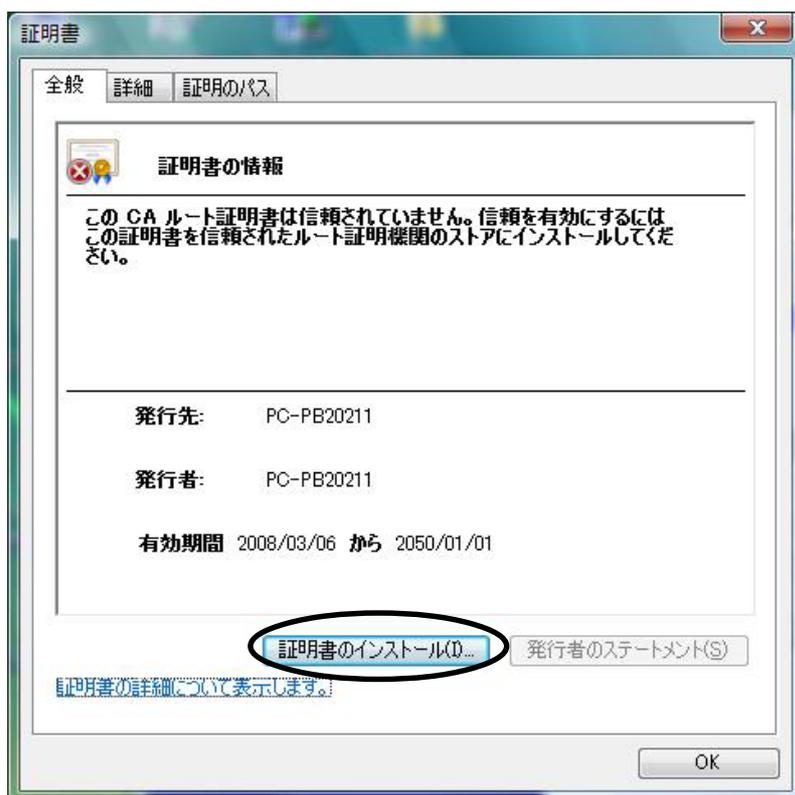


4. 「証明書ダウンロード」をクリックして、表示されたページで「証明書ダウンロード」をクリックします。

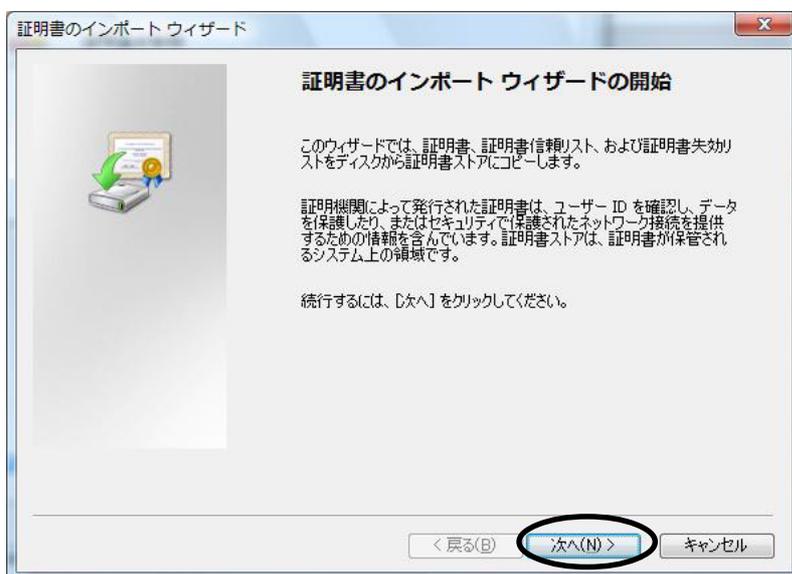


5. セキュリティのダイアログで、「開く」をクリックしてください。

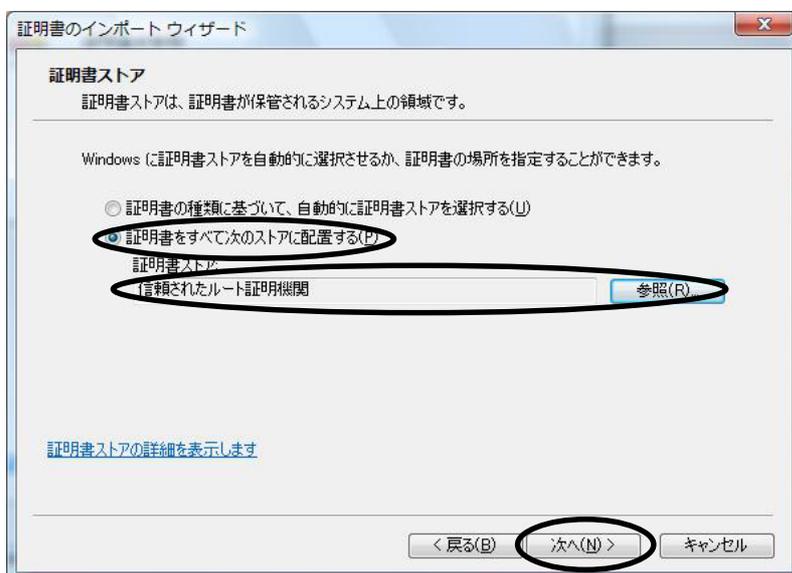


6. Internet Explorer セキュリティダイアログで、「許可する」をクリックしてください。**7.** 証明書ダイアログを表示します。「証明書のインストール」をクリックしてください。

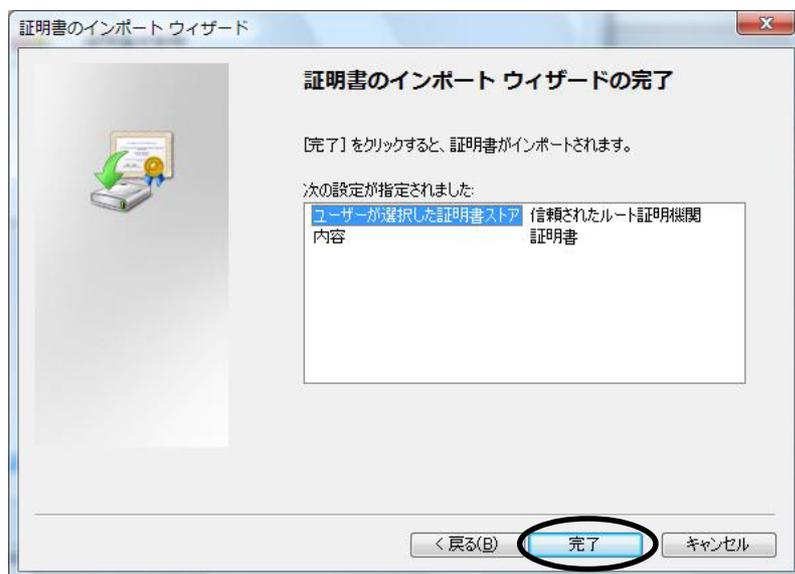
8. 証明書のインポートウィザードが起動します。「次へ」をクリックしてください。



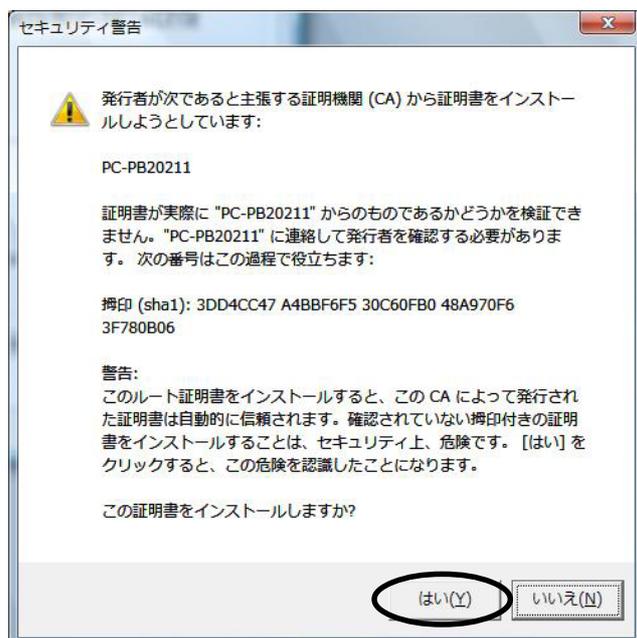
9. 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選択し、「参照」をクリックします。表示されたダイアログで、「信頼されたルート証明機関」を選択し、「次へ」をクリックしてください。



10. 「完了をクリックしてください。」



11. セキュリティ警告ダイアログでは、「はい」をクリックしてください。



12. 証明書のインポートが完了しました。証明書のインポートウィザードダイアログで「OK」をクリックしてください。この後に IPP ポートを追加してください。



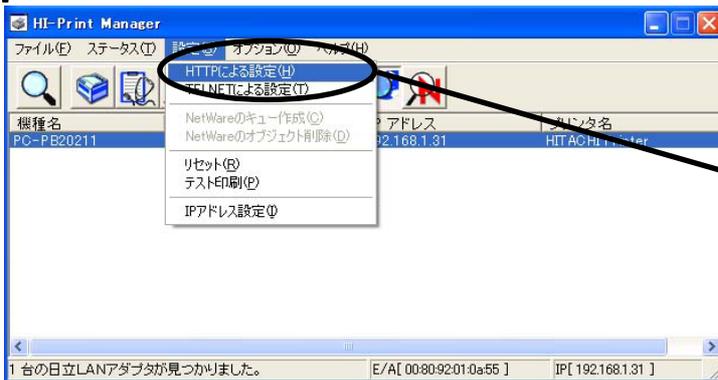
保守機能

保守機能について

本製品には保守機能として「自己診断印刷」、「設定情報印刷」、「16進ダンプ印刷」、「設定情報コピー(保存/更新)」、「初期化」の機能があります。これらの機能により、製品本体のディップスイッチを設定することなく、各項目の設定確認が出来るようになっていきます。なお、保守機能は「16進ダンプ印刷」機能以外はTELNETからの設定ができません。Webブラウザから設定してください。ここでは、Webブラウザを使って本機能の設定を行う手順を紹介します。

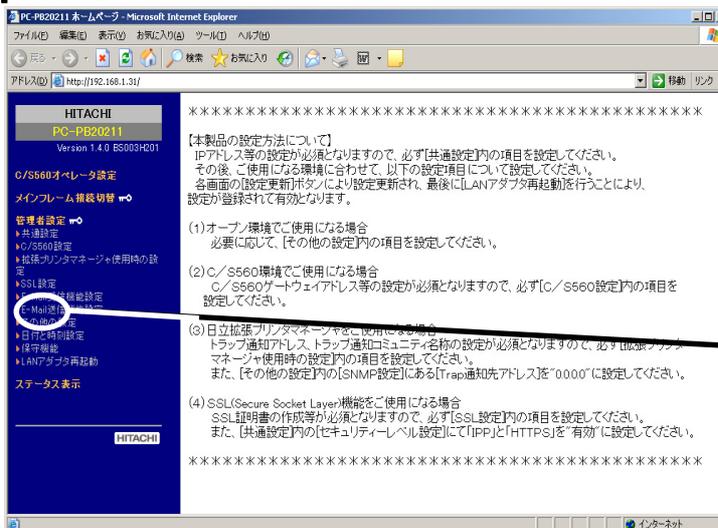
1. Webブラウザを起動し、一覧画面から設定する本製品を選択します。

2.



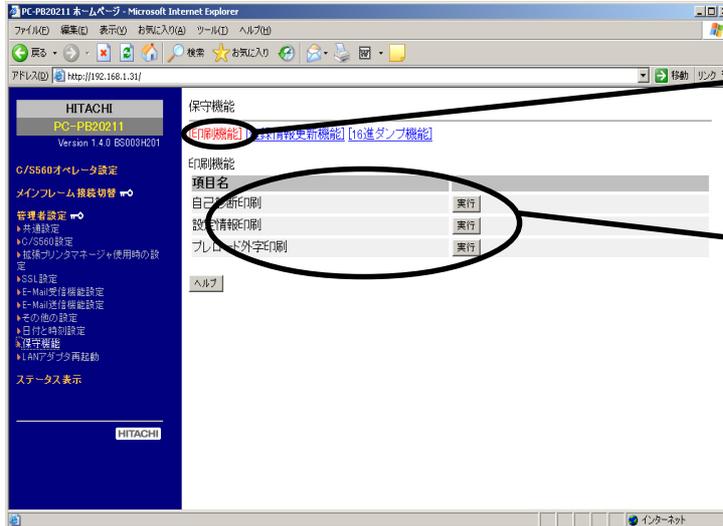
「設定」-「HTTPによる設定」を選択します。

3.



「保守機能」をクリックしてください。

4. 印刷機能を使用する場合は、Web ブラウザから「印刷機能」を選択してください。



「印刷機能」をクリックしてください。

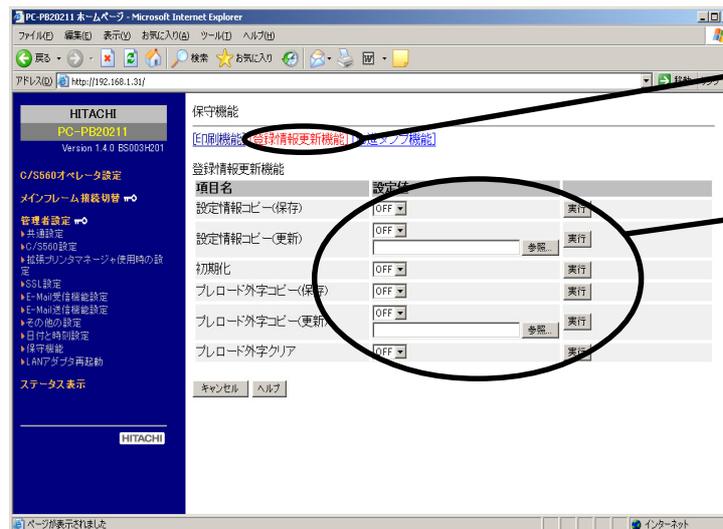
「実行」をクリックすると、各印刷を行います。



注意

- ・「自己診断印刷」、「設定情報印刷」は「実行」をクリックすると、プリンタに本製品の自己診断印刷結果、設定情報印刷を印刷します。また、「プレロード外字印刷」の「実行」をクリックすると、LAN アダプタに登録されているプレロード外字を、7p 9p の順で印刷します。7p と9p の区切りには改頁を行います。また、ESC/P の場合は9p のみ印刷します。あらかじめ、プリンタに用紙をセットしておいてください。
- ・本機能は、TELNET からの設定はできません。Web ブラウザからのみ設定可能です。

5. 登録情報更新機能を使用する場合は、Web ブラウザから「登録情報更新機能」を選択してください。



「登録情報更新機能」をクリックしてください。

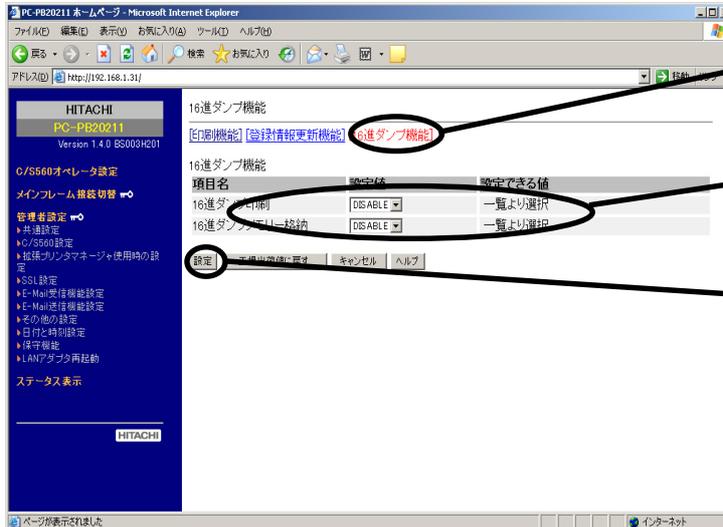
設定を「ON」にして、「実行」をクリックすると、各項目を実行します。



注意

- ・本機能は、TELNET からの設定はできません。Web ブラウザからのみ設定可能です。

6.16進ダンプ機能を使用する場合は、Webブラウザから「16進ダンプ機能」を選択してください。



「16進ダンプ機能」をクリックしてください。

設定値を「ENABLE」に変更してください。

「設定」をクリックしてください。



参考

- ・「16進ダンプメモリ格納」機能の詳細を以下に示します。

C/S560 印刷時の C/S560 パケットを、ヘッダ部 11byte も含む全てをテキスト単位で 1 ジョブ分保持します。また、データの最後に EndOfData の文字列を付加します。

本機能の設定を変更する場合、LAN アダプタの再起動をする必要はありません。

C/S560 印刷データの単一データ、または先頭データを受信した時点から、C/S560 切替待ち時間が経過するまでを 1 ジョブとして、データを保持します。

データは、次の C/S560 で単一データ、または先頭データ(次 JOB)受信時にクリアします。

データは、LAN アダプタの電源 OFF 時と本機能の設定変更時にクリアします。

最大格納容量をオーバーすると、以降のデータは格納領域の先頭から上書きをします。ただし、印刷は継続します。

本機能を有効にしても、印刷速度および印刷動作には影響はありません。

本機能を使用して取得したデータは、FTP で取り出す事ができます。保存先は FTP 接続をした PC に保存します。データの取り出し方法は以下の通りです。

- ・ get css560dump <ファイル名> を実行すると、C/S560 データを取得します。
- ・ get emudump <ファイル名> を実行すると、エミュレーション変換後のデータを取得します。データ形式はバイナリファイルで保存します。



注意

- ・「16進ダンプ印刷」は、ENABLE に変更し、「実行」をクリックした後、「LAN アダプタの再起動」をクリックして再起動をしてください。再起動後、設定が有効になります。設定を解除するには、設定値を DISABLE に変更し、「実行」をクリック後に「LAN アダプタの再起動」をクリックしてください。
- ・「16進ダンプ印刷」および「16進ダンプメモリ格納」は、TELNET からの設定が可能です。ただし、他の機能については Web ブラウザからのみ設定可能です。

7. syslog 機能

syslog 格納トリガ登録

登録した syslog キーワードが syslog に発生した場合に syslog(F)に格納します。
 複数 syslog キーワードを指定する場合で空白 1 行を入れた場合は条件分けします。
 改行で連続した(空白 1 行を入れない)場合はそれらの出現順が一致した時に
 syslog(F)に格納します。
 入力コードは ASCII コードです。
 部分一致で判断します。
 大文字・小文字を区別します。

<ウェイト時間指定> !"#\$%xxx 仕掛データなしからのウェイト時間及び、印刷完了からのウェイト時間(xxx=1~360)
 &'()=xxx DMA 転送停止してからのウェイト時間及び、syslog キーメッセージ成立からのウェイト時間(xxx=1~360)

保守機能

[印刷機能] [登録情報更新機能] [16進ダンプ機能] [syslog機能]

syslog機能

項目名	設定値	設定できる値
syslog格納トリガ登録		2048文字以下の文字列

設定 工場出荷値に戻す キャンセル ヘルプ

8. syslog 採取機能

(1) syslog 採取(D)

D-RAM エリアに格納されている syslog を PC 上のホルダ/ファイル名を指定し保存します。

(2) syslog 採取(F)

フラッシュ-RAM エリアに格納されている syslog を PC 上のホルダ/ファイル名を指定し保存します。

HITACHI
PC-PB20211
Version 1.7.1 BS002H032

C/S560オペレータ設定
メインフレーム接続切替
管理者設定
 ▶ 共通設定
 ▶ C/S560設定
 ▶ 拡張プリンタマネージャ使用時の設定
 ▶ SSL設定
 ▶ E-Mail受信機能設定
 ▶ E-Mail送信機能設定
 ▶ その他の設定
 ▶ 日付と時刻設定
 ▶ 保守機能
 ▶ LANアダプタ再起動

ステータス表示
 ● **syslog採取(D)**
 ● **syslog採取(F)**

保守機能
 [印刷機能] [登録情報更新機能] [16進ダンプ機能] [**syslog機能**]

syslog機能

項目名	設定値	設定できる値
syslog格納トリガ登録		2048文字以下の文字列

設定 工場出荷値に戻す キャンセル ヘルプ

ファイルのダウンロード

このファイルを開くか、または保存しますか?

名前: syslog_ram.txt
種類: テキストドキュメント, 476 KB
発信元: 192.168.0.63

開く(O) 保存(S) キャンセル

インターネットのファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピュータに問題を起すものもあります。発信元が信頼できない場合は、このファイルを開いたり保存したりしないでください。危険性の説明